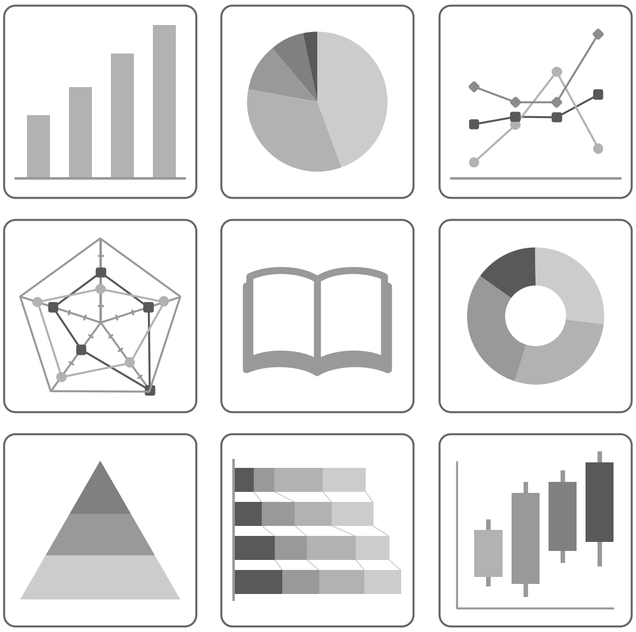
# 甲府市
# 男女共同参画に関するアンケート調査
# 調査結果報告書



令 和 4 年 8 月

甲　府　市

# 目　次


## Ⅰ　市民調査の概要 ........................................ 1

1　調査の目的 ........................................ 1
2　調査対象 ........................................ 1
3　調査期間 ........................................ 1
4　調査方法 ........................................ 1
5　回収状況 ........................................ 1
6　調査結果の表示方法 ........................................ 1

## Ⅱ　市民調査結果 ........................................ 2

回答者属性 ........................................ 2
１．男女共同参画全般について ........................................ 7
２．仕事・職場（ワークライフバランス・女性活躍）について ........................................ 76
３．子育て・介護・看護について ........................................ 97
４．地域活動等（防災活動・生涯活躍）について ........................................ 111
５．政策・方針決定の場への女性参画について ........................................ 117
６．配偶者（パートナー）や恋人等から受ける暴力について ........................................ 132
７．性別役割意識・アンコンシャスバイアスついて ........................................ 144
８．ダイバーシティについて ........................................ 162
９．新型コロナウイルス感染症による影響について ........................................ 170
10．今後の取り組みについて ........................................ 178
11．自由記載 ........................................ 180

# Ⅰ　市民調査の概要

## １　調査の目的

この調査は、男女共同参画やＤＶ（ドメスティック・バイオレンス)、多様性について、市民の方の現状や意見を聞き、今後のプランや施策に反映させることを目的に実施するものです。

## ２　調査対象

市民：甲府市在住の 18 歳から 75 歳までの方

## ３　調査期間

令和４年７月 19 日から令和４年８月５日

## ４　調査方法

郵送による配布・回収またはインターネットによる回答

## ５　回収状況

| | 配　布　数 | 有効回答数 | 有効回答率 |
|---|---|---|---|
| 市民 | 2,000 通 | 544 通 | 27.2％ |

## ６　調査結果の表示方法

・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第２位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0％にならない場合があります。

・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0％を超える場合があります。

・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを　　で網かけをしています。(無回答を除く）

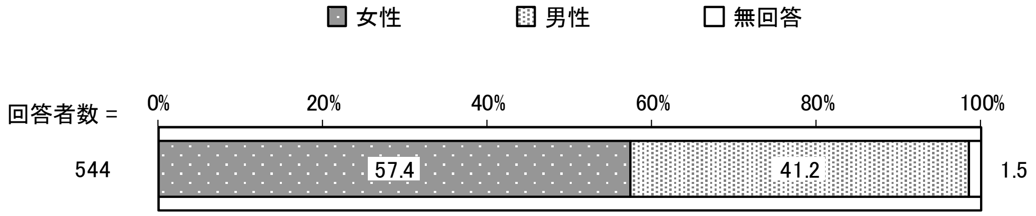
・回答者数が１桁の場合、回答件数による表記としています。

# Ⅱ　市民調査結果

回答者属性

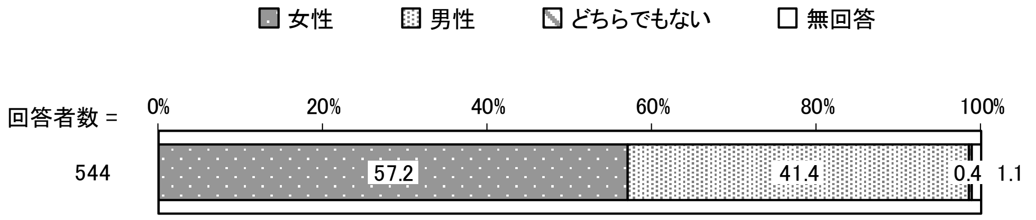
**【問１】　あなたの戸籍上の性別を教えてください。**

「女性」の割合が 57.4%、「男性」の割合が 41.2%となっています。



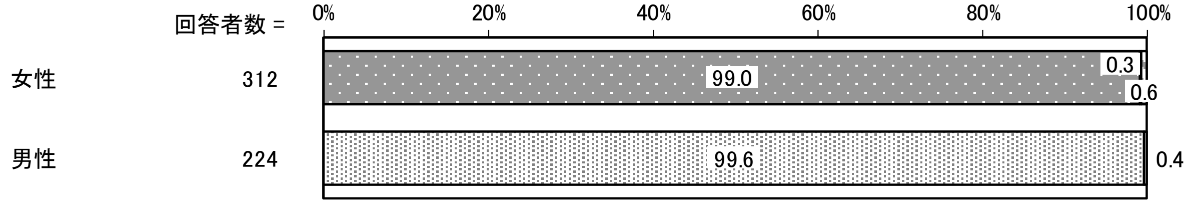

**【問１－a】　あなたの生活上の性別、または自認している性別を教えてください。**

「女性」の割合が 57.2%と最も高く、次いで「男性」の割合が 41.4%となっています。



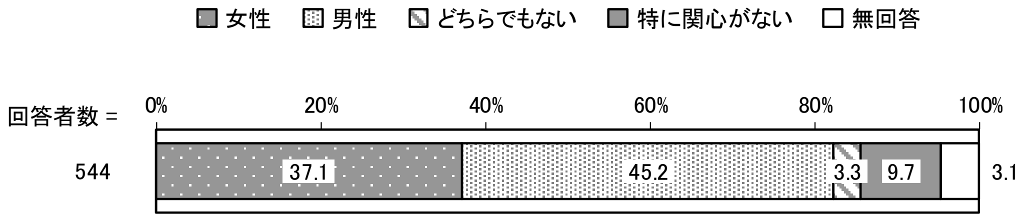

**【戸籍上の性別】**

戸籍上の性別でみると、男性に比べ、女性で「女性」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「男性」の割合が高くなっています。



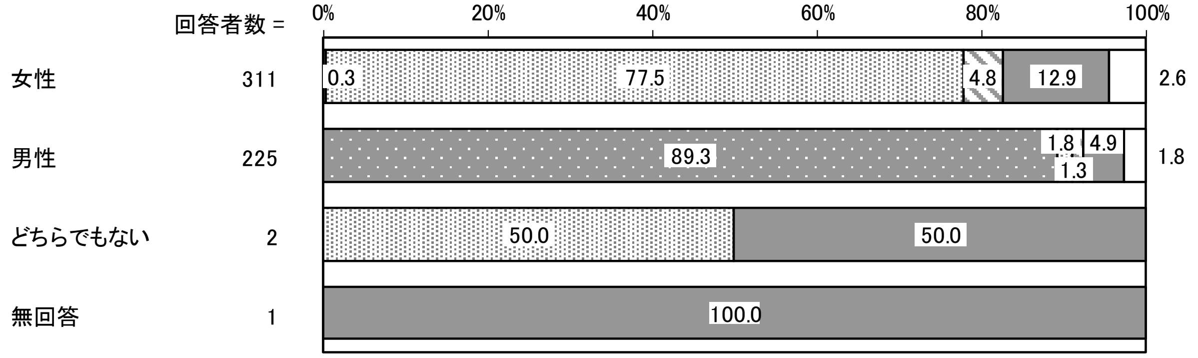
## 【問１－b】　あなたが好意を抱く方の性別を教えてください。

「男性」の割合が 45.2%と最も高く、次いで「女性」の割合が 37.1%となっています。



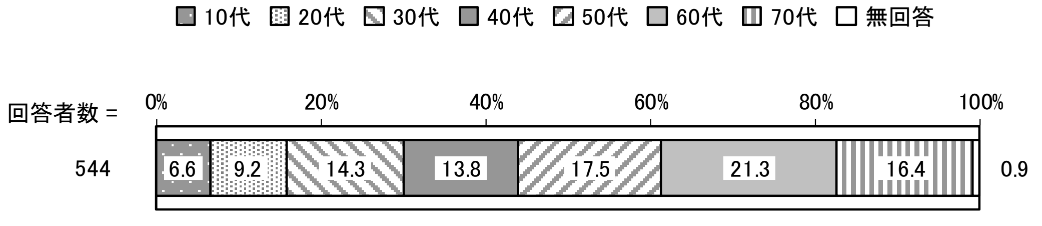

**【生活上の性別、または自認している性別】**

生活上の性別、または自認している性別でみると、男性に比べ、女性で「男性」「特に関心がない」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「女性」の割合が高くなっています。



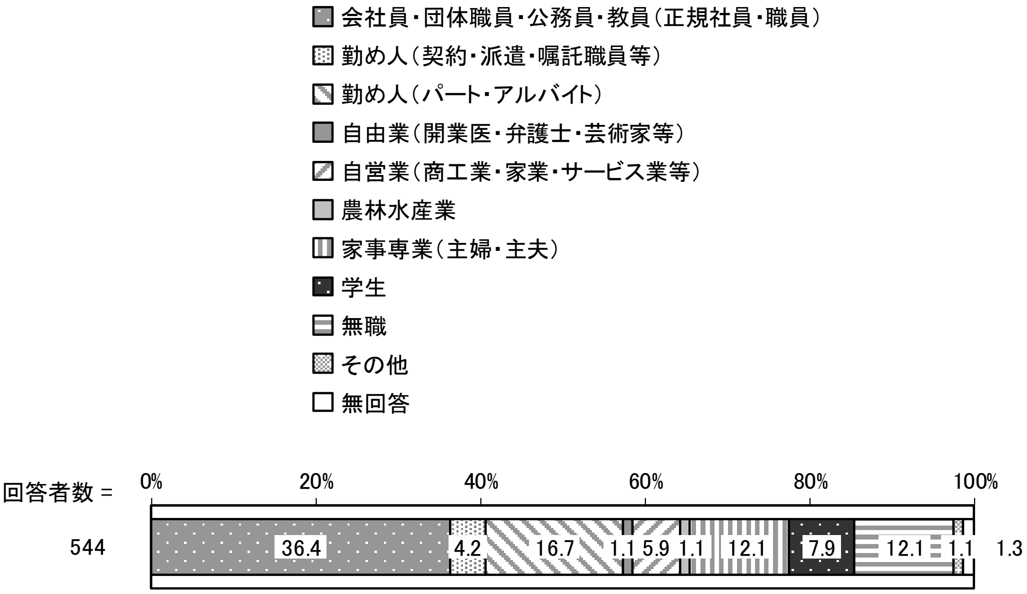

## 【問２】　あなたの年代を教えてください。

「60 代」の割合が 21.3%と最も高く、次いで「50 代」の割合が 17.5%、「70 代」の割合が 16.4%となっています。



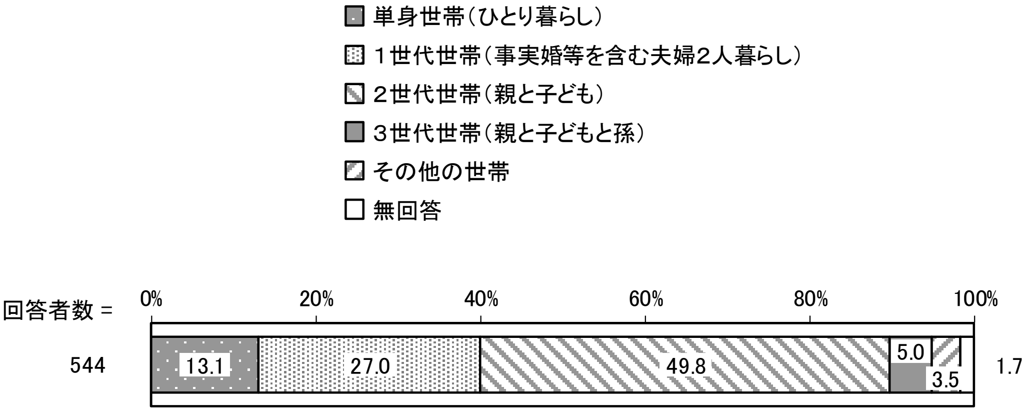
## 【問３】　あなたの主な職業を教えてください。

「会社員・団体職員・公務員・教員（正規社員・職員）」の割合が 36.4％と最も高く、次いで「勤め人（パート・アルバイト）」の割合が 16.7％、「家事専業（主婦・主夫）」、「無職」の割合が 12.1％となっています。



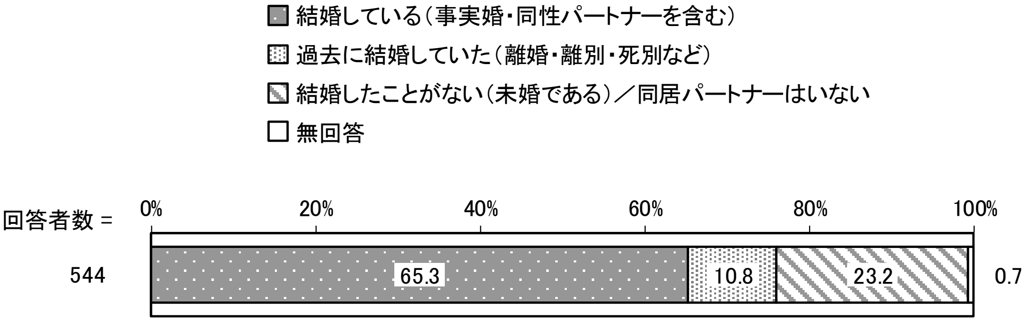

## 【問４】　あなたの現在の家族構成は次のどれにあたりますか。

「２世代世帯（親と子ども）」の割合が 49.8％と最も高く、次いで「１世代世帯（事実婚等を含む夫婦２人暮らし）」の割合が 27.0％、「単身世帯（ひとり暮らし）」の割合が 13.1％となっています。



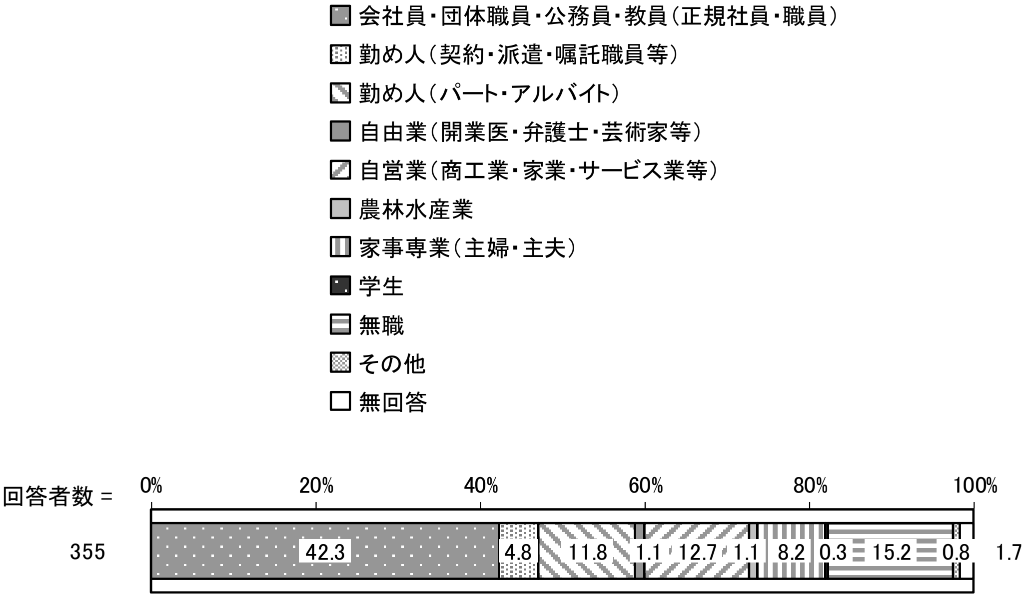
## 【問５】　あなたは現在、結婚していますか。

「結婚している（事実婚・同性パートナーを含む）」の割合が 65.3％と最も高く、次いで「結婚したことがない（未婚である）／同居パートナーはいない」の割合が 23.2％、「過去に結婚していた（離婚・離別・死別など）」の割合が 10.8％となっています。



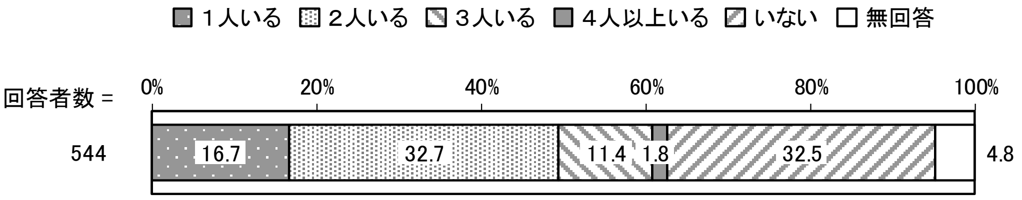

## 【問５－a】　あなたの配偶者（事実婚・同性パートナーを含む）の主な職業は次のどれにあたりますか。

「会社員・団体職員・公務員・教員（正規社員・職員）」の割合が 42.3％と最も高く、次いで「無職」の割合が 15.2％、「自営業（商工業・家業・サービス業等）」の割合が 12.7％となっています。



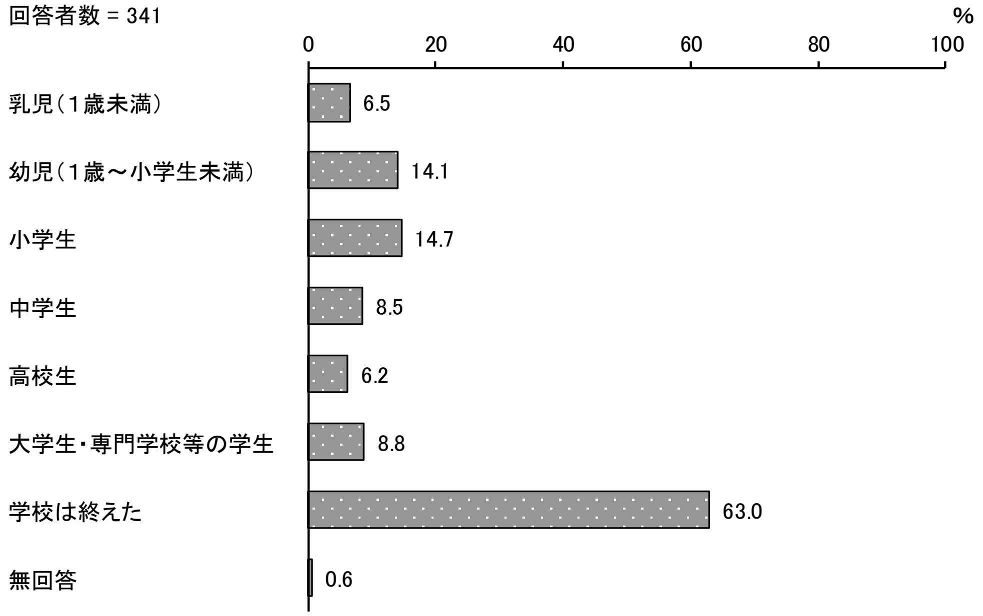
【問６】　あなたにはお子さん（実子・連れ子・養子等）はいますか。

「２人いる」の割合が 32.7%と最も高く、次いで「いない」の割合が 32.5%、「１人いる」の割合が 16.7%となっています。




【問６－a】あなたのお子さんは次のどれにあたりますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

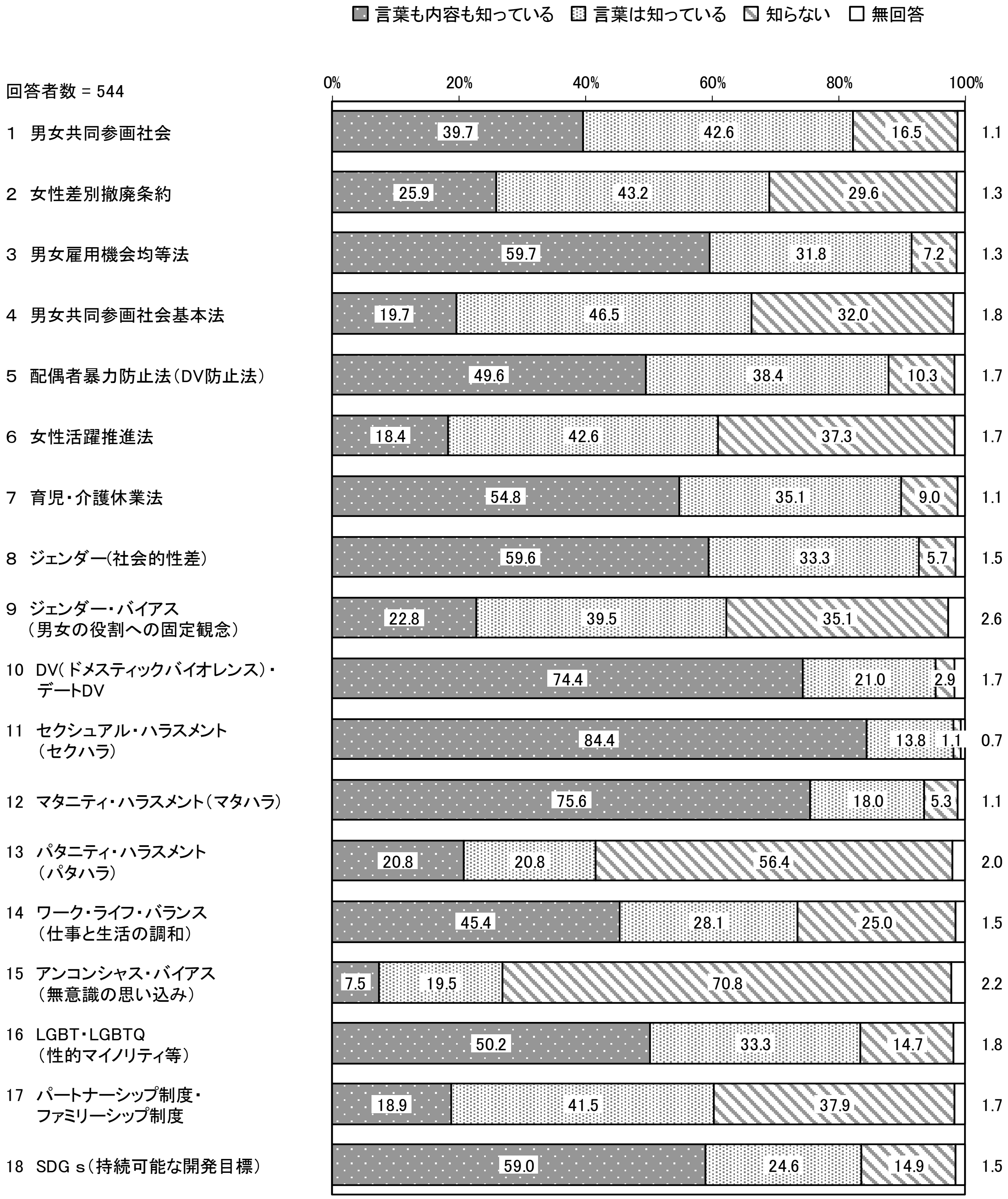
「学校は終えた」の割合が 63.0%と最も高く、次いで「小学生」の割合が 14.7%、「幼児（１歳～小学生未満)」の割合が 14.1%となっています。



1．男女共同参画全般について

【問７】　あなたは次の言葉を知っていますか。
それぞれ近いもの１つに○をしてください。

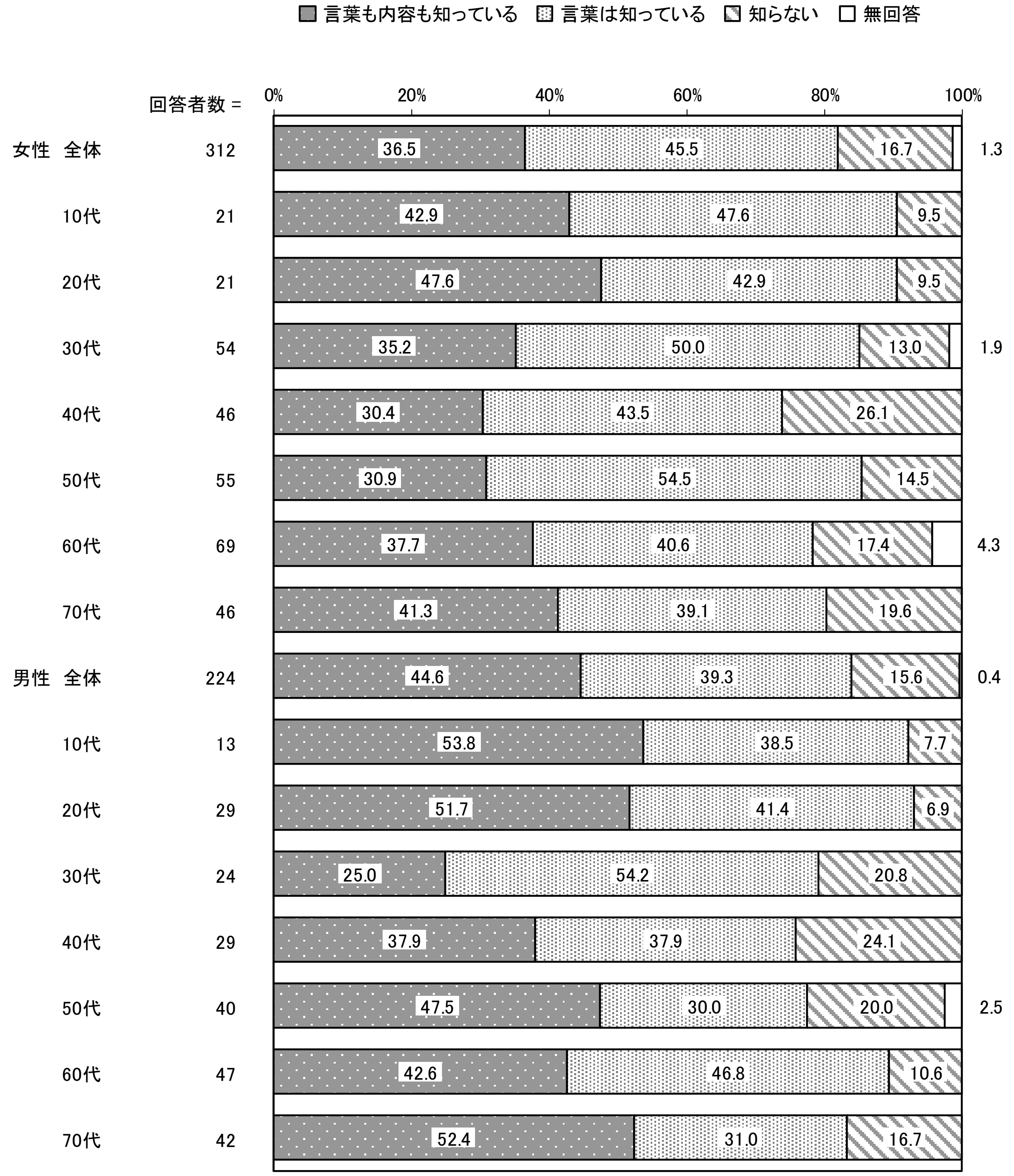
『11　セクシャル・ハラスメント（セクハラ)』で「言葉も内容も知っている」の割合が、『アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み)』で「知らない」の割合が高くなっています。



1　男女共同参画社会

【性・年代別】

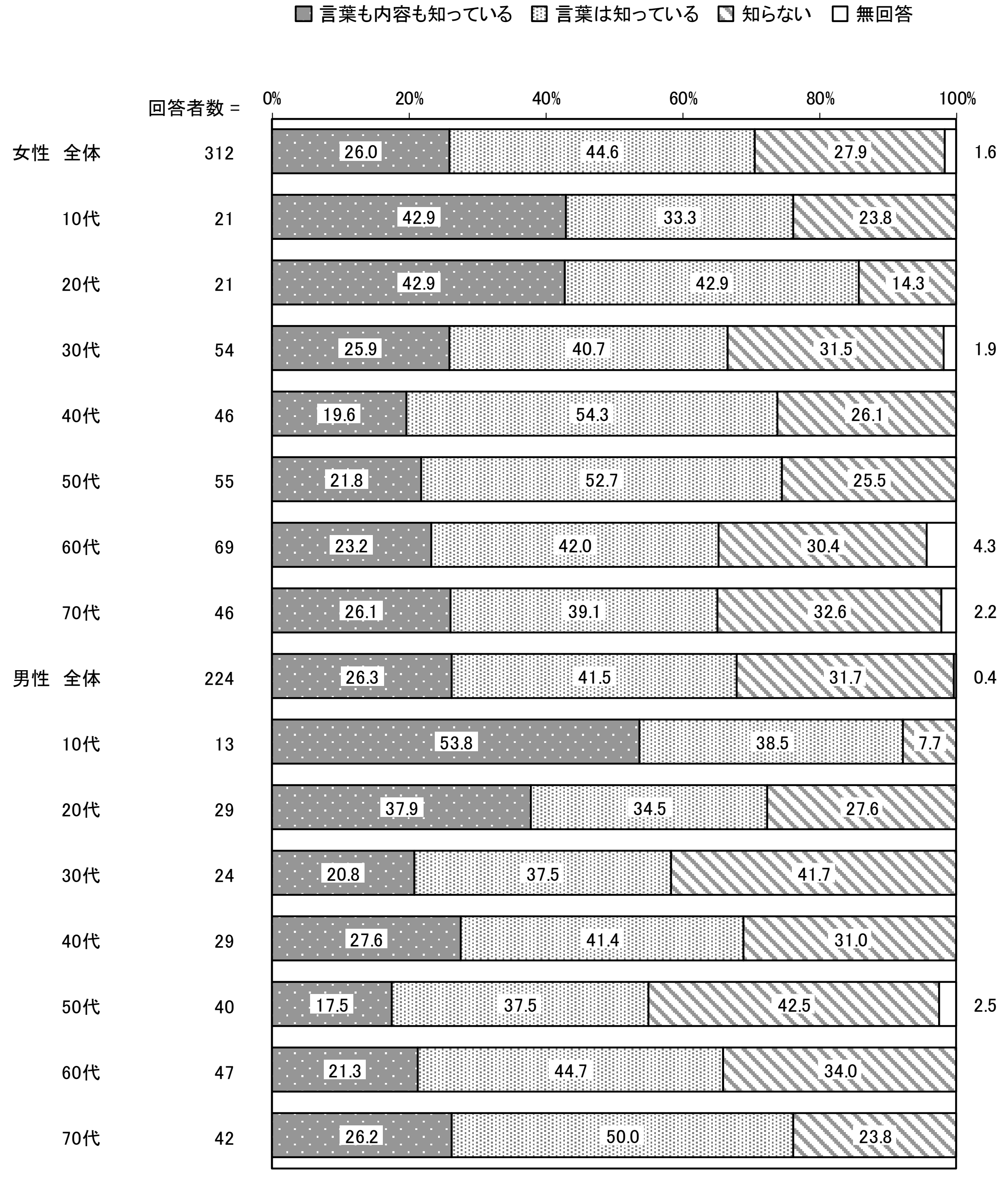
性・年代別でみると、他に比べ、男性10代、男性20代、男性70代で「言葉も内容も知っている」の割合が、女性50代、女性30代、男性30代で「言葉は知っている」の割合が高くなっています。



2　女性差別撤廃条約

【性・年代別】

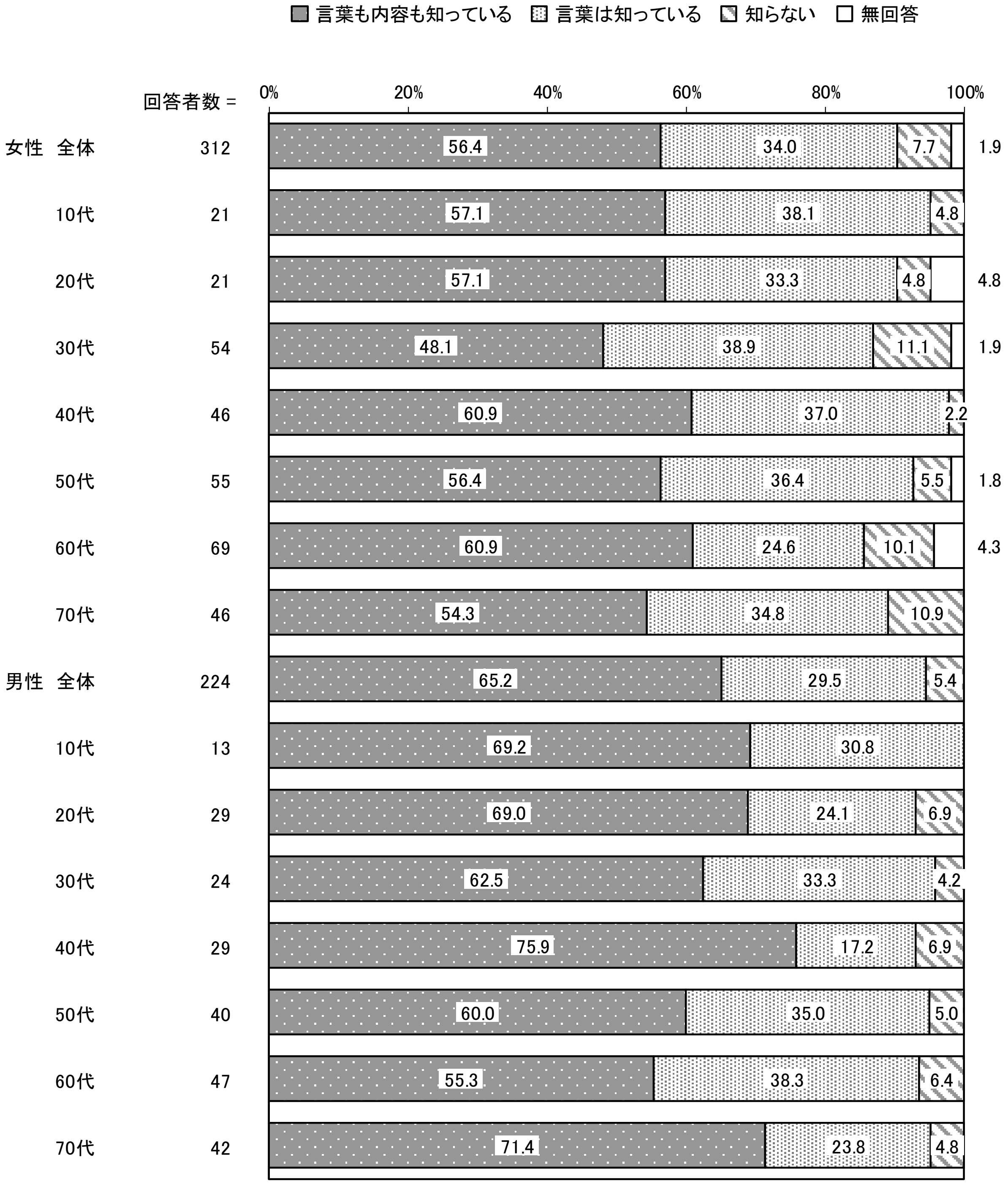
性・年代別でみると、他に比べ、男性10代で「言葉も内容も知っている」の割合が高くなっています。



## 3　男女雇用機会均等法

**【性・年代別】**

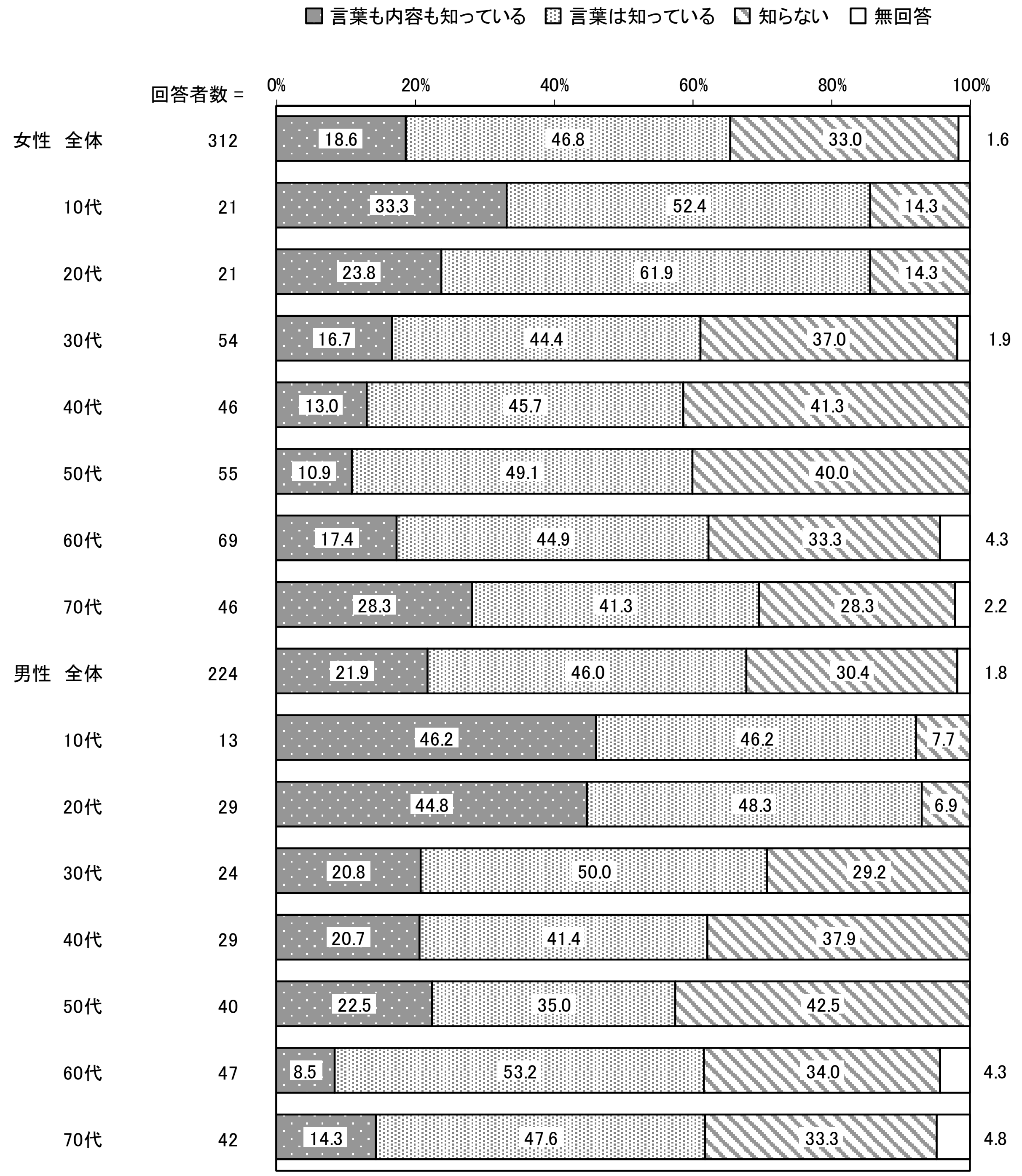
性・年代別でみると、他に比べ、女性 30 代で「言葉も内容も知っている」の割合が低くなっています。



## 4　男女共同参画社会基本法

**【性・年代別】**

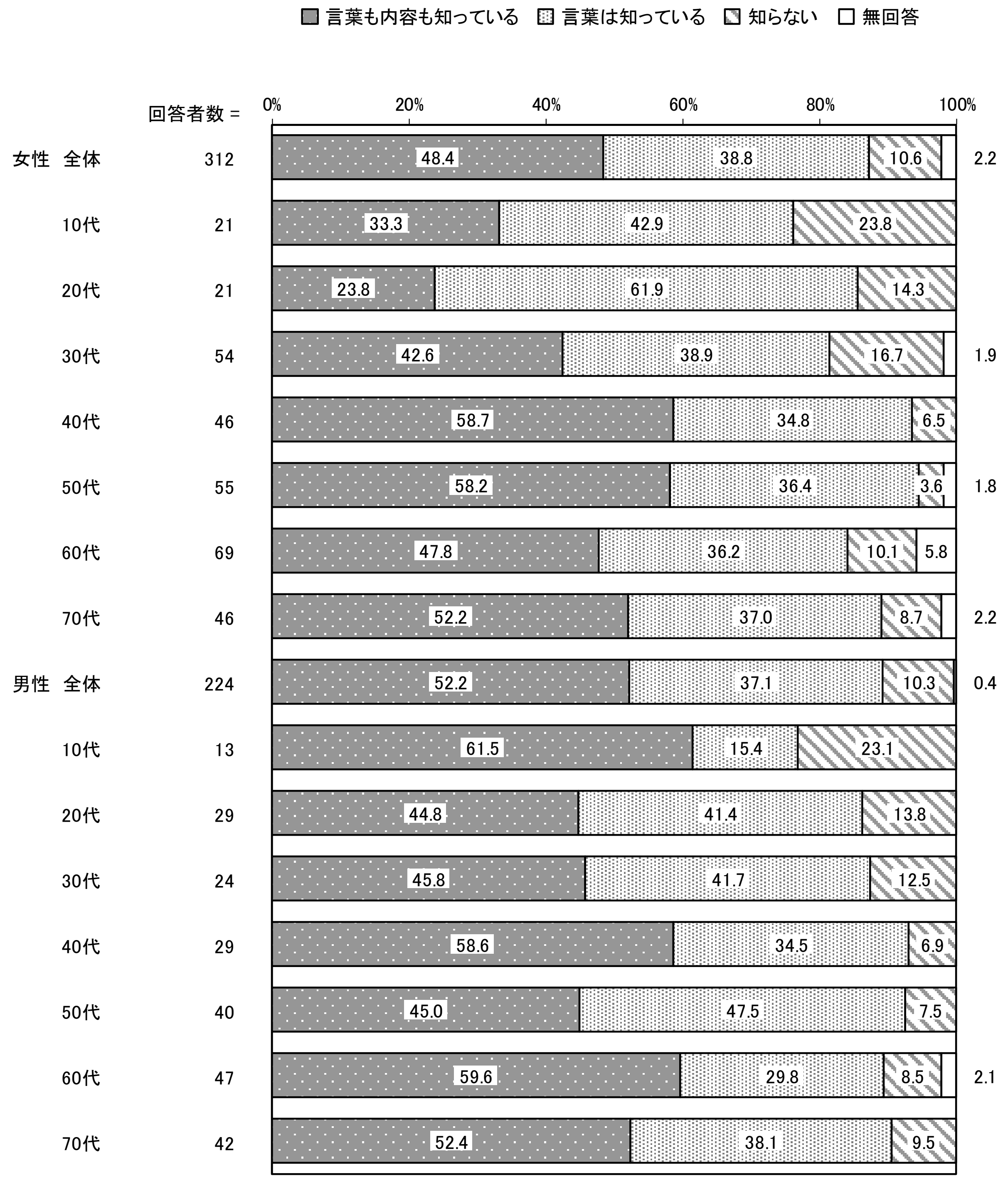
性・年代別でみると、他に比べ、男性10代、男性20代で「言葉も内容も知っている」の割合が、女性20代で「言葉は知っている」の割合が高くなっています。



## 5　配偶者暴力防止法（DV 防止法）

【性・年代別】

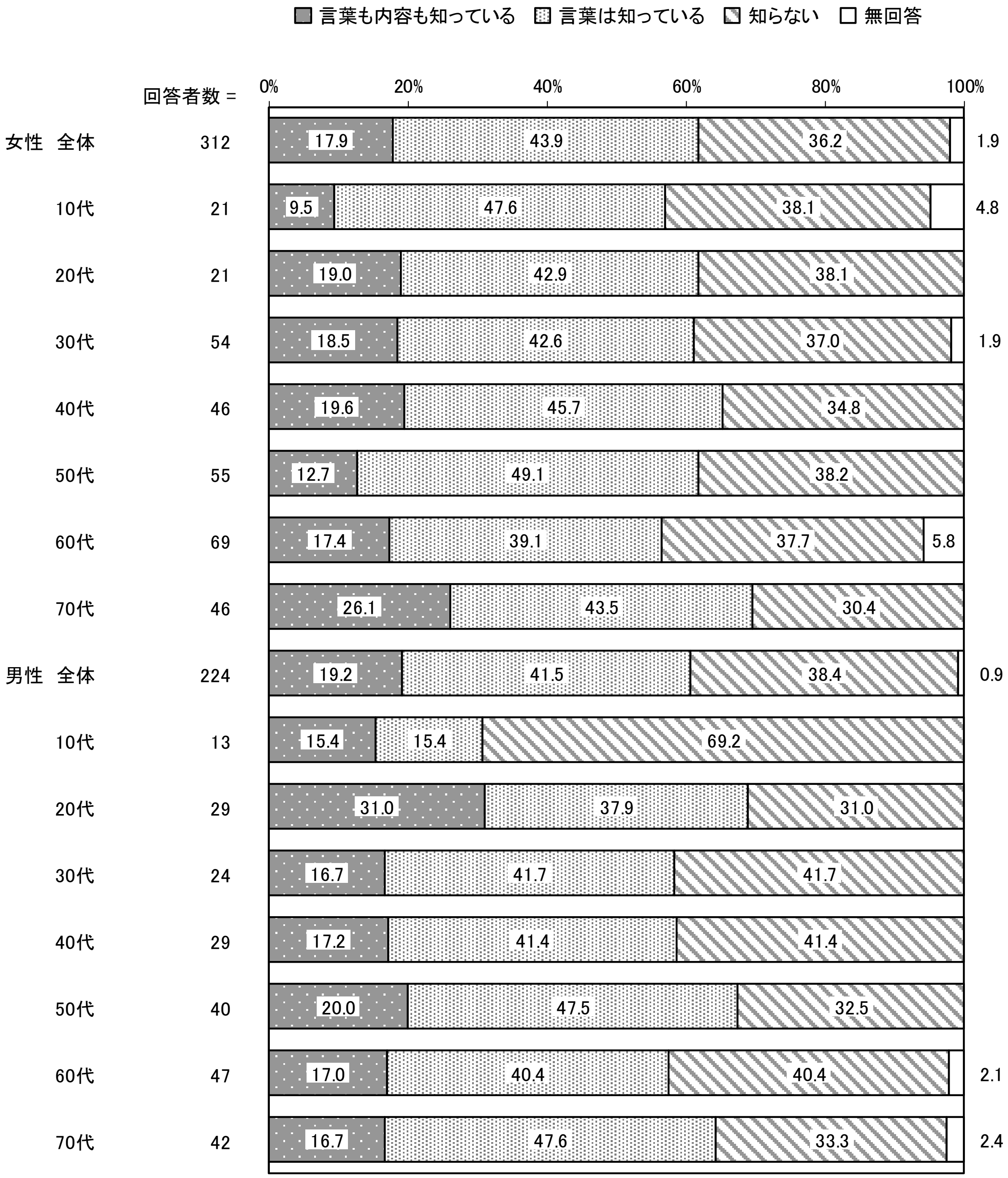
性・年代別でみると、他に比べ、女性 20 代で「言葉は知っている」の割合が高くなっています。



6　女性活躍推進法

【性・年代別】

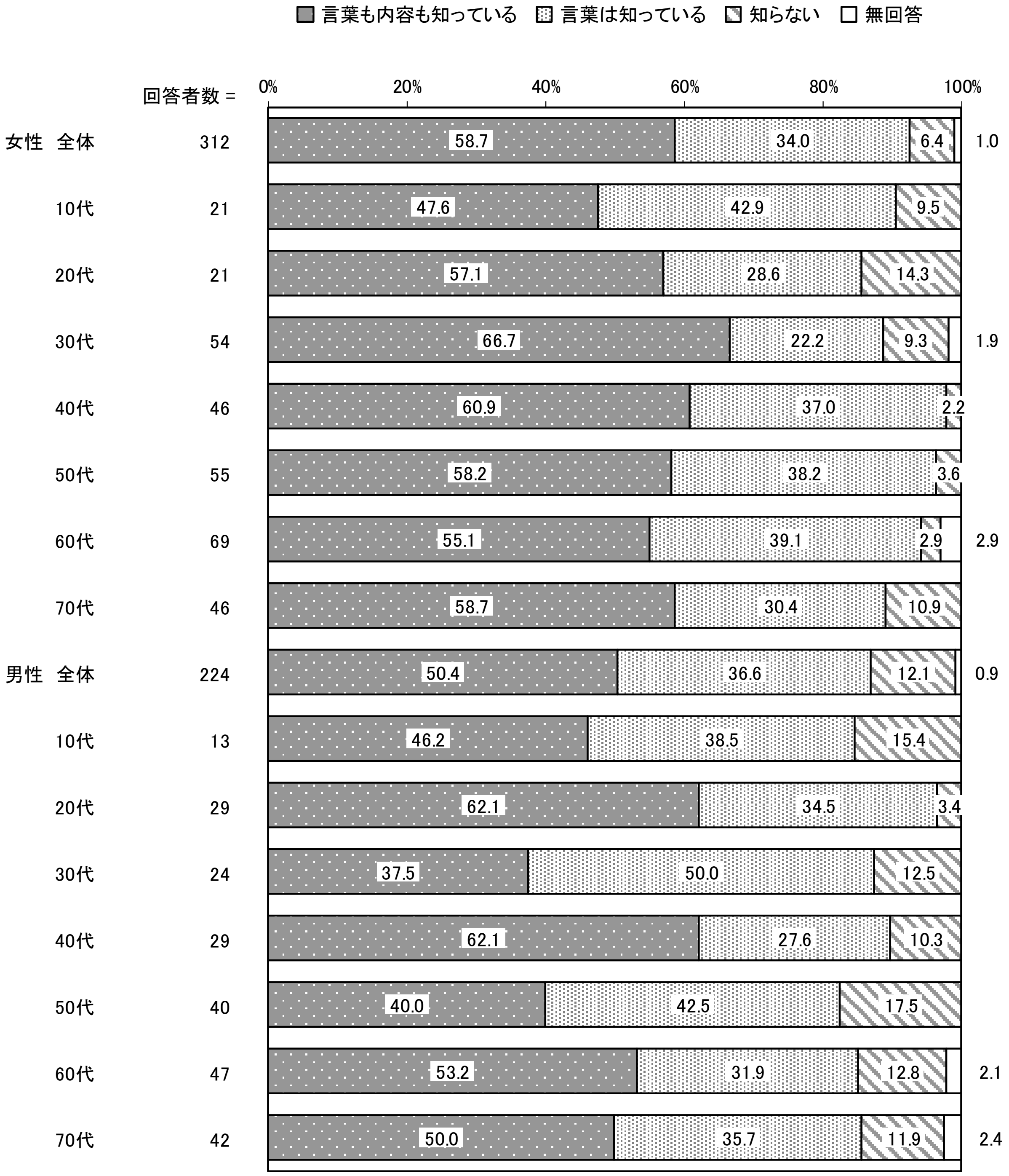
性・年代別でみると、他に比べ、男性 10 代で「知らない」の割合が高くなっています。



7　育児・介護休業法

【性・年代別】

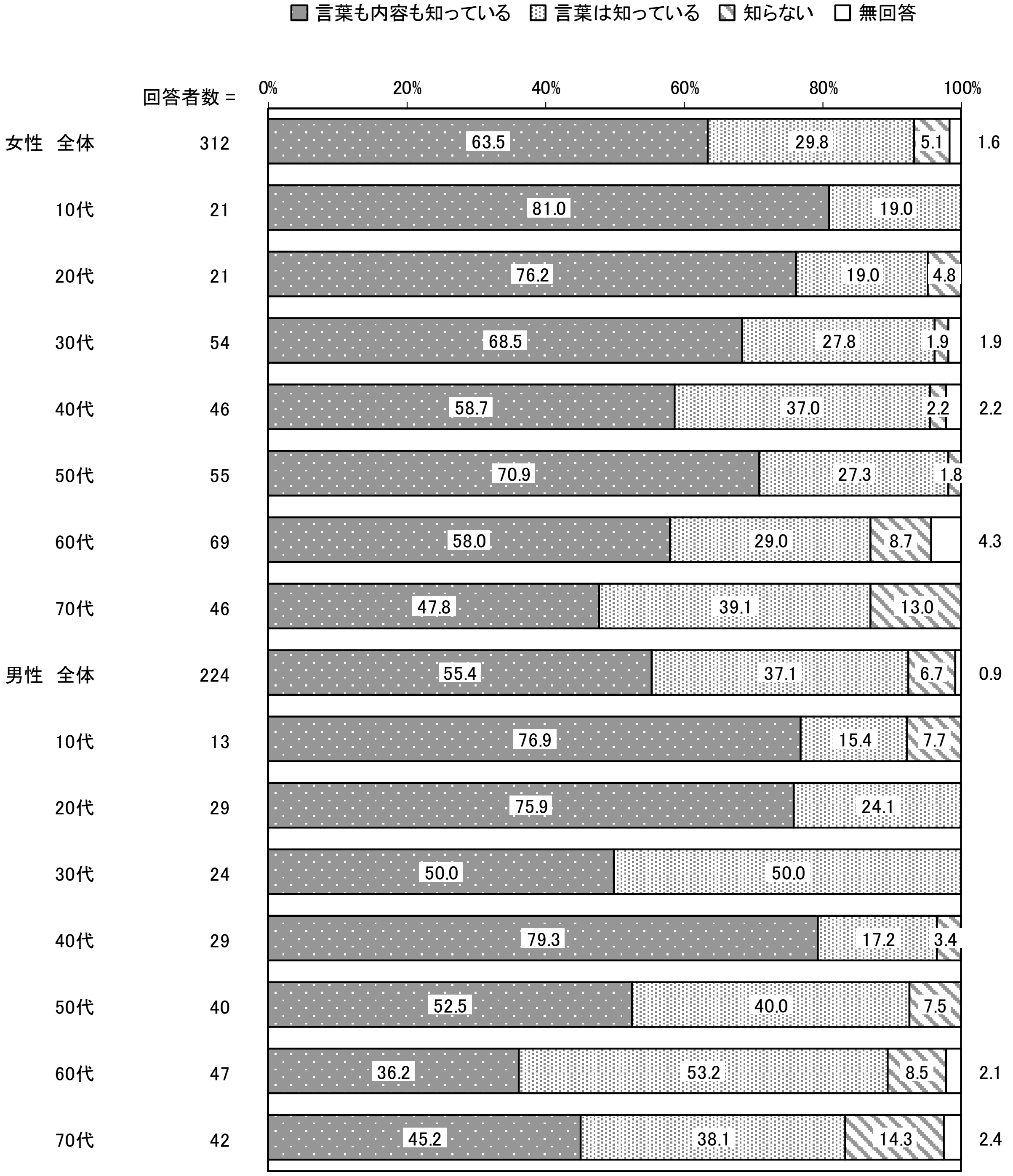
性・年代別でみると、他に比べ、男性 30 代で「言葉は知っている」の割合が高くなっています。



## 8　ジェンダー（社会的性差）

**【性・年代別】**

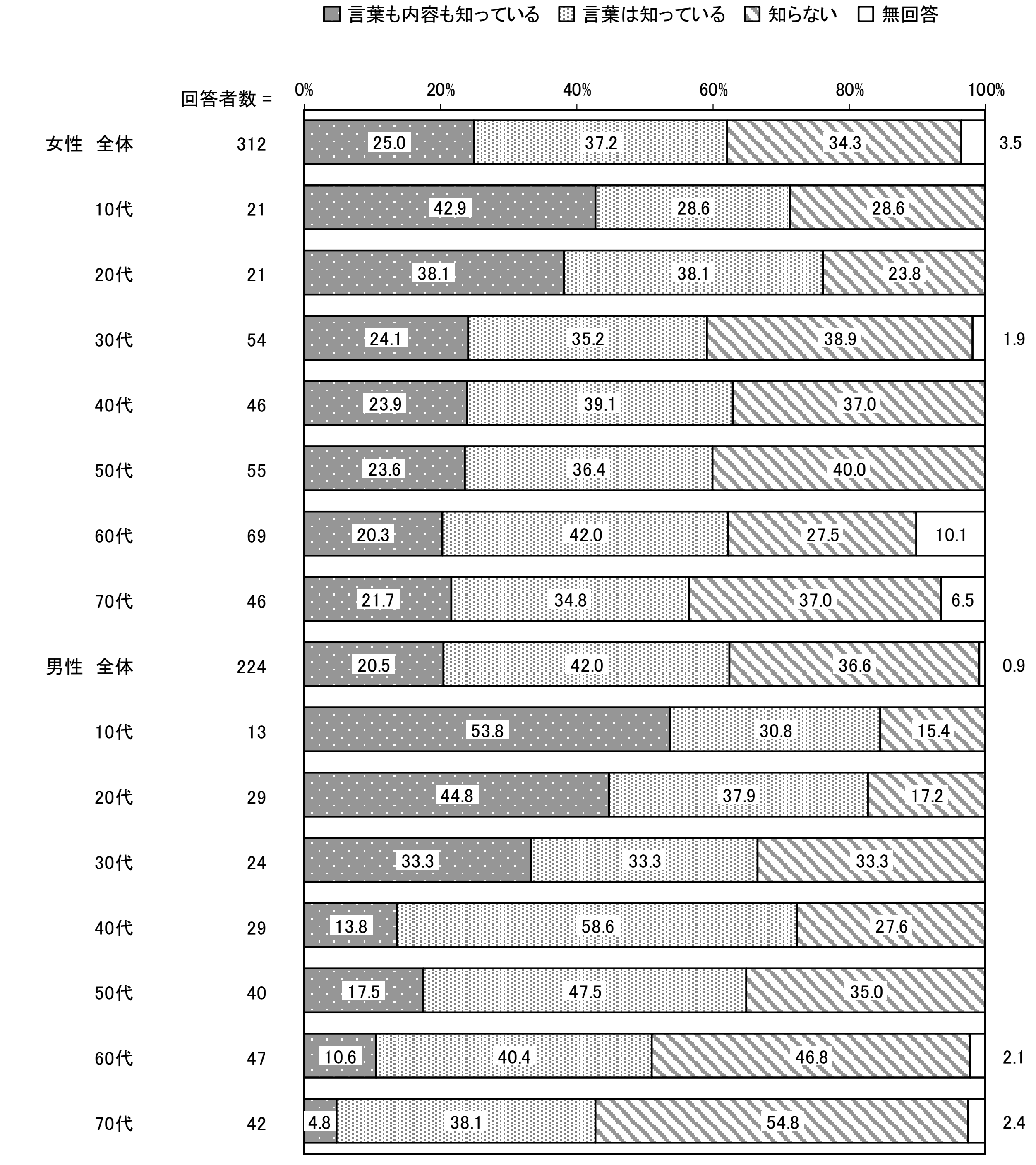
性・年代別でみると、他に比べ、男性 30 代、男性 60 代で「言葉は知っている」の割合が高くなっています。



## 9　ジェンダー・バイアス（男女の役割への固定観念）

**【性・年代別】**

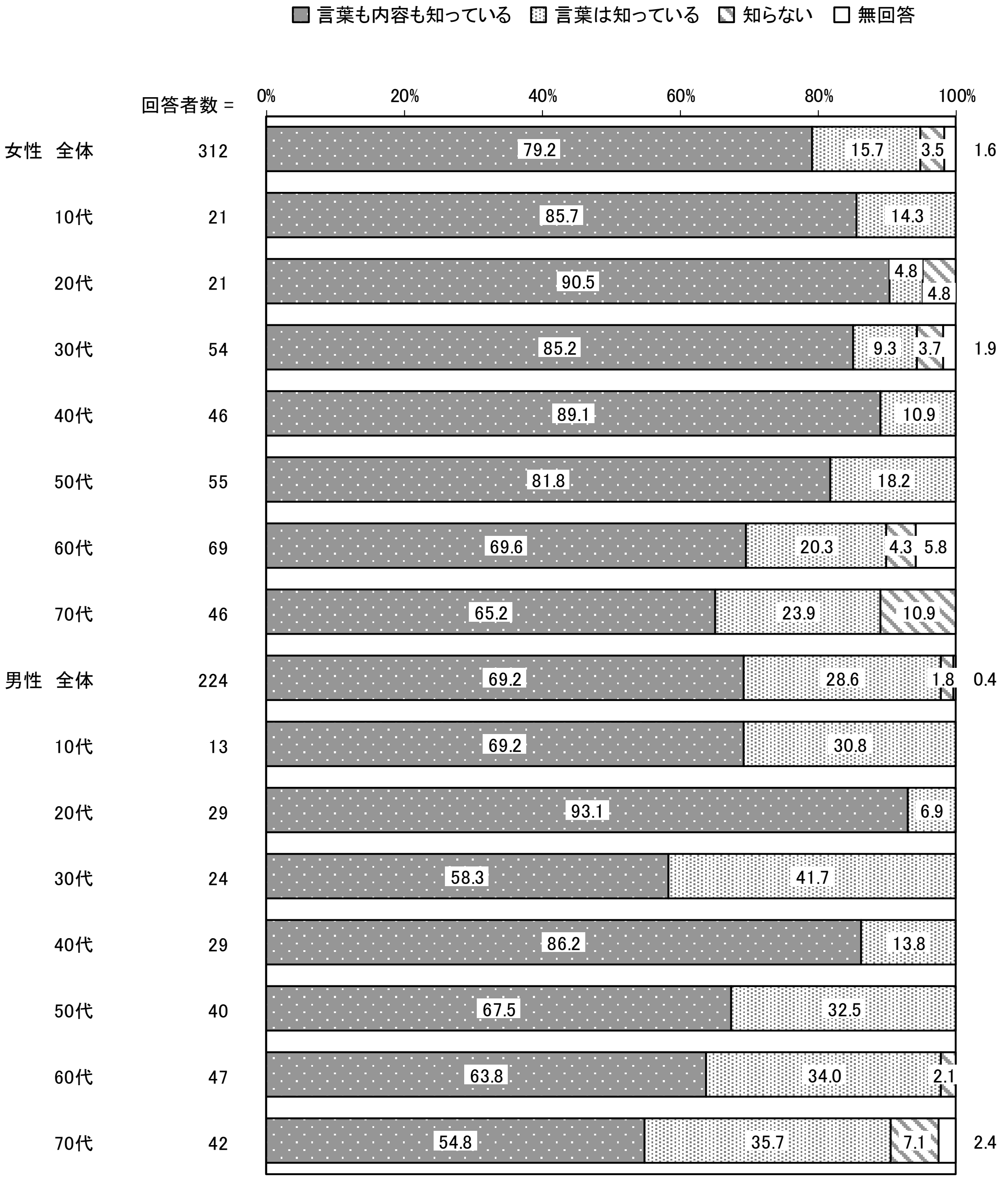
性・年代別でみると、他に比べ、男性 10 代で「言葉も内容も知っている」の割合が、男性 40 代で「言葉は知っている」の割合が高くなっています。また、男性 70 代で「知らない」の割合が高くなっています。



10　DV(ドメスティックバイオレンス)・デートDV

【性・年代別】

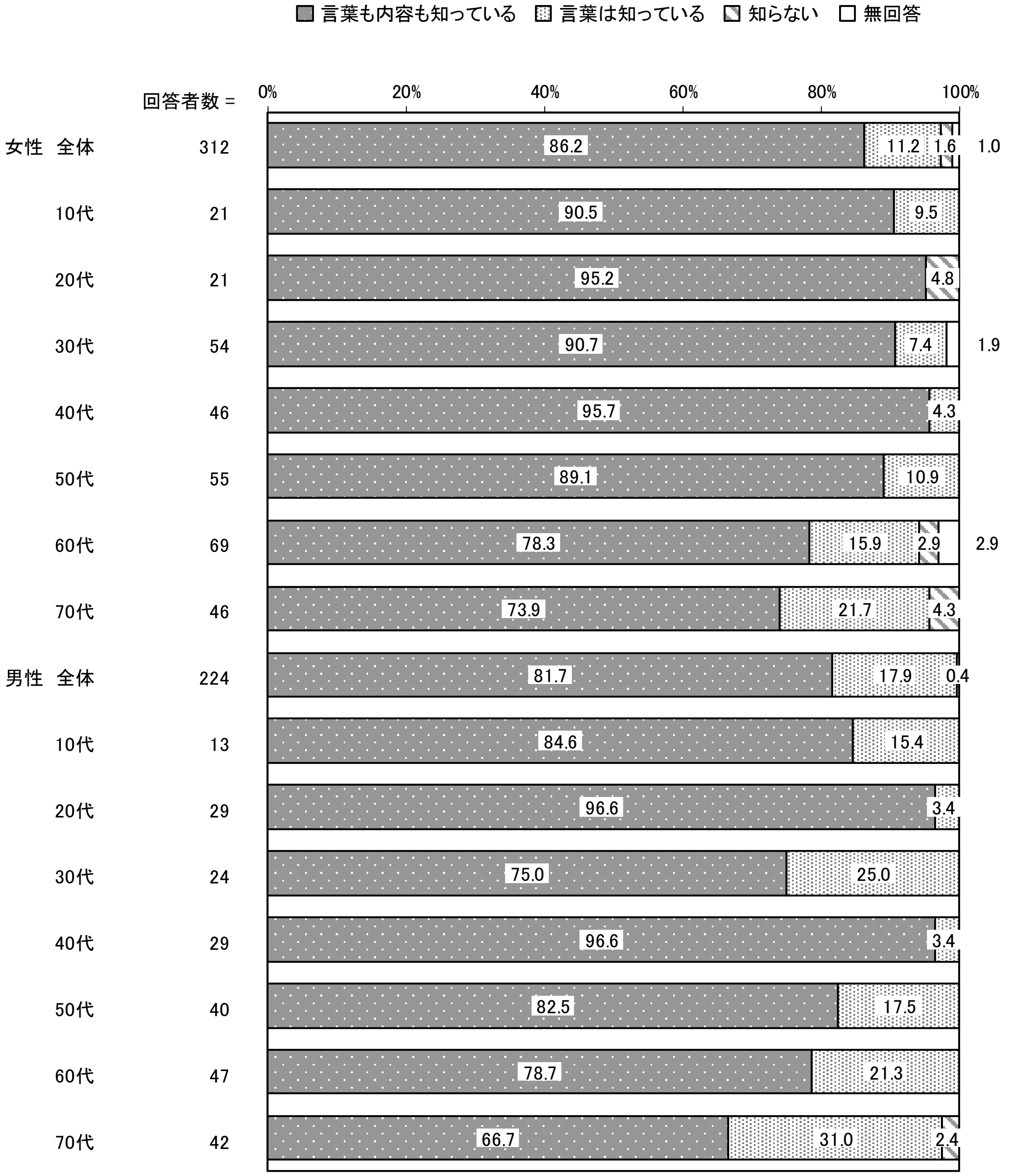
性・年代別でみると、他に比べ、男性 30 代で「言葉は知っている」の割合が高くなっています。



11　セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）

**【性・年代別】**

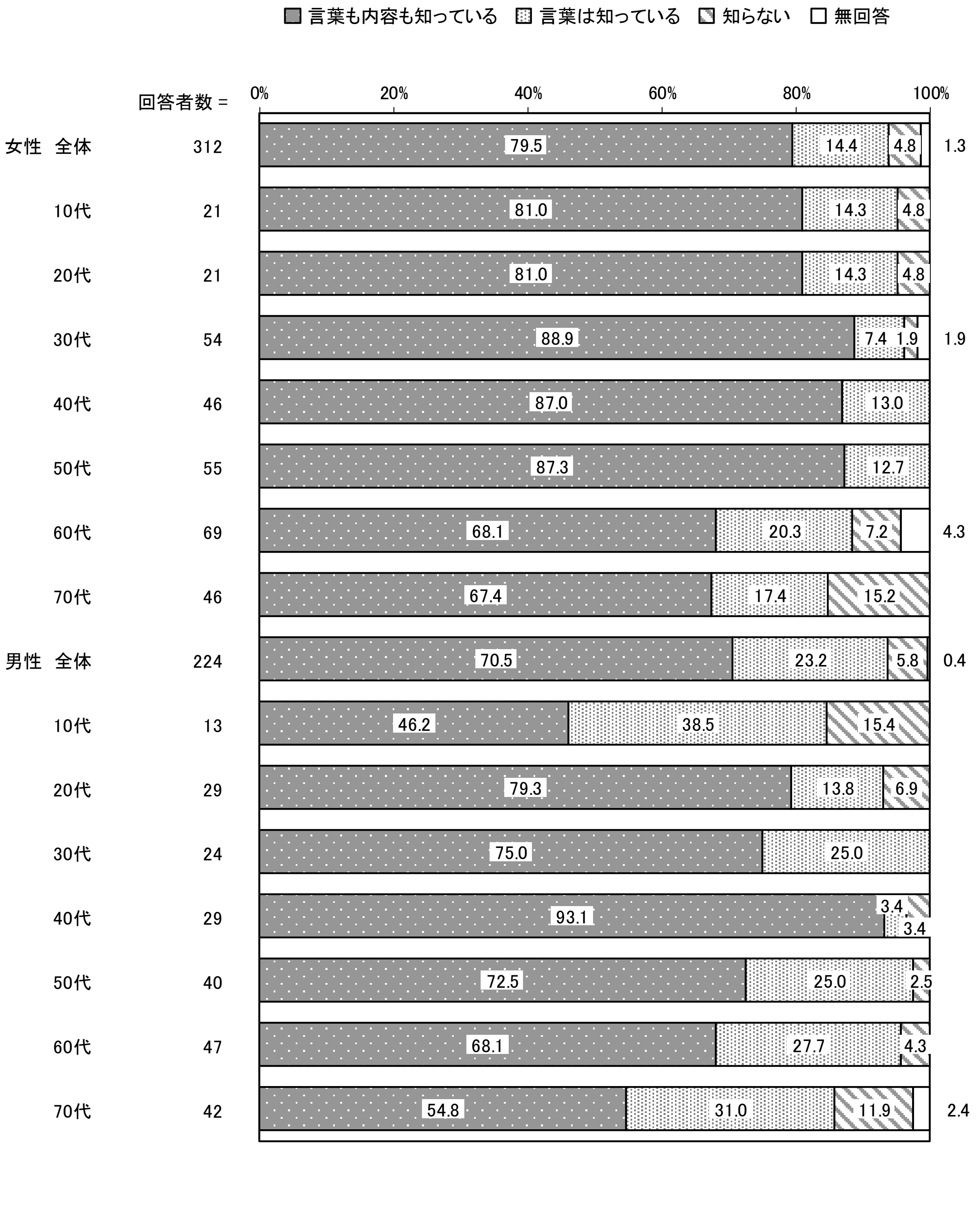
性・年代別でみると、他に比べ、男性 70 代で「言葉は知っている」の割合が高くなっています。



12　マタニティ・ハラスメント（マタハラ）

【性・年代別】

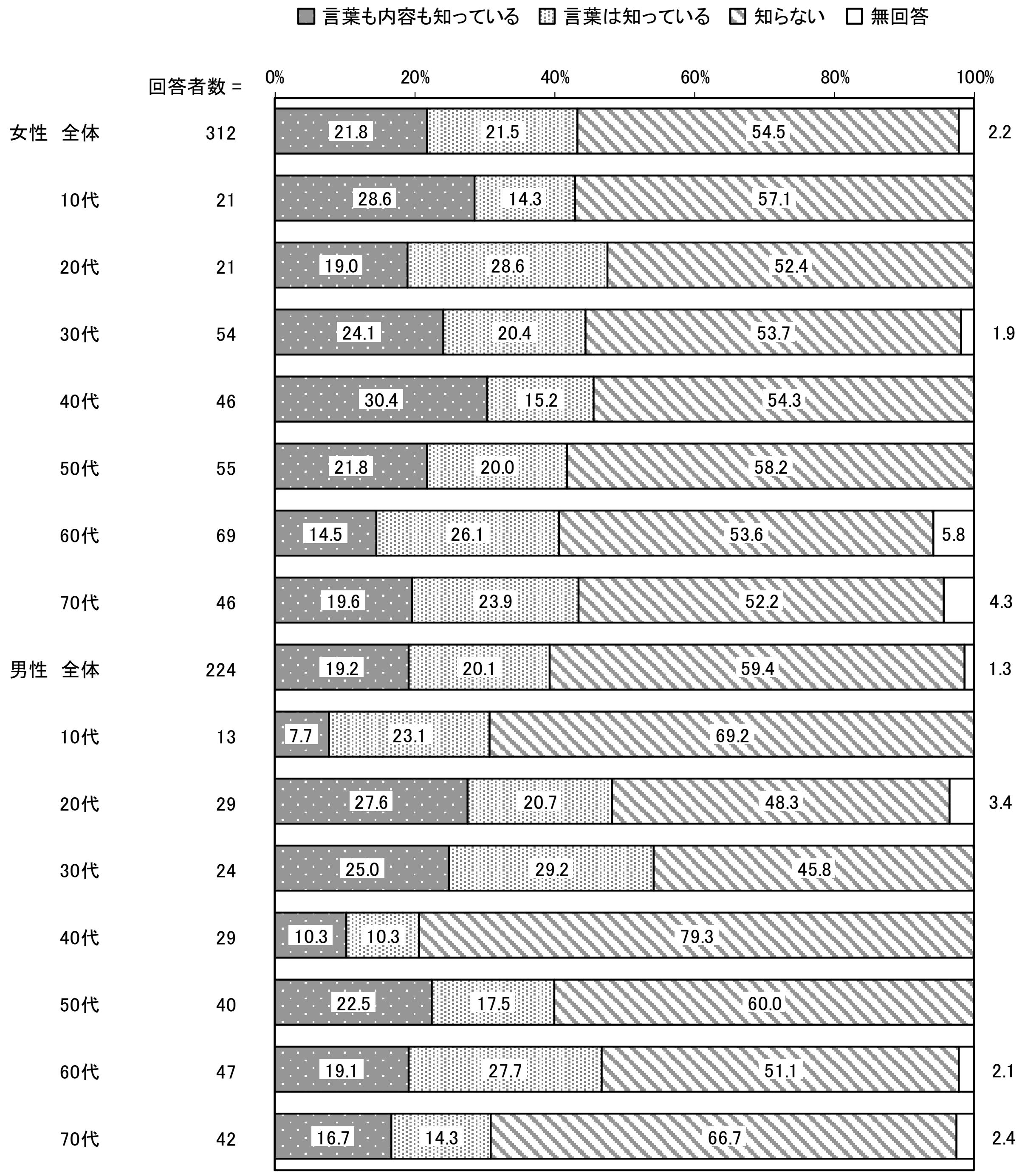
性・年代別でみると、他に比べ、男性 10 代で「言葉は知っている」の割合が高くなっています。



## 13　パタニティ・ハラスメント（パタハラ）

【性・年代別】

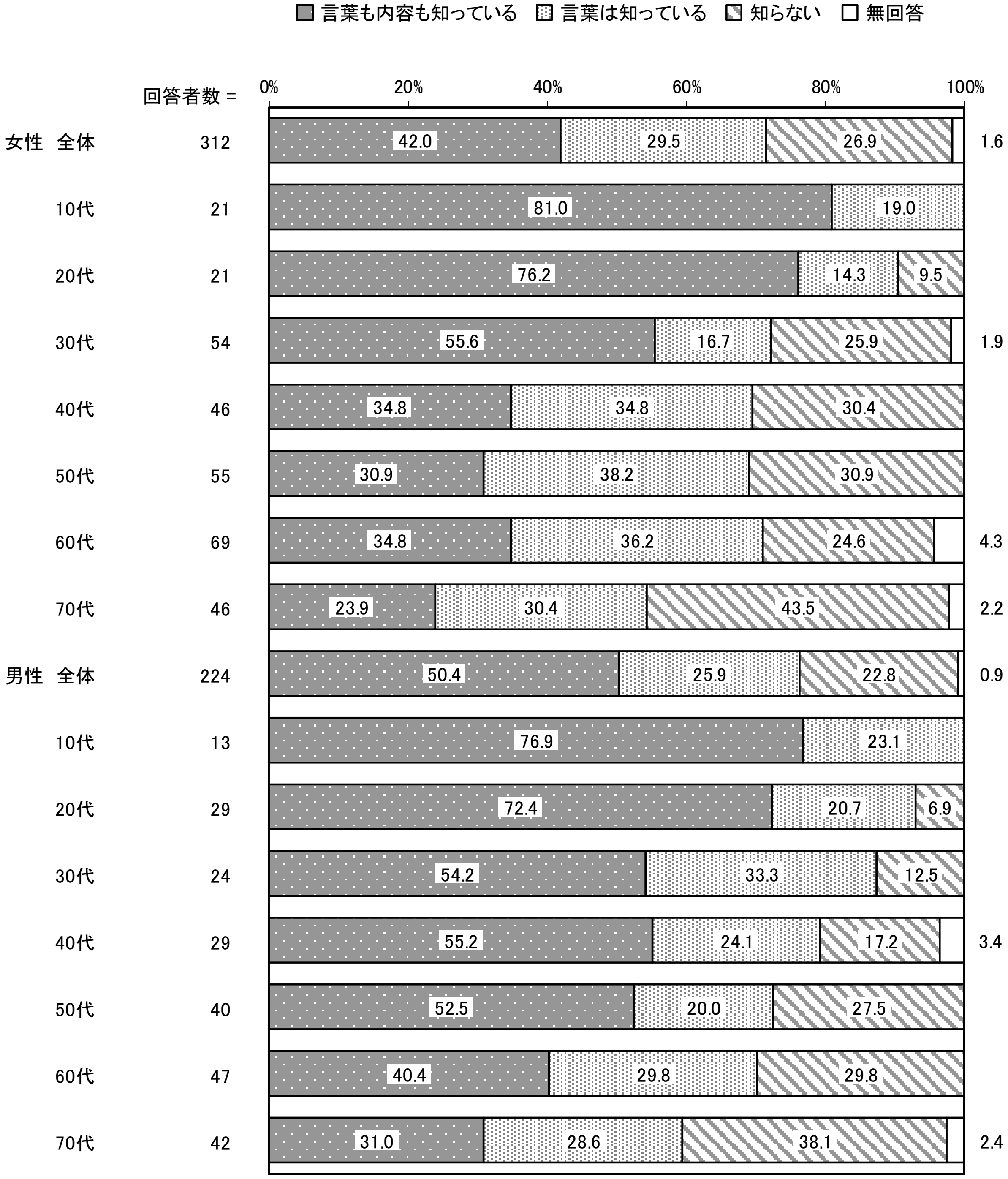
性・年代別でみると、他に比べ、男性40代で「知らない」の割合が高くなっています。



## 14　ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）

### 【性・年代別】

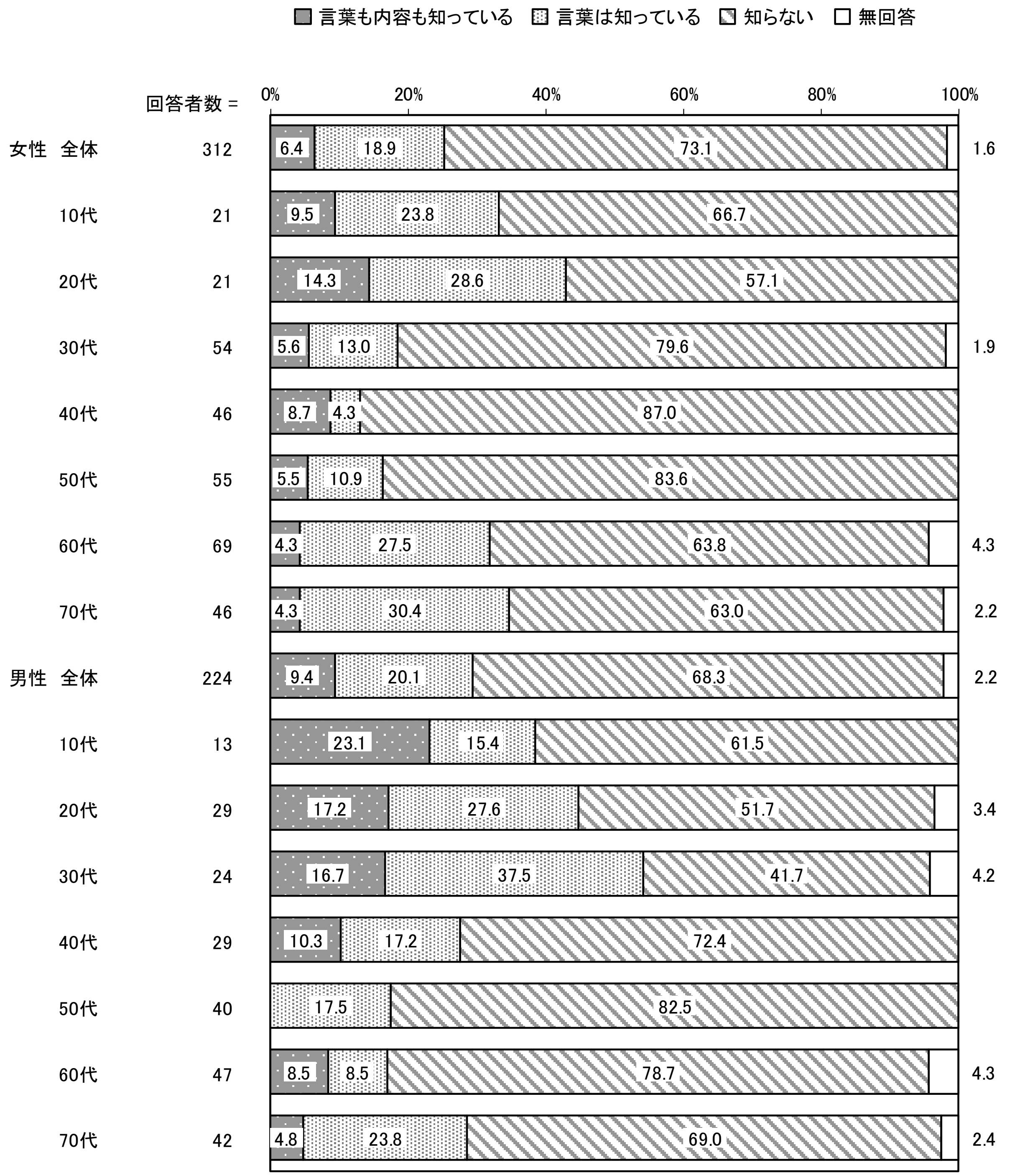
性・年代別でみると、他に比べ、女性 70 代で「知らない」の割合が高くなっています。



15　アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）

【性・年代別】

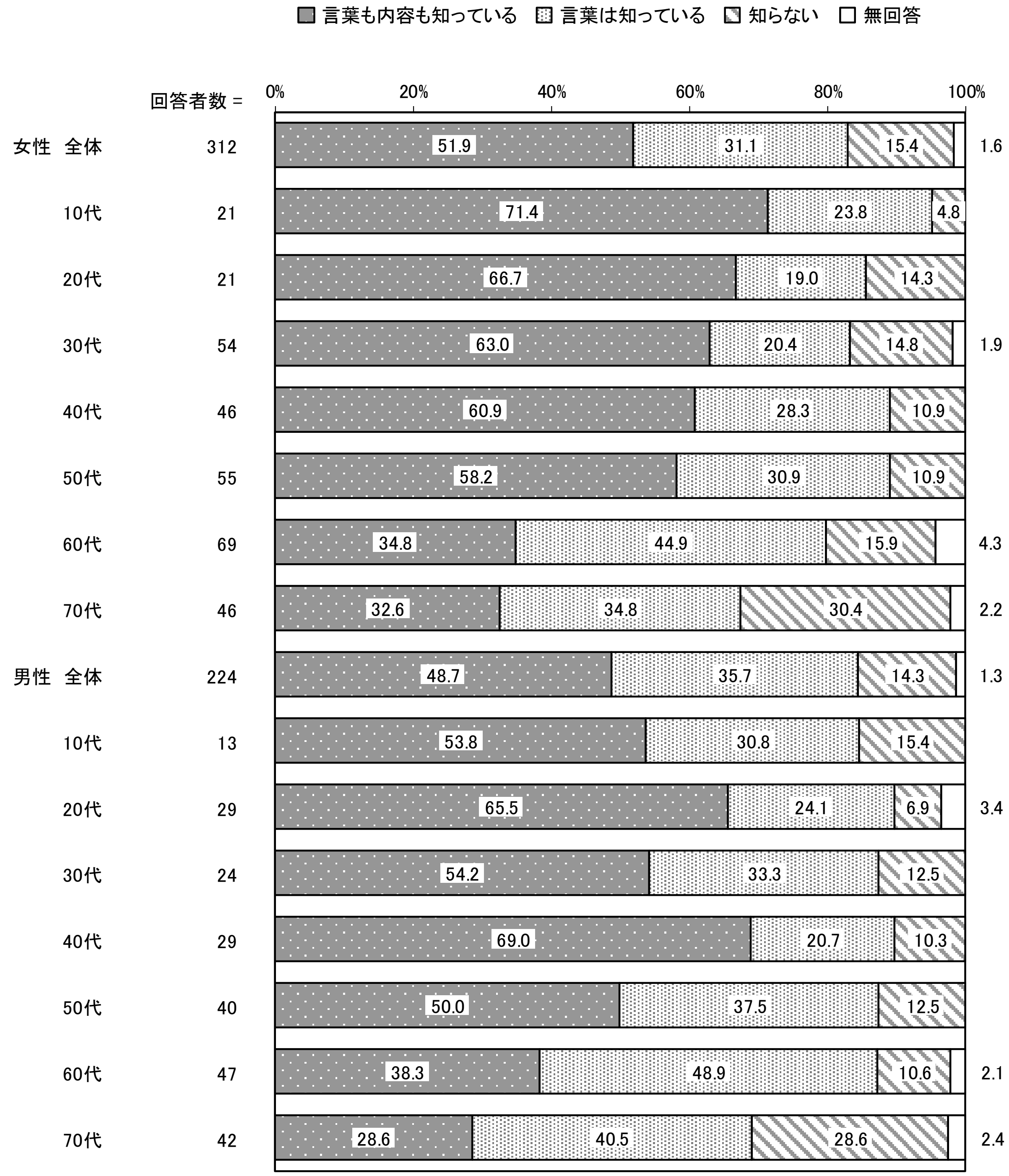
性・年代別でみると、他に比べ、男性 10 代で「言葉も内容も知っている」の割合が、男性 30 代で「言葉は知っている」の割合が高くなっています。



16　LGBT・LGBTQ（性的マイノリティ等）

**【性・年代別】**

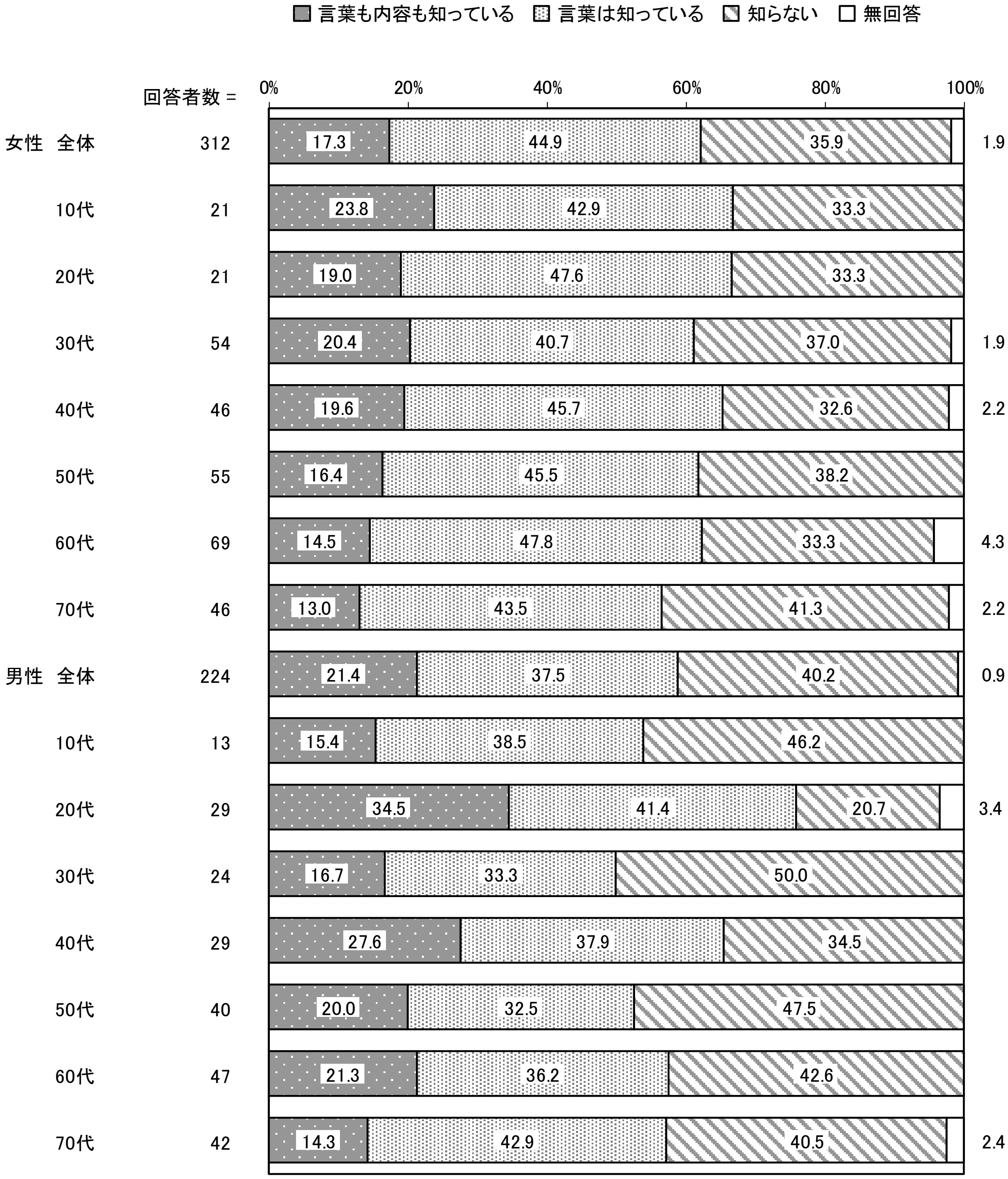
性・年代別でみると、他に比べ、女性男性ともに、70代で「知らない」の割合が高くなっています。



## 17　パートナーシップ制度・ファミリーシップ制度

### 【性・年代別】

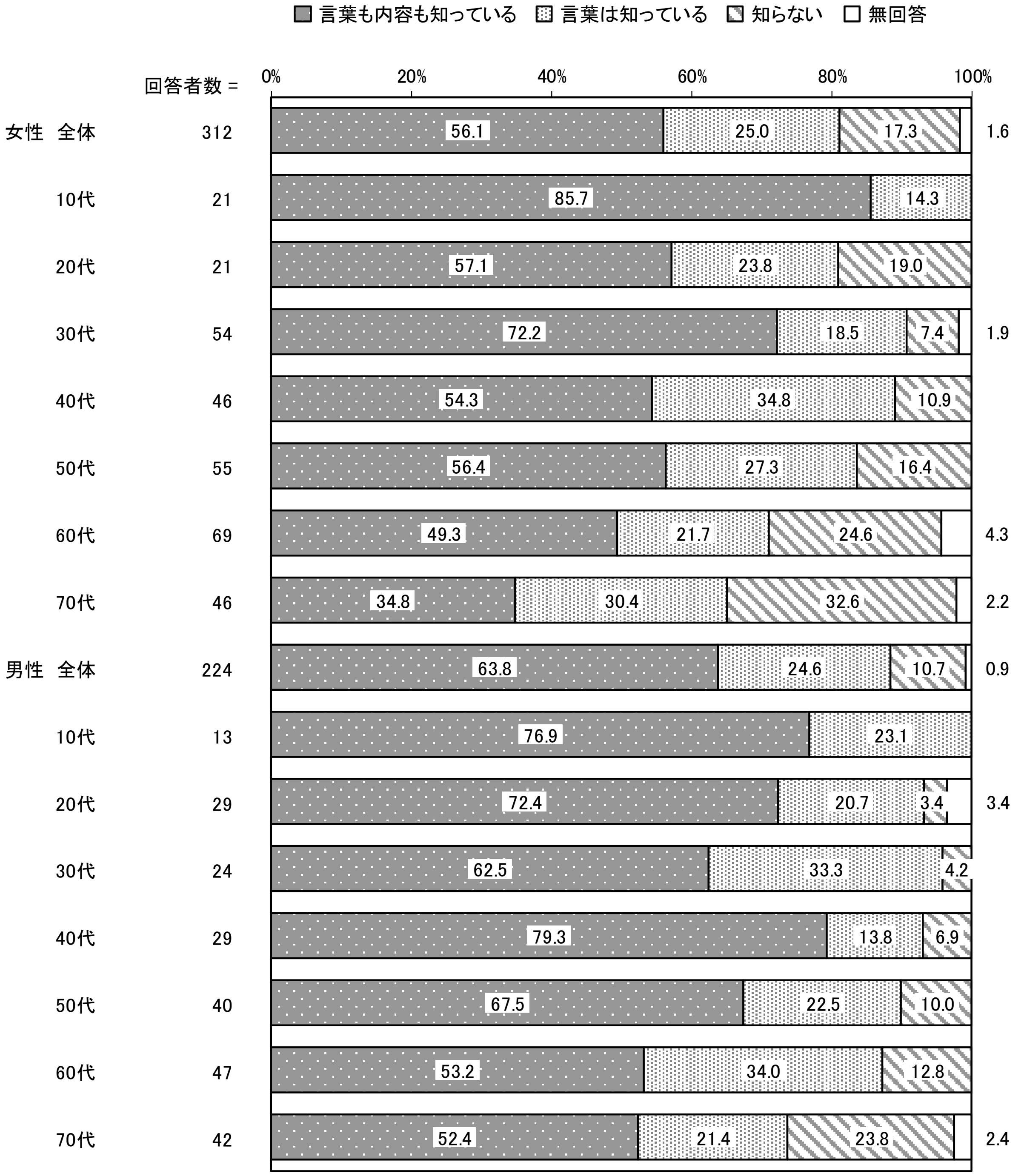
性・年代別でみると、他に比べ、男性20代で「言葉も内容も知っている」の割合が高くなっています。



18　SDGｓ（持続可能な開発目標）

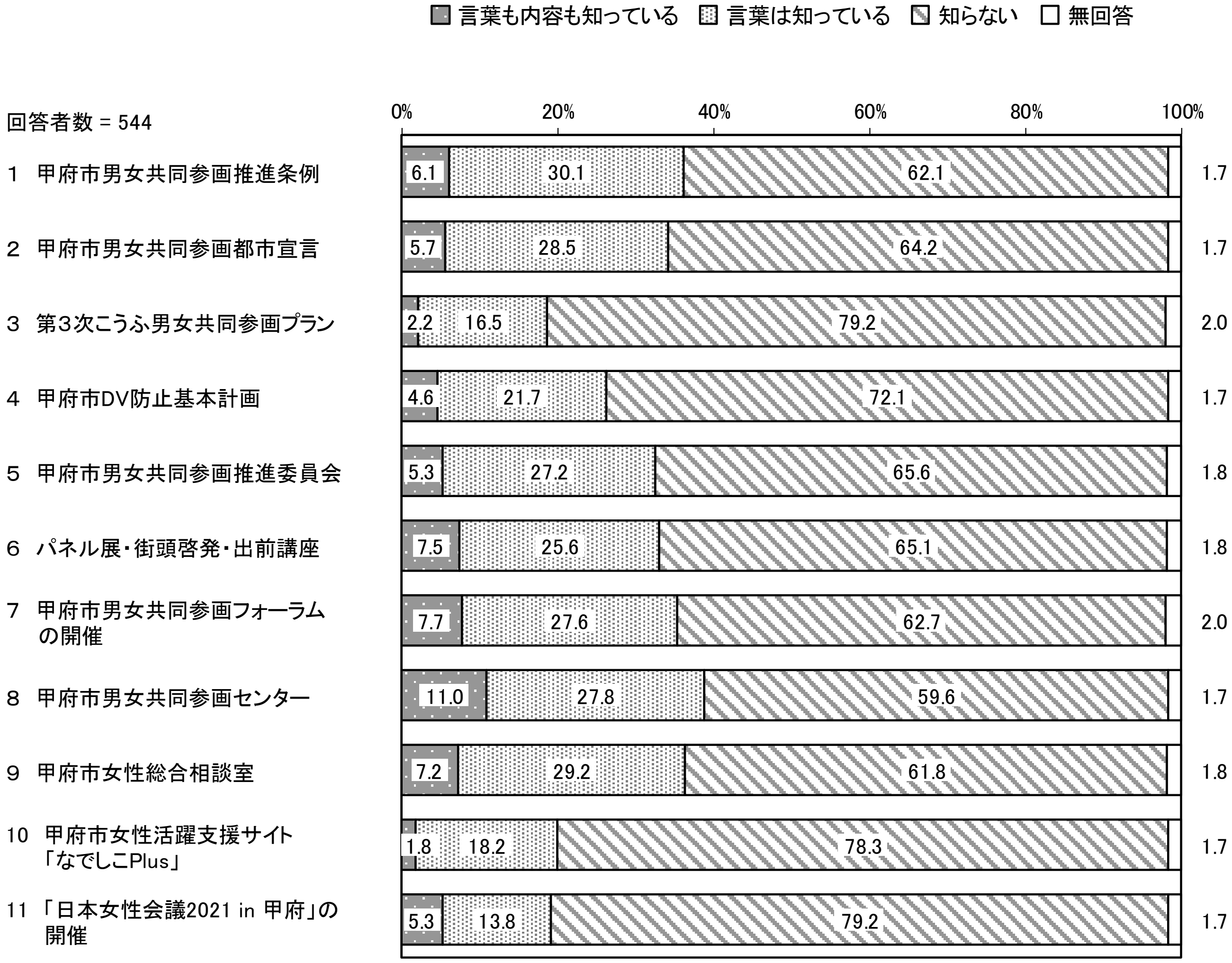
【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、女性 10 代で「言葉も内容も知っている」の割合が、女性 70 代で「知らない」の割合が高くなっています。



【問８】　甲府市の男女共同参画推進に関する活動や施策を知っていますか。
それぞれ近いもの１つに〇をしてください。

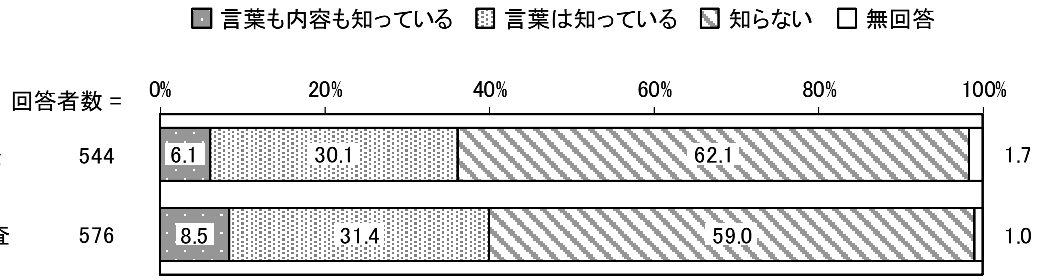
『３　第３次こうふ男女共同参画プラン』『10　甲府市女性活躍支援サイト「なでしこ Plus」』『11　「日本女性会議 2021 in 甲府」の開催』で「知らない」の割合が高くなっています。



## 1　甲府市男女共同参画推進条例

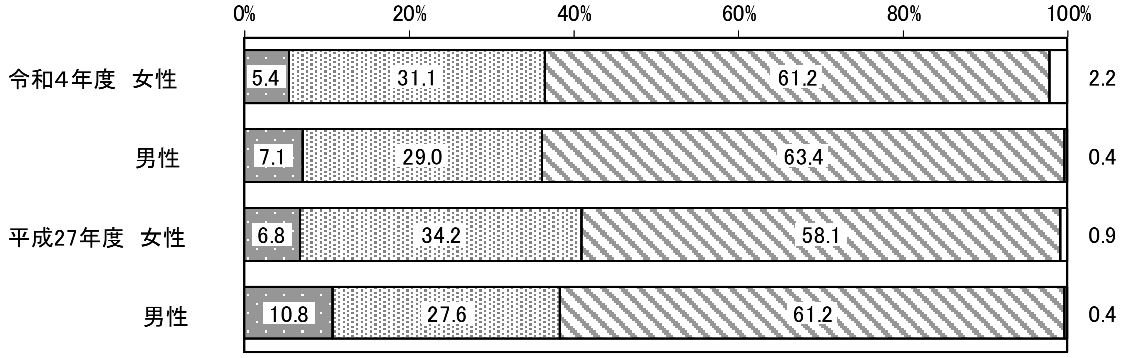
【経年比較】

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



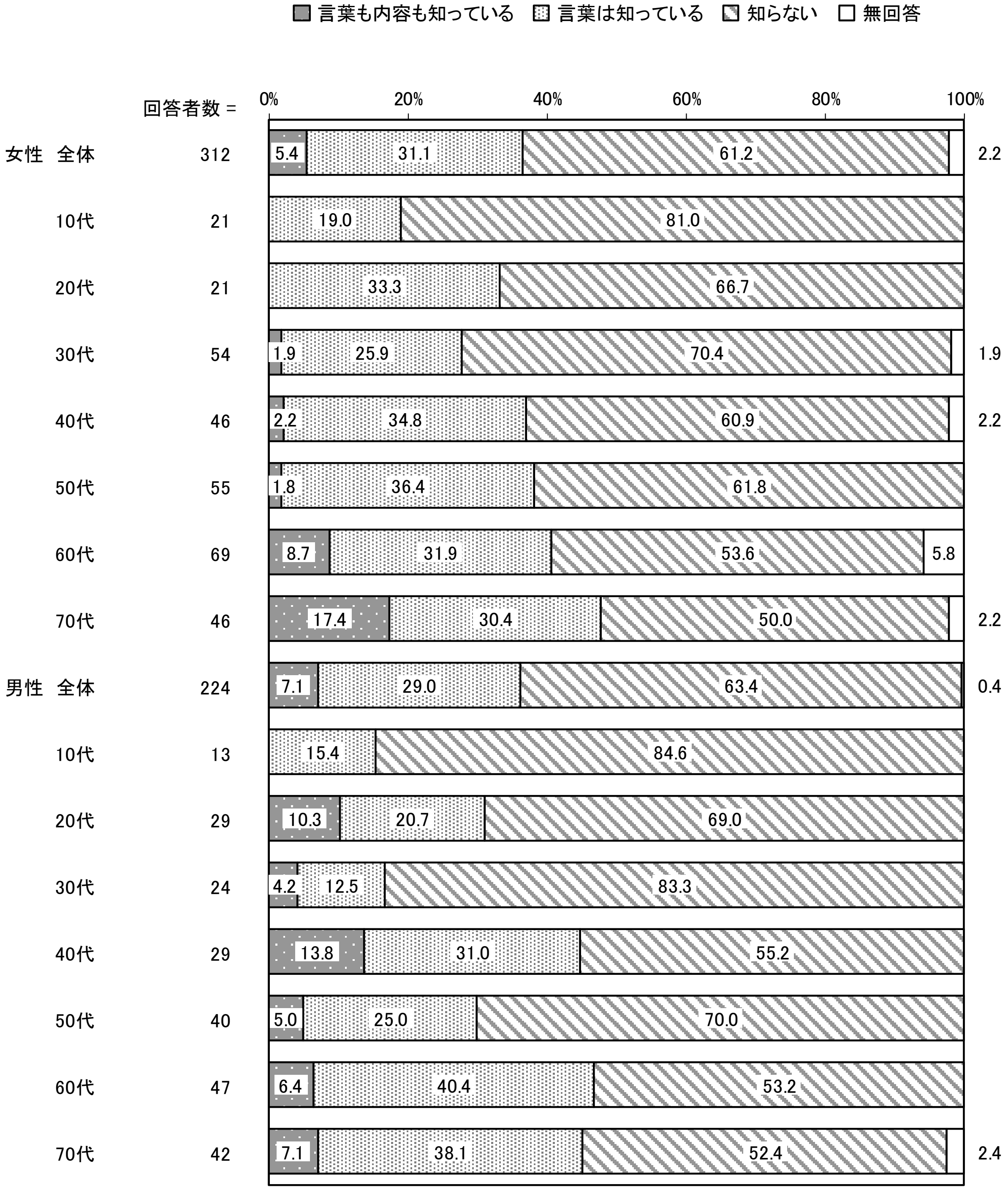

【経年比較　男女別】

男女別に平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性・年代別】

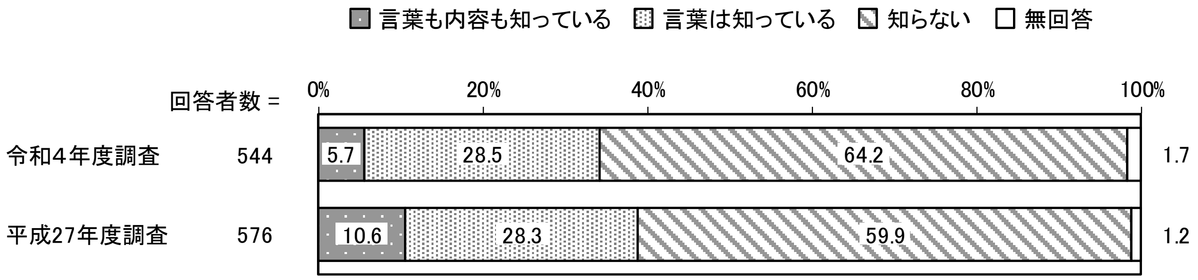
性・年代別でみると、他に比べ、女性 10 代、男性 10 代、男性 30 代で「知らない」の割合が高くなっています。



２　甲府市男女共同参画都市宣言

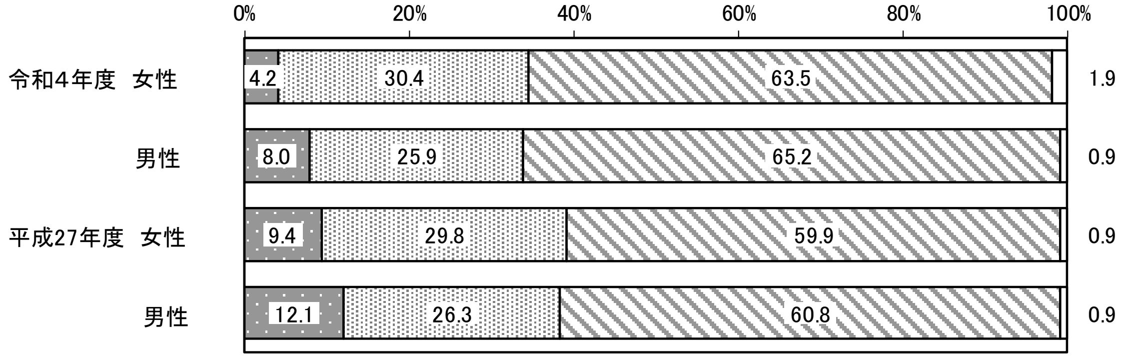
【経年比較】

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



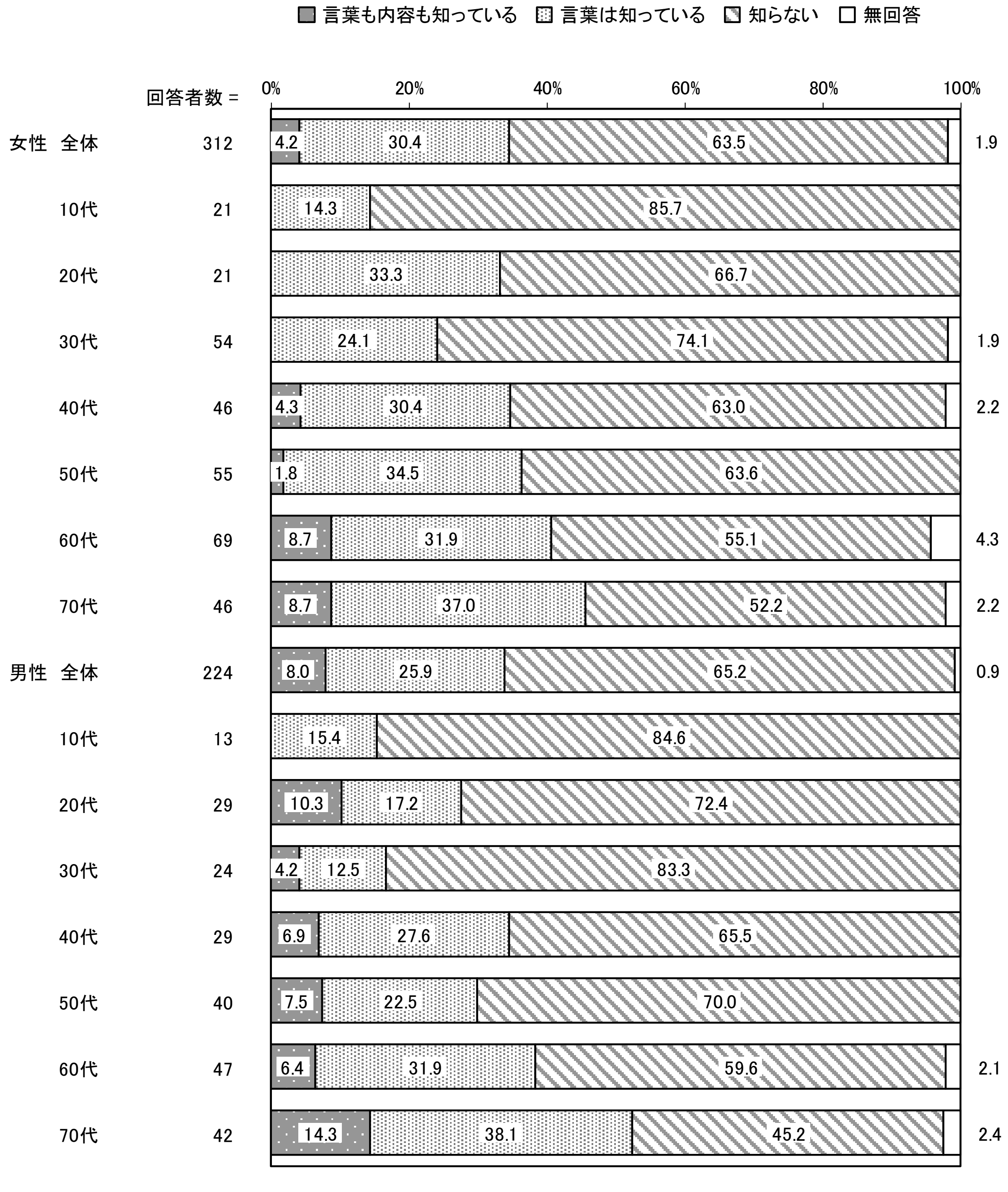

【経年比較　男女別】

男女別に平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性・年代別】

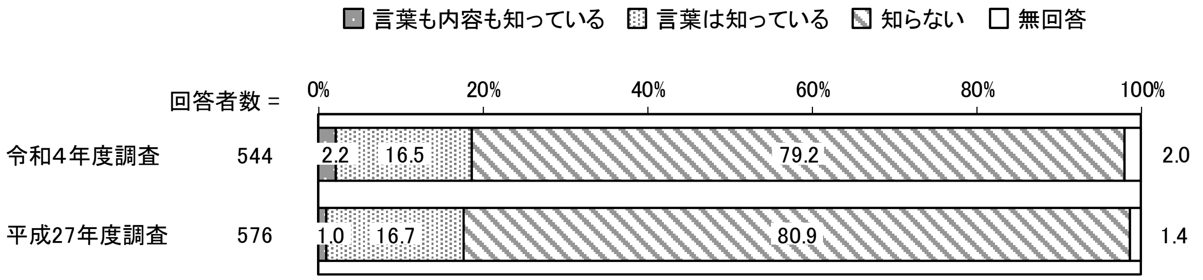
性・年代別でみると、他に比べ、女性 10 代、男性 10 代、男性 30 代で「知らない」の割合が高くなっています。



## ３　第３次こうふ男女共同参画プラン

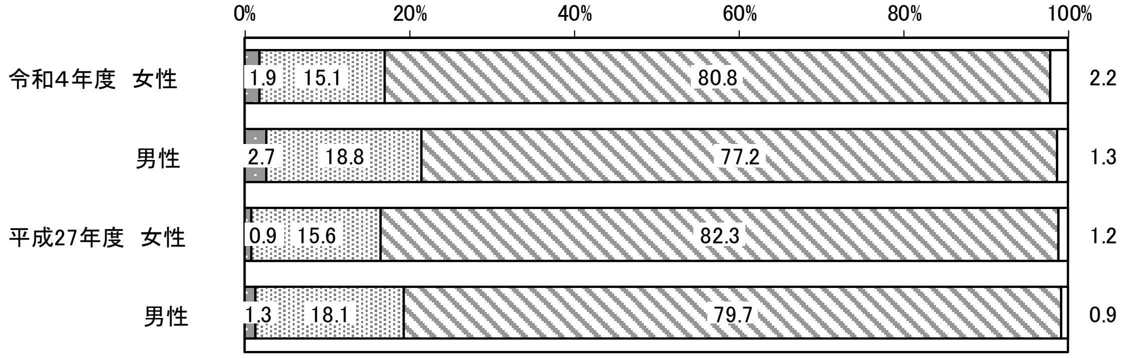
【経年比較】

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



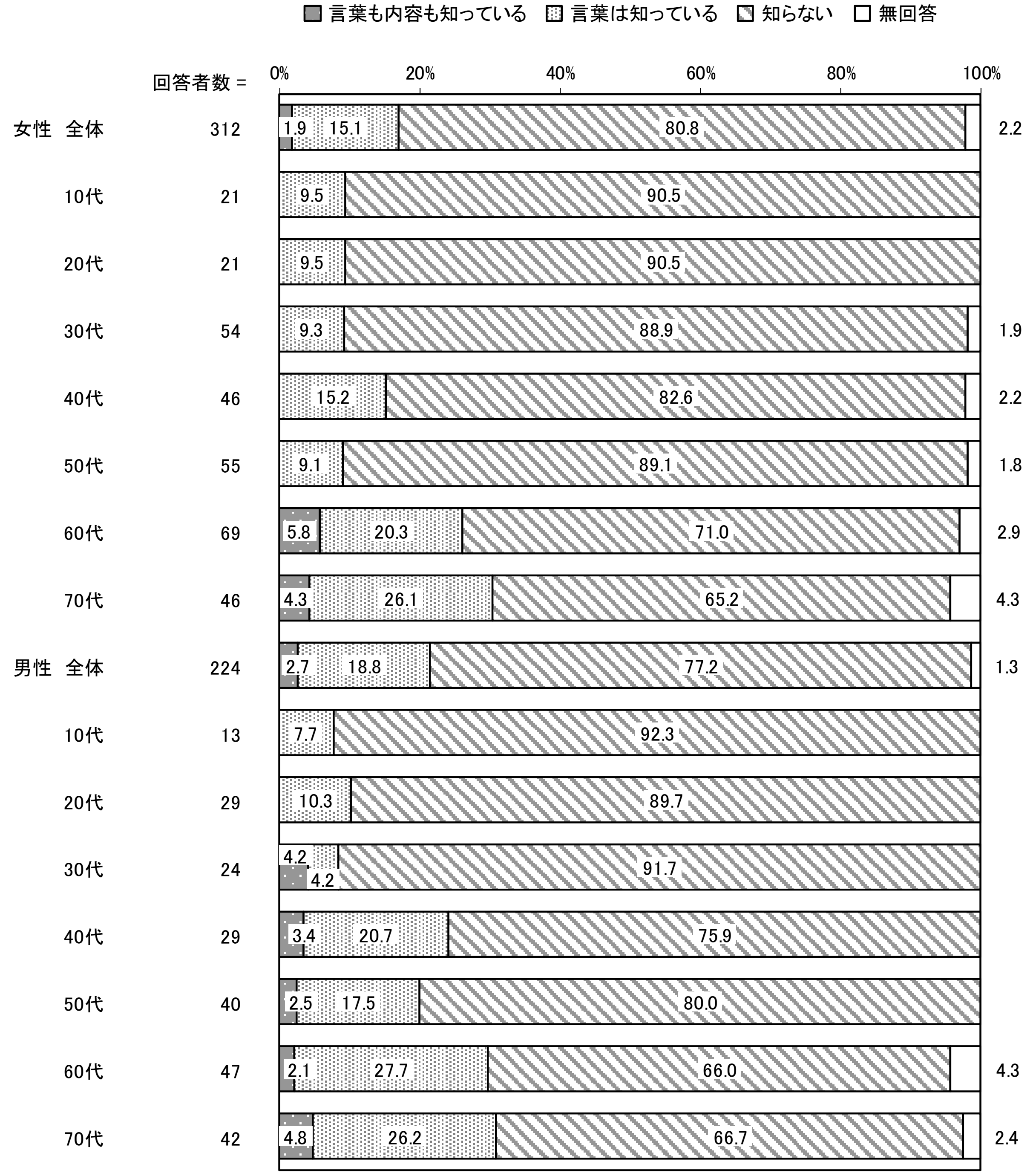

【経年比較　男女別】

男女別に平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性・年代別】

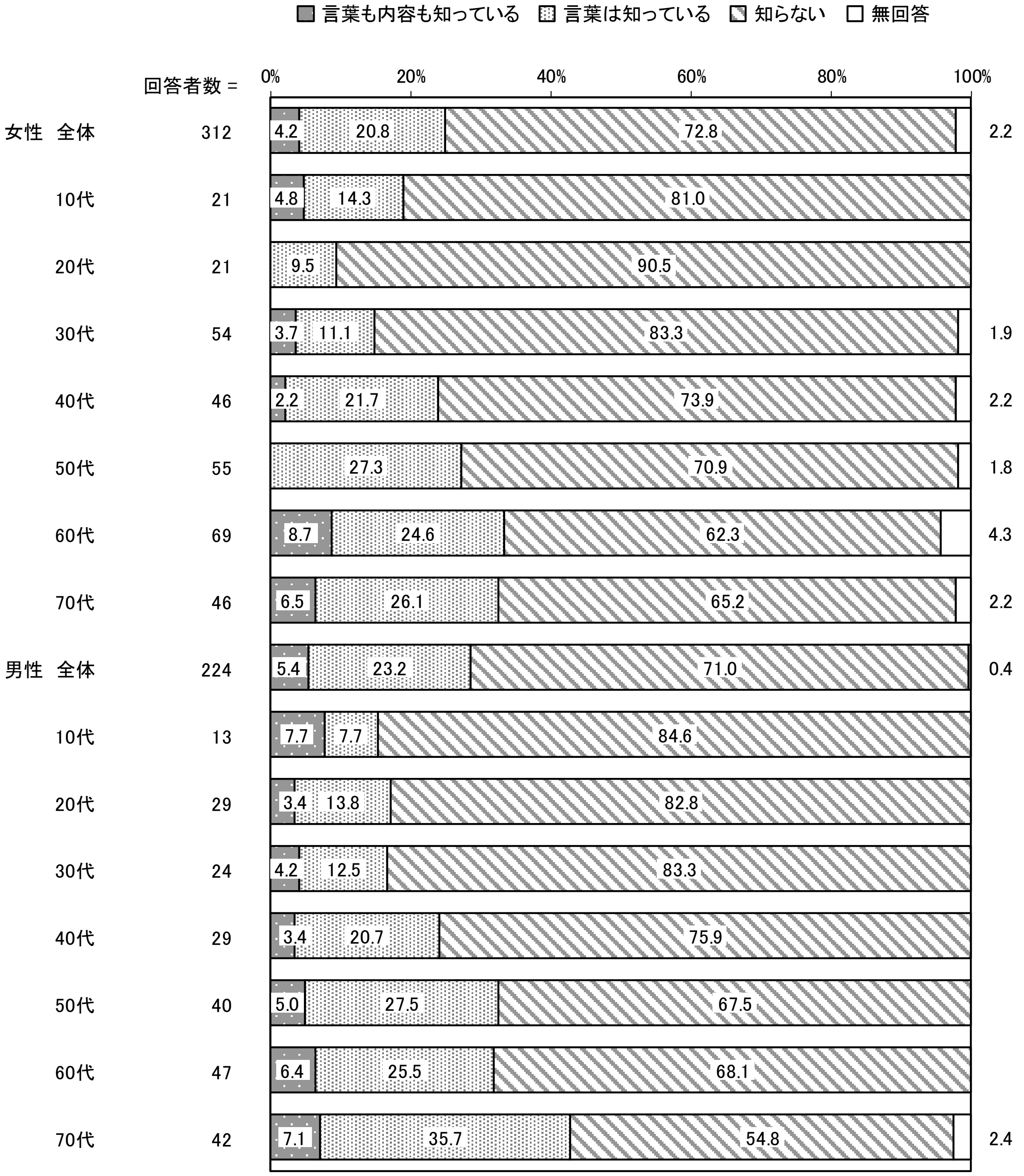
性・年代別でみると、他に比べ、女性70代、男性60代、男性70代で「言葉は知っている」の割合が高くなっています。



4　甲府市DV防止基本計画

【性・年代別】

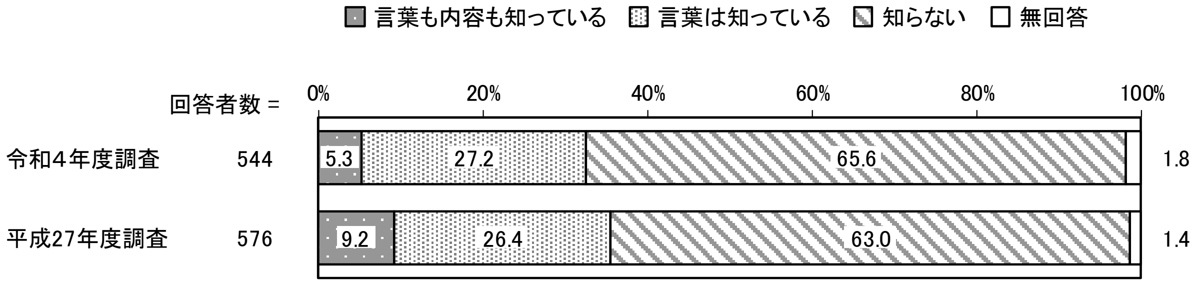
性・年代別でみると、他に比べ、女性20代で「知らない」の割合が、男性70代で「言葉は知っている」の割合が高くなっています。



5　甲府市男女共同参画推進委員会

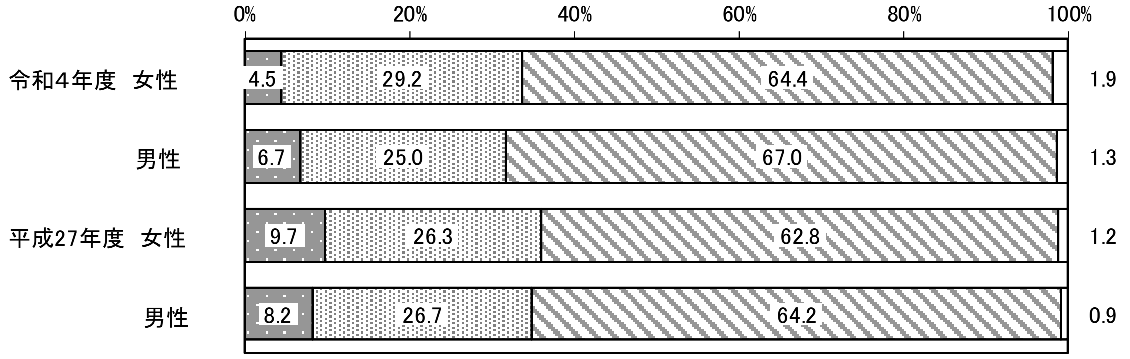
【経年比較】

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



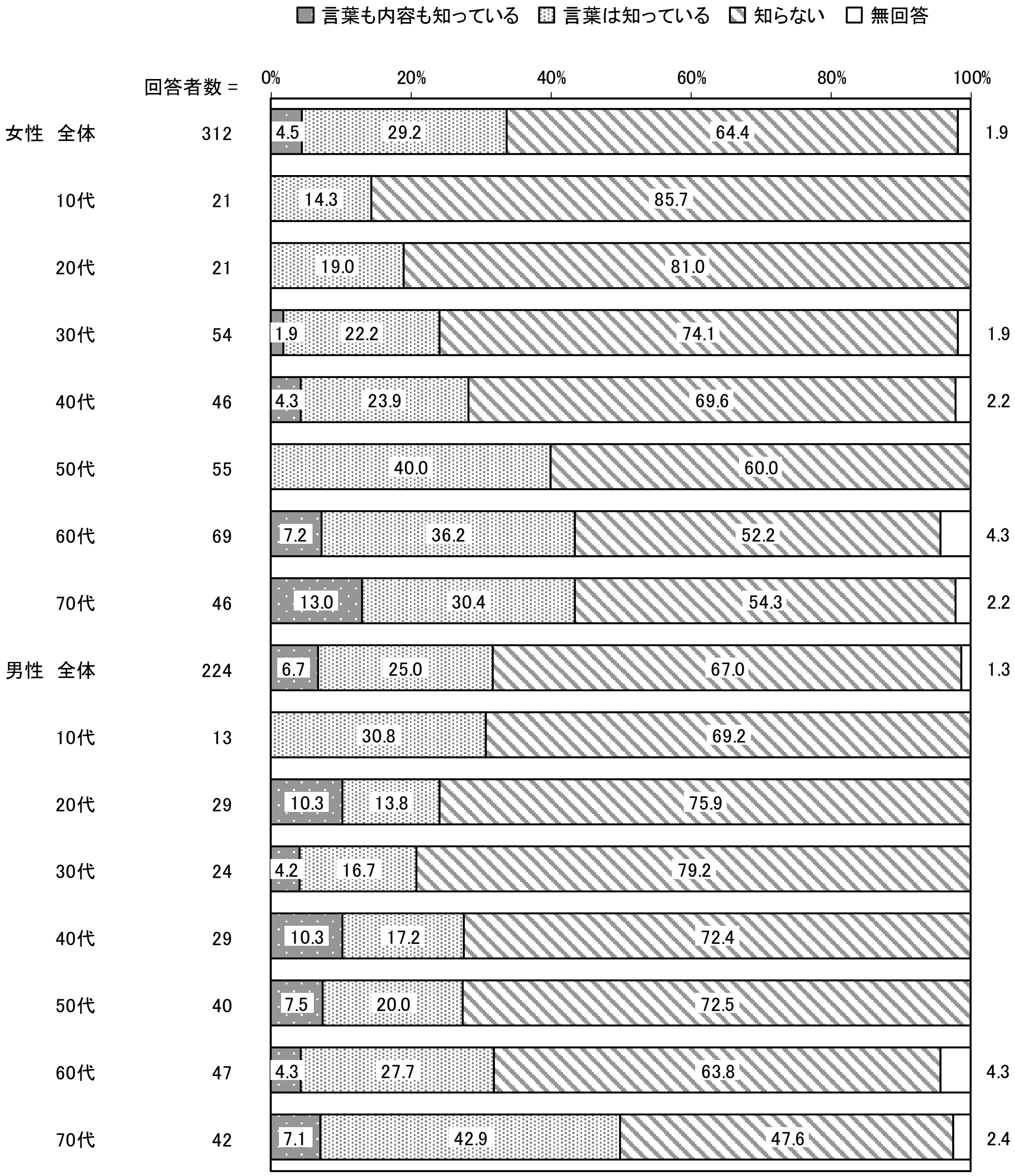

【経年比較　男女別】

男女別に平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性・年代別】

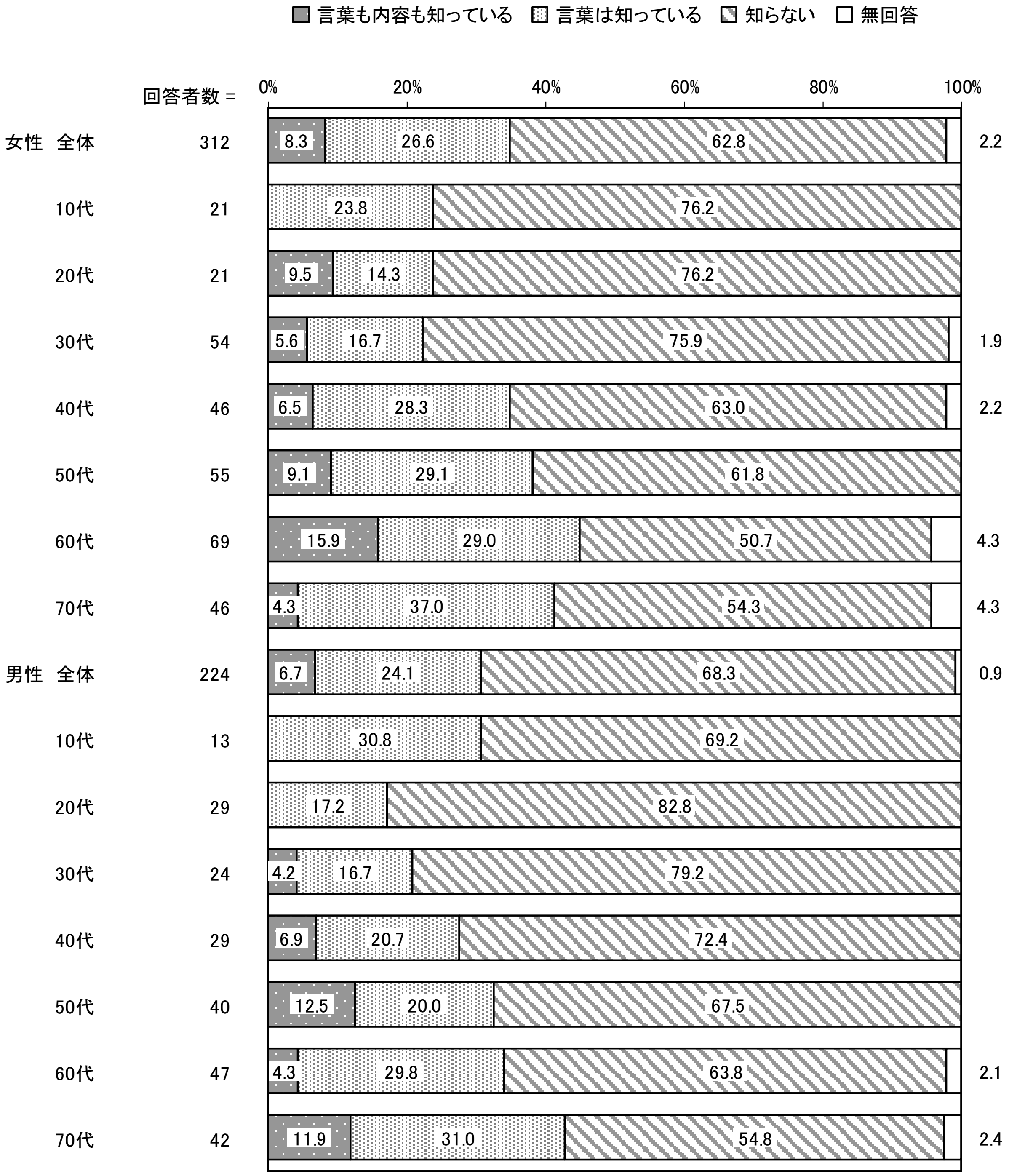
性・年代別でみると、他に比べ、女性 10 代で「知らない」の割合が高くなっています。



6　パネル展・街頭啓発・出前講座

【性・年代別】

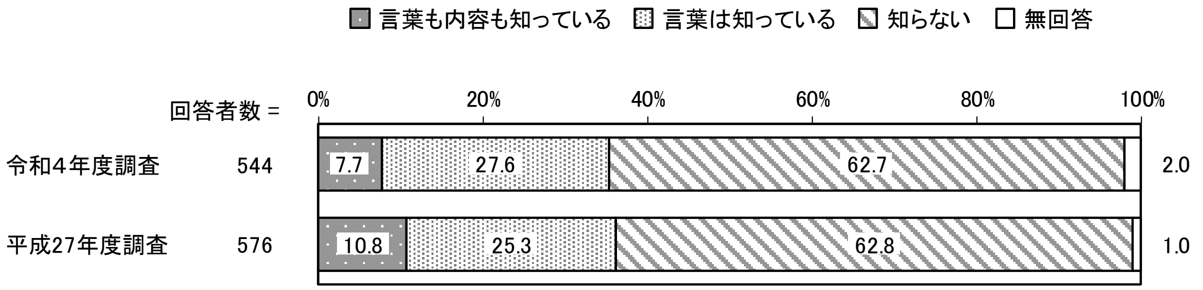
性・年代別でみると、他に比べ、男性 20 代で「知らない」の割合が高くなっています。



## 7　甲府市男女共同参画フォーラムの開催

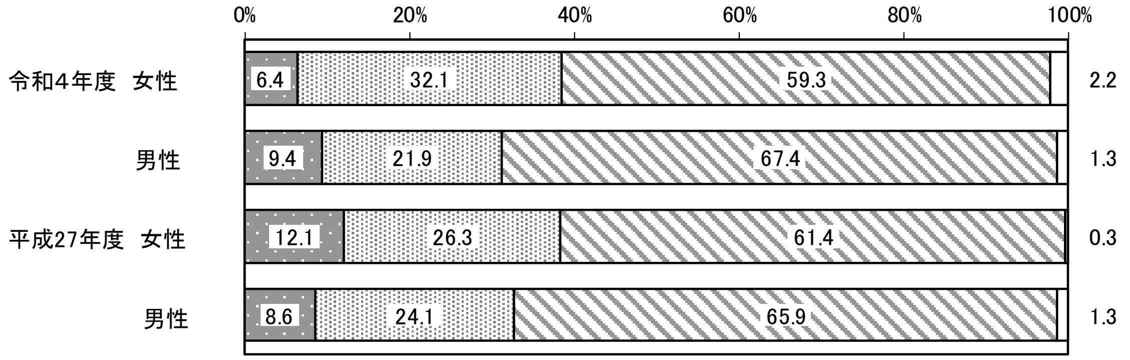
【経年比較】

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



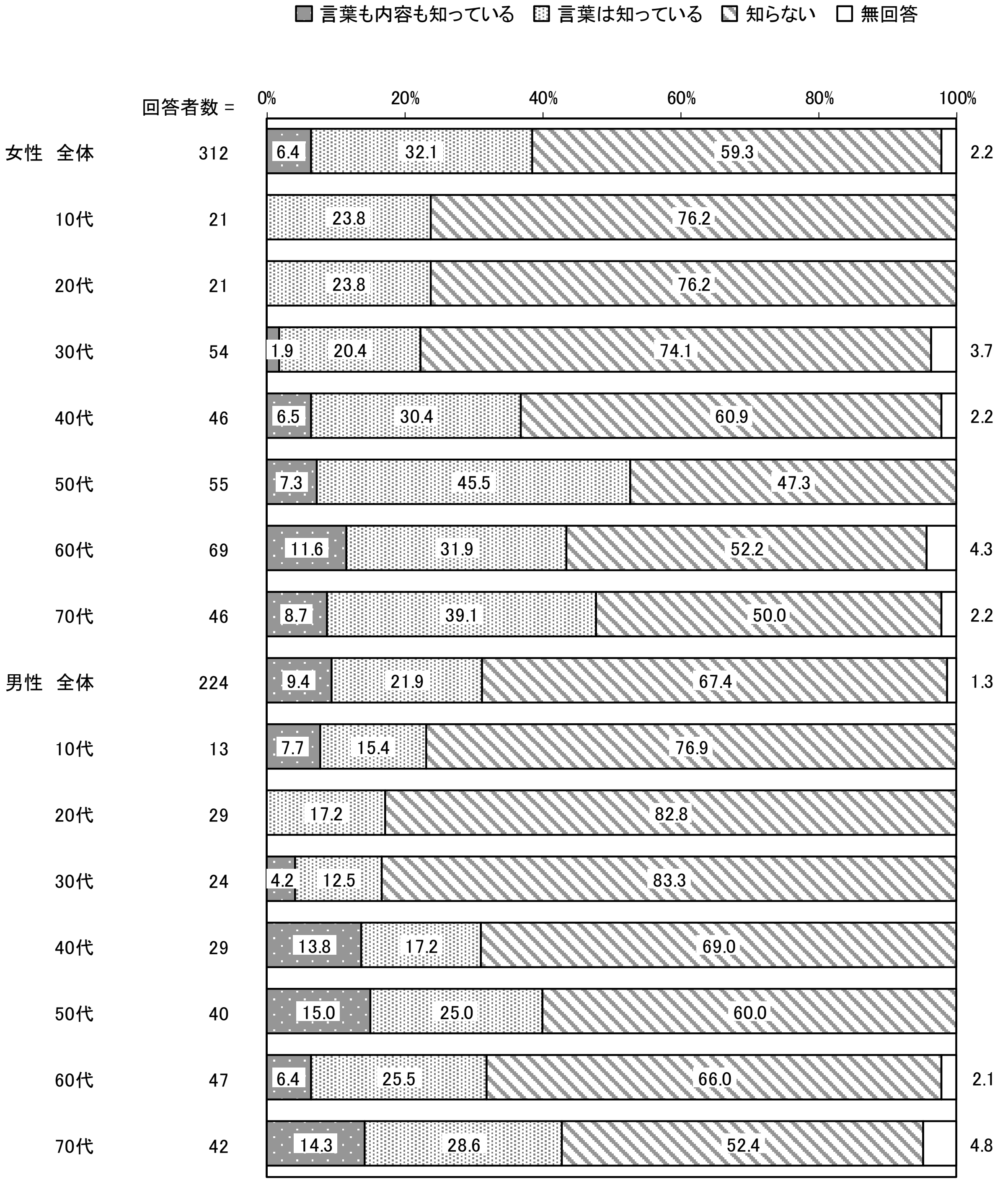

【経年比較　男女別】

男女別に平成 27 年度調査と比較すると、女性で「言葉は知っている」の割合が増加しています。



【性・年代別】

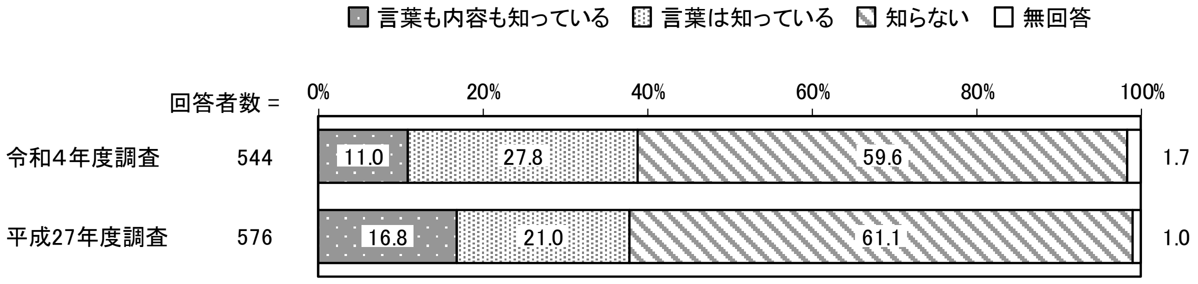
性・年代別でみると、他に比べ、女性 50 代で「言葉は知っている」の割合が高くなっています。



8　甲府市男女共同参画センター

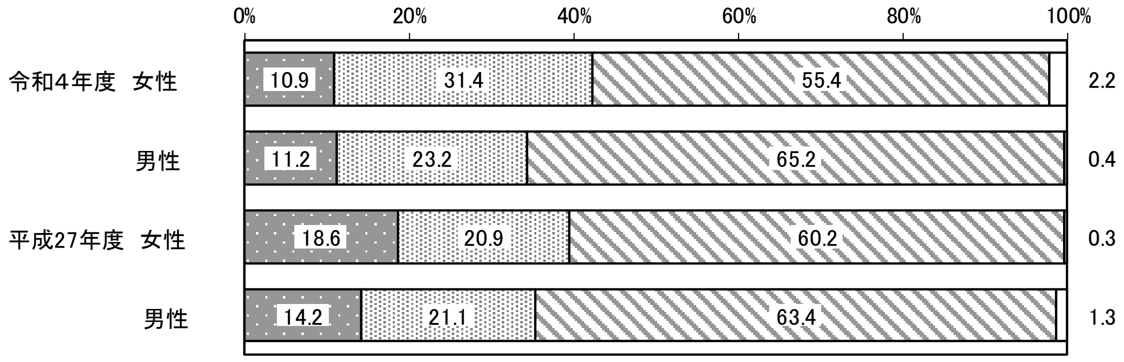
【経年比較】

平成 27 年度調査と比較すると、「言葉は知っている」の割合が増加しています。一方、「言葉も内容も知っている」の割合が減少しています。



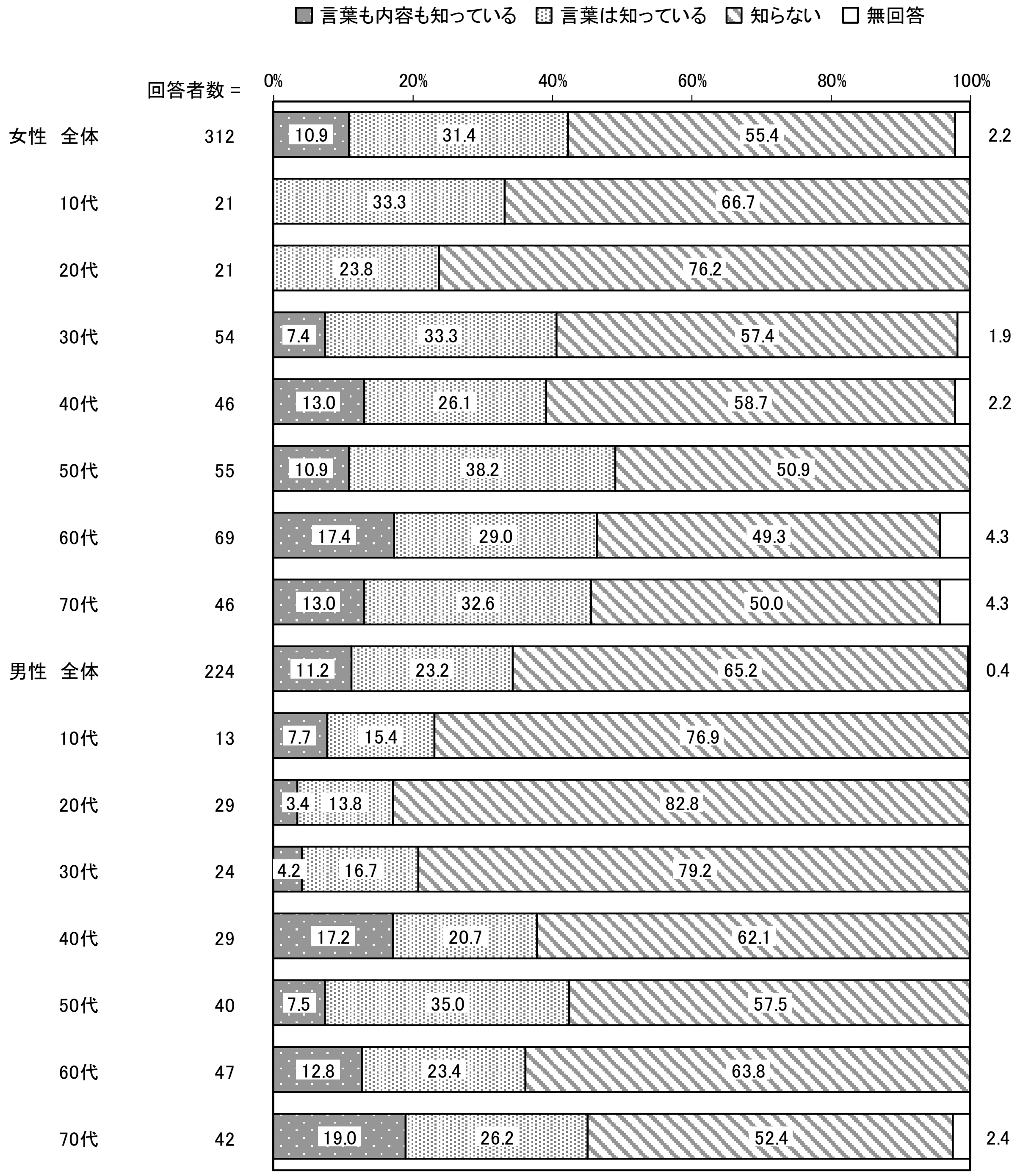

【経年比較　男女別】

男女別に平成 27 年度調査と比較すると、女性で「言葉は知っている」の割合が増加しています。



【性・年代別】

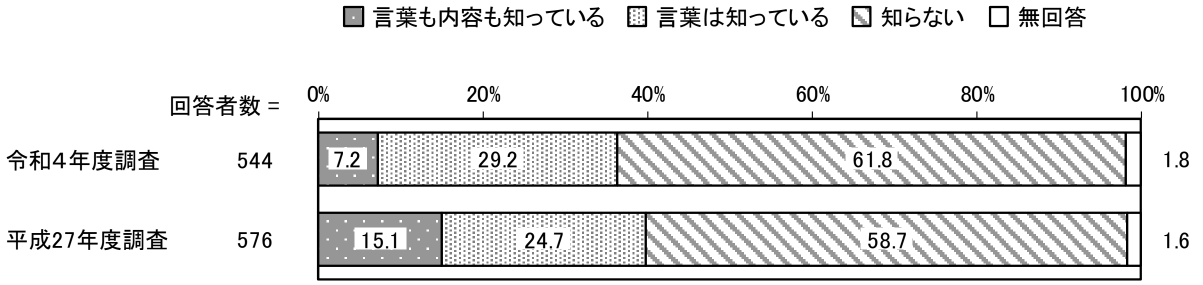
性・年代別でみると、他に比べ、女性 20 代、男性 10 代、男性 20 代、男性 30 代で「知らない」の割合が高くなっています。



## 9　甲府市女性総合相談室

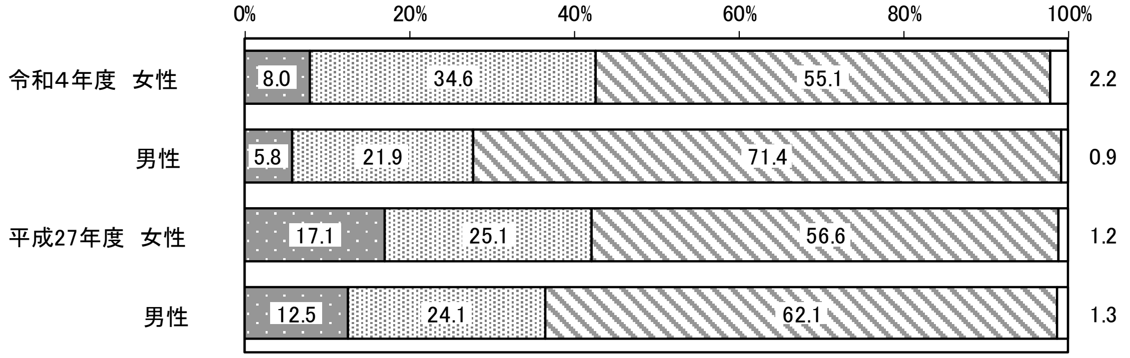
【経年比較】

平成 27 年度調査と比較すると、「言葉も内容も知っている」の割合が減少しています。



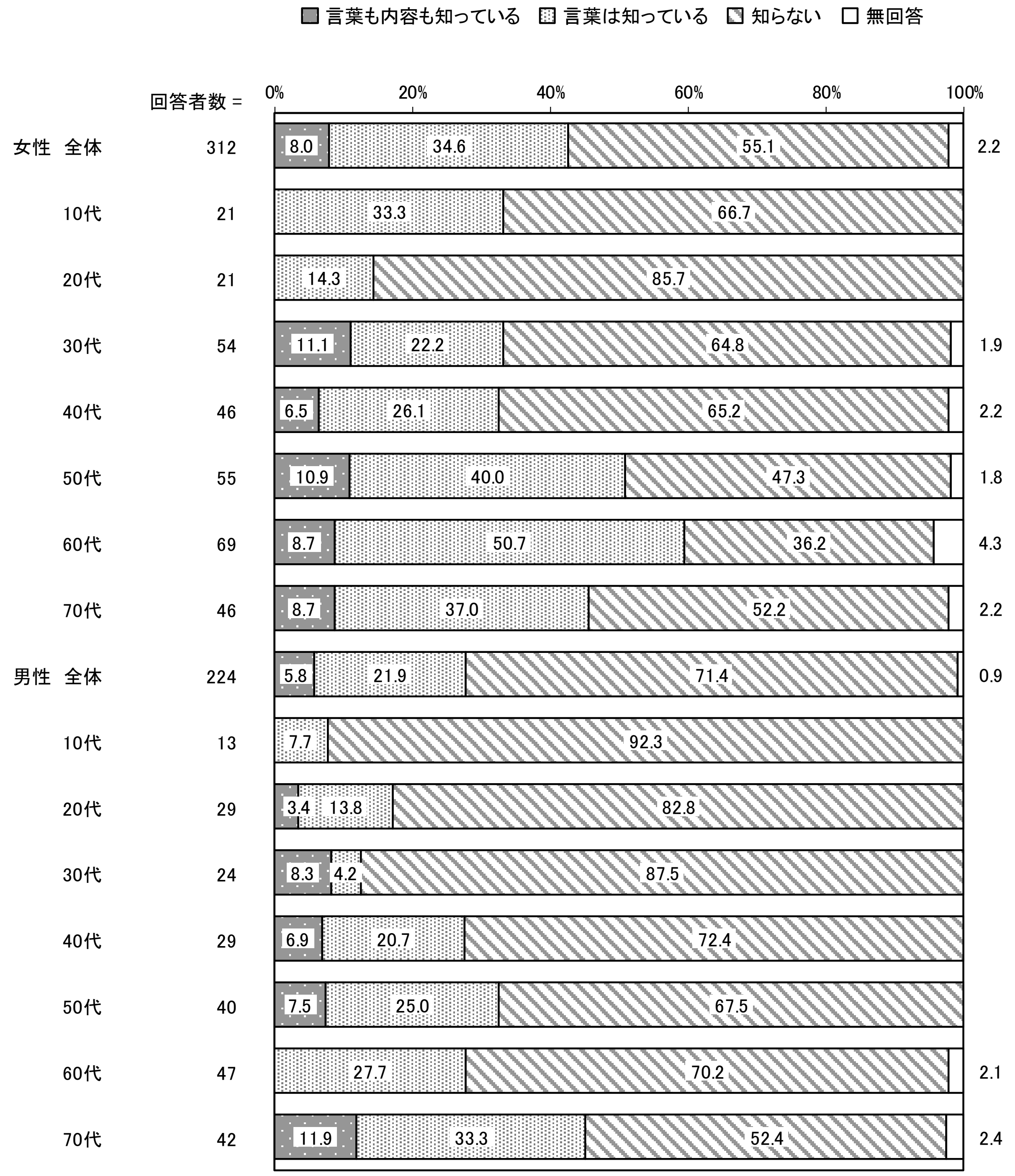

【経年比較　男女別】

男女別に平成 27 年度調査と比較すると、女性で「言葉は知っている」の割合が増加しています。また、女性男性ともに、「言葉も内容も知っている」の割合が減少しています。



【性・年代別】

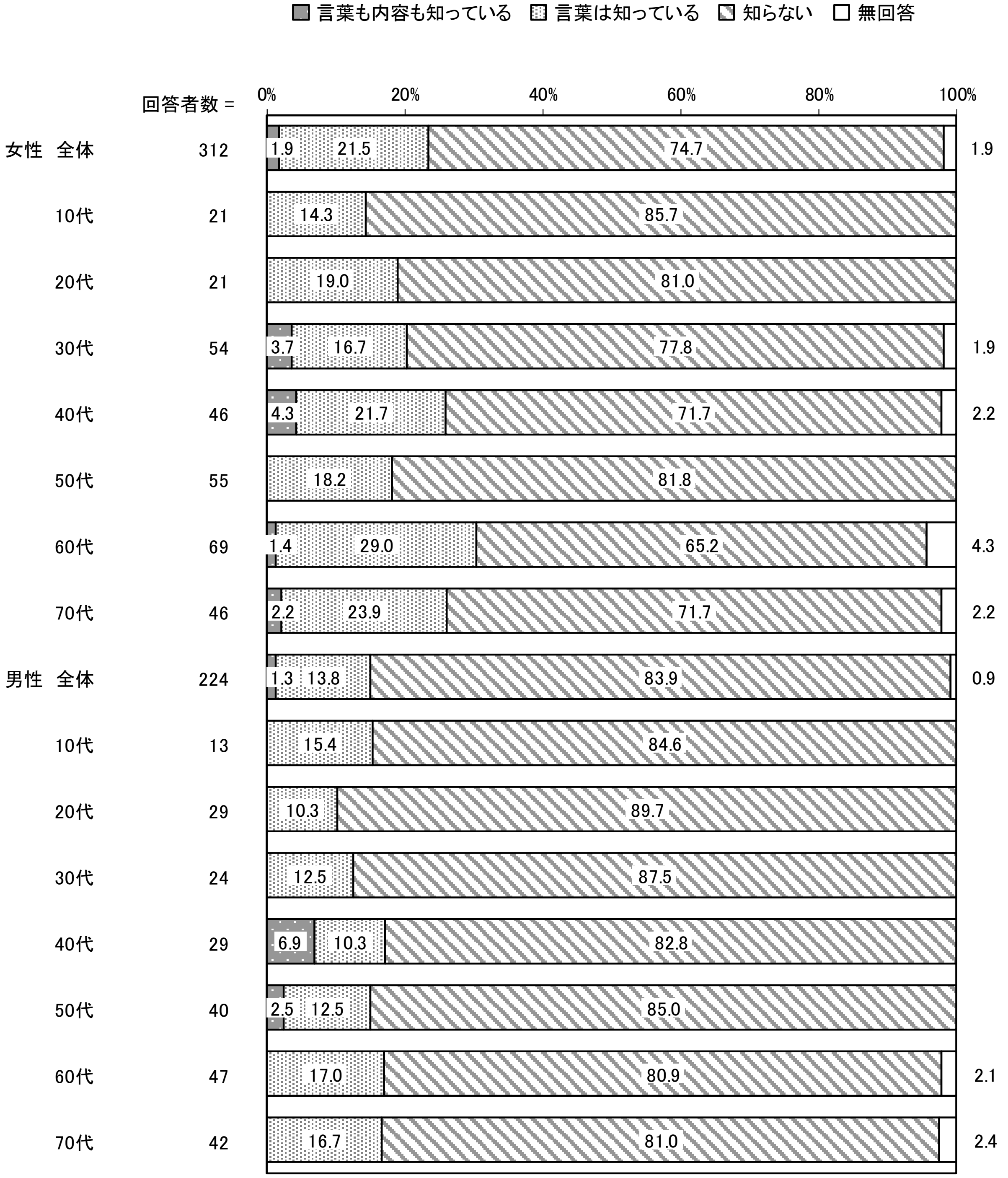
性・年代別でみると、他に比べ、女性 60 代で「言葉は知っている」の割合が高くなっています。



10　甲府市女性活躍支援サイト「なでしこ Plus」

【性・年代別】

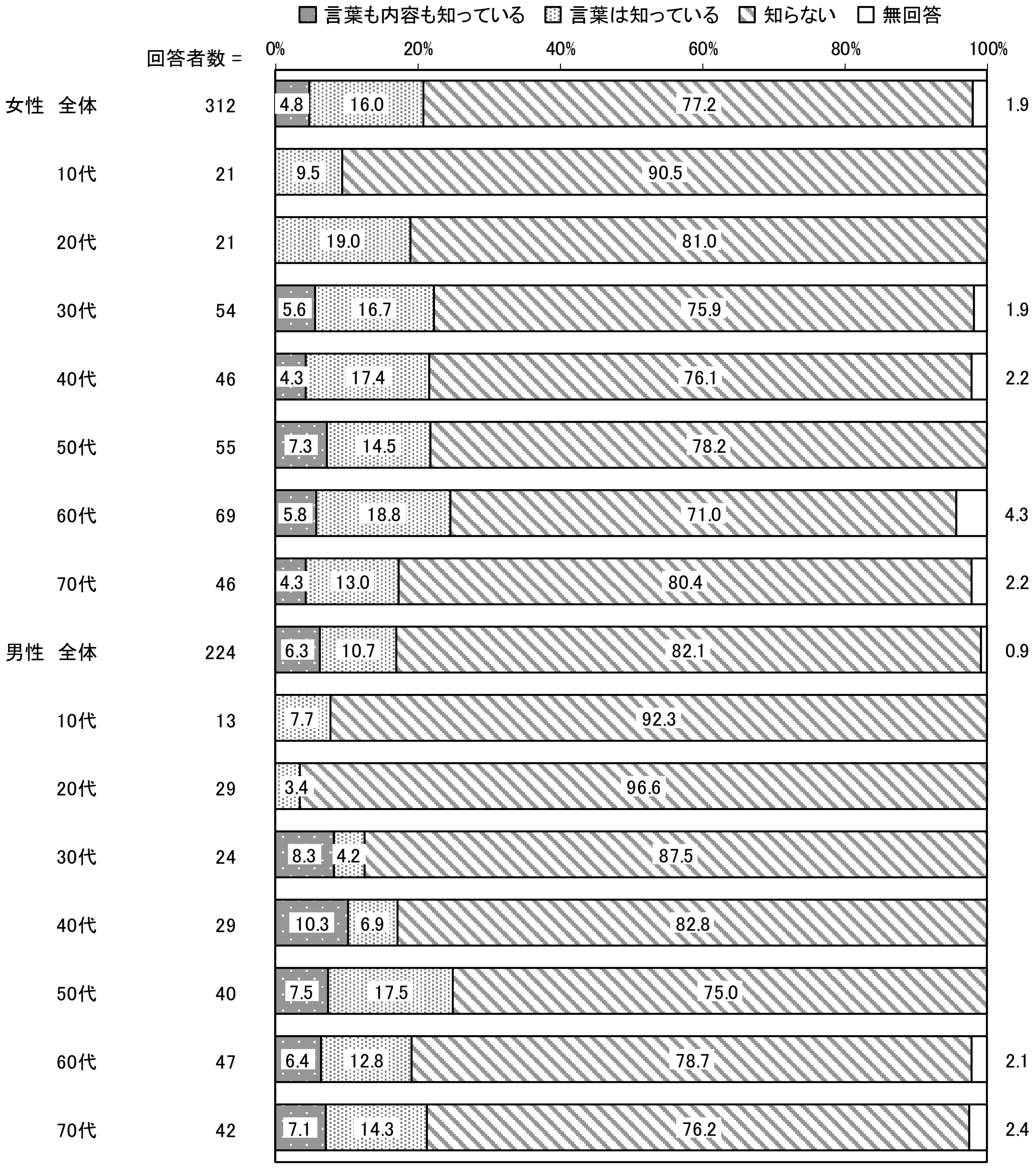
性・年代別でみると、他に比べ、女性 60 代で「言葉は知っている」の割合が高くなっています。



## 11　「日本女性会議 2021 in 甲府」の開催

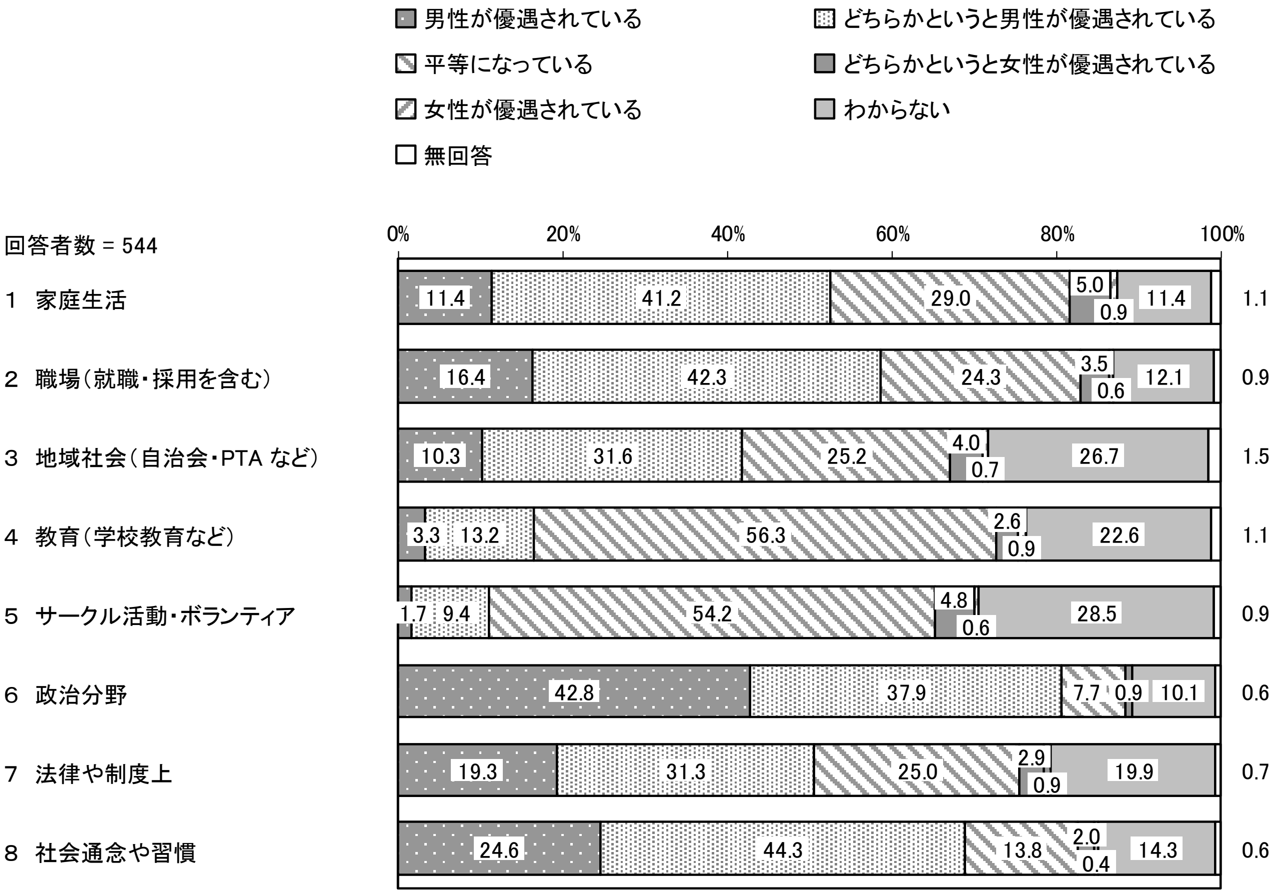
**【性・年代別】**

性・年代別でみると、他に比べ、男性 20 代で「知らない」の割合が高くなっています。



【問９】　あなたは次の分野で、男女の処遇が平等になっていると思いますか。
それぞれ近いもの１つに〇をしてください。

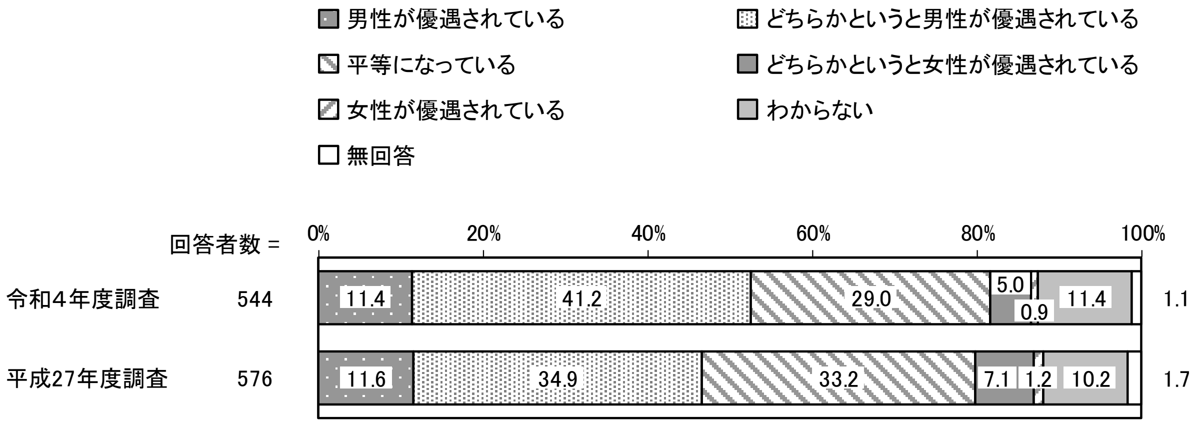
『６　政治分野』で「男性が優遇されている」と「どちらかというと男性が優遇されている」をあわせた“男性が優遇されている”の割合が高くなっています。



## 1　家庭生活

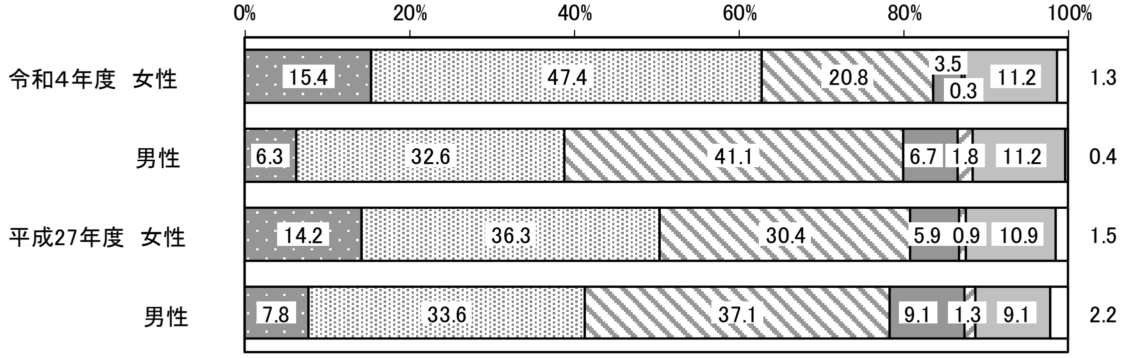
**【経年比較】**

平成 27 年度調査と比較すると、“男性が優遇されている”の割合が増加しています。



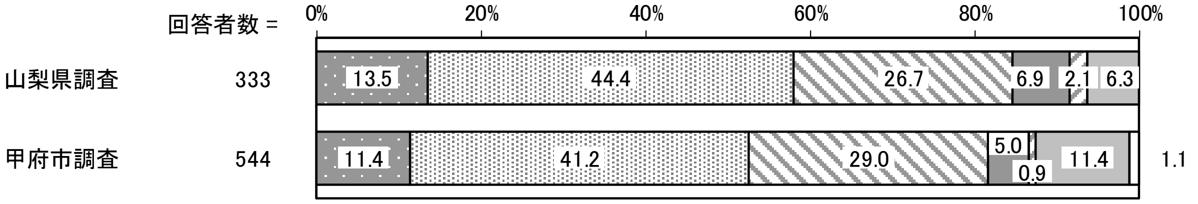

**【経年比較　男女別】**

男女別に平成 27 年度調査と比較すると、女性で“男性が優遇されている”の割合が増加しています。



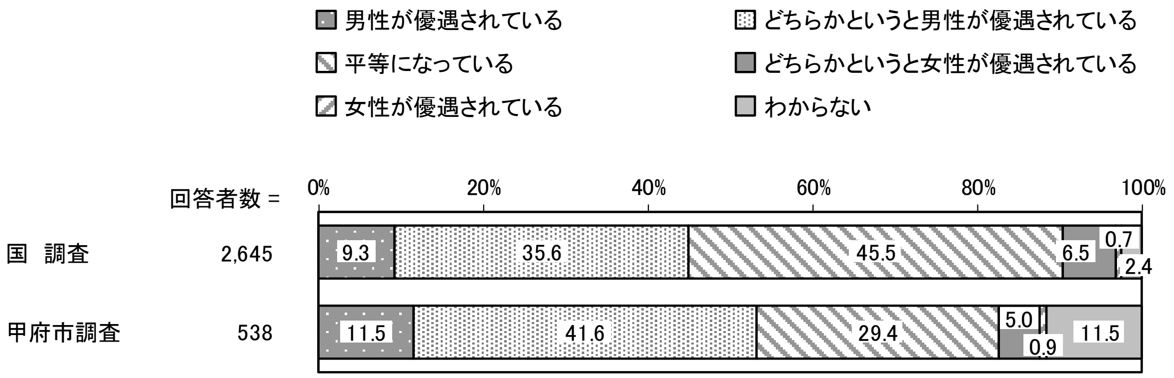

**【県　比較】**

県の調査と比較すると、“男性が優遇されている”の割合が低くなっています。



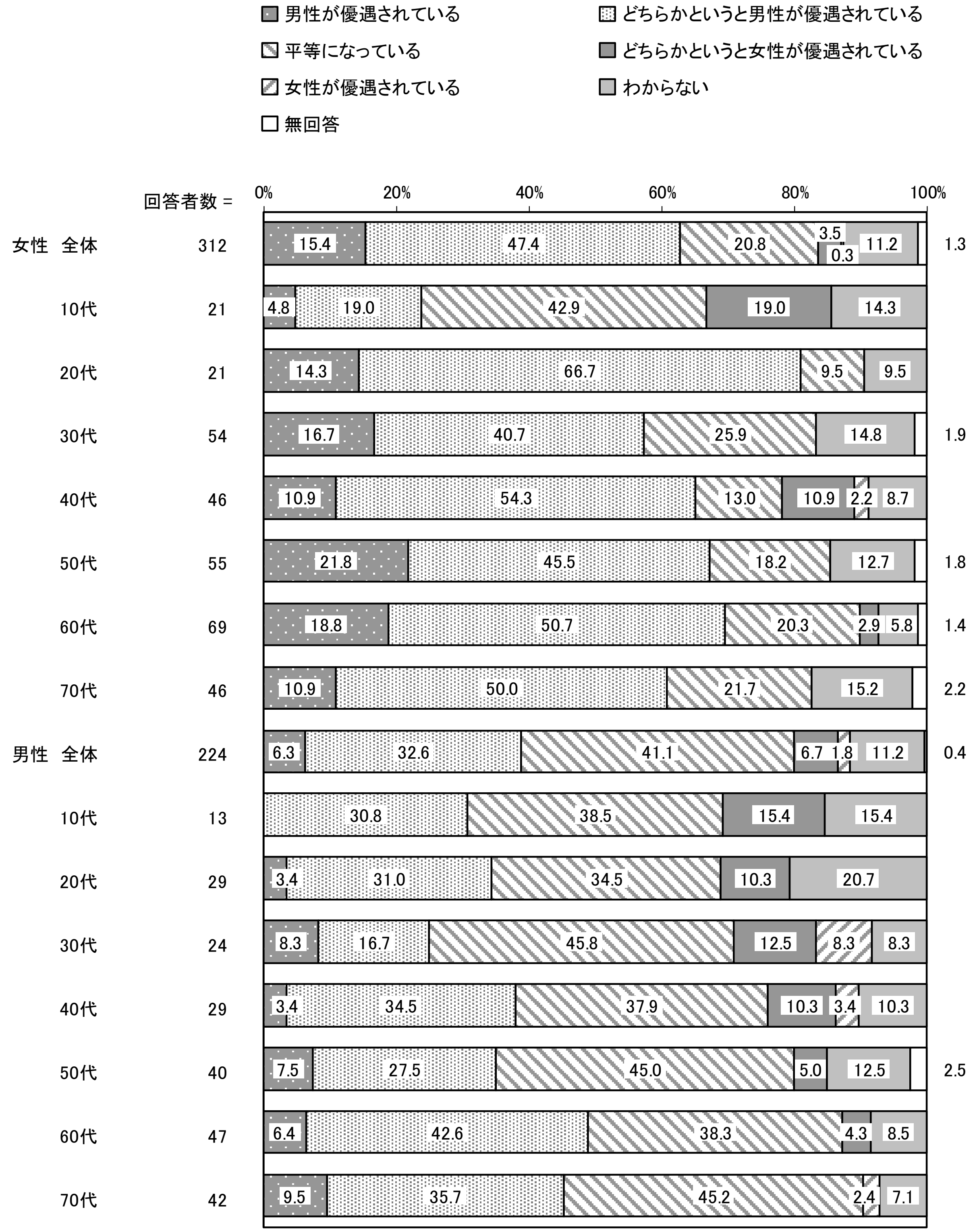
【国　比較】

国の調査と比較すると、“男性が優遇されている”の割合が高くなっています。



【性・年代別】

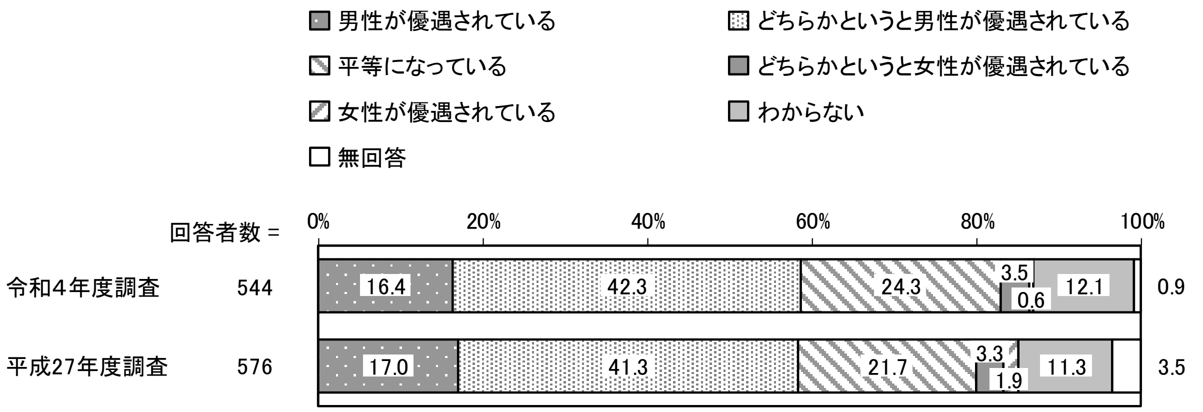
性・年代別でみると、他に比べ、女性 20 代で“男性が優遇されている”の割合が高くなっています。



## 2　職場（就職・採用を含む）

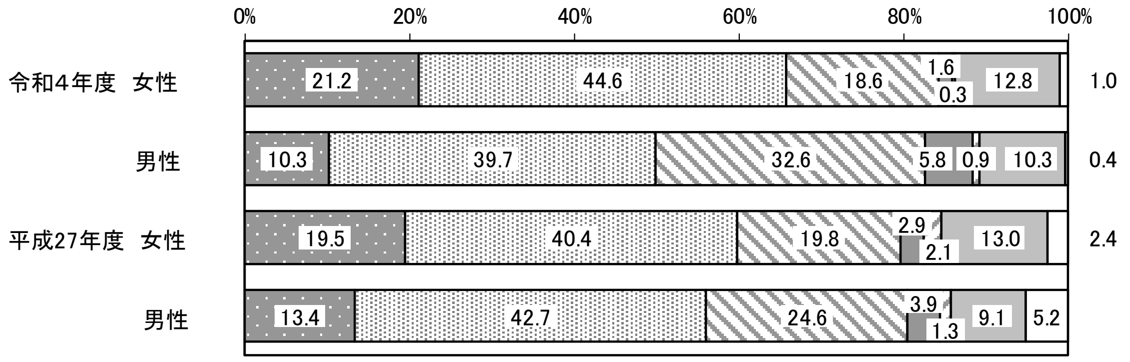
【経年比較】

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



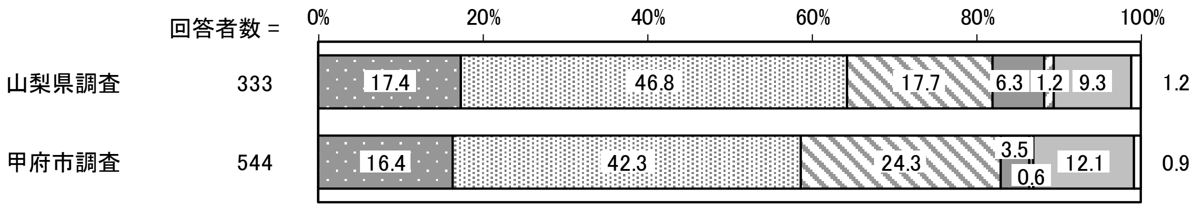

【経年比較　男女別】

男女別に平成 27 年度調査と比較すると、男性で“男性が優遇されている”の割合が減少しています。また、女性で“男性が優遇されている”の割合が増加しています。



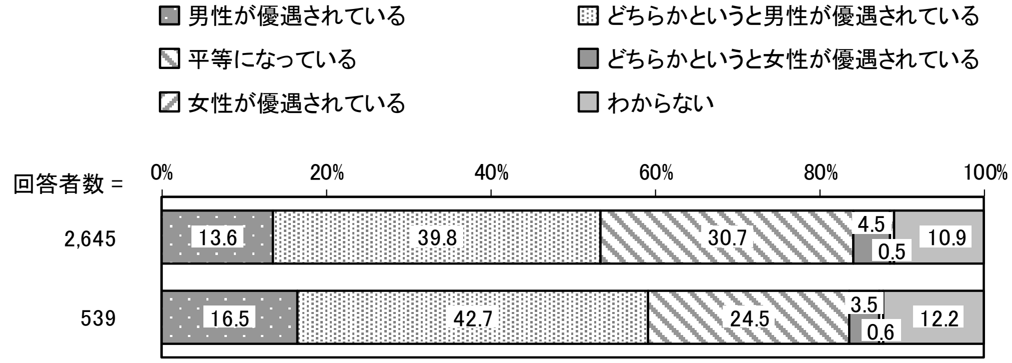

【県　比較】

県の調査と比較すると、“男性が優遇されている”の割合が低くなっています。



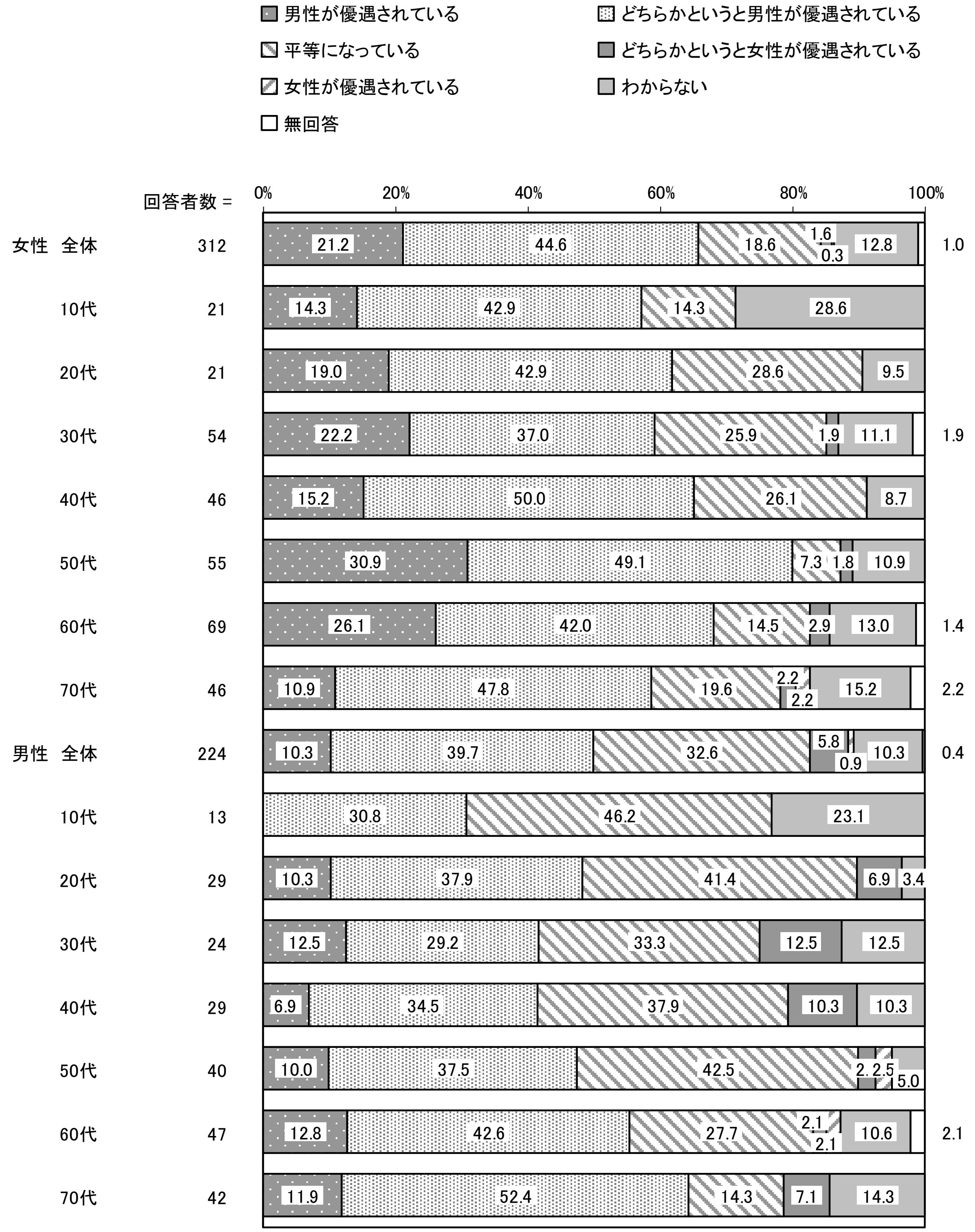
【国　比較】

国の調査と比較すると、“男性が優遇されている”の割合が高くなっています。



【性・年代別】

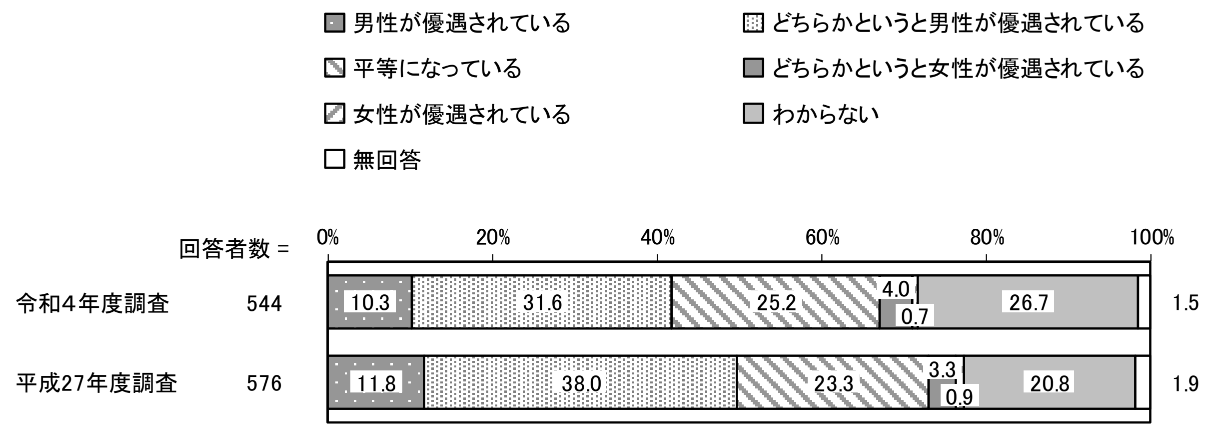
性・年代別でみると、他に比べ、女性50代で“男性が優遇されている”の割合が高くなっています。



３　地域社会（自治会・PTA など）

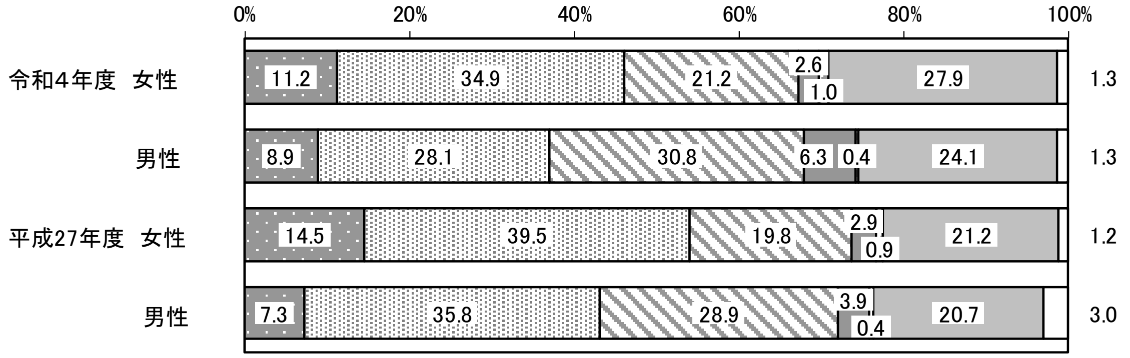
【経年比較】

平成 27 年度調査と比較すると、“男性が優遇されている”の割合が減少しています。



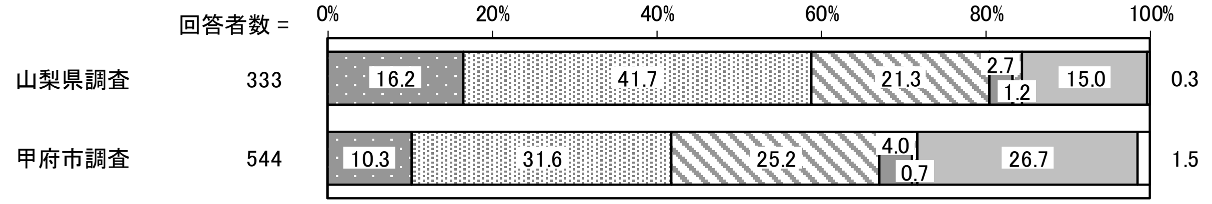

【経年比較　男女別】

男女別に平成 27 年度調査と比較すると、女性男性ともに“男性が優遇されている”の割合が減少しています。



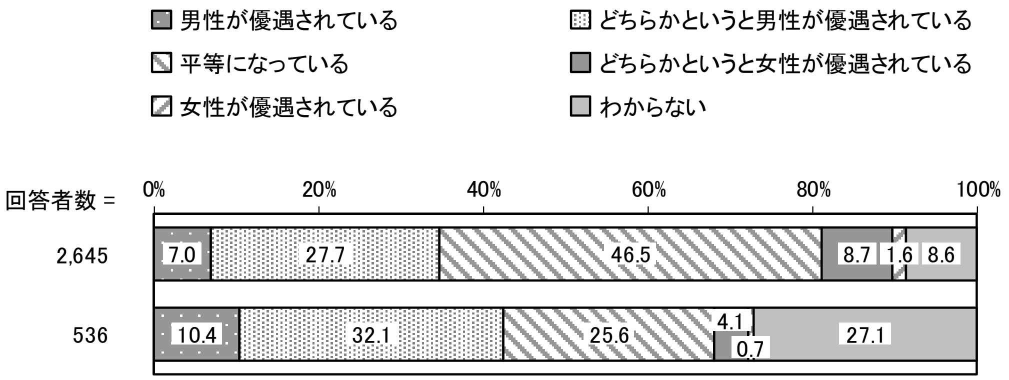

【県　比較】

県の調査と比較すると、“男性が優遇されている”の割合が低くなっています。



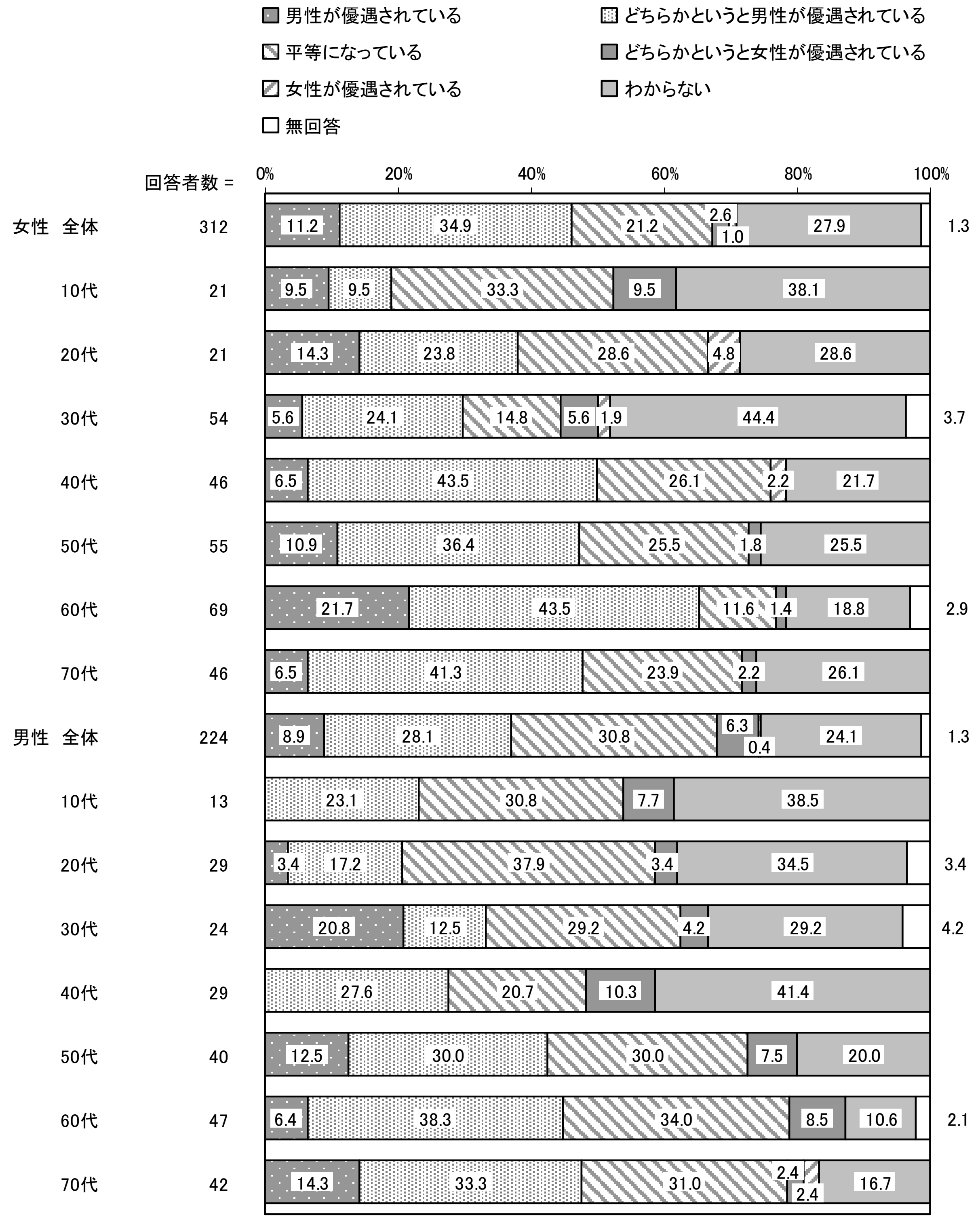
【国　比較】

国の調査と比較すると、“男性が優遇されている”の割合が高くなっています。



【性・年代別】

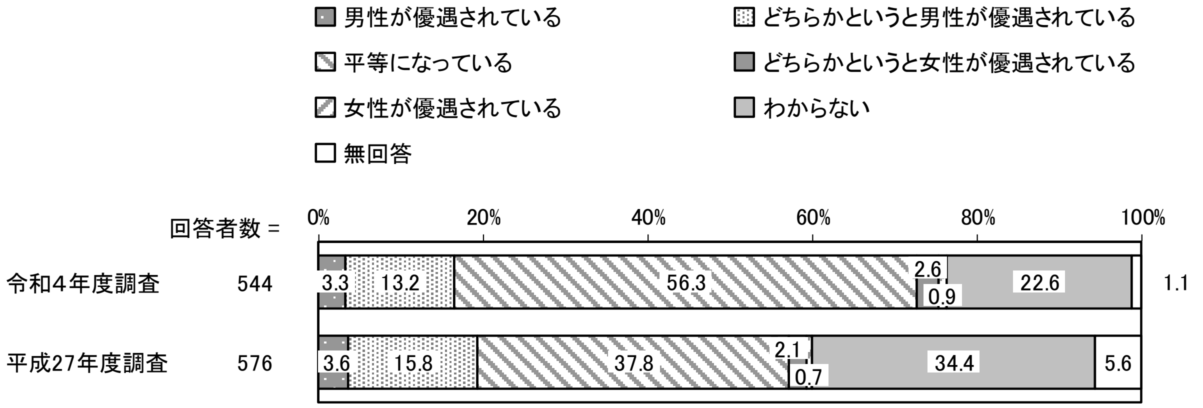
性・年代別でみると、他に比べ、女性60代で"男性が優遇されている"の割合が高くなっています。



4　教育（学校教育など）

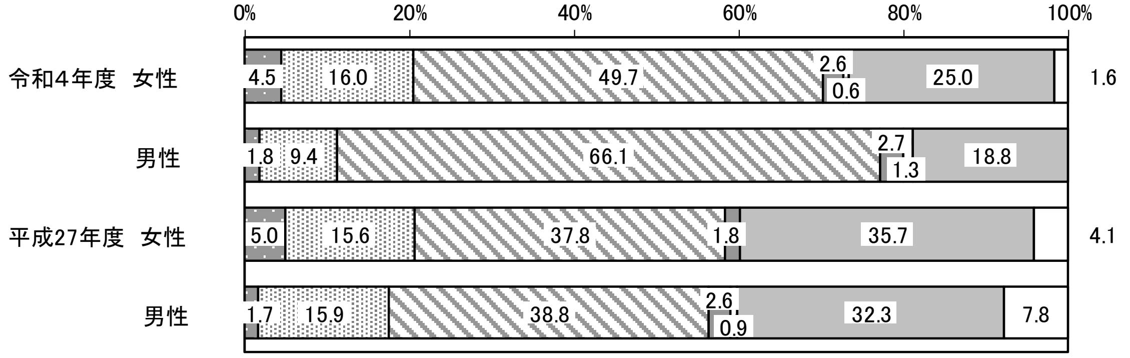
【経年比較】

平成 27 年度調査と比較すると、「平等になっている」の割合が増加しています。一方、「わからない」の割合が減少しています。



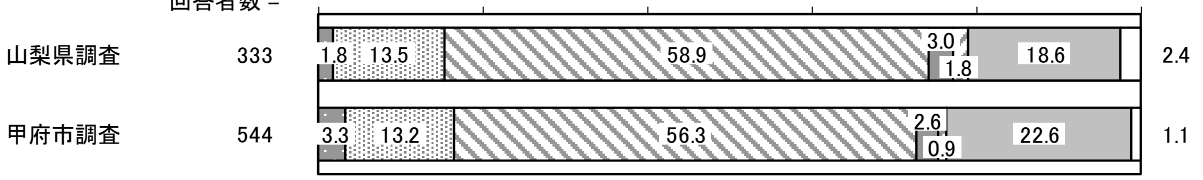

【経年比較　男女別】

男女別に平成 27 年度調査と比較すると、男性で“男性が優遇されている”の割合が減少し、「平等になっている」の割合が増加しています。



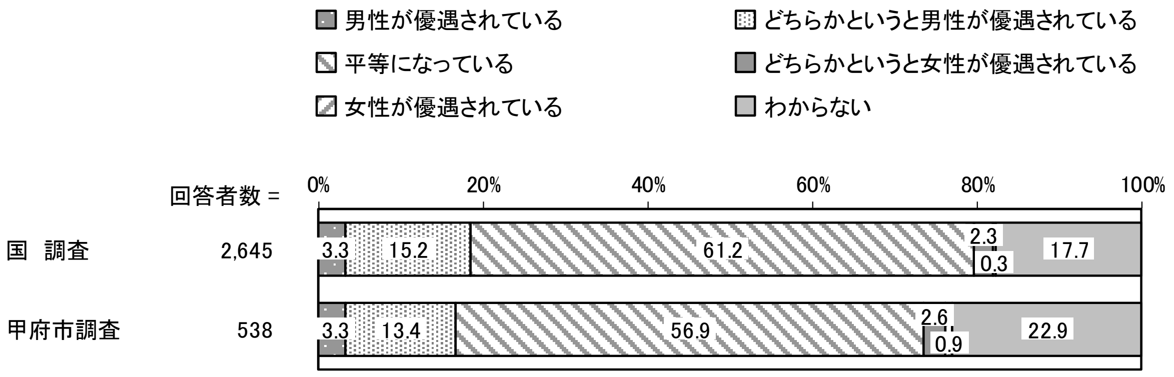

【県　比較】

県の調査と比較すると、大きな差異はみられません。



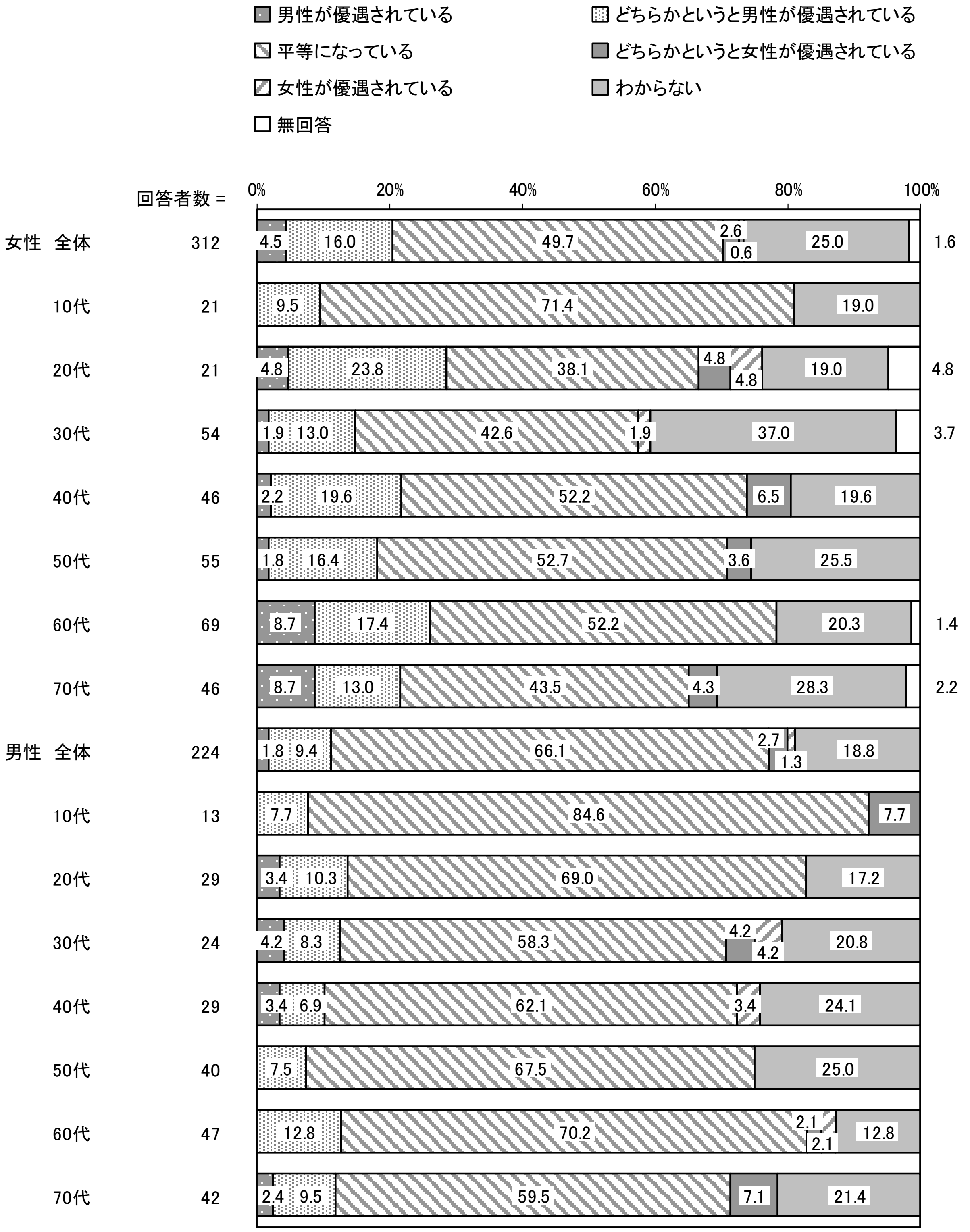
【国　比較】

国の調査と比較すると、大きな差異はみられません。



【性・年代別】

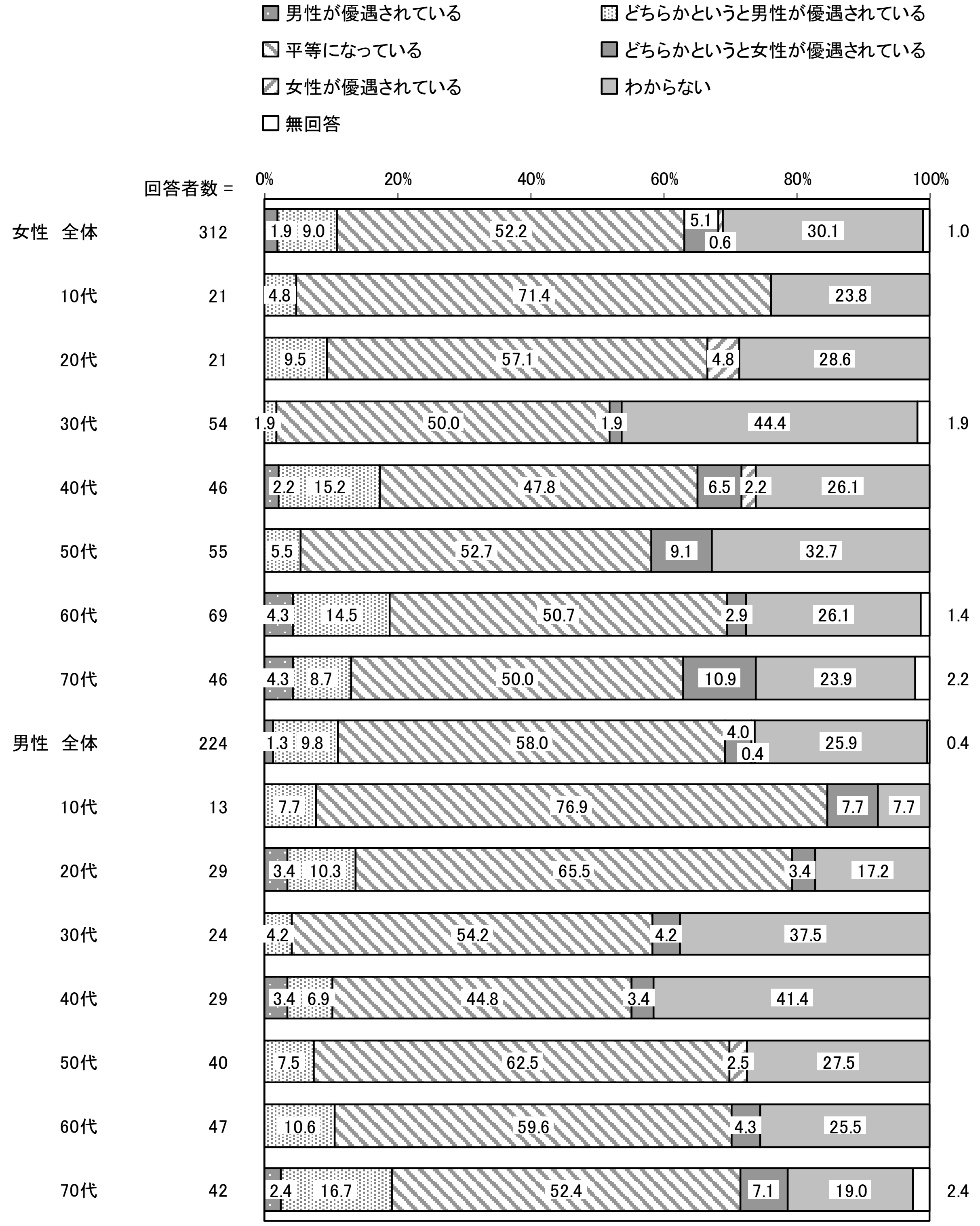
性・年代別でみると、他に比べ、男性 10 代で「平等になっている」の割合が高くなっています。



5　サークル活動・ボランティア

【性・年代別】

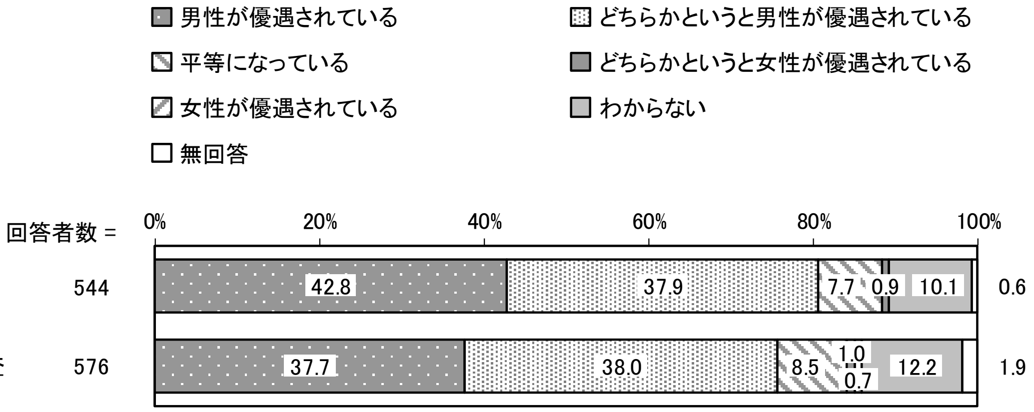
性・年代別でみると、他に比べ、男性 10 代で「平等になっている」の割合が高くなっています。



## 6　政治分野

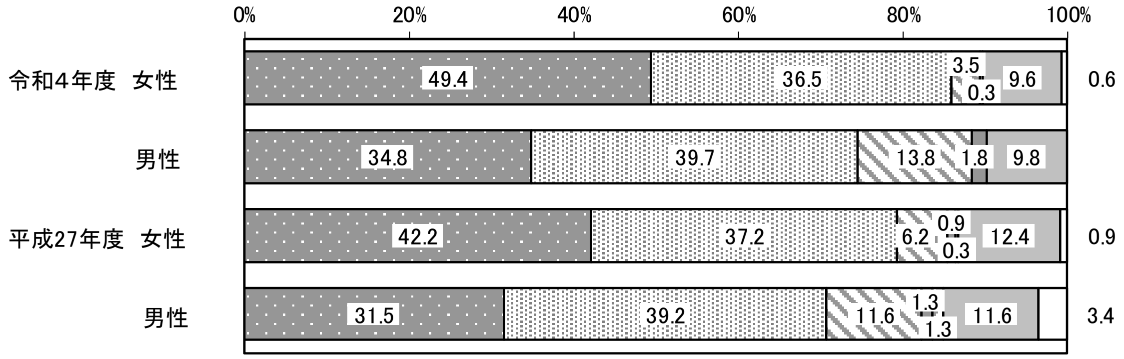
【経年比較】

平成 27 年度調査と比較すると、“男性が優遇されている”の割合が増加しています。



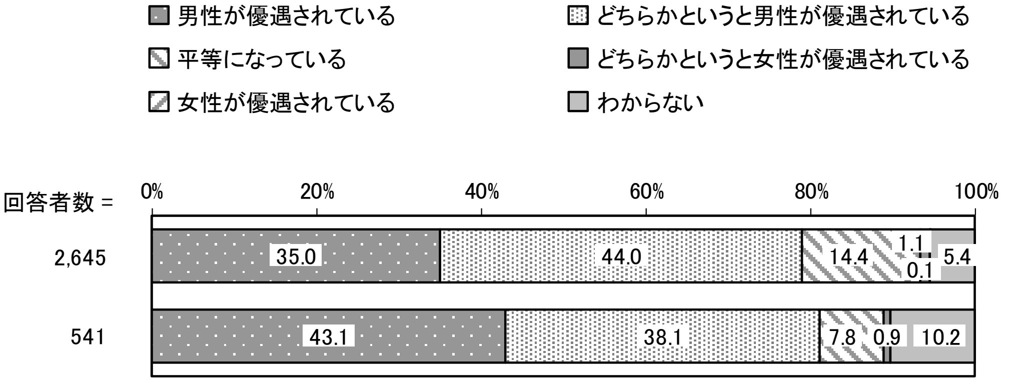

【経年比較　男女別】

男女別に平成 27 年度調査と比較すると、女性で“男性が優遇されている”の割合が増加しています。



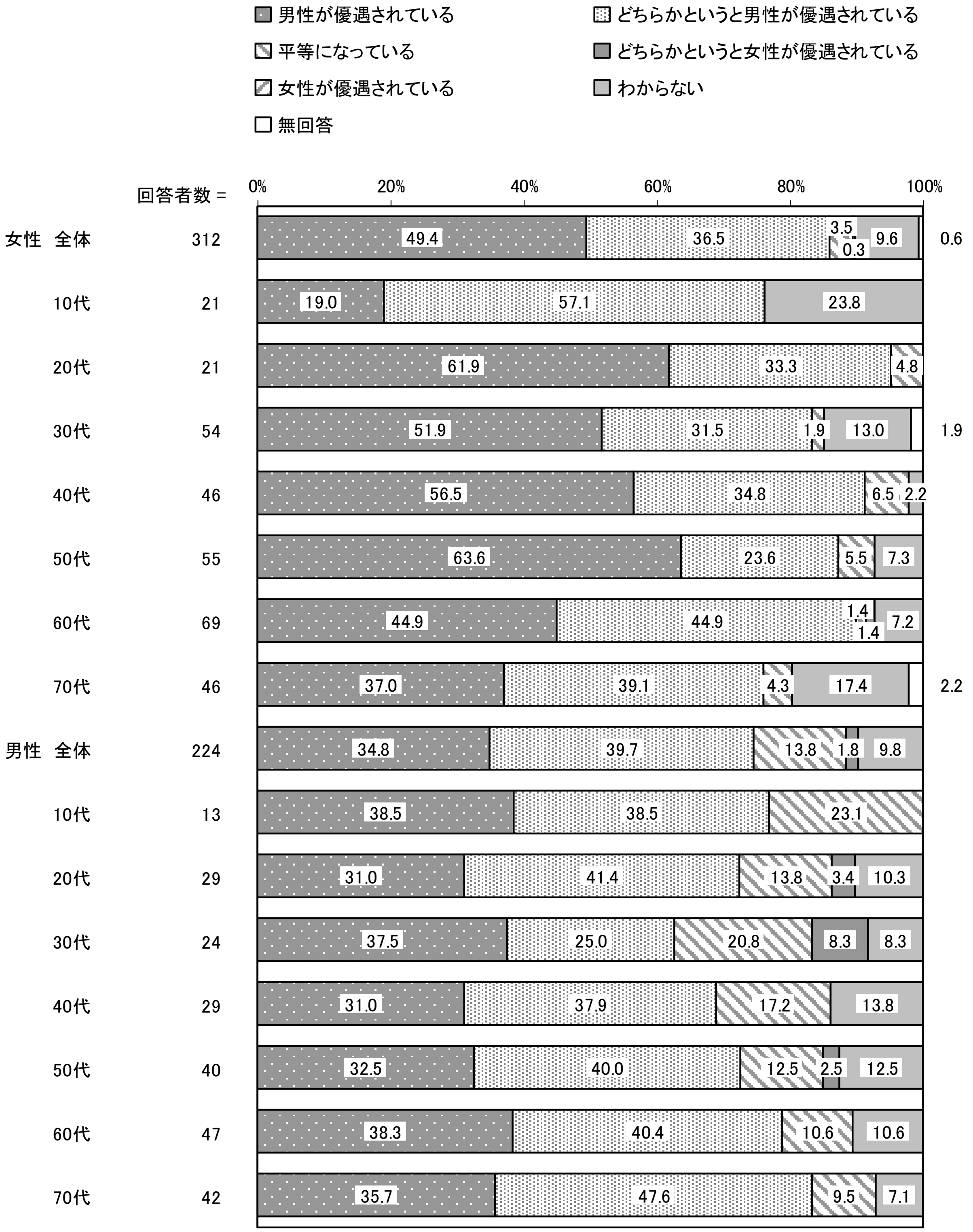

【国　比較】

国の調査と比較すると、「平等になっている」の割合が低くなっています。



【性・年代別】

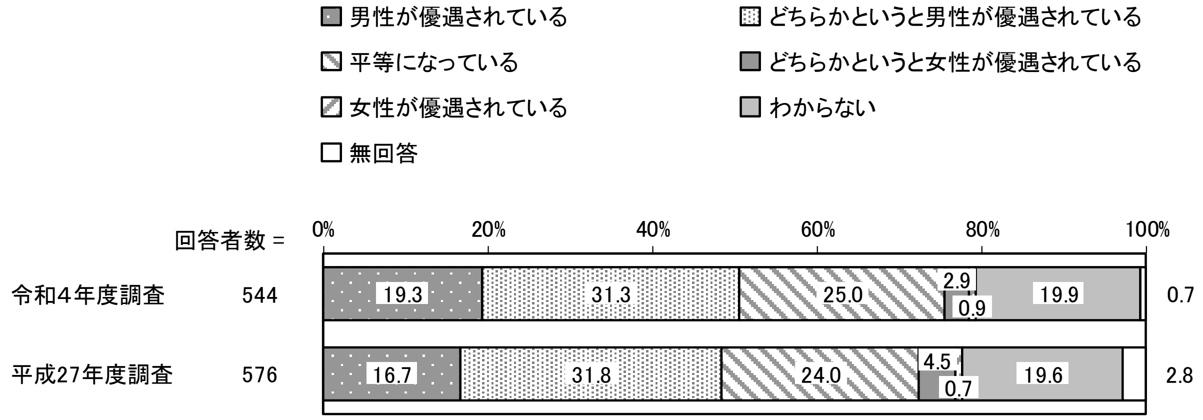
性・年代別でみると、他に比べ、女性 10 代で「わからない」の割合が高くなっています。



## 7　法律や制度上

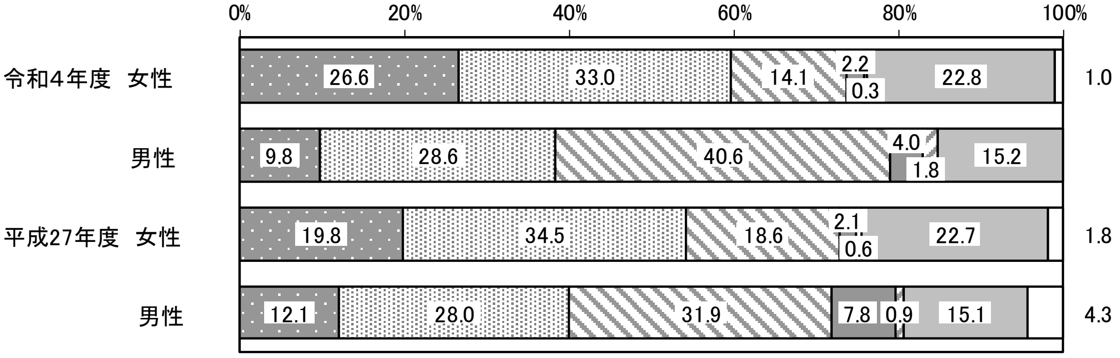
【経年比較】

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



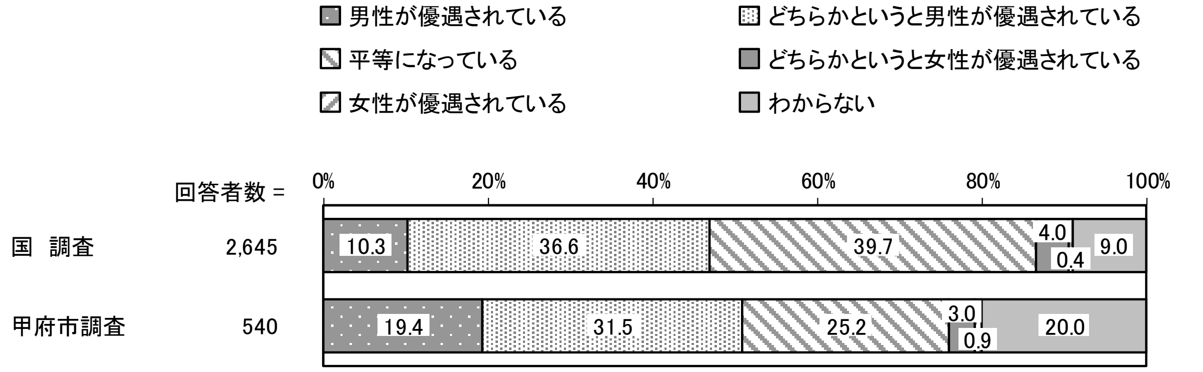

【経年比較　男女別】

男女別に平成 27 年度調査と比較すると、女性で"男性が優遇されている"の割合が増加しています。



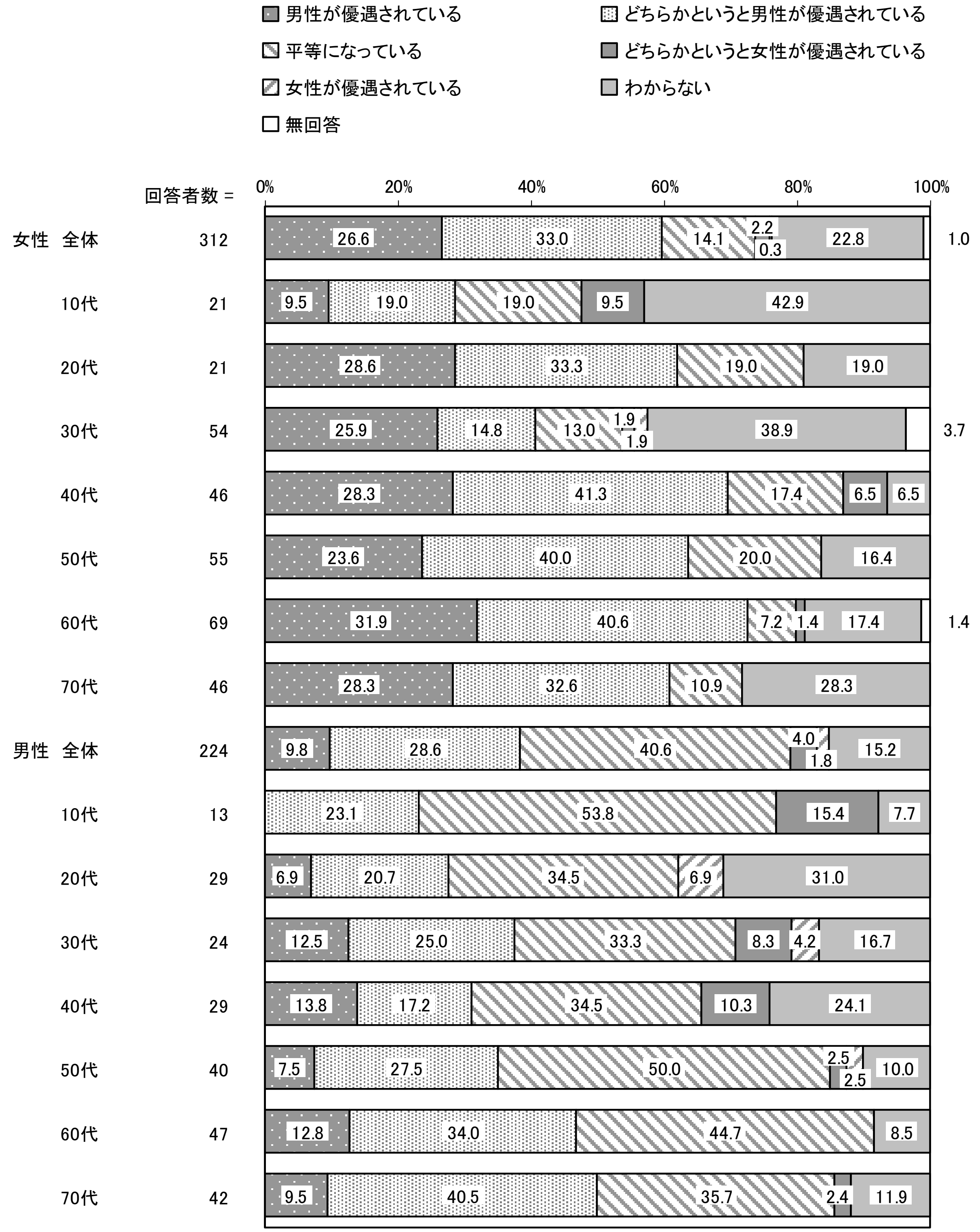

【国　比較】

国の調査と比較すると、「平等になっている」の割合が低くなっています。



【性・年代別】

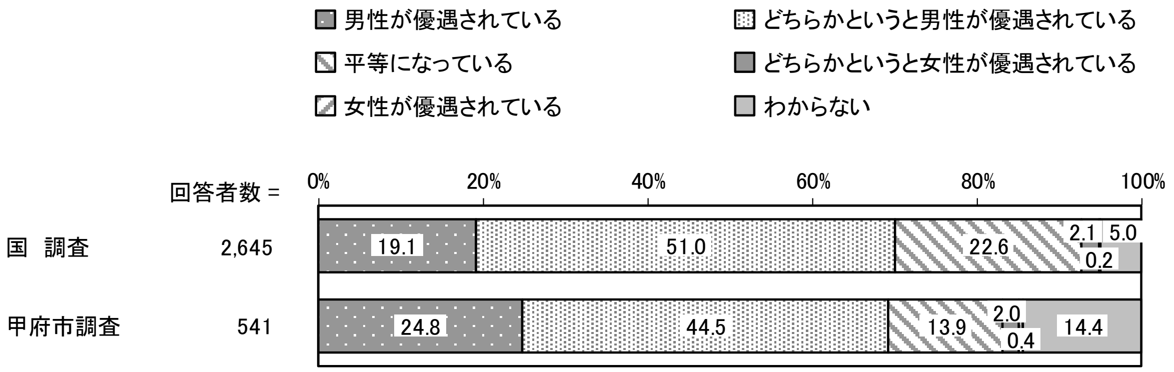
性・年代別でみると、他に比べ、女性40代、女性60代で“男性が優遇されている”の割合が高くなっています。



## 8　社会通念や習慣

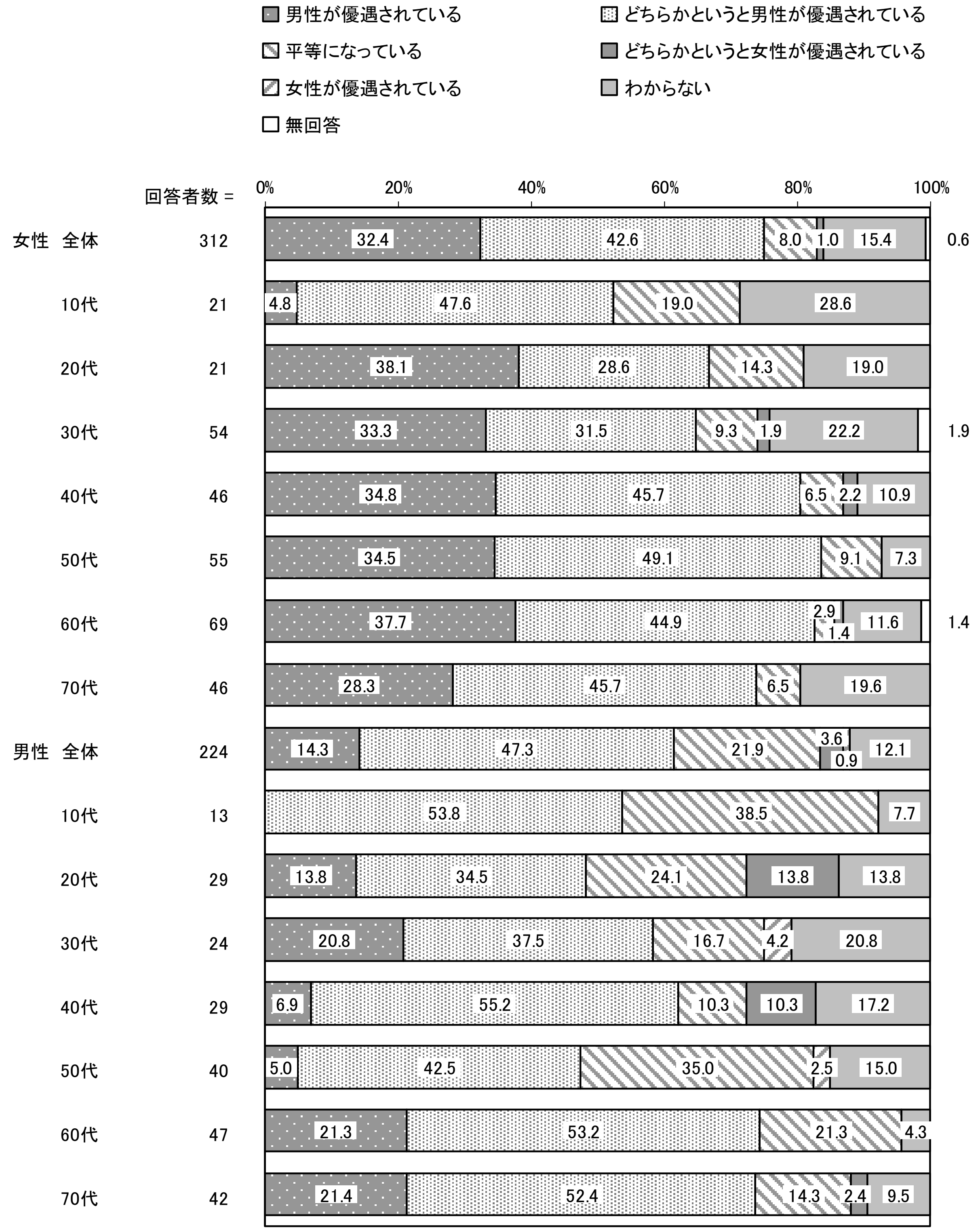
**【国　比較】**

国の調査と比較すると、「平等になっている」の割合が低くなっています。



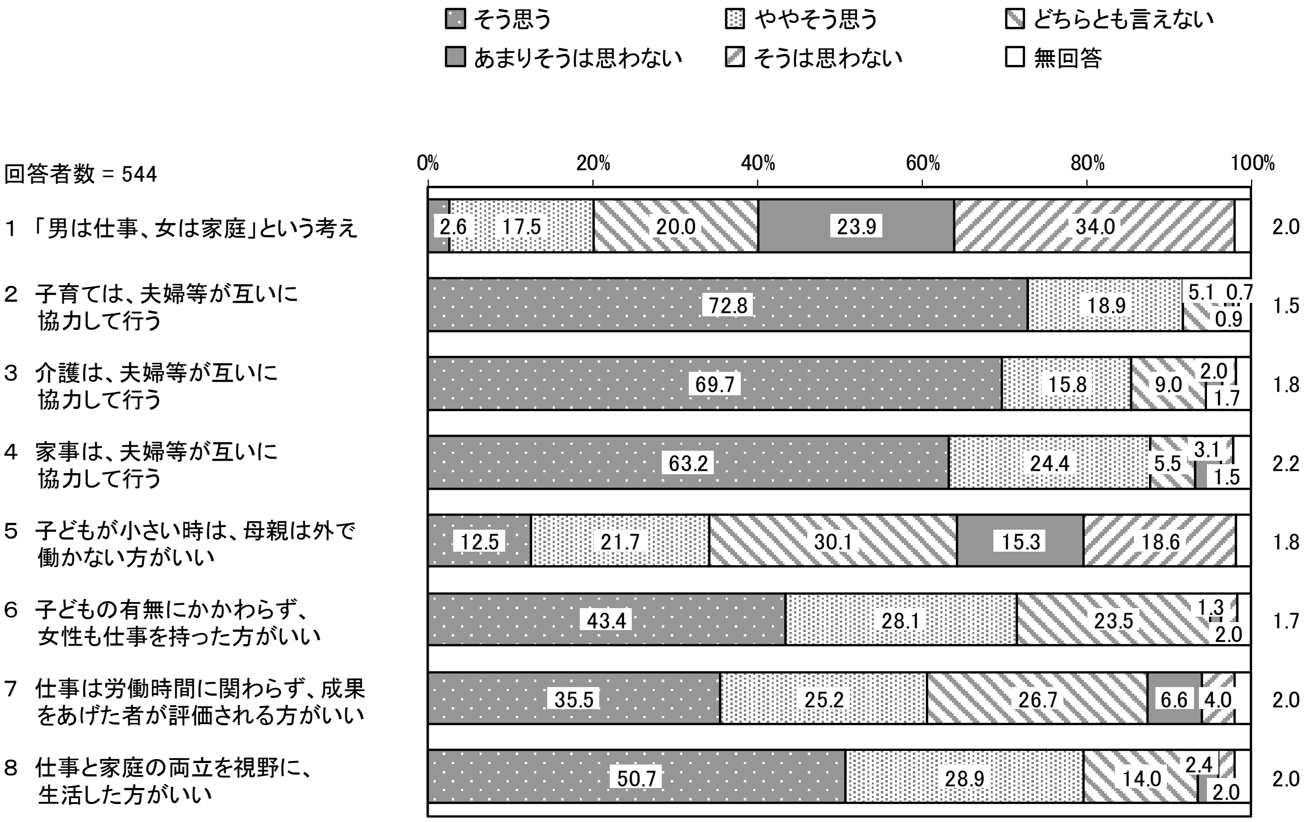
【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、男性 10 代で「平等になっている」の割合が高くなっています。



**【問 10】　以下の考え方について、あなたの考え方に一番近いものはどれですか。それぞれ近いもの１つに〇をしてください。**

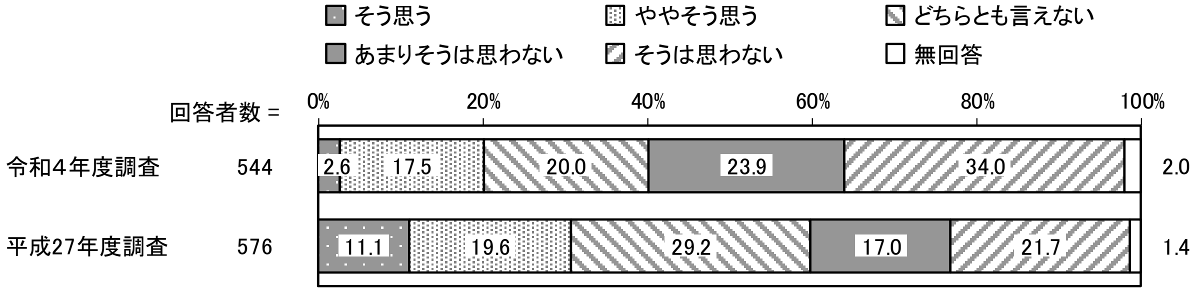
『１　「男は仕事、女は家庭」という考え』で「あまりそうは思わない」と「そうは思わない」をあわせた“そうは思わない”の割合が高くなっています。



## 1　「男は仕事、女は家庭」という考え

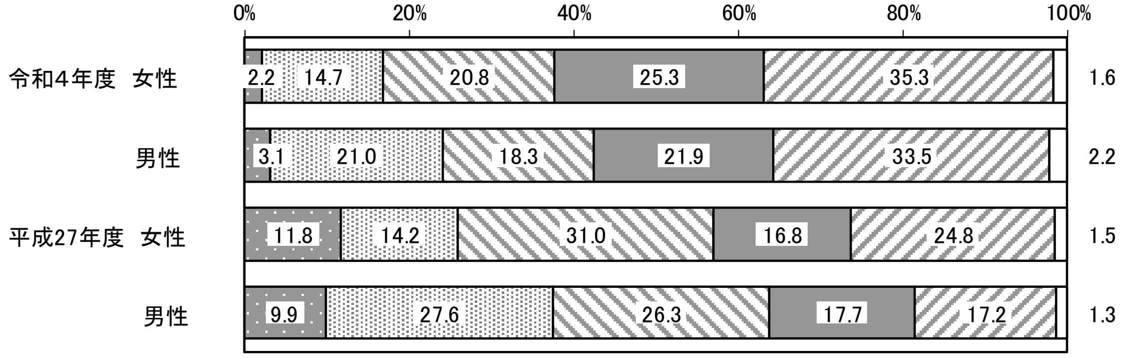
### 【経年比較】

平成 27 年度調査と比較すると、“そうは思わない”の割合が増加しています。



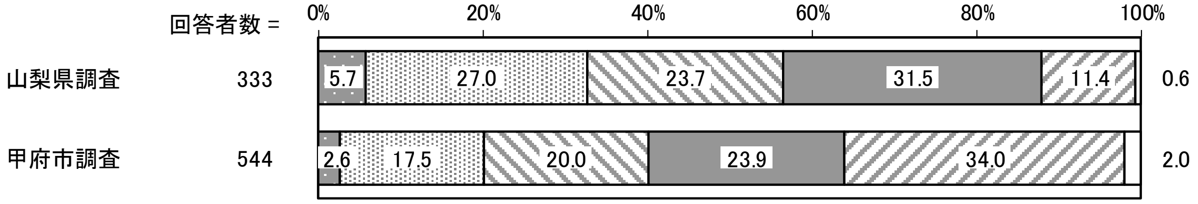

### 【経年比較　男女別】

男女別に平成 27 年度調査と比較すると、女性男性ともに“そうは思わない”の割合が増加しています。



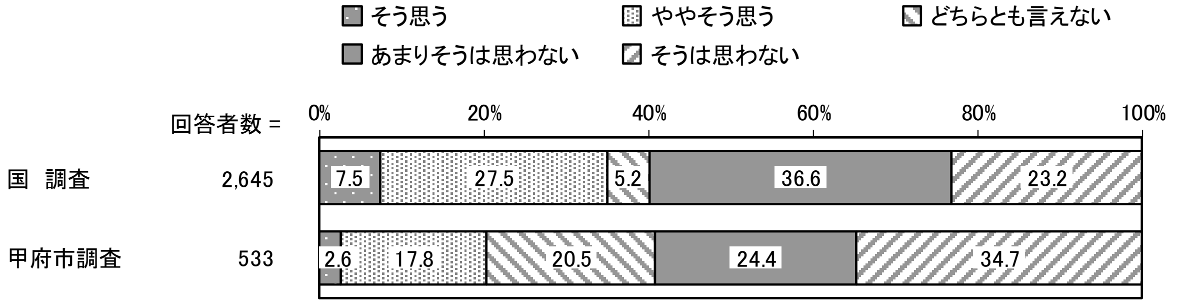

### 【県　比較】

県の調査と比較すると、“そうは思わない”の割合が高くなっています。



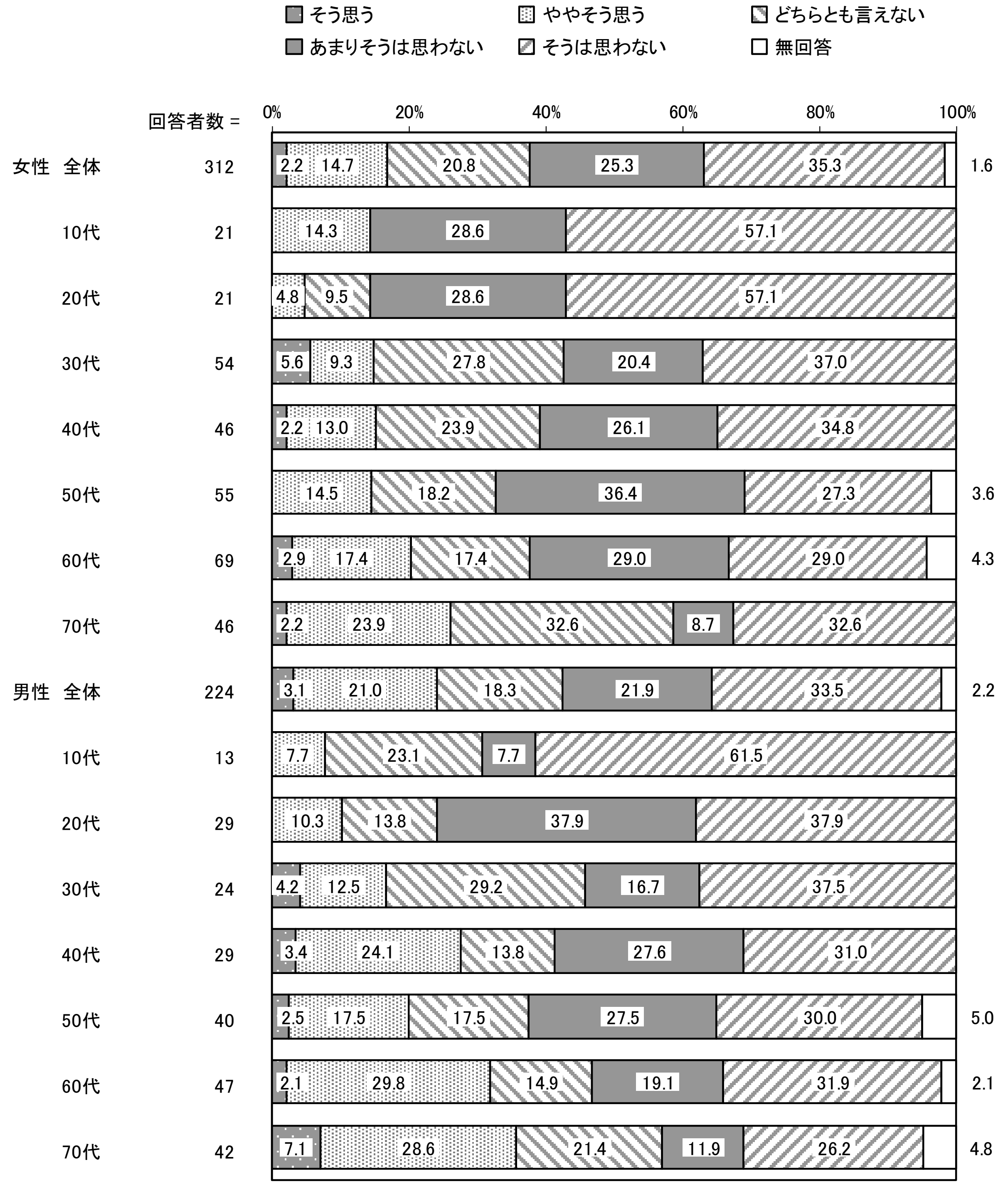

### 【国　比較】

国の調査と比較すると、「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が低くなっています。



【性・年代別】

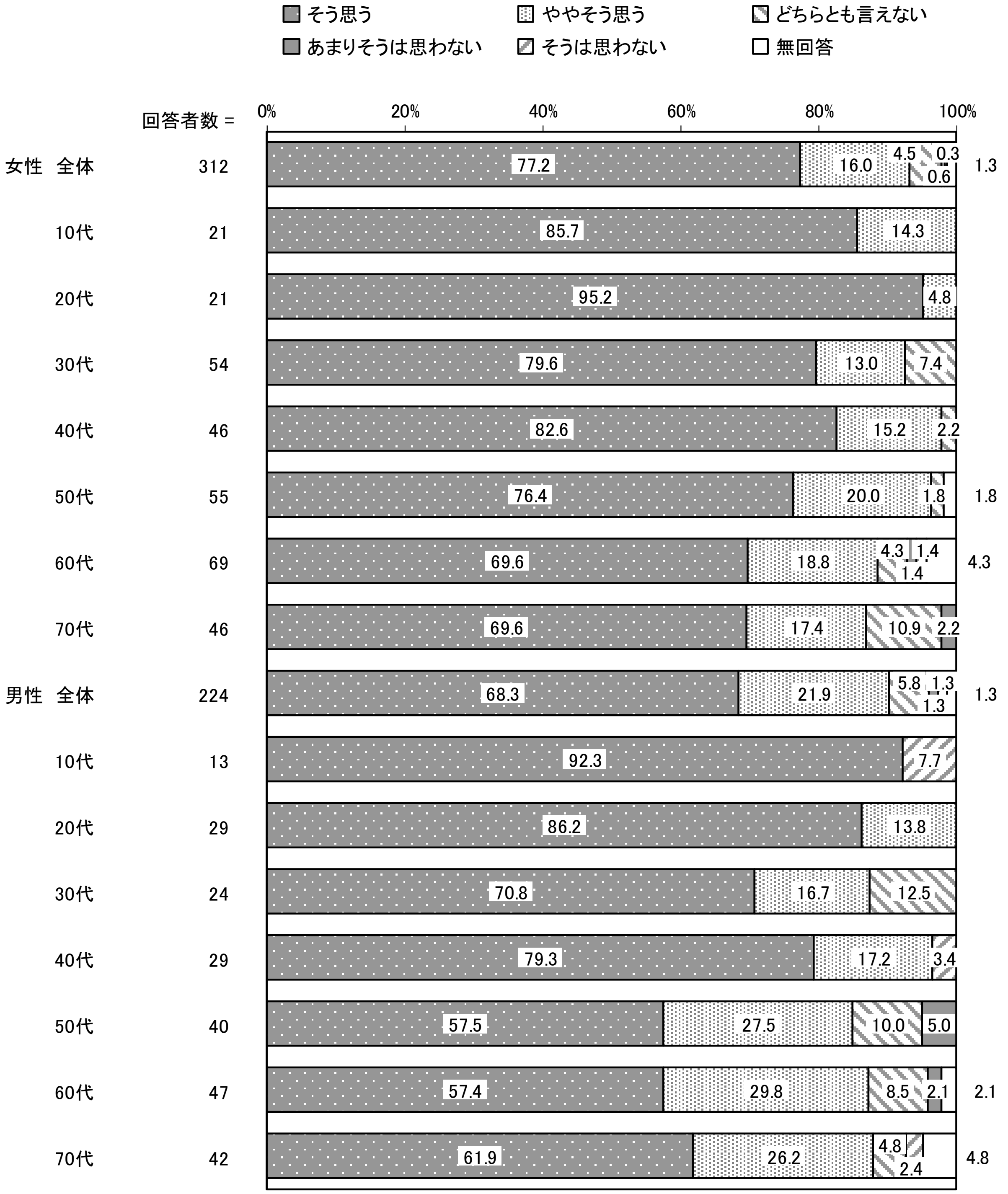
性・年代別でみると、他に比べ、女性 10 代、女性 20 代で“そうは思わない”の割合が高くなっています。



2　子育ては、夫婦等が互いに協力して行う

【性・年代別】

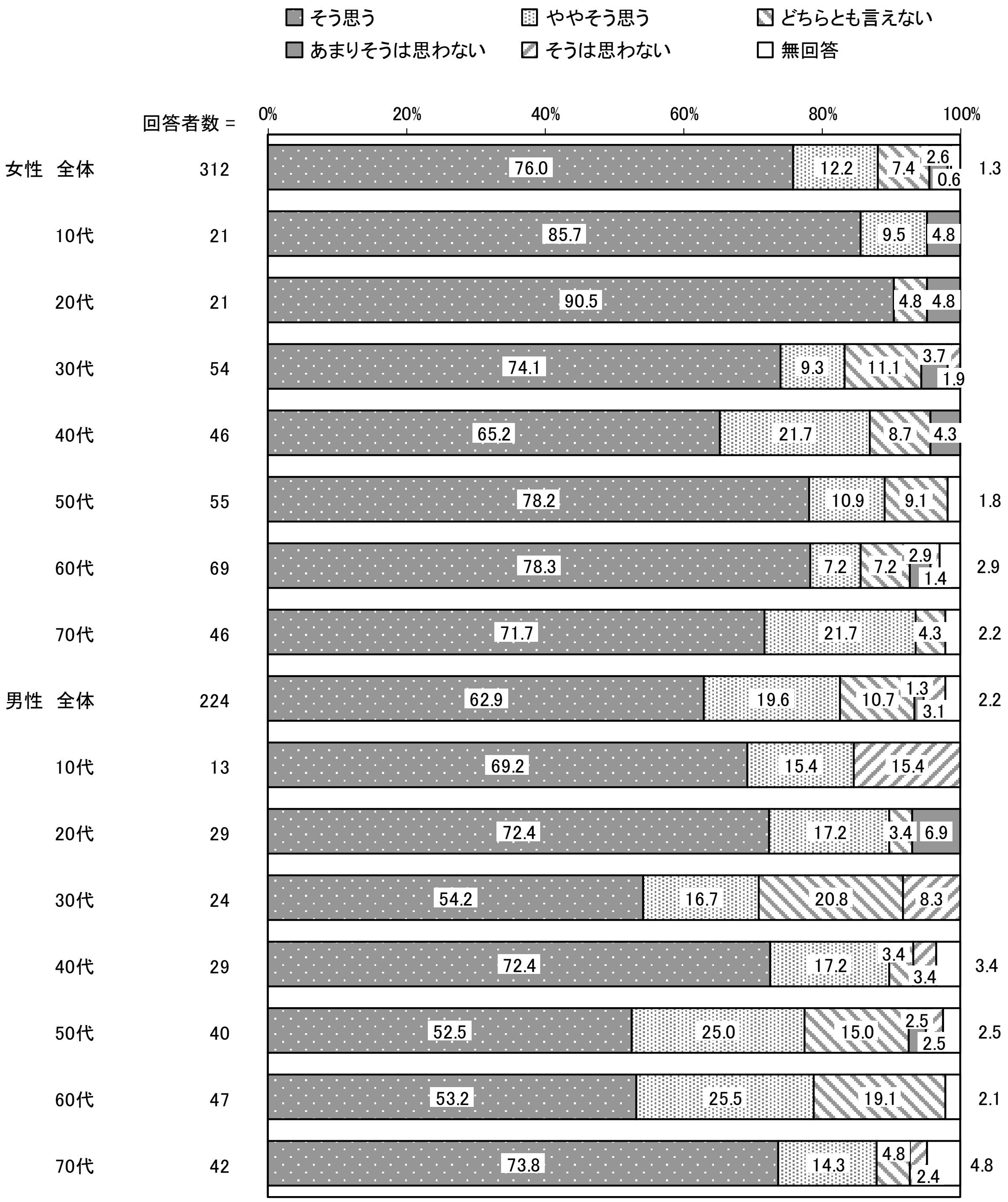
性・年代別でみると、他に比べ、女性10代、女性20代、男性20代で“そう思う”の割合が高くなっています。



3　介護は、夫婦等が互いに協力して行う

【性・年代別】

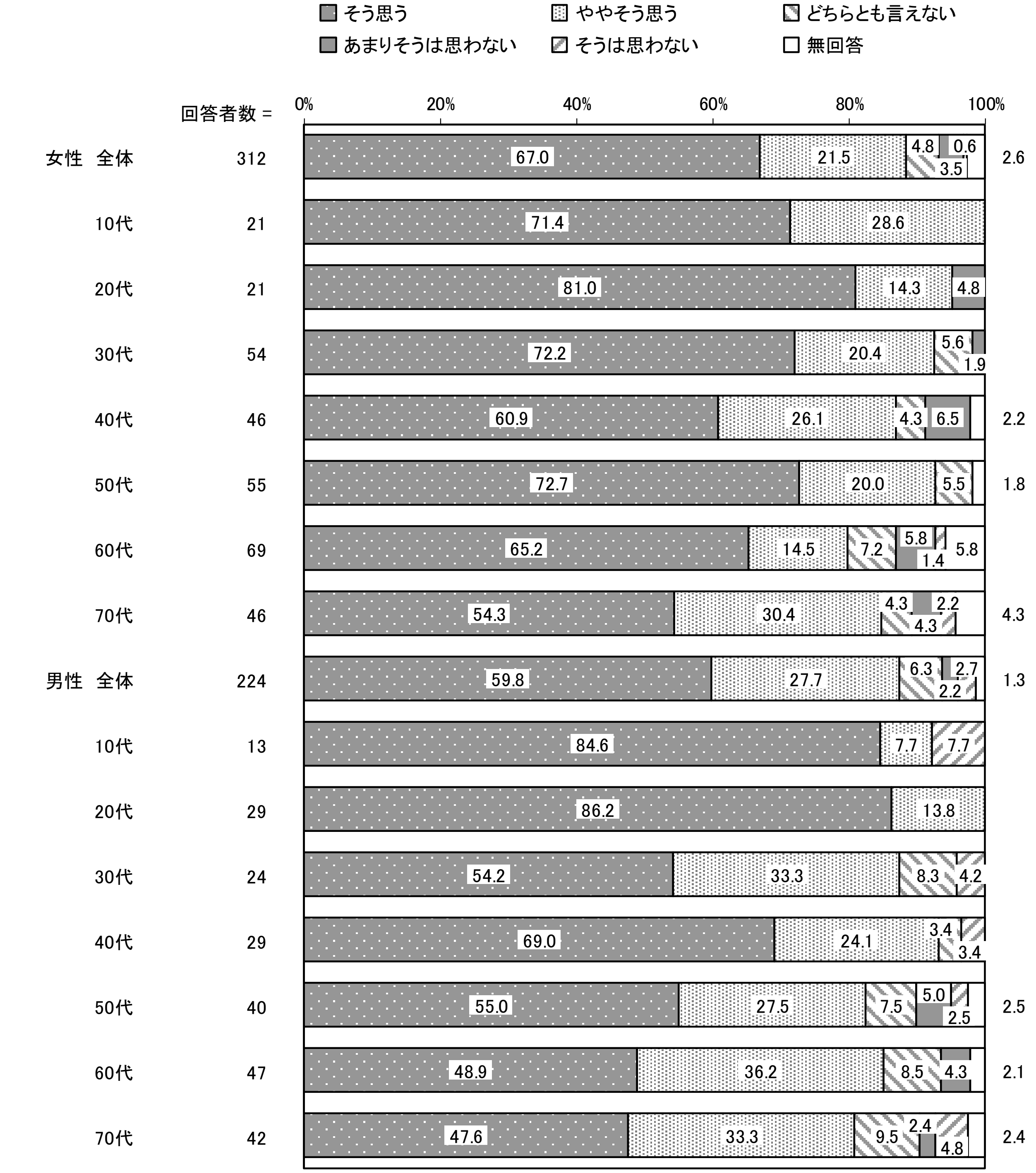
性・年代別でみると、他に比べ、男性 10 代で“そうは思わない”の割合が高くなっています。



4　家事は、夫婦等が互いに協力して行う

【性・年代別】

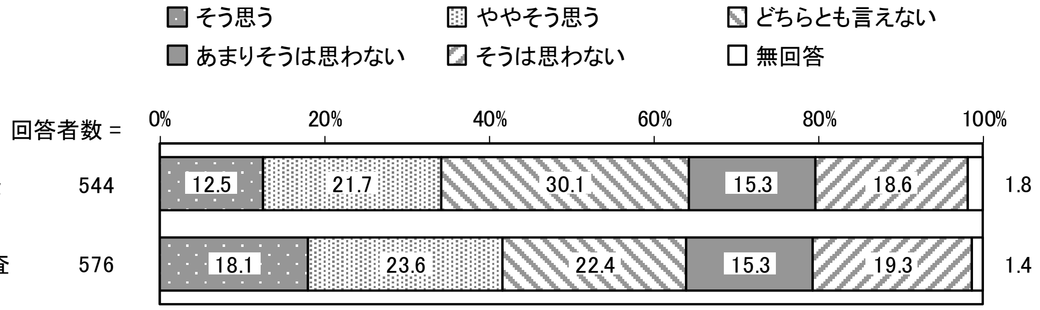
性・年代別でみると、他に比べ、女性10代、男性20代で“そう思う”の割合が高くなっています。



5　子どもが小さい時は、母親は外で働かない方がいい

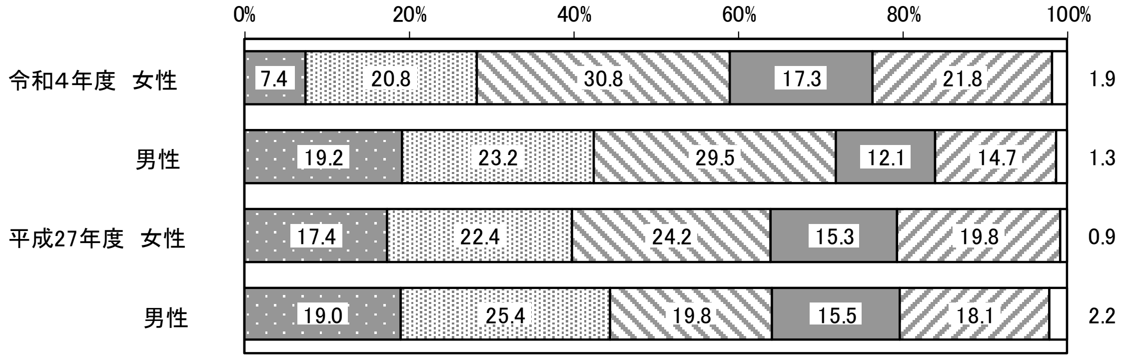
【経年比較】

平成 27 年度調査と比較すると、“そう思う”の割合が減少しています。



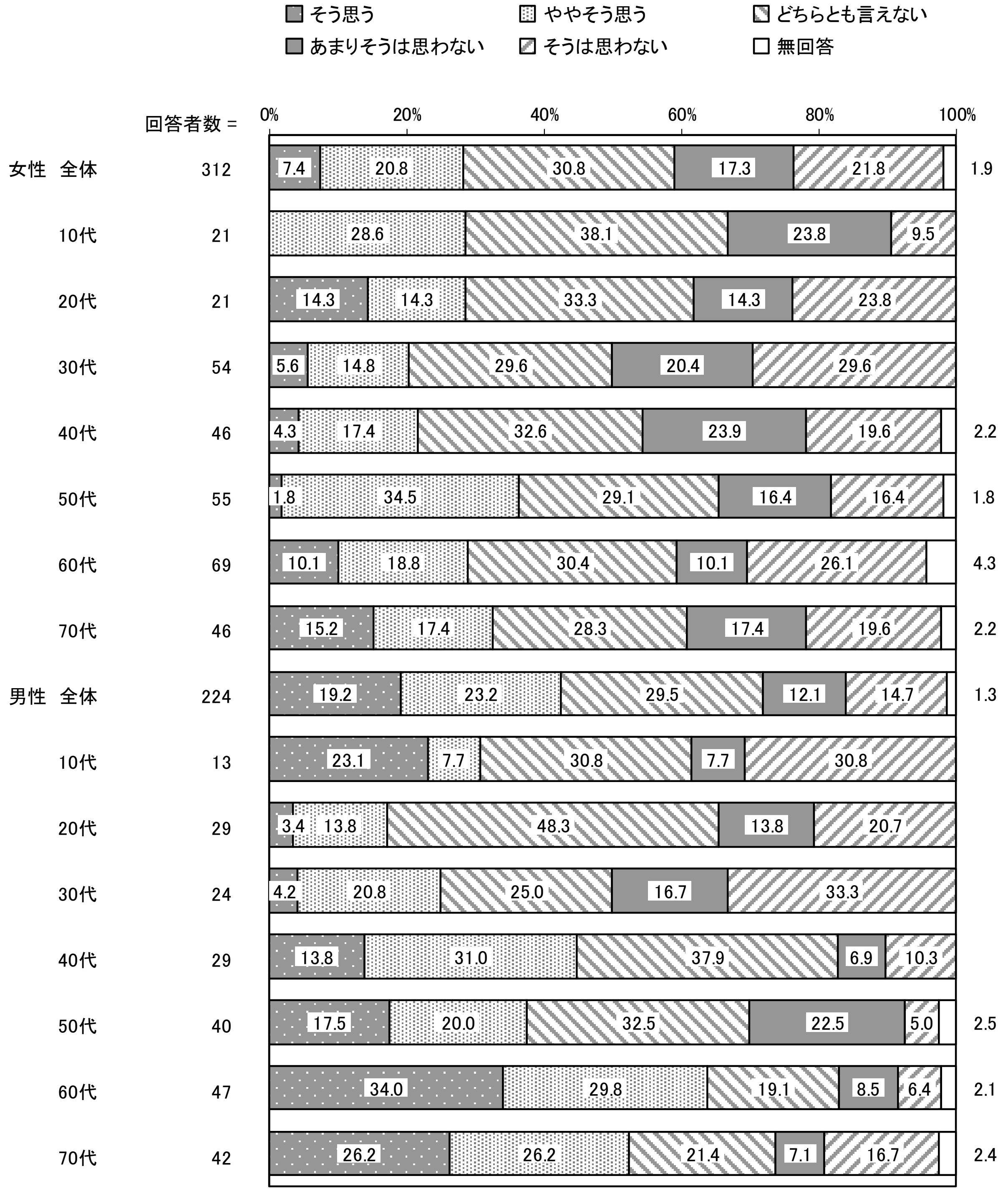

【経年比較　男女別】

男女別に平成 27 年度調査と比較すると、女性で“そう思う”の割合が減少しています。



【性・年代別】

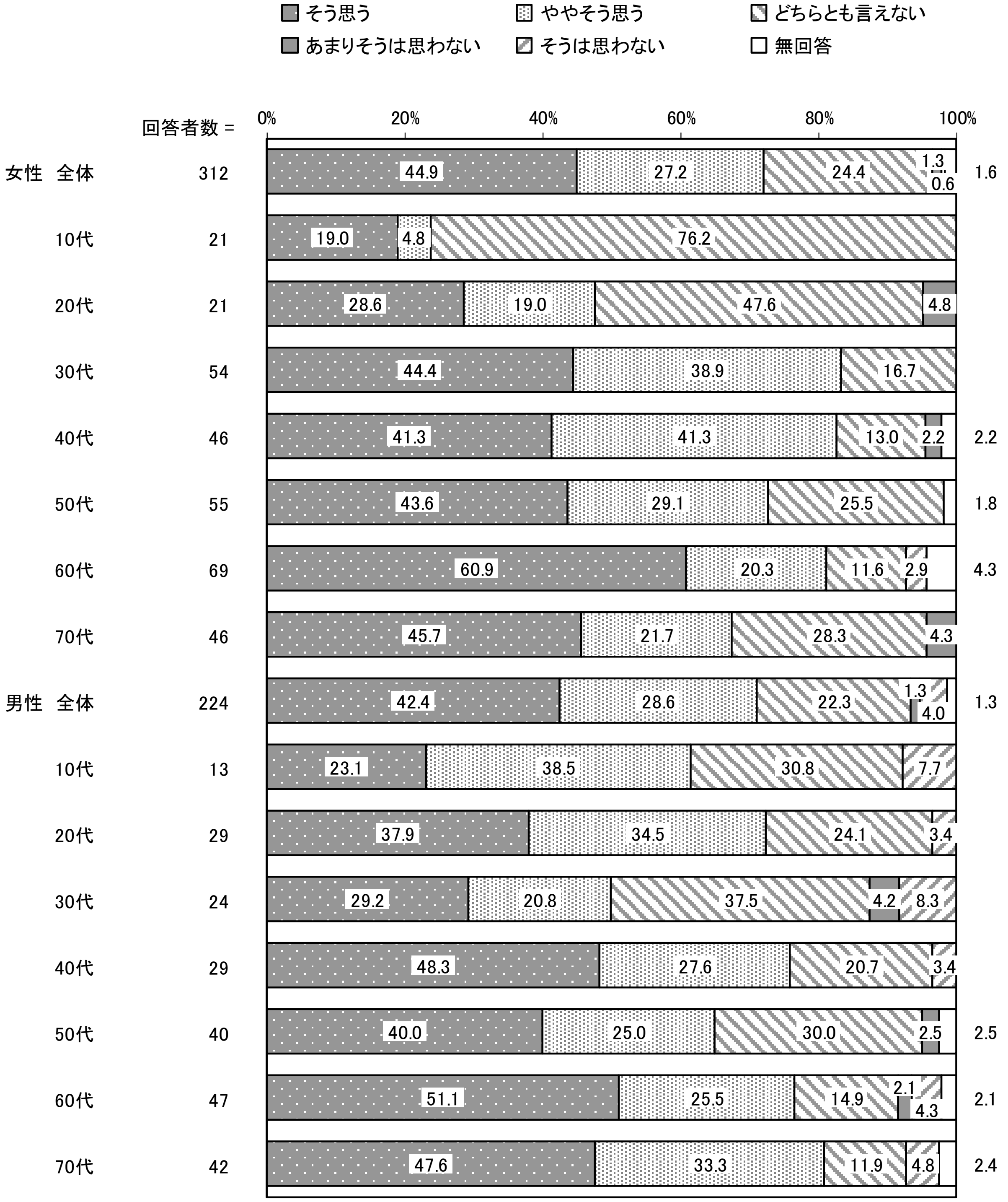
性・年代別でみると、他に比べ、男性 20 代で「どちらとも言えない」の割合が高くなっています。



### 6　子どもの有無にかかわらず、女性も仕事を持った方がいい

【性・年代別】

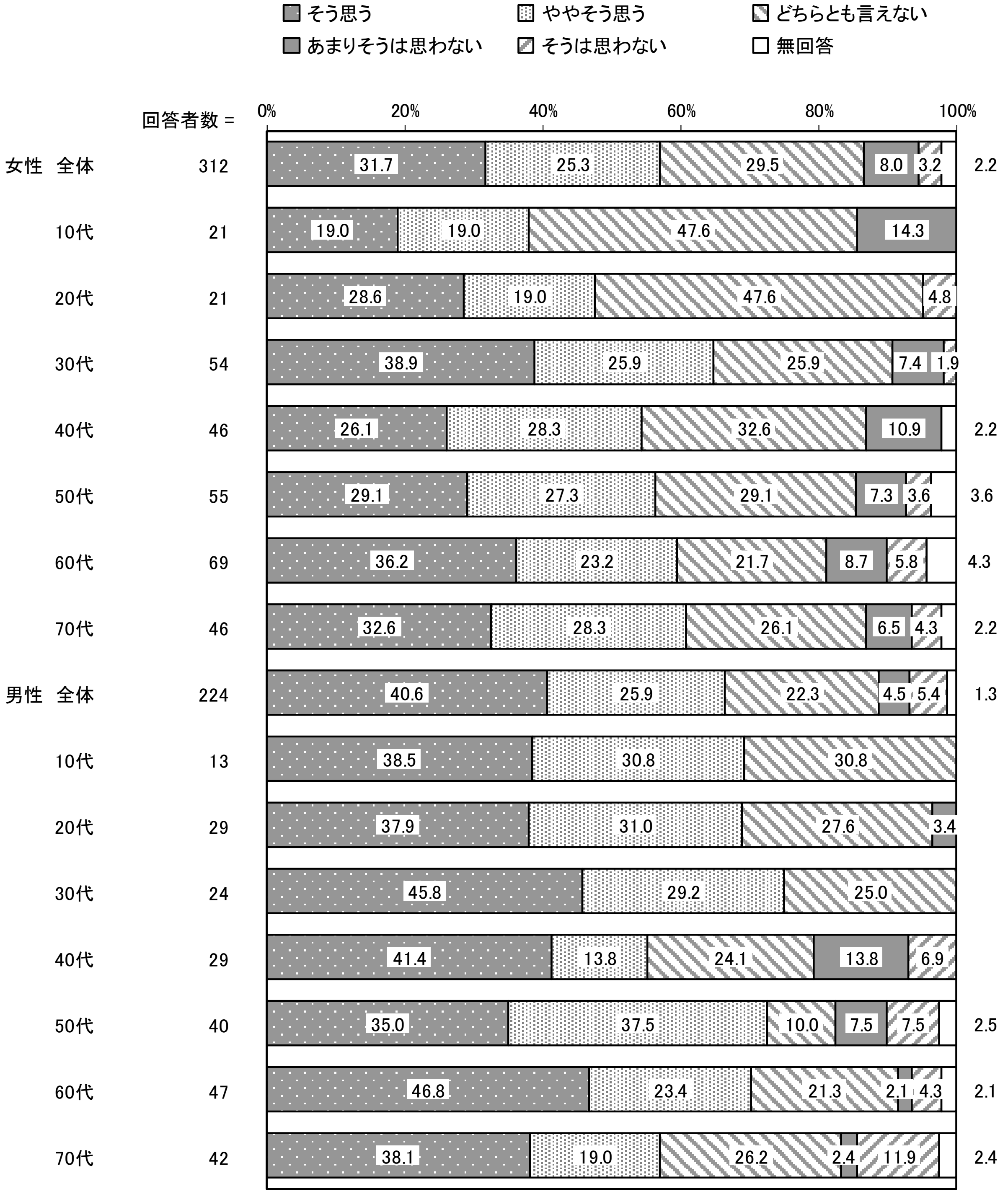
性・年代別でみると、他に比べ、女性10代で「どちらとも言えない」の割合が高くなっています。



## 7　仕事は労働時間に関わらず、成果をあげた者が評価される方がいい

### 【性・年代別】

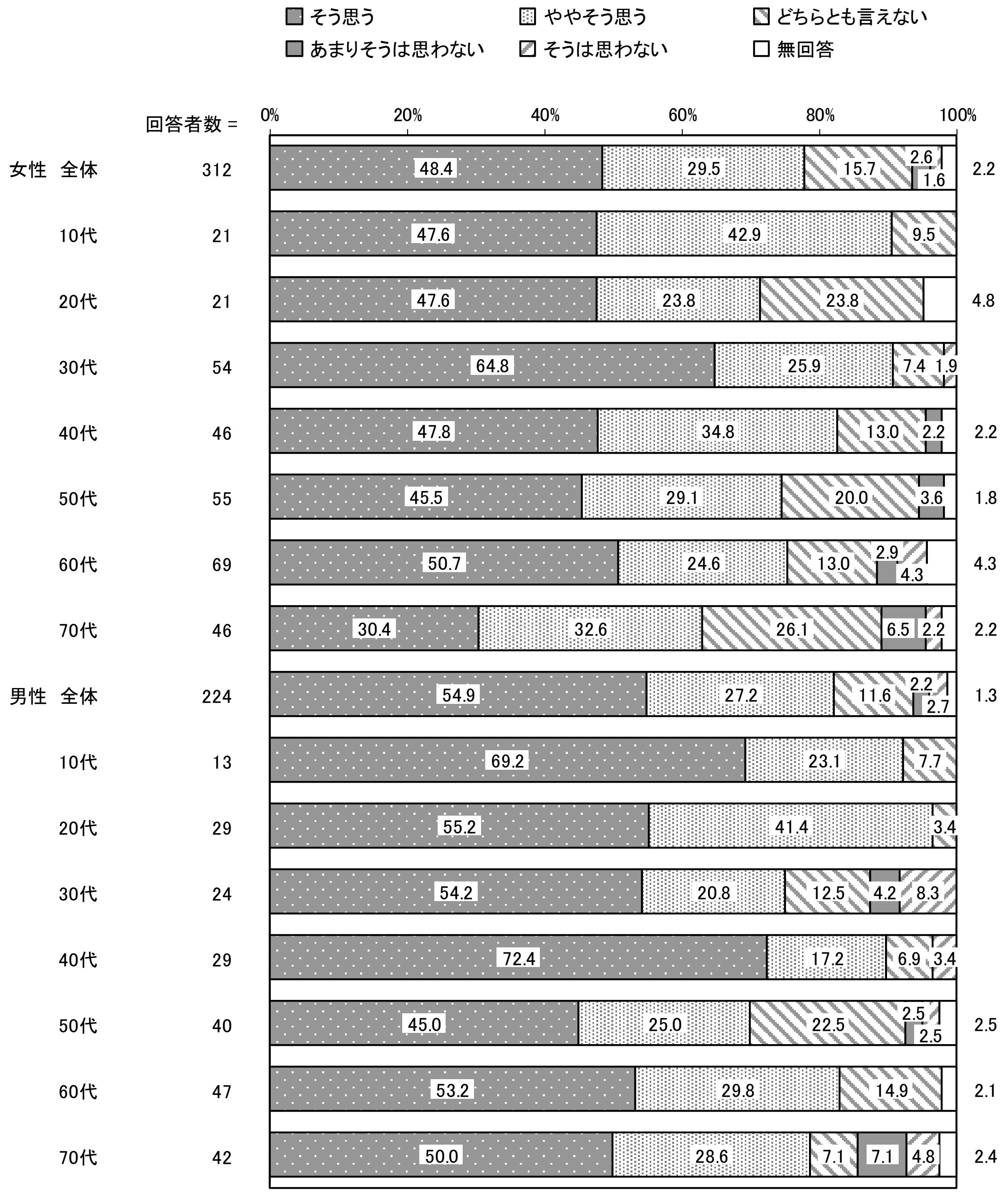
性・年代別でみると、他に比べ、男性40代で“そうは思わない”の割合が高くなっています。



8　仕事と家庭の両立を視野に、生活した方がいい

【性・年代別】

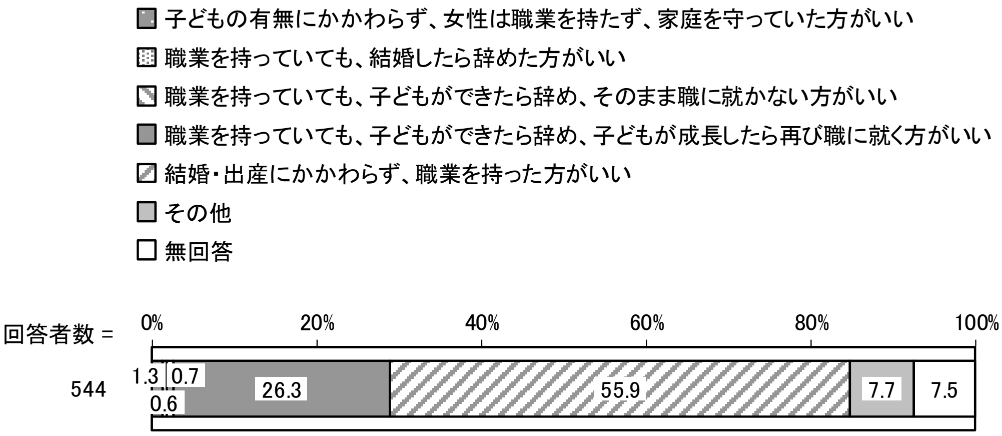
性・年代別でみると、他に比べ、男性 20 代で“そう思う”の割合が高くなっています。



2．仕事・職場（ワークライフバランス・女性活躍）について

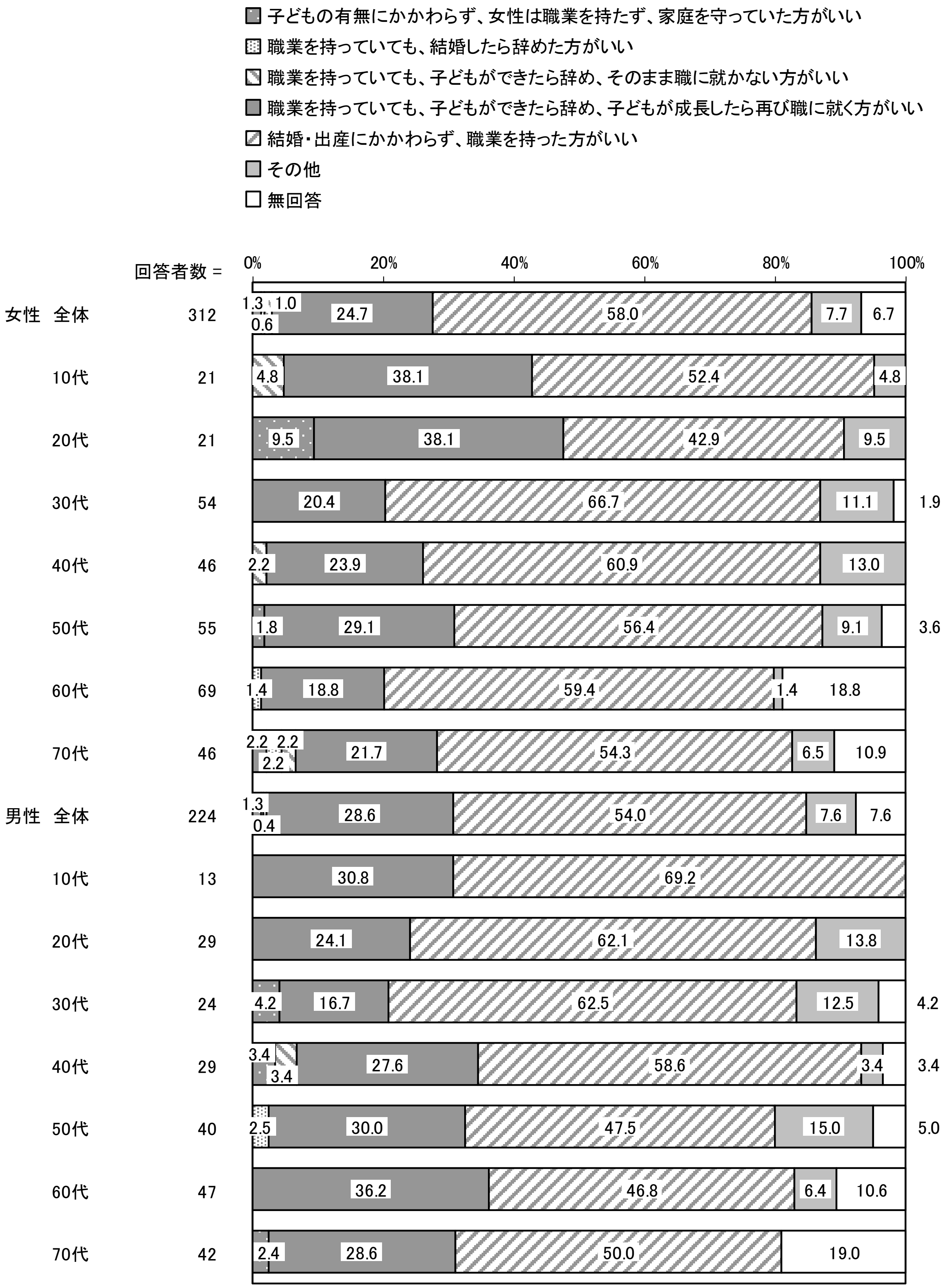
【問 11】　女性の働き方について、あなたの考えに一番近いもの１つに○をしてください。

「結婚・出産にかかわらず、職業を持った方がいい」の割合が 55.9％と最も高く、次いで「職業を持っていても、子どもができたら辞め、子どもが成長したら再び職に就く方がいい」の割合が 26.3％となっています。



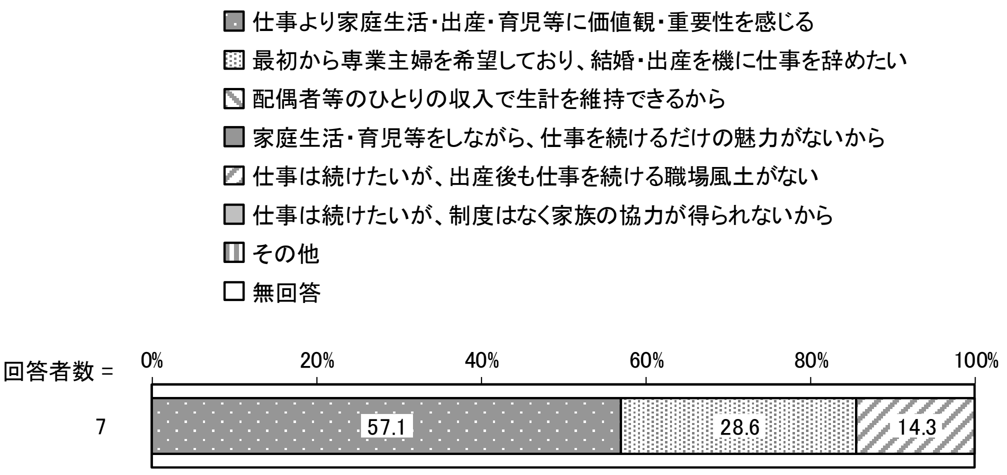
【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、女性20代で「子どもの有無にかかわらず、女性は職業を持たず、家庭を守っていた方がいい」の割合が高くなっています。



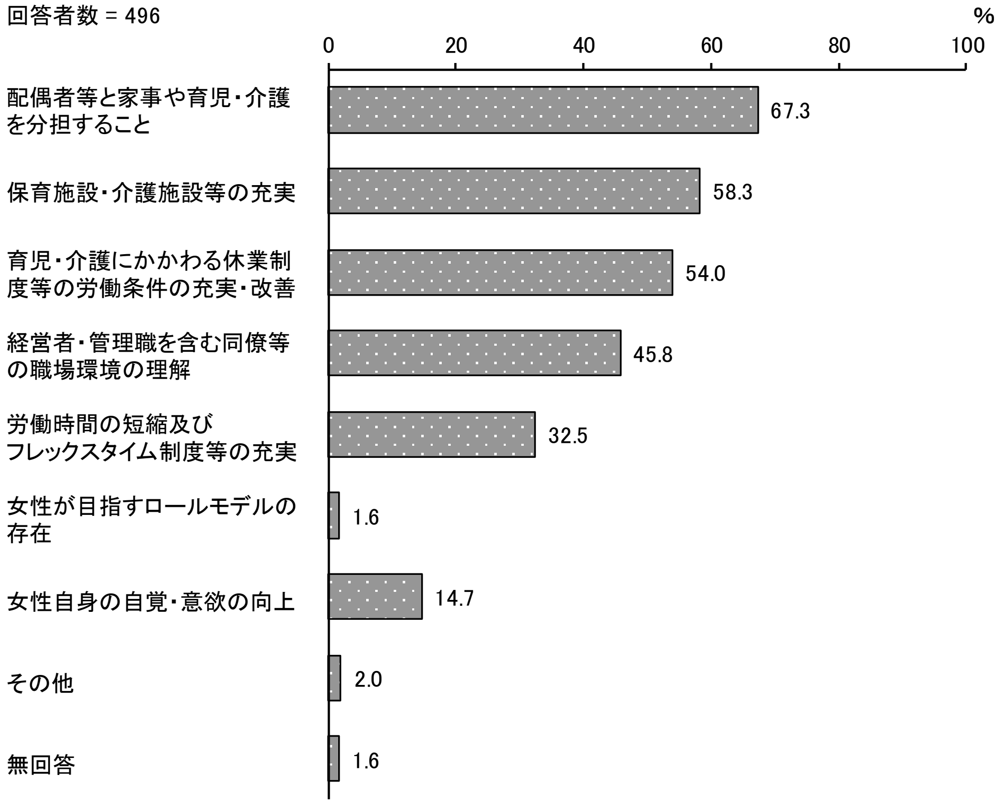
【問 12】　【問 11】で「２、３」を選択した方にお伺いします。
あなたの考えに一番近いもの１つに○をしてください。

「仕事より家庭生活・出産・育児等に価値観・重要性を感じる」が 4 件となっています。「最初から専業主婦を希望しており、結婚・出産を機に仕事を辞めたい」が 2 件、「仕事は続けたいが、出産後も仕事を続ける職場風土がない」が 1 件となっています。




【問 13】　【問 11】で「１、４、５、６」いずれかを選択した方にお伺いします。女性が、仕事を継続・再就職するうえで、重要だと思うものを３つまで○をしてください。

「配偶者等と家事や育児・介護を分担すること」の割合が 67.3%と最も高く、次いで「保育施設・介護施設等の充実」の割合が 58.3%、「育児・介護にかかわる休業制度等の労働条件の充実・改善」の割合が 54.0%となっています。



### 【戸籍上の性別】

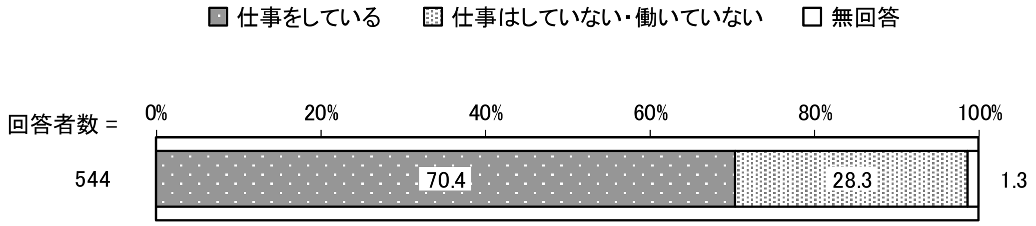
戸籍上の性別でみると、男性に比べ、女性で「配偶者等と家事や育児・介護を分担すること」「保育施設・介護施設等の充実」の割合が高くなっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | 配偶者等と家事や育児・介護を分担すること | 保育施設・介護施設等の充実 | 育児・介護にかかわる休業制度等の労働条件の充実・改善 | 経営者・管理職を含む同僚等の職場環境の理解 | 労働時間の短縮及びフレックスタイム制度等の充実 | 女性が目指すロールモデルの存在 | 女性自身の自覚・意欲の向上 | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 女性 | 286 | 74.1 | 62.2 | 53.8 | 47.2 | 31.8 | 1.0 | 12.2 | 1.0 | 1.7 |
| 男性 | 205 | 58.5 | 53.2 | 54.6 | 44.9 | 32.7 | 2.4 | 18.5 | 2.9 | 1.0 |

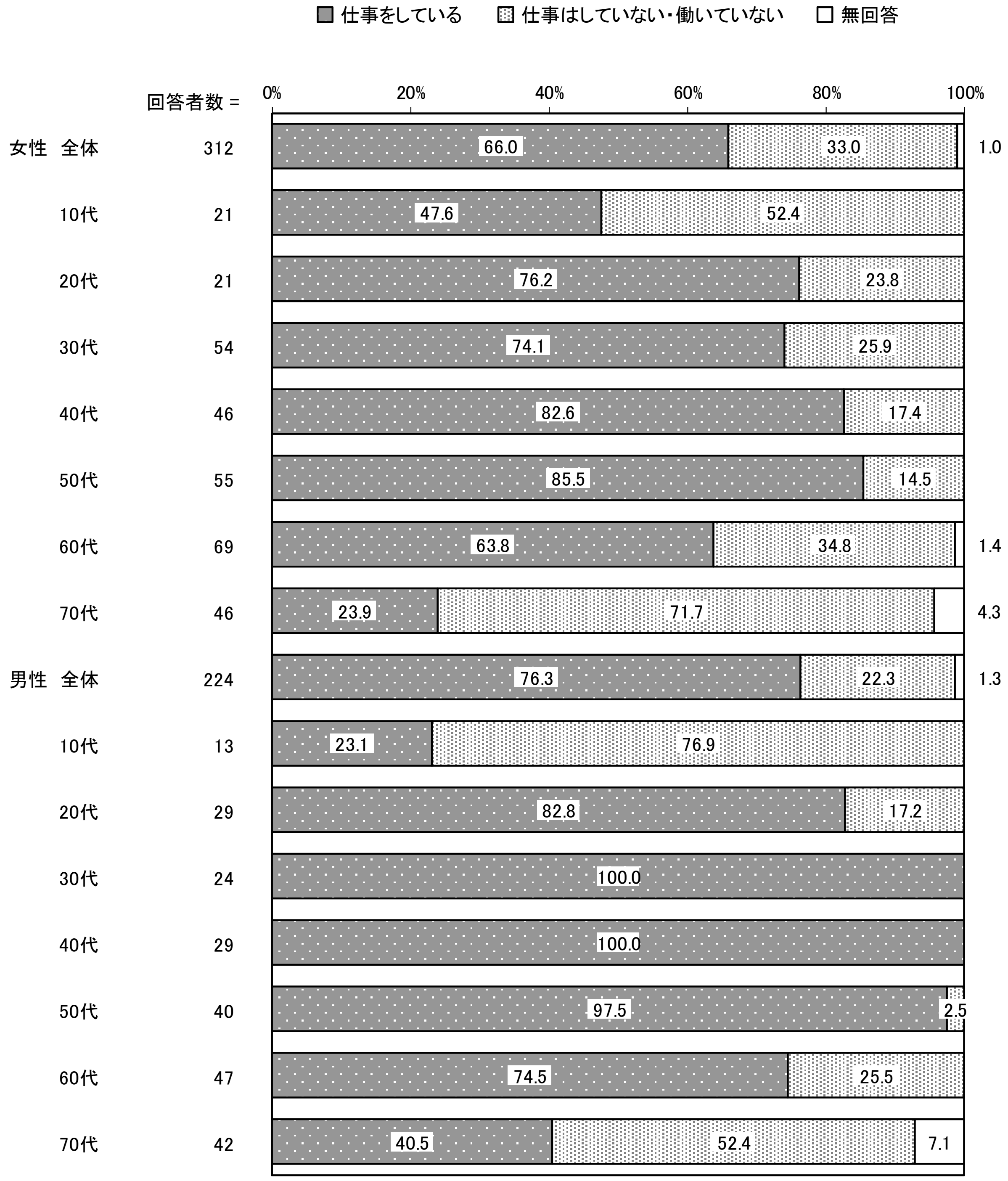
## 【問 14】　あなたは労働の対償（金銭等）を受け取る仕事をしていますか。

「仕事をしている」の割合が 70.4%、「仕事はしていない・働いていない」の割合が 28.3%となっています。



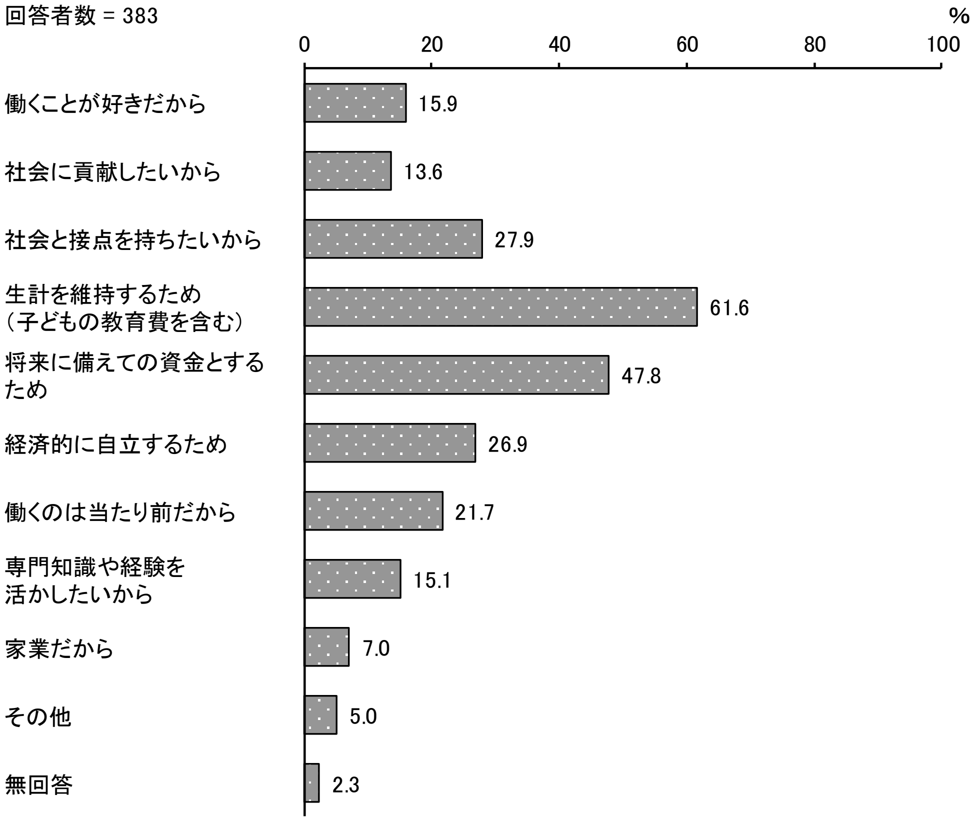
【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、男性 30 代、男性 40 代、男性 50 代で「仕事をしている」の割合が、女性 70 代、男性 10 代で「仕事はしていない・働いていない」の割合が高くなっています。



【問 14－a】　【問 14】で、「１　仕事をしている」を選択した方にお伺いします。あなたが仕事をしている理由は何ですか。あてはまるものを３つまで○をしてください。

「生計を維持するため（子どもの教育費を含む）」の割合が 61.6％と最も高く、次いで「将来に備えての資金とするため」の割合が 47.8％、「社会と接点を持ちたいから」の割合が 27.9％となっています。



**【性・年代別】**

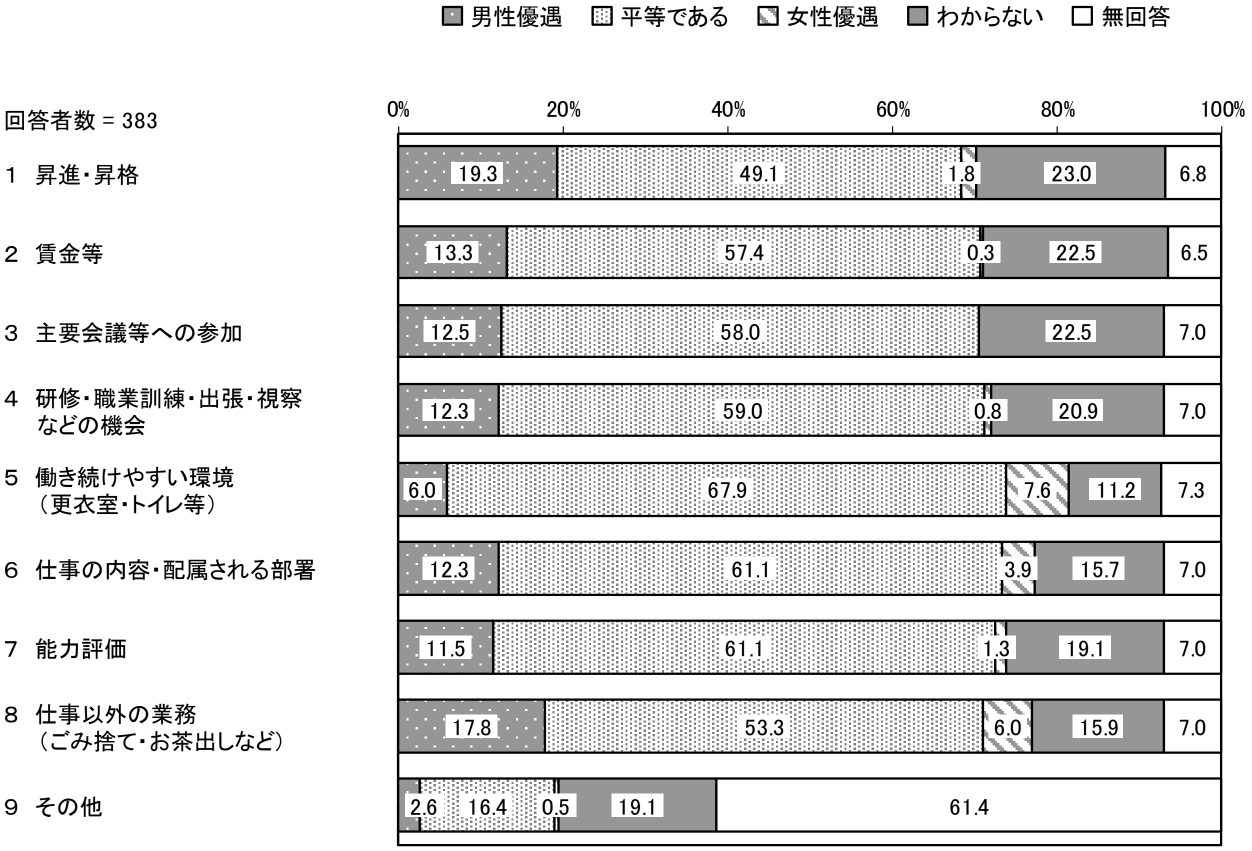
性・年代別でみると、他に比べ、男性70代で「社会に貢献したいから」の割合が、女性60代で「社会と接点を持ちたいから」の割合が高くなっています。また、女性30代で「生計を維持するため（子どもの教育費を含む)」の割合が高くなっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | 働くことが好きだから | 社会に貢献したいから | 社会と接点を持ちたいから | 生計を維持するため（子どもの教育費を含む） | 将来に備えての資金とするため | 経済的に自立するため | 働くのは当たり前だから | 専門知識や経験を活かしたいから | 家業だから | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 女性 全体 | 206 | 17.5 | 8.3 | 34.5 | 60.2 | 51.9 | 26.2 | 14.6 | 15.5 | 8.3 | 6.8 | 2.4 |
| 10代 | 10 | － | 10.0 | － | 40.0 | 70.0 | 60.0 | 20.0 | 20.0 | － | 10.0 | － |
| 20代 | 16 | 12.5 | 6.3 | 25.0 | 31.3 | 75.0 | 62.5 | 18.8 | 6.3 | － | 12.5 | － |
| 30代 | 40 | 17.5 | 7.5 | 35.0 | 90.0 | 50.0 | 35.0 | 15.0 | 15.0 | － | 5.0 | 2.5 |
| 40代 | 38 | 15.8 | 13.2 | 34.2 | 73.7 | 52.6 | 21.1 | 21.1 | 21.1 | 2.6 | 2.6 | － |
| 50代 | 47 | 12.8 | 8.5 | 36.2 | 63.8 | 53.2 | 12.8 | 8.5 | 10.6 | 14.9 | 4.3 | 2.1 |
| 60代 | 44 | 29.5 | 6.8 | 45.5 | 40.9 | 40.9 | 20.5 | 11.4 | 20.5 | 11.4 | 13.6 | 4.5 |
| 70代 | 11 | 18.2 | － | 27.3 | 27.3 | 45.5 | 9.1 | 18.2 | 9.1 | 36.4 | － | 9.1 |
| 男性 全体 | 171 | 14.0 | 19.9 | 19.9 | 63.7 | 42.7 | 28.1 | 30.4 | 15.2 | 5.8 | 2.9 | 1.8 |
| 10代 | 3 | 33.3 | － | 33.3 | － | 33.3 | － | － | － | － | 33.3 | － |
| 20代 | 24 | 12.5 | 25.0 | 12.5 | 41.7 | 50.0 | 50.0 | 41.7 | 16.7 | － | 4.2 | － |
| 30代 | 24 | 4.2 | 16.7 | 8.3 | 83.3 | 50.0 | 45.8 | 25.0 | 4.2 | － | 4.2 | － |
| 40代 | 29 | 17.2 | 20.7 | 17.2 | 79.3 | 55.2 | 24.1 | 31.0 | 13.8 | 3.4 | 3.4 | － |
| 50代 | 39 | 10.3 | 20.5 | 17.9 | 79.5 | 35.9 | 28.2 | 35.9 | 5.1 | 2.6 | － | － |
| 60代 | 35 | 17.1 | 8.6 | 31.4 | 60.0 | 45.7 | 20.0 | 17.1 | 25.7 | 11.4 | － | 5.7 |
| 70代 | 17 | 23.5 | 41.2 | 29.4 | 23.5 | 11.8 | － | 41.2 | 35.3 | 23.5 | 5.9 | 5.9 |

【問 14－b】　あなたが働いている職場では、性別によって仕事の内容や待遇面、評価などに差がありますか。それぞれ１つに○をしてください。

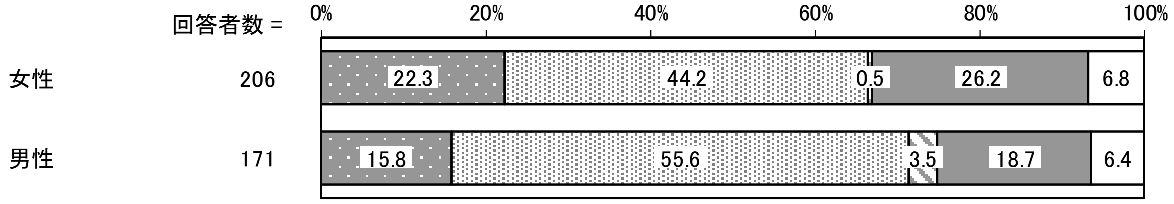
『５　働き続けやすい環境（更衣室・トイレ等）』で「平等である」の割合が高くなっています。




１　昇進・昇格

【性別】

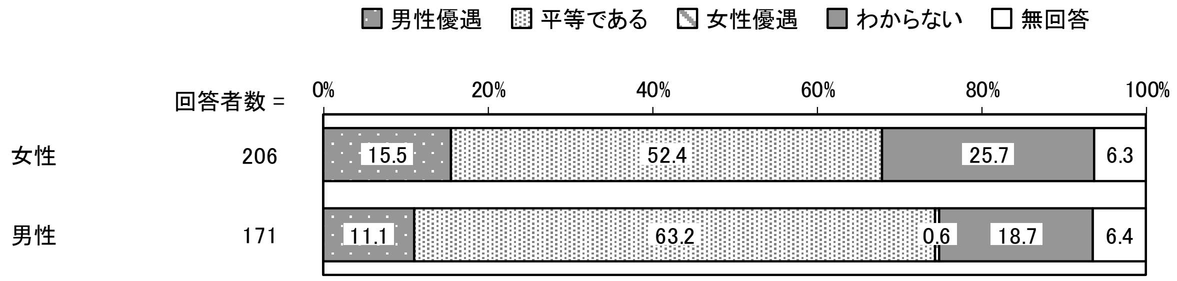
性別でみると、男性に比べ、女性で「男性優遇」「わからない」の割合が高くなっています。



## 2　賃金等

【性別】

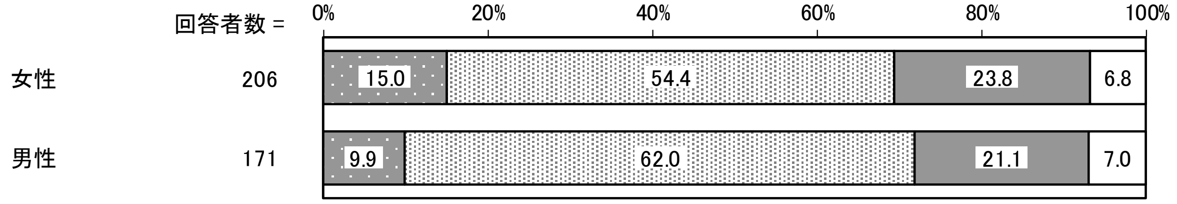
性別でみると、男性に比べ、女性で「わからない」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「平等である」の割合が高くなっています。




## 3　主要会議等への参加

【性別】

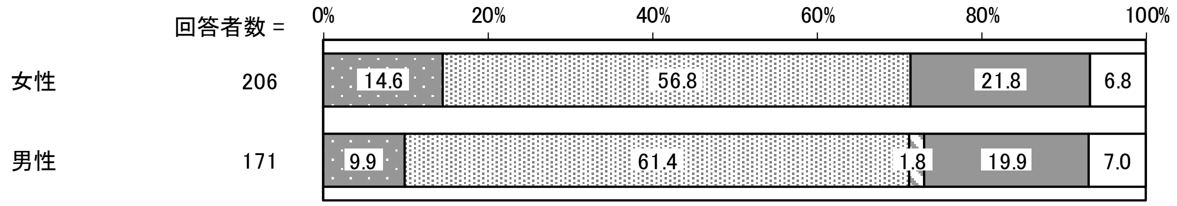
性別でみると、男性に比べ、女性で「男性優遇」の割合が高くなっています。




## 4　研修・職業訓練・出張・視察などの機会

【性別】

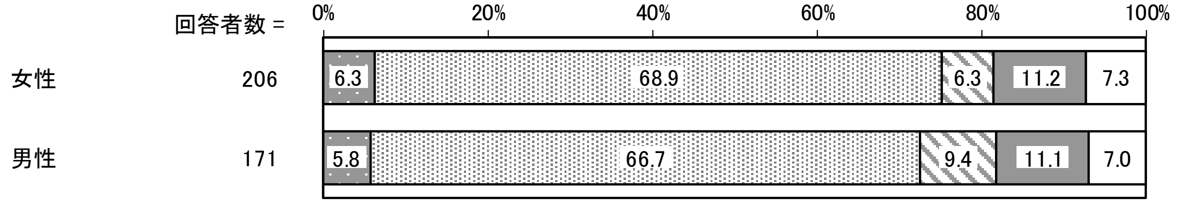
性別でみると、大きな差異はみられません。




## 5　働き続けやすい環境（更衣室・トイレ等）

【性別】

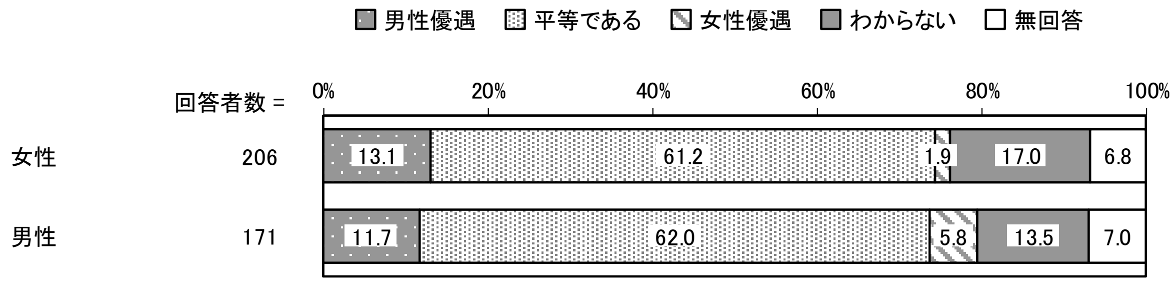
性別でみると、大きな差異はみられません。



6　仕事の内容・配属される部署

【性別】

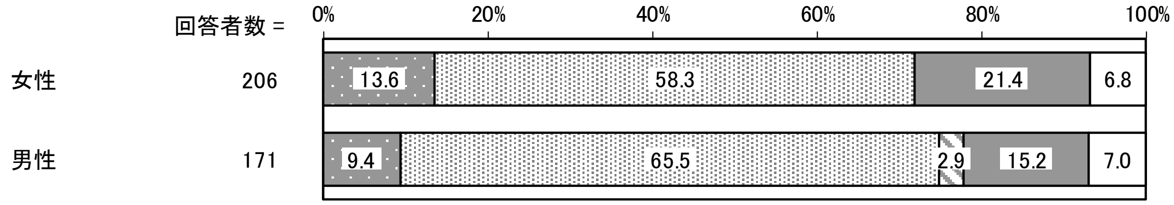
性別でみると、大きな差異はみられません。




7　能力評価

【性別】

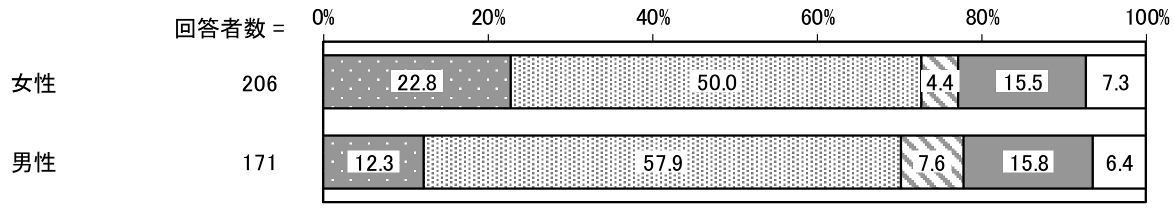
性別でみると、女性に比べ、男性で「平等である」の割合が高くなっています。




8　仕事以外の業務（ごみ捨て・お茶出しなど）

【性別】

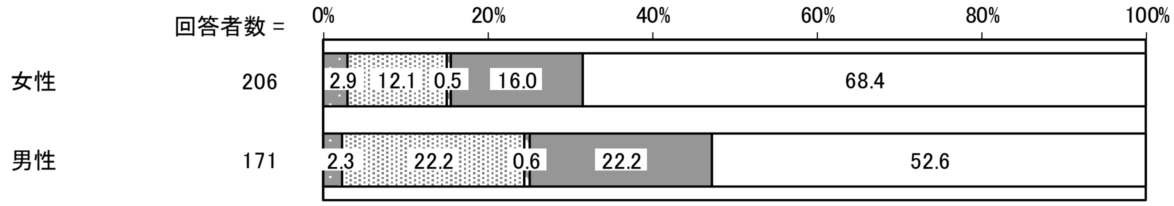
性別でみると、男性に比べ、女性で「男性優遇」の割合が高くなっています。




9　その他

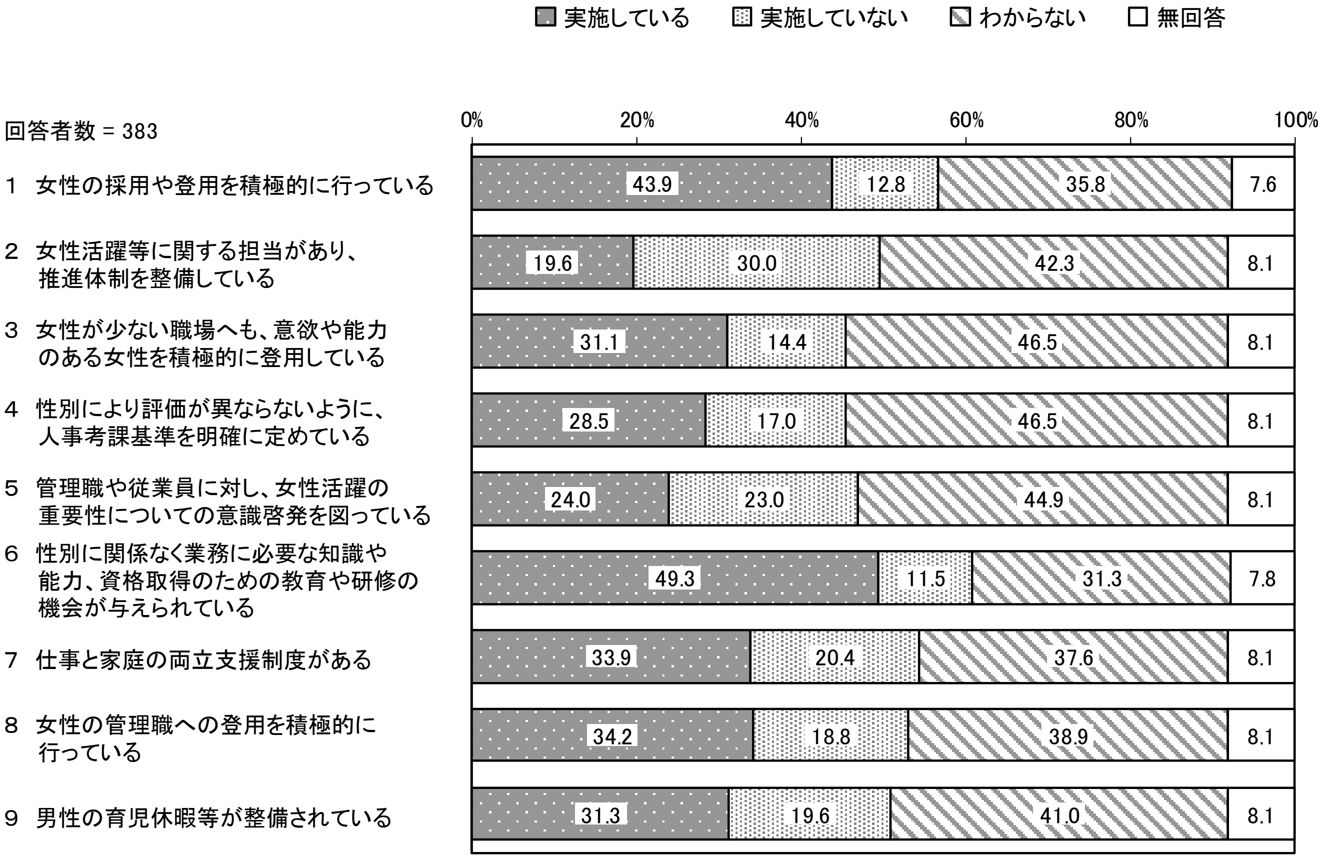
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「平等である」の割合が高くなっています。



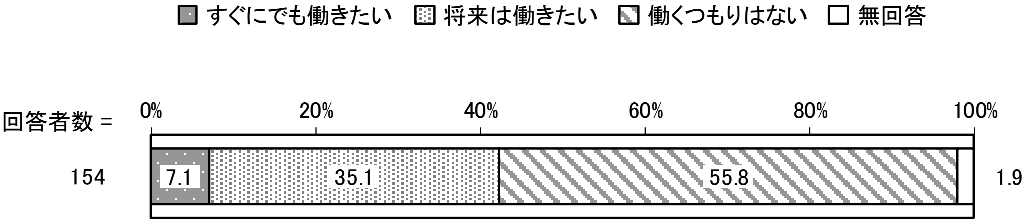
【問 14－c】　あなたが働いている職場では、女性活躍等を目的に次の取組はありますか。それぞれ１つに○をしてください。

『１　女性の採用や登用を積極的に行っている』『６　性別に関係なく業務に必要な知識や能力、資格取得のための教育や研修の機会が与えられている』で「実施している」の割合が、『２　女性活躍等に関する担当があり、推進体制を整備している』で「実施していない」の割合が高くなっています。



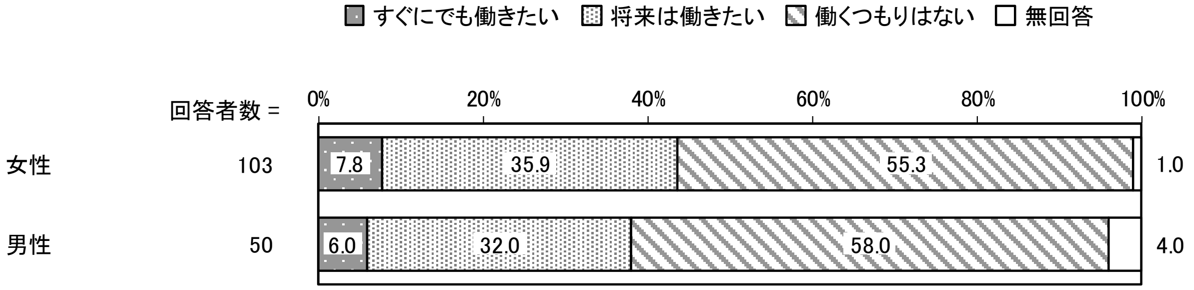

【問 14－d】　【問 14】で「２　仕事はしていない・働いていない」を選択した方にお伺いします。今後、対償（金銭等）を得て働きたいと思いますか。あてはまるもの１つに○をしてください。

「働くつもりはない」の割合が 55.8％と最も高く、次いで「将来は働きたい」の割合が 35.1％となっています。



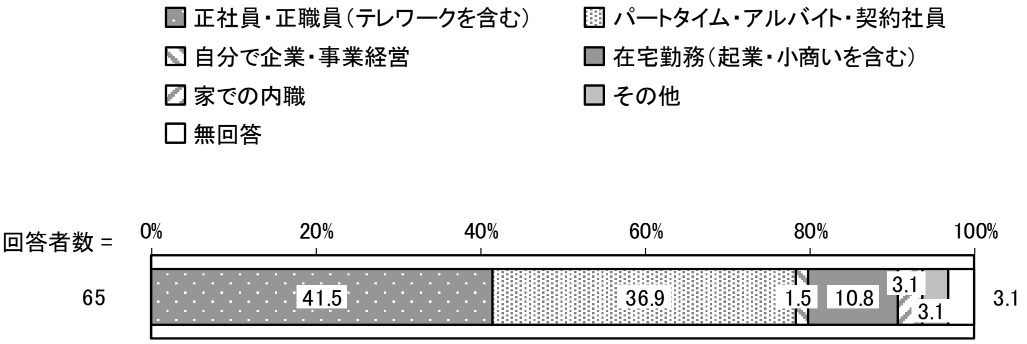
**【戸籍上の性別】**

戸籍上の性別でみると、大きな差異はみられません。



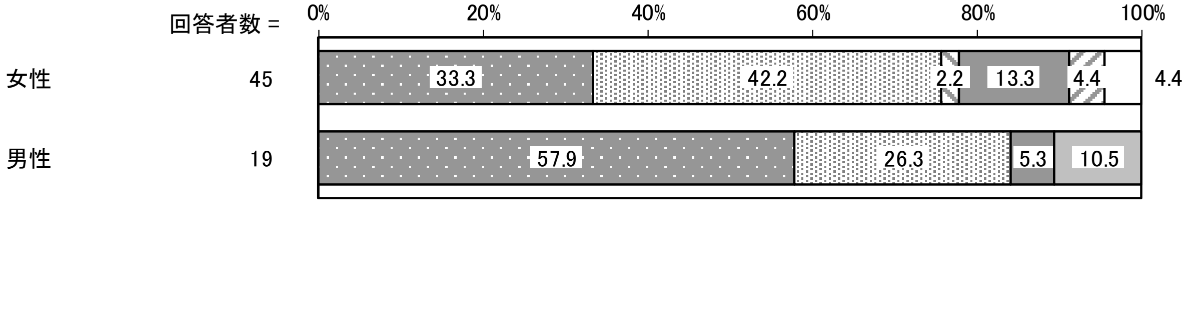

**【問 14－e】　【問 14－d】で「１または２」を選択した方にお伺いします。あなたは、どのような形で働きたいと思いますか。あてはまるもの１つに〇をしてください。**

「正社員・正職員（テレワークを含む)」の割合が 41.5％と最も高く、次いで「パートタイム・アルバイト・契約社員」の割合が 36.9％、「在宅勤務（起業・小商いを含む)」の割合が 10.8％となっています。



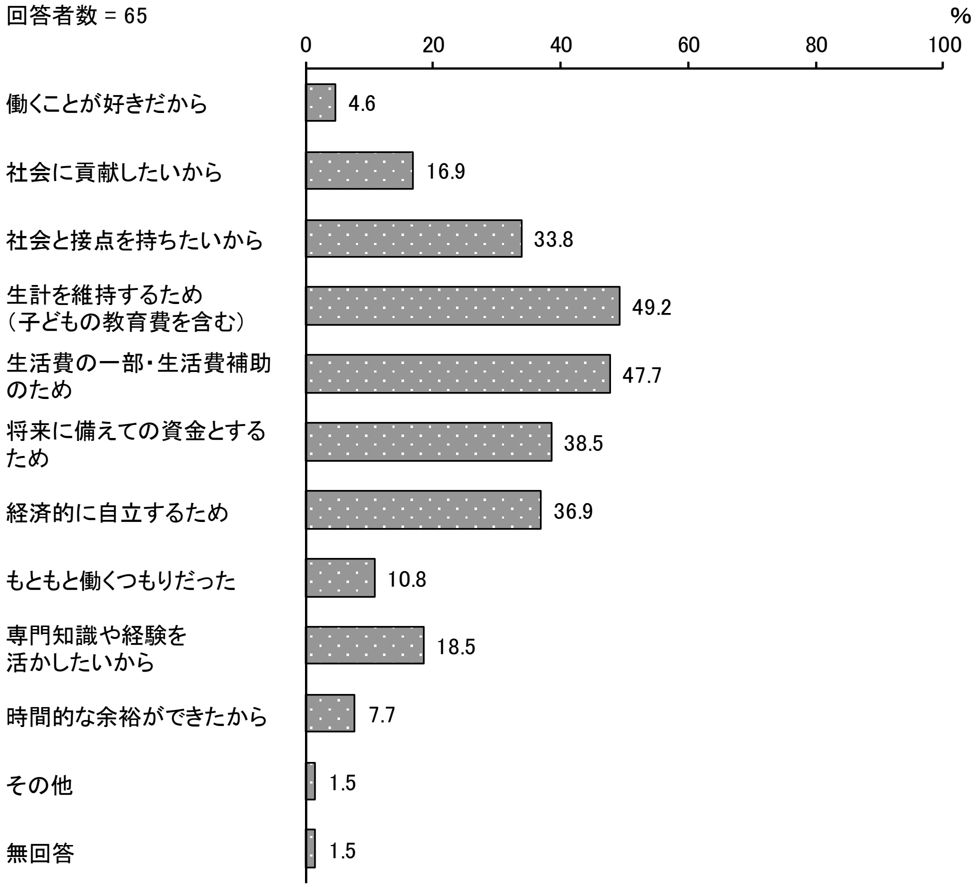

**【戸籍上の性別】**

戸籍上の性別でみると、女性に比べ、男性で「正社員・正職員（テレワークを含む)」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「パートタイム・アルバイト・契約社員」の割合が高くなっています。



【問 14－ｆ】あなたが働きたい理由は何ですか。
あてはまるもの３つまで○をしてください。

「生計を維持するため（子どもの教育費を含む）」の割合が 49.2％と最も高く、次いで「生活費の一部・生活費補助のため」の割合が 47.7％、「将来に備えての資金とするため」の割合が 38.5％となっています。




【戸籍上の性別】

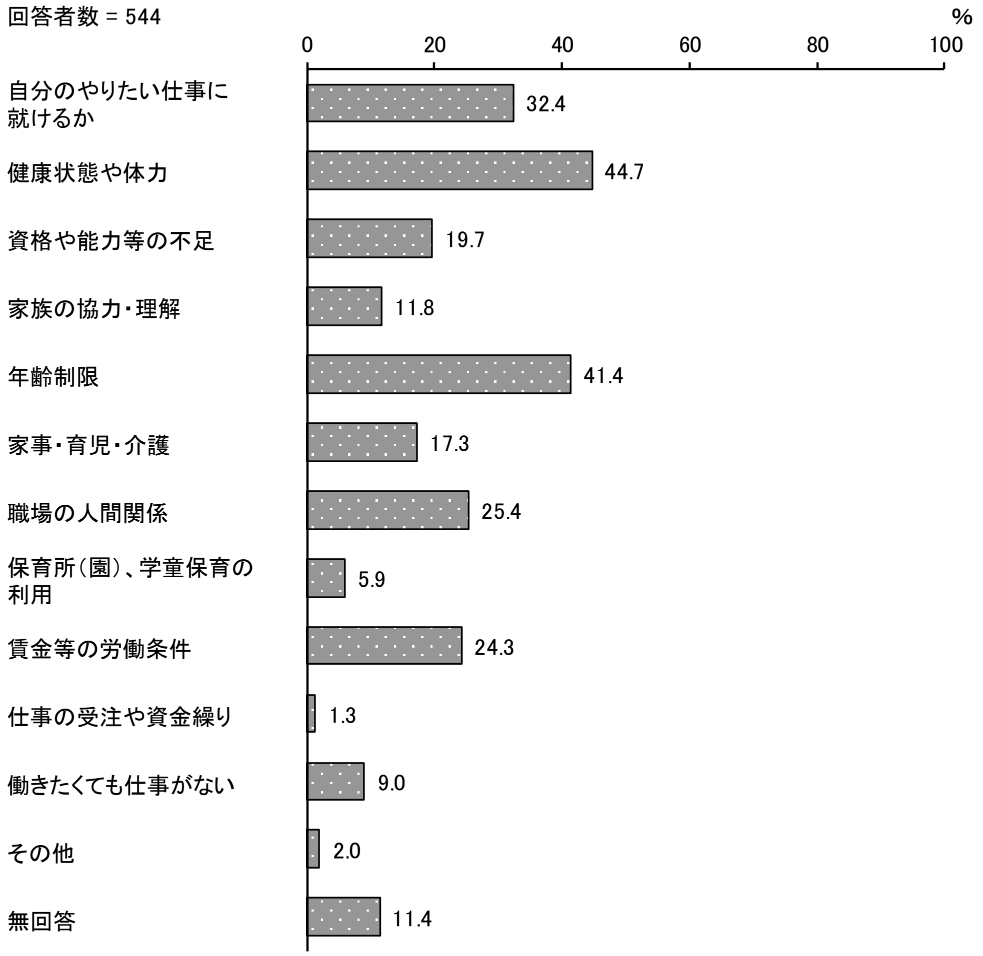
戸籍上の性別でみると、女性に比べ、男性で「社会に貢献したいから」「経済的に自立するため」「専門知識や経験を活かしたいから」「時間的な余裕ができたから」の割合が高くなっています。

単位：％

| 区分 | 回答者数（件） | 働くことが好きだから | 社会に貢献したいから | 社会と接点を持ちたいから | 生計を維持するため（子どもの教育費を含む） | 生活費の一部・生活費補助のため | 将来に備えての資金とするため | 経済的に自立するため | もともと働くつもりだった | 専門知識や経験を活かしたいから | 時間的な余裕ができたから | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 女性 | 45 | 6.7 | 15.6 | 33.3 | 51.1 | 55.6 | 42.2 | 28.9 | 13.3 | 11.1 | 4.4 | － | 2.2 |
| 男性 | 19 | － | 21.1 | 36.8 | 47.4 | 26.3 | 26.3 | 52.6 | 5.3 | 36.8 | 15.8 | 5.3 | － |

【問15】　あなたが仕事をする上で、また働きたいと思ったとき、支障となると思うことは何ですか。あてはまるもの３つまで○をしてください。

「健康状態や体力」の割合が 44.7％と最も高く、次いで「年齢制限」の割合が 41.4％、「自分のやりたい仕事に就けるか」の割合が 32.4％となっています。



【性・年代別】

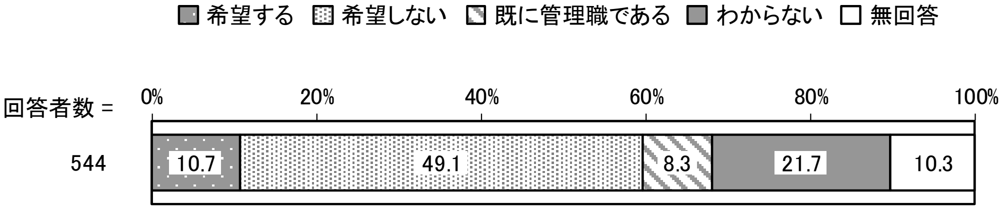
性・年代別でみると、他に比べ、男性 20 代で「自分のやりたい仕事に就けるか」の割合が、男性 70 代で「健康状態や体力」の割合が高くなっています。また、男性 20 代で「資格や能力等の不足」の割合が高くなっています。

単位：％

| 区分 | 回答者数（件） | 自分のやりたい仕事に就けるか | 健康状態や体力 | 資格や能力等の不足 | 家族の協力・理解 | 年齢制限 | 家事・育児・介護 | 職場の人間関係 | 保育所（園）、学童保育の利用 | 賃金等の労働条件 | 仕事の受注や資金繰り | 働きたくても仕事がない | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 女性　全体 | 312 | 28.5 | 41.7 | 20.8 | 15.4 | 41.7 | 26.9 | 28.2 | 8.0 | 22.1 | 0.3 | 9.9 | 1.6 | 9.3 |
| 10 代 | 21 | 42.9 | 28.6 | 19.0 | 14.3 | 23.8 | 23.8 | 52.4 | 4.8 | 47.6 | － | 9.5 | － | 4.8 |
| 20 代 | 21 | 38.1 | 38.1 | 19.0 | 14.3 | 4.8 | 38.1 | 57.1 | 19.0 | 42.9 | － | － | － | 4.8 |
| 30 代 | 54 | 29.6 | 16.7 | 18.5 | 22.2 | 11.1 | 53.7 | 35.2 | 33.3 | 33.3 | － | 3.7 | 1.9 | 5.6 |
| 40 代 | 46 | 34.8 | 43.5 | 26.1 | 15.2 | 41.3 | 32.6 | 32.6 | 2.2 | 37.0 | － | 2.2 | 2.2 | 4.3 |
| 50 代 | 55 | 27.3 | 52.7 | 27.3 | 16.4 | 47.3 | 29.1 | 27.3 | － | 12.7 | － | 3.6 | － | 9.1 |
| 60 代 | 69 | 18.8 | 58.0 | 21.7 | 11.6 | 65.2 | 10.1 | 15.9 | 1.4 | 8.7 | 1.4 | 26.1 | － | 13.0 |
| 70 代 | 46 | 26.1 | 39.1 | 10.9 | 13.0 | 60.9 | 8.7 | 10.9 | － | 4.3 | － | 13.0 | 6.5 | 17.4 |
| 男性　全体 | 224 | 36.6 | 49.6 | 18.3 | 6.7 | 41.5 | 4.0 | 21.4 | 2.7 | 26.8 | 2.7 | 8.0 | 2.2 | 14.3 |
| 10 代 | 13 | 38.5 | 23.1 | 23.1 | 7.7 | － | 15.4 | 46.2 | － | 53.8 | 7.7 | 7.7 | － | 15.4 |
| 20 代 | 29 | 55.2 | 31.0 | 37.9 | 10.3 | 10.3 | 3.4 | 48.3 | 10.3 | 41.4 | － | － | － | 13.8 |
| 30 代 | 24 | 41.7 | 41.7 | 16.7 | 8.3 | 29.2 | 16.7 | 20.8 | 12.5 | 16.7 | － | 8.3 | 4.2 | 12.5 |
| 40 代 | 29 | 37.9 | 48.3 | 31.0 | 13.8 | 41.4 | 3.4 | 24.1 | － | 58.6 | － | 6.9 | － | 3.4 |
| 50 代 | 40 | 40.0 | 52.5 | 15.0 | 2.5 | 47.5 | － | 22.5 | － | 25.0 | 2.5 | － | 2.5 | 22.5 |
| 60 代 | 47 | 34.0 | 51.1 | 4.3 | 2.1 | 66.0 | － | 8.5 | － | 21.3 | 4.3 | 10.6 | 2.1 | 14.9 |
| 70 代 | 42 | 19.0 | 71.4 | 14.3 | 7.1 | 50.0 | 2.4 | 7.1 | － | － | 4.8 | 19.0 | 4.8 | 14.3 |

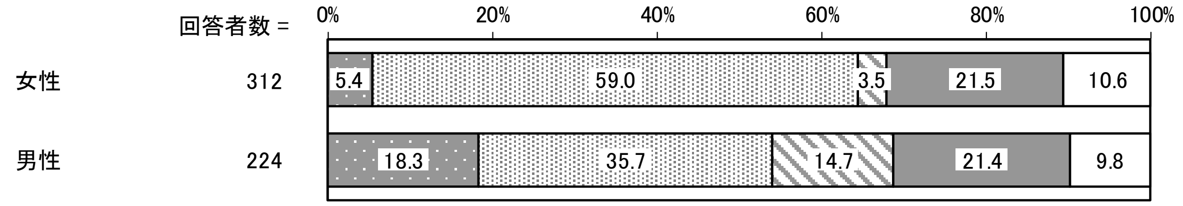
【問 16】　あなたは現在、管理職（課長相当職以上）への昇格を希望していますか。あてはまるもの１つに○をしてください。

「希望しない」の割合が 49.1％と最も高く、次いで「わからない」の割合が 21.7％、「希望する」の割合が 10.7％となっています。



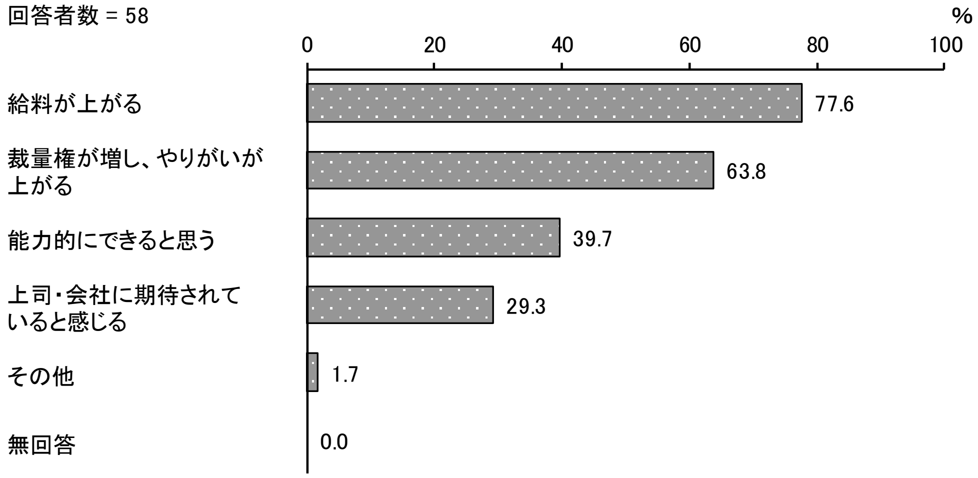

【戸籍上の性別】

戸籍上の性別でみると、男性に比べ、女性で「希望しない」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「希望する」「既に管理職である」の割合が高くなっています。




【問 16－a】　【問 16】で「１　希望する」とお答えの方に伺います。その理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をしてください。

「給料が上がる」の割合が 77.6％と最も高く、次いで「裁量権が増し、やりがいが上がる」の割合が 63.8％、「能力的にできると思う」の割合が 39.7％となっています。



【戸籍上の性別】

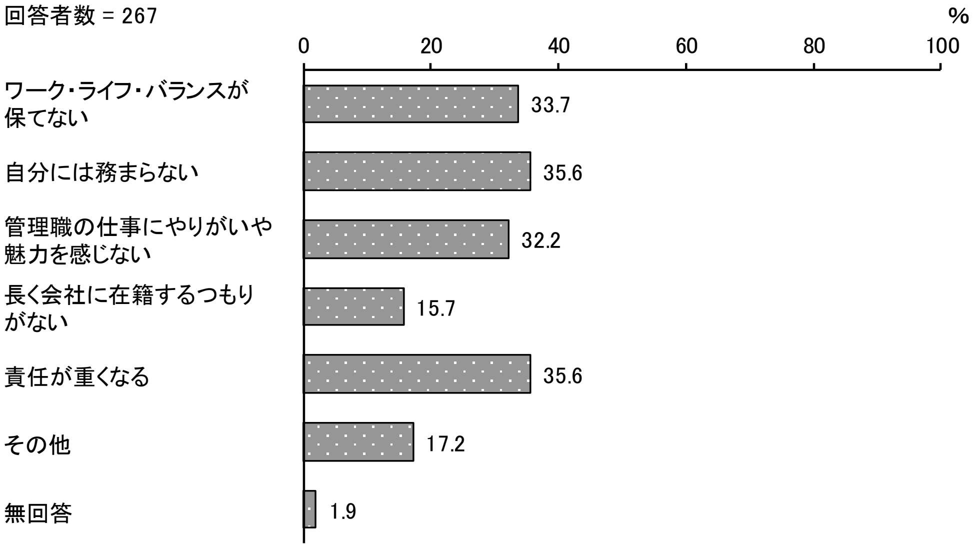
戸籍上の性別でみると、女性に比べ、男性で「給料が上がる」「能力的にできると思う」「上司・会社に期待されていると感じる」の割合が高くなっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | 給料が上がる | 裁量権が増し、やりがいが上がる | 能力的にできると思う | 上司・会社に期待されていると感じる | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 女性 | 17 | 70.6 | 64.7 | 35.3 | 11.8 | 5.9 | － |
| 男性 | 41 | 80.5 | 63.4 | 41.5 | 36.6 | － | － |

【問16－b】　【問16】で「２　希望しない」とお答えの方に伺います。
その理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をしてください。

「自分には務まらない」、「責任が重くなる」の割合が35.6%と最も高く、次いで「ワーク・ライフ・バランスが保てない」の割合が33.7%となっています。



【戸籍上の性別】

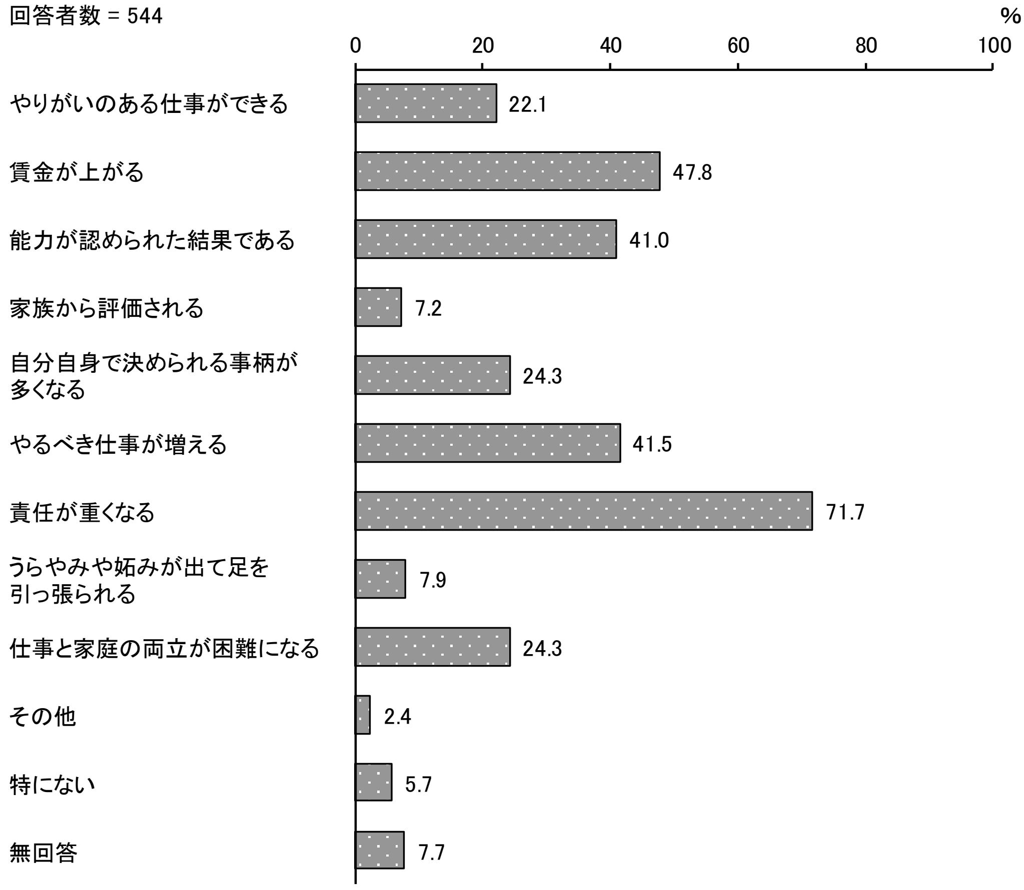
戸籍上の性別でみると、男性に比べ、女性で「自分には務まらない」「責任が重くなる」の割合が高くなっています。

単位：％

| 区分 | 回答者数（件） | ワーク・ライフ・バランスが保てない | 自分には務まらない | 管理職の仕事にやりがいや魅力を感じない | 長く会社に在籍するつもりがない | 責任が重くなる | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 女性 | 184 | 34.8 | 41.8 | 29.3 | 14.7 | 40.8 | 14.7 | 1.6 |
| 男性 | 80 | 31.3 | 22.5 | 37.5 | 18.8 | 23.8 | 23.8 | 2.5 |

【問 17】　あなたは、管理職以上に昇進することについてどのようなイメージを持っていますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

「責任が重くなる」の割合が 71.7％と最も高く、次いで「賃金が上がる」の割合が 47.8％、「やるべき仕事が増える」の割合が 41.5％となっています。



【戸籍上の性別】

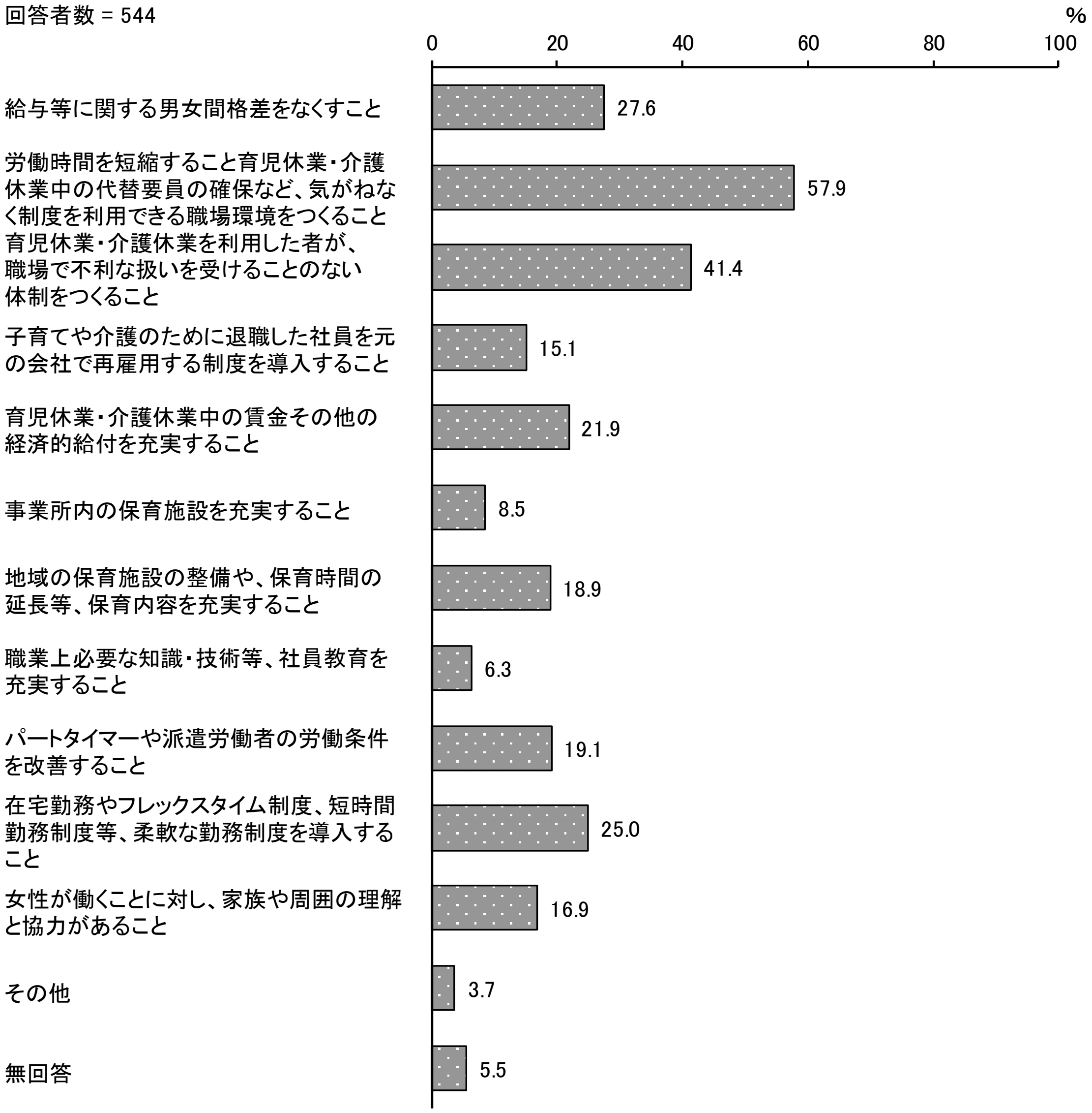
戸籍上の性別でみると、男性に比べ、女性で「やるべき仕事が増える」「責任が重くなる」「仕事と家庭の両立が困難になる」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「自分自身で決められる事柄が多くなる」の割合が高くなっています。

単位：％

| 区分 | 回答者数（件） | やりがいのある仕事ができる | 賃金が上がる | 能力が認められた結果である | 家族から評価される | 自分自身で決められる事柄が多くなる | やるべき仕事が増える | 責任が重くなる | うらやみや妬みが出て足を引っ張られる | 仕事と家庭の両立が困難になる | その他 | 特にない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 女性 | 312 | 22.8 | 47.1 | 42.0 | 5.4 | 20.5 | 43.6 | 73.7 | 8.7 | 30.1 | 1.3 | 4.8 | 7.7 |
| 男性 | 224 | 21.4 | 48.7 | 39.7 | 9.8 | 29.0 | 38.4 | 68.3 | 6.7 | 15.2 | 3.6 | 7.1 | 8.0 |

【問 18】　すべての人が、仕事と家庭の両立を実現するためには、どのような条件が必要だと思いますか。あてはまるもの３つまで○をしてください。

「労働時間を短縮すること育児休業・介護休業中の代替要員の確保など、気がねなく制度を利用できる職場環境をつくること」の割合が 57.9％と最も高く、次いで「育児休業・介護休業を利用した者が、職場で不利な扱いを受けることのない体制をつくること」の割合が 41.4％、「給与等に関する男女間格差をなくすこと」の割合が 27.6％となっています。



**【性・年代別】**

性・年代別でみると、他に比べ、女性 10 代で「給与等に関する男女間格差をなくすこと」の割合が、女性 20 代で「労働時間を短縮すること育児休業・介護休業中の代替要員の確保など、気がねなく制度を利用できる職場環境をつくること」「在宅勤務やフレックスタイム制度、短時間勤務制度等、柔軟な勤務制度を導入すること」の割合が高くなっています。また、女性 30 代で「育児休業・介護休業中の賃金その他の経済的給付を充実すること」の割合が高くなっています。

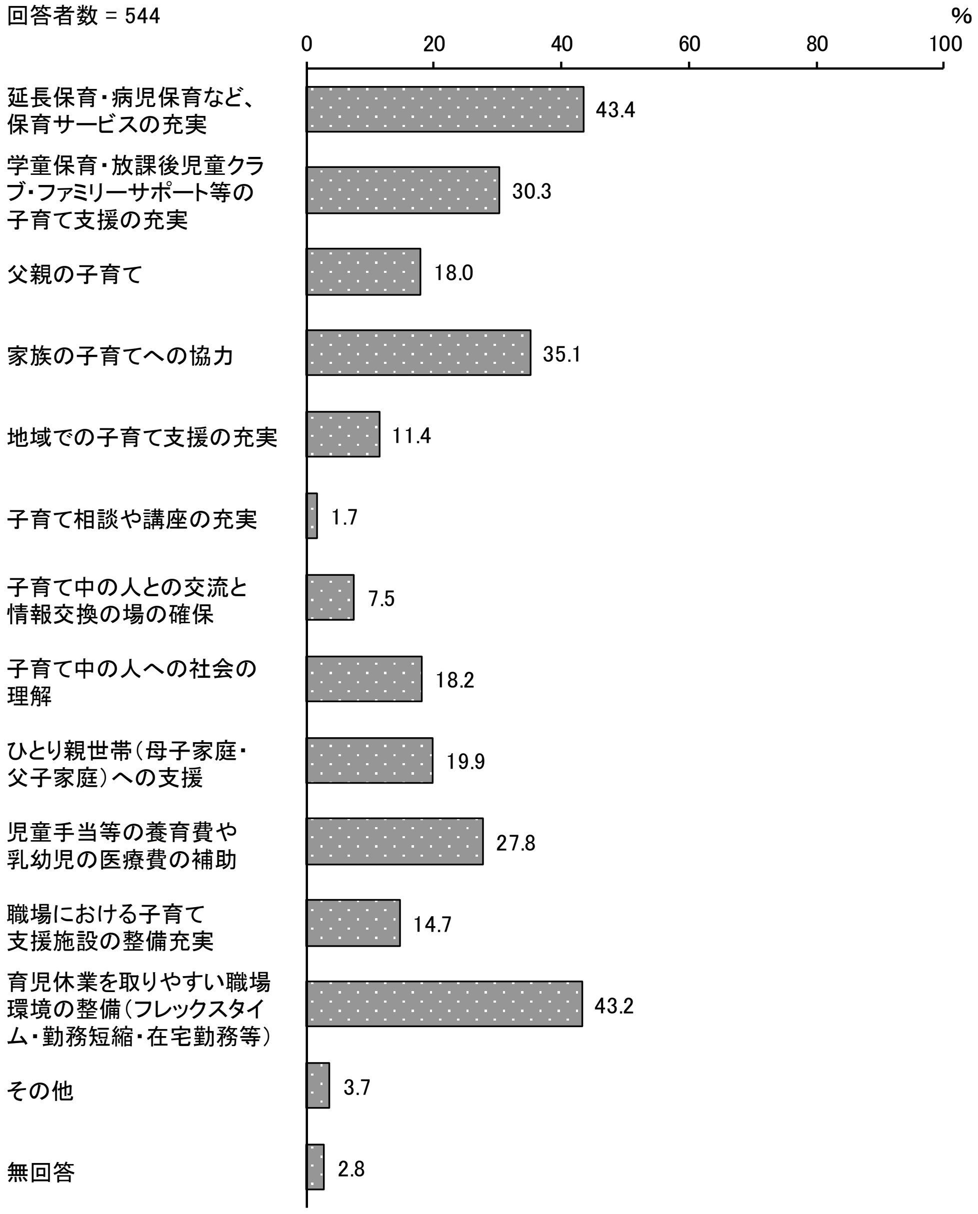
単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | 給与等に関する男女間格差をなくすこと | 労働時間を短縮すること育児休業・介護休業中の代替要員の確保など、気がねなく制度を利用できる職場環境をつくること | 育児休業・介護休業を利用した者が、職場で不利な扱いを受けることのない体制をつくること | 子育てや介護のために退職した社員を元の会社で再雇用する制度を導入すること | 育児休業・介護休業中の賃金その他の経済的給付を充実すること | 事業所内の保育施設を充実すること | 地域の保育施設の整備や、保育時間の延長等、保育内容を充実すること | 職業上必要な知識・技術等、社員教育を充実すること | パートタイマーや派遣労働者の労働条件を改善すること | 在宅勤務やフレックスタイム制度、短時間勤務制度等、柔軟な勤務制度を導入すること | 女性が働くことに対し、家族や周囲の理解と協力があること | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 女性　全体 | 312 | 31.1 | 60.3 | 39.4 | 14.1 | 21.2 | 8.0 | 17.3 | 5.4 | 20.2 | 25.0 | 22.1 | 2.2 | 5.1 |
| 10 代 | 21 | 47.6 | 57.1 | 57.1 | 14.3 | 19.0 | 4.8 | 19.0 | 9.5 | ― | 19.0 | 33.3 | ― | 4.8 |
| 20 代 | 21 | 23.8 | 81.0 | 38.1 | 4.8 | 23.8 | 9.5 | 23.8 | ― | 14.3 | 52.4 | 9.5 | ― | ― |
| 30 代 | 54 | 24.1 | 72.2 | 48.1 | 7.4 | 38.9 | 7.4 | 29.6 | 3.7 | 14.8 | 31.5 | 11.1 | ― | 1.9 |
| 40 代 | 46 | 26.1 | 56.5 | 28.3 | 19.6 | 19.6 | 2.2 | 13.0 | 6.5 | 23.9 | 23.9 | 23.9 | 4.3 | 4.3 |
| 50 代 | 55 | 34.5 | 67.3 | 34.5 | 10.9 | 14.5 | 7.3 | 18.2 | 7.3 | 27.3 | 18.2 | 18.2 | 3.6 | 1.8 |
| 60 代 | 69 | 33.3 | 47.8 | 37.7 | 15.9 | 23.2 | 8.7 | 14.5 | 2.9 | 24.6 | 24.6 | 23.2 | 2.9 | 10.1 |
| 70 代 | 46 | 32.6 | 52.2 | 41.3 | 21.7 | 6.5 | 15.2 | 6.5 | 8.7 | 19.6 | 17.4 | 37.0 | 2.2 | 8.7 |
| 男性　全体 | 224 | 23.2 | 54.5 | 45.1 | 15.6 | 22.3 | 9.4 | 21.0 | 7.6 | 16.5 | 25.4 | 10.3 | 5.4 | 6.3 |
| 10 代 | 13 | 38.5 | 76.9 | 38.5 | 7.7 | 23.1 | 15.4 | 30.8 | 7.7 | 7.7 | 15.4 | 30.8 | ― | ― |
| 20 代 | 29 | 34.5 | 48.3 | 51.7 | 10.3 | 31.0 | 13.8 | 13.8 | 6.9 | 17.2 | 31.0 | 6.9 | 10.3 | 3.4 |
| 30 代 | 24 | 16.7 | 54.2 | 50.0 | 12.5 | 25.0 | 20.8 | 8.3 | 4.2 | 8.3 | 25.0 | 8.3 | 8.3 | 4.2 |
| 40 代 | 29 | 24.1 | 72.4 | 48.3 | 13.8 | 24.1 | 6.9 | 20.7 | 10.3 | 24.1 | 20.7 | 10.3 | 3.4 | ― |
| 50 代 | 40 | 17.5 | 37.5 | 52.5 | 12.5 | 20.0 | 10.0 | 27.5 | 7.5 | 20.0 | 25.0 | 2.5 | 7.5 | 5.0 |
| 60 代 | 47 | 29.8 | 59.6 | 29.8 | 23.4 | 21.3 | 2.1 | 21.3 | 6.4 | 14.9 | 25.5 | 8.5 | 4.3 | 8.5 |
| 70 代 | 42 | 11.9 | 50.0 | 47.6 | 19.0 | 16.7 | 7.1 | 23.8 | 9.5 | 16.7 | 28.6 | 16.7 | 2.4 | 14.3 |

## ３．子育て・介護・看護について

【問 19】　安心して子どもを産み育てるために、あなたはどんなことが必要だと思いますか。あてはまるもの３つまで○をしてください。

「延長保育・病児保育など、保育サービスの充実」の割合が 43.4%と最も高く、次いで「育児休業を取りやすい職場環境の整備(フレックスタイム・勤務短縮・在宅勤務等)」の割合が 43.2%、「家族の子育てへの協力」の割合が 35.1%となっています。



**【性・年代別】**

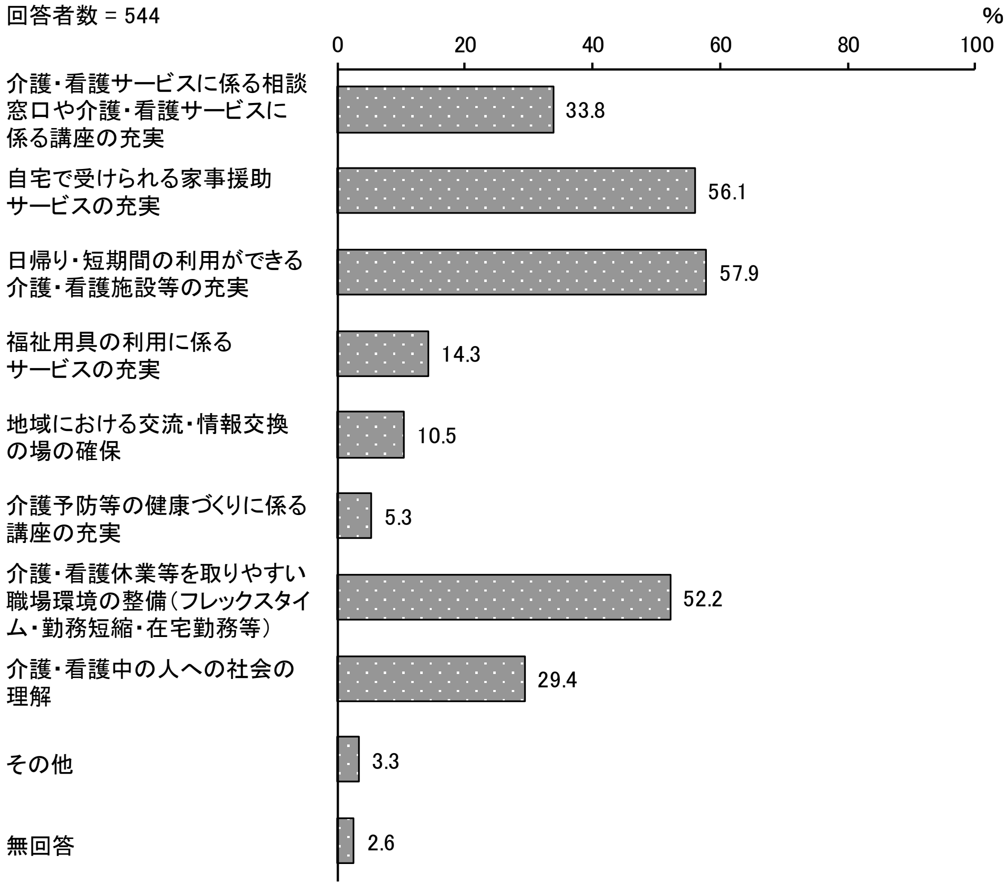
性・年代別でみると、他に比べ、女性 30 代で「延長保育・病児保育など、保育サービスの充実」の割合が、女性 10 代で「家族の子育てへの協力」の割合が高くなっています。また、男性 10 代で「子育て中の人への社会の理解」の割合が高くなっています。

単位：％

| 区分 | | 回答者数（件） | 延長保育・病児保育など、保育サービスの充実 | 学童保育・放課後児童クラブ・ファミリーサポート等の子育て支援の充実 | 父親の子育て | 家族の子育てへの協力 | 地域での子育て支援の充実 | 子育て相談や講座の充実 | 子育て中の人との交流と情報交換の場の確保 | 子育て中の人への社会の理解 | ひとり親世帯（母子家庭・父子家庭）への支援 | 児童手当等の養育費や乳幼児の医療費の補助 | 職場における子育て支援施設の整備充実 | 育児休業を取りやすい職場環境の整備（フレックスタイム・勤務短縮・在宅勤務等） | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 女性 | 全体 | 312 | 47.1 | 29.8 | 22.4 | 38.5 | 8.7 | 2.6 | 7.4 | 18.6 | 17.0 | 27.2 | 13.5 | 46.5 | 3.5 | 1.3 |
| | 10代 | 21 | 19.0 | 4.8 | 23.8 | 66.7 | 19.0 | － | 14.3 | 33.3 | 23.8 | 38.1 | 4.8 | 38.1 | － | － |
| | 20代 | 21 | 52.4 | 9.5 | 28.6 | 33.3 | 14.3 | 4.8 | 9.5 | 19.0 | 23.8 | 47.6 | 19.0 | 28.6 | 4.8 | － |
| | 30代 | 54 | 61.1 | 27.8 | 38.9 | 25.9 | 9.3 | 1.9 | 1.9 | 16.7 | 9.3 | 31.5 | 11.1 | 50.0 | 7.4 | － |
| | 40代 | 46 | 43.5 | 30.4 | 23.9 | 41.3 | 13.0 | － | 13.0 | 23.9 | 8.7 | 30.4 | 10.9 | 45.7 | 4.3 | － |
| | 50代 | 55 | 49.1 | 27.3 | 23.6 | 41.8 | 3.6 | 3.6 | 5.5 | 14.5 | 18.2 | 30.9 | 12.7 | 49.1 | － | － |
| | 60代 | 69 | 56.5 | 40.6 | 15.9 | 33.3 | 7.2 | － | 4.3 | 15.9 | 13.0 | 15.9 | 15.9 | 49.3 | 4.3 | 4.3 |
| | 70代 | 46 | 28.3 | 39.1 | 6.5 | 43.5 | 4.3 | 8.7 | 10.9 | 17.4 | 32.6 | 17.4 | 17.4 | 47.8 | 2.2 | 2.2 |
| 男性 | 全体 | 224 | 38.4 | 31.3 | 11.6 | 31.3 | 15.6 | 0.4 | 7.6 | 18.3 | 23.2 | 28.6 | 16.1 | 38.8 | 3.1 | 4.9 |
| | 10代 | 13 | 15.4 | 38.5 | 23.1 | 38.5 | 15.4 | － | 15.4 | 38.5 | 15.4 | 30.8 | 15.4 | 38.5 | 7.7 | － |
| | 20代 | 29 | 41.4 | 31.0 | 10.3 | 41.4 | 13.8 | － | 6.9 | 13.8 | 24.1 | 34.5 | 20.7 | 37.9 | － | 6.9 |
| | 30代 | 24 | 41.7 | 16.7 | 12.5 | 25.0 | 16.7 | － | 4.2 | 25.0 | 8.3 | 25.0 | 16.7 | 41.7 | 8.3 | 4.2 |
| | 40代 | 29 | 48.3 | 34.5 | 13.8 | 17.2 | 27.6 | － | 10.3 | 24.1 | 24.1 | 34.5 | 13.8 | 34.5 | － | 3.4 |
| | 50代 | 40 | 35.0 | 27.5 | 15.0 | 37.5 | 22.5 | 2.5 | 5.0 | 10.0 | 22.5 | 35.0 | 17.5 | 30.0 | 7.5 | － |
| | 60代 | 47 | 36.2 | 36.2 | 4.3 | 34.0 | 4.3 | － | 12.8 | 21.3 | 25.5 | 29.8 | 10.6 | 36.2 | 2.1 | 4.3 |
| | 70代 | 42 | 40.5 | 33.3 | 11.9 | 26.2 | 14.3 | － | 2.4 | 11.9 | 31.0 | 14.3 | 19.0 | 52.4 | － | 11.9 |

【問 20】　過剰な負担なく、介護、看護を続けるために、あなたはどんなサービスが必要だと思いますか。あてはまるもの３つまで〇をしてください。

「日帰り・短期間の利用ができる介護・看護施設等の充実」の割合が 57.9％と最も高く、次いで「自宅で受けられる家事援助サービスの充実」の割合が 56.1％、「介護・看護休業等を取りやすい職場環境の整備（フレックスタイム・勤務短縮・在宅勤務等）」の割合が 52.2％となっています。



【性・年代別】

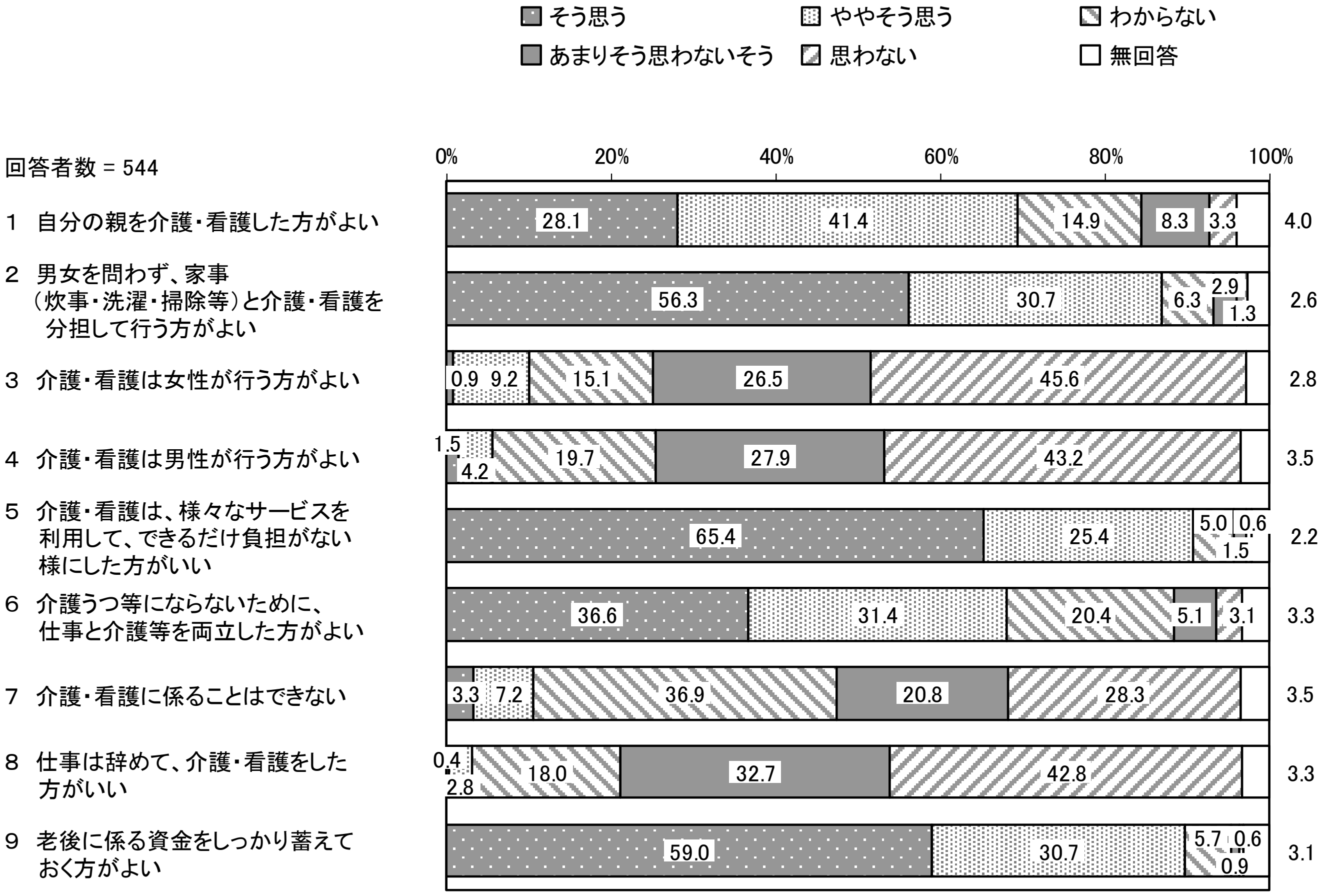
性・年代別でみると、他に比べ、女性30代、男性20代で「日帰り・短期間の利用ができる介護・看護施設等の充実」の割合が、男性40代で「福祉用具の利用に係るサービスの充実」の割合が高くなっています。また、男性10代で「介護予防等の健康づくりに係る講座の充実」の割合が高くなっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | 介護・看護サービスに係る相談窓口や介護・看護サービスに係る講座の充実 | 自宅で受けられる家事援助サービスの充実 | 日帰り・短期間の利用ができる介護・看護施設等の充実 | 福祉用具の利用に係るサービスの充実 | 地域における交流・情報交換の場の確保 | 介護予防等の健康づくりに係る講座の充実 | 介護・看護休業等を取りやすい職場環境の整備（フレックスタイム・勤務短縮・在宅勤務等） | 介護・看護中の人への社会の理解 | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 女性 全体 | 312 | 35.3 | 56.7 | 59.3 | 15.1 | 9.9 | 3.5 | 55.8 | 31.1 | 2.9 | 2.2 |
| 10代 | 21 | 47.6 | 38.1 | 33.3 | － | 19.0 | 4.8 | 66.7 | 57.1 | 4.8 | － |
| 20代 | 21 | 38.1 | 42.9 | 57.1 | 9.5 | 28.6 | － | 61.9 | 38.1 | 4.8 | － |
| 30代 | 54 | 29.6 | 66.7 | 72.2 | 11.1 | 1.9 | 1.9 | 64.8 | 22.2 | 3.7 | － |
| 40代 | 46 | 32.6 | 56.5 | 56.5 | 17.4 | 6.5 | 2.2 | 65.2 | 30.4 | 4.3 | 2.2 |
| 50代 | 55 | 40.0 | 63.6 | 63.6 | 21.8 | 9.1 | 3.6 | 45.5 | 25.5 | 1.8 | － |
| 60代 | 69 | 36.2 | 46.4 | 55.1 | 17.4 | 11.6 | 5.8 | 52.2 | 31.9 | 1.4 | 5.8 |
| 70代 | 46 | 30.4 | 67.4 | 60.9 | 15.2 | 8.7 | 4.3 | 45.7 | 32.6 | 2.2 | 4.3 |
| 男性 全体 | 224 | 32.6 | 56.3 | 55.8 | 13.4 | 11.2 | 8.0 | 46.4 | 26.8 | 3.6 | 3.1 |
| 10代 | 13 | 46.2 | 46.2 | 38.5 | 7.7 | 30.8 | 30.8 | 61.5 | 30.8 | － | － |
| 20代 | 29 | 20.7 | 51.7 | 72.4 | 10.3 | 3.4 | 13.8 | 48.3 | 27.6 | 3.4 | 6.9 |
| 30代 | 24 | 29.2 | 37.5 | 41.7 | 4.2 | 4.2 | － | 45.8 | 29.2 | 8.3 | 4.2 |
| 40代 | 29 | 10.3 | 55.2 | 58.6 | 27.6 | 13.8 | 3.4 | 51.7 | 31.0 | 3.4 | － |
| 50代 | 40 | 50.0 | 55.0 | 62.5 | 5.0 | 12.5 | 5.0 | 30.0 | 32.5 | 5.0 | － |
| 60代 | 47 | 29.8 | 72.3 | 53.2 | 21.3 | 8.5 | 6.4 | 46.8 | 17.0 | 4.3 | 4.3 |
| 70代 | 42 | 40.5 | 57.1 | 52.4 | 11.9 | 14.3 | 9.5 | 52.4 | 26.2 | － | 4.8 |

【問 21】　あなたは、介護・看護について、どのように考えますか。
それぞれ近いもの１つに○をしてください。

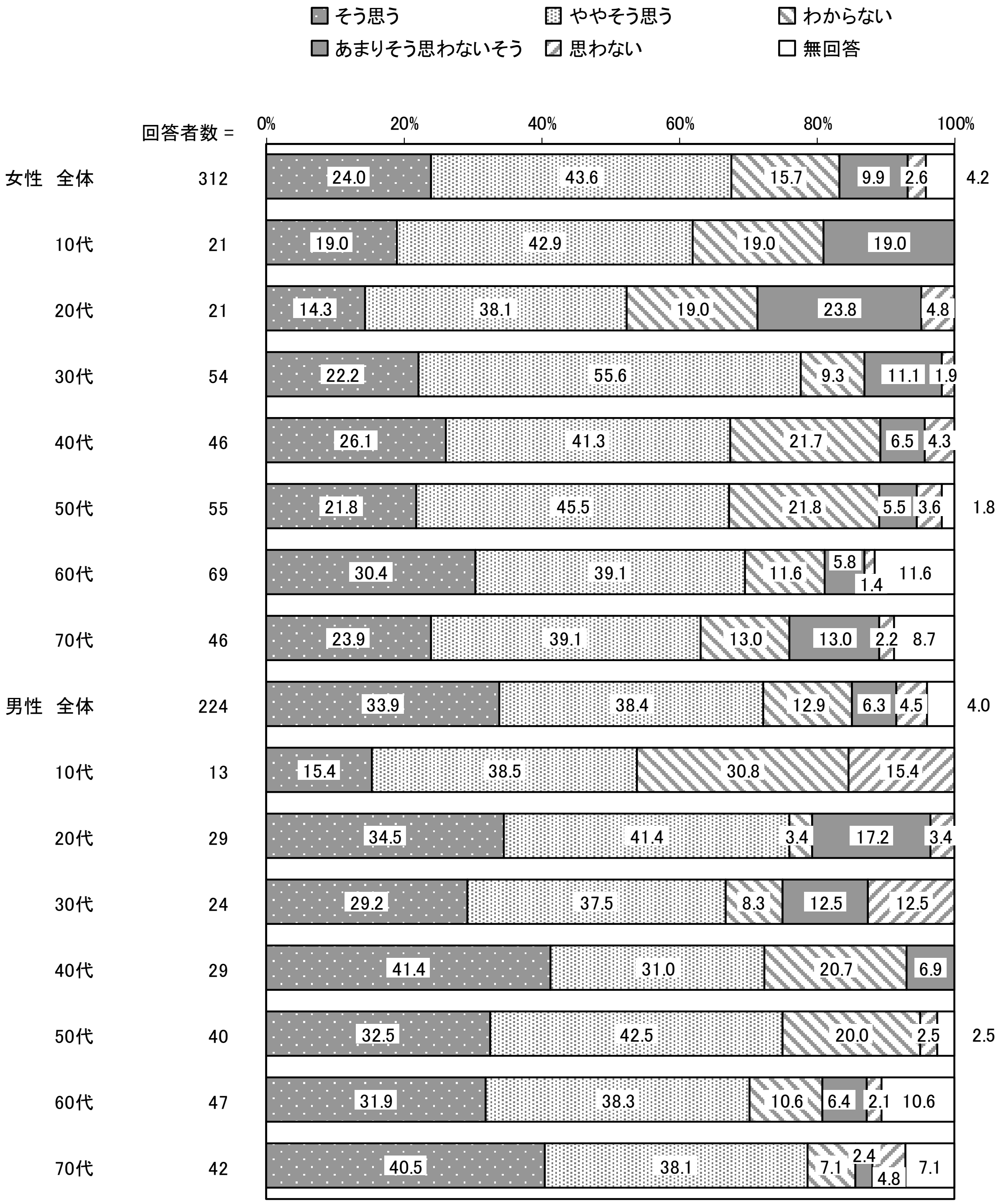
『２　男女を問わず、家事（炊事・洗濯・掃除等）と介護・看護を分担して行う方がよい』『５　介護・看護は、様々なサービスを利用して、できるだけ負担がない様にした方がいい』『９　老後に係る資金をしっかり蓄えておく方がよい』で「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が、『７　介護・看護に係ることはできない』で「わからない」の割合が高くなっています。また、『３　介護・看護は女性が行う方がよい』『４　介護・看護は男性が行う方がよい』『８　仕事は辞めて、介護・看護をした方がいい』で「あまりそう思わない」と「思わない」をあわせた“思わない”の割合が高くなっています。



１　自分の親を介護・看護した方がよい

【性・年代別】

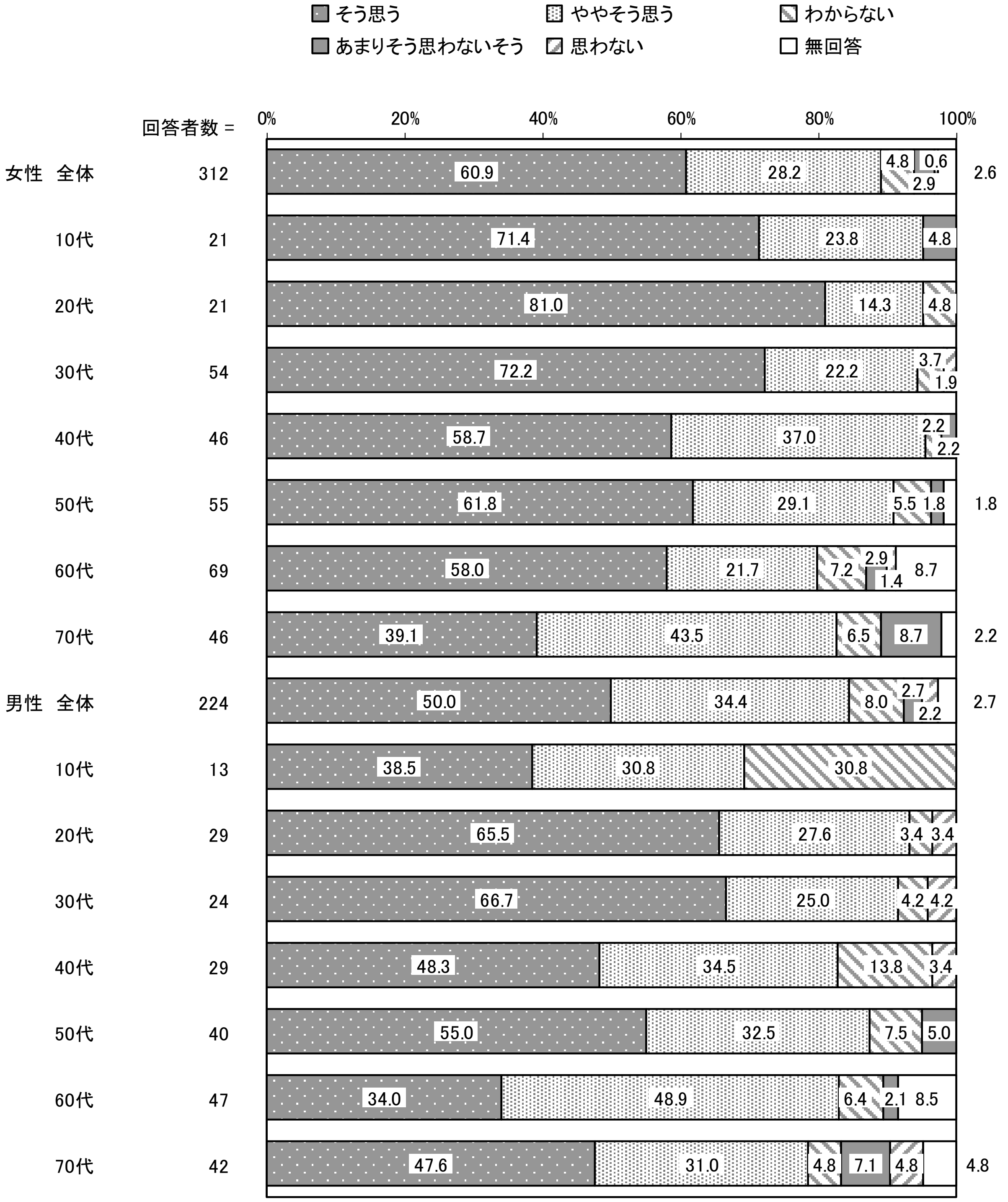
性・年代別でみると、他に比べ、男性10代で「わからない」の割合が高くなっています。



２　男女を問わず、家事（炊事・洗濯・掃除等）と介護・看護を分担して行う方がよい

【性・年代別】

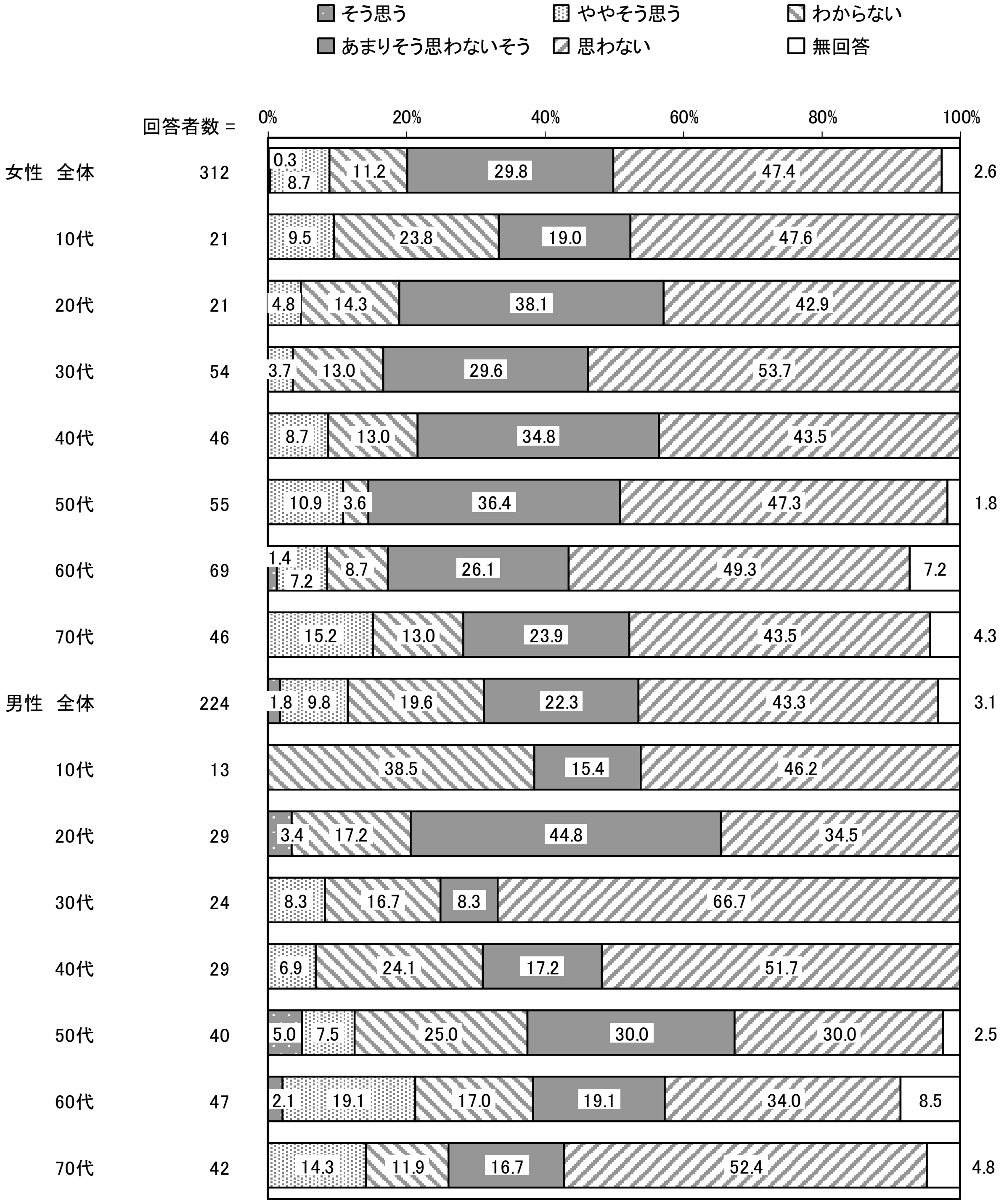
性・年代別でみると、他に比べ、男性 10 代で「わからない」の割合が高くなっています。



3　介護・看護は女性が行う方がよい

【性・年代別】

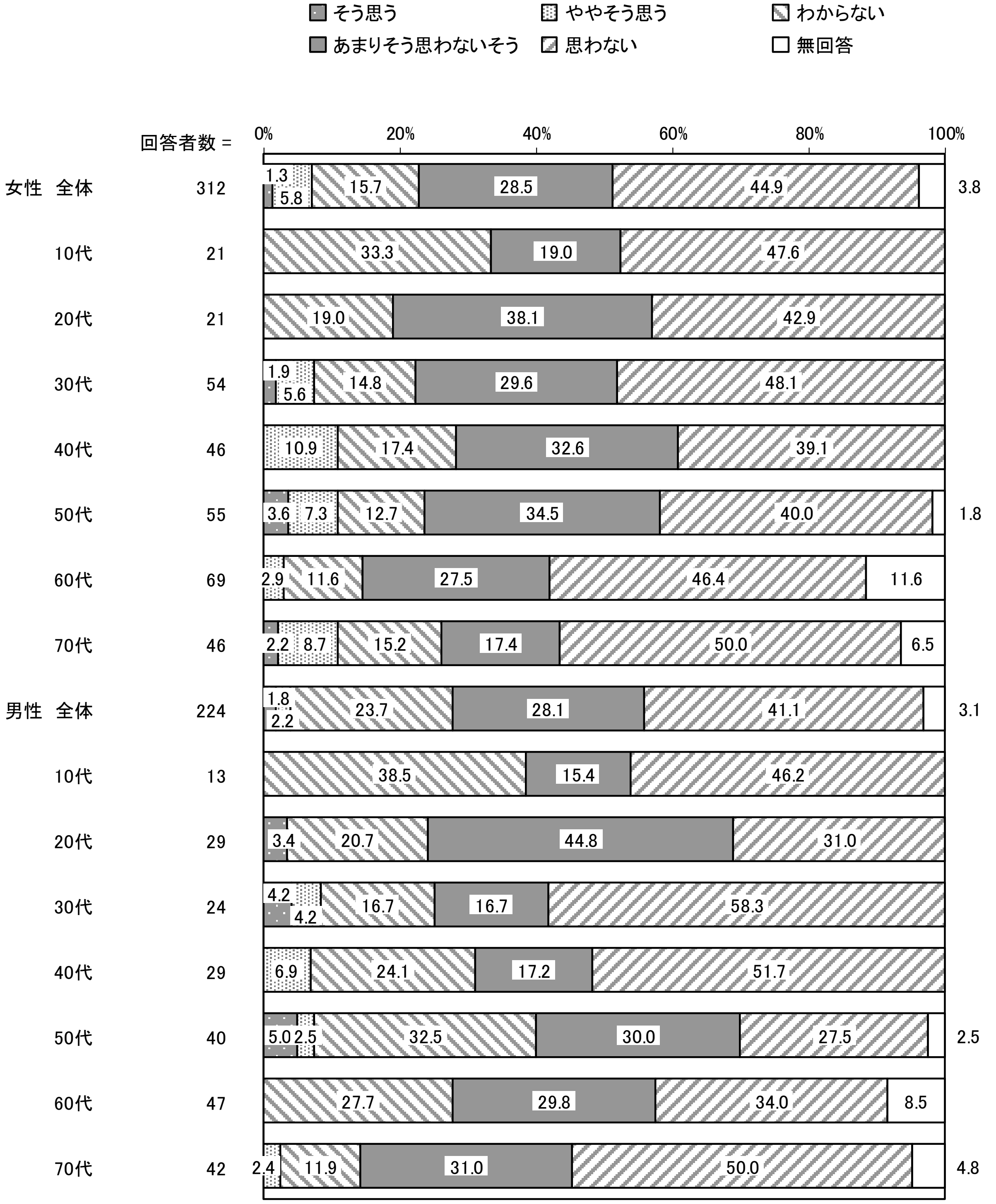
性・年代別でみると、他に比べ、男性60代で“そう思う”の割合が高くなっています。



### 4　介護・看護は男性が行う方がよい

【性・年代別】

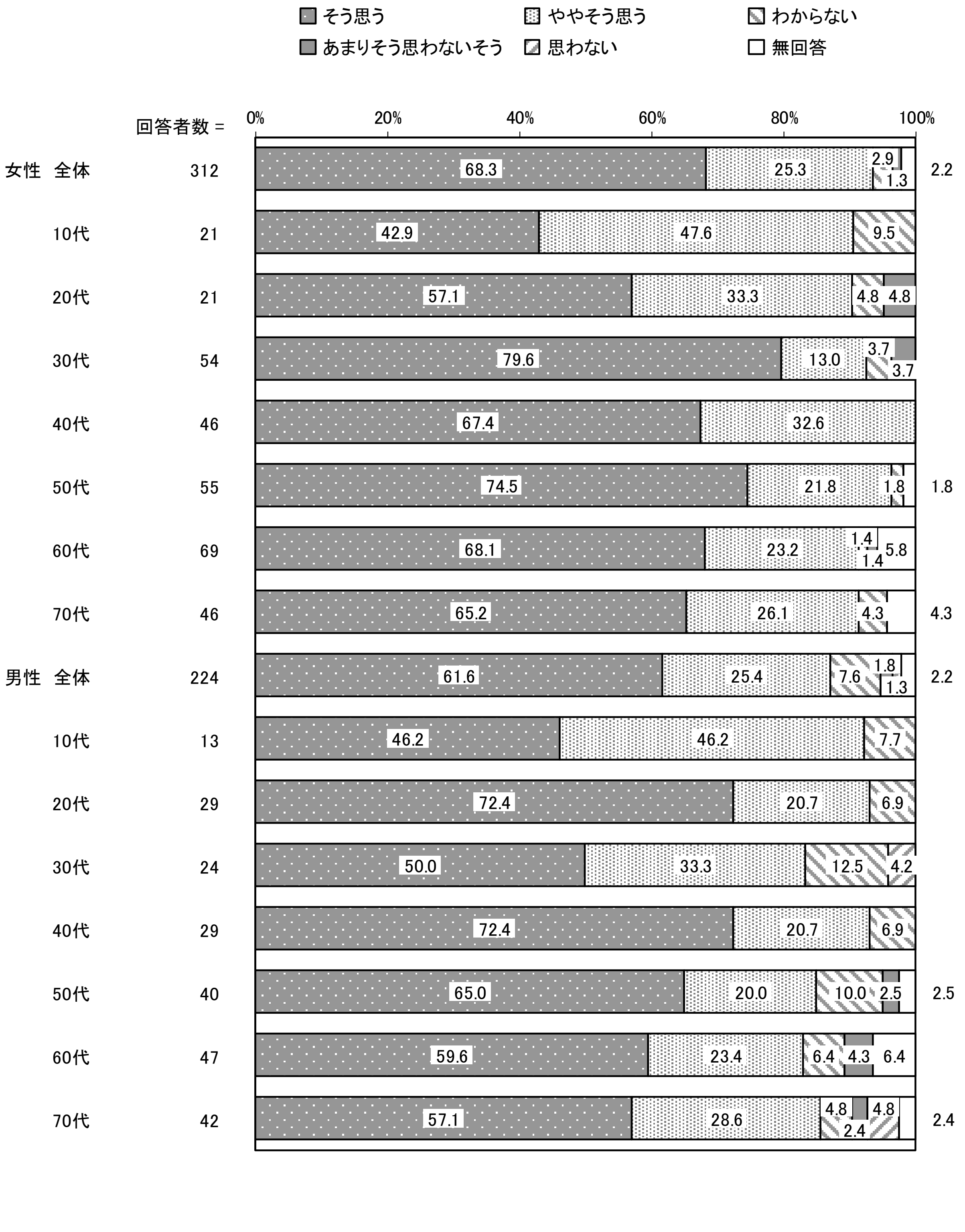
性・年代別でみると、他に比べ、女性 20 代、男性 70 代で“思わない”の割合が高くなっています。



5　介護・看護は、様々なサービスを利用して、できるだけ負担がない様にした方がいい

【性・年代別】

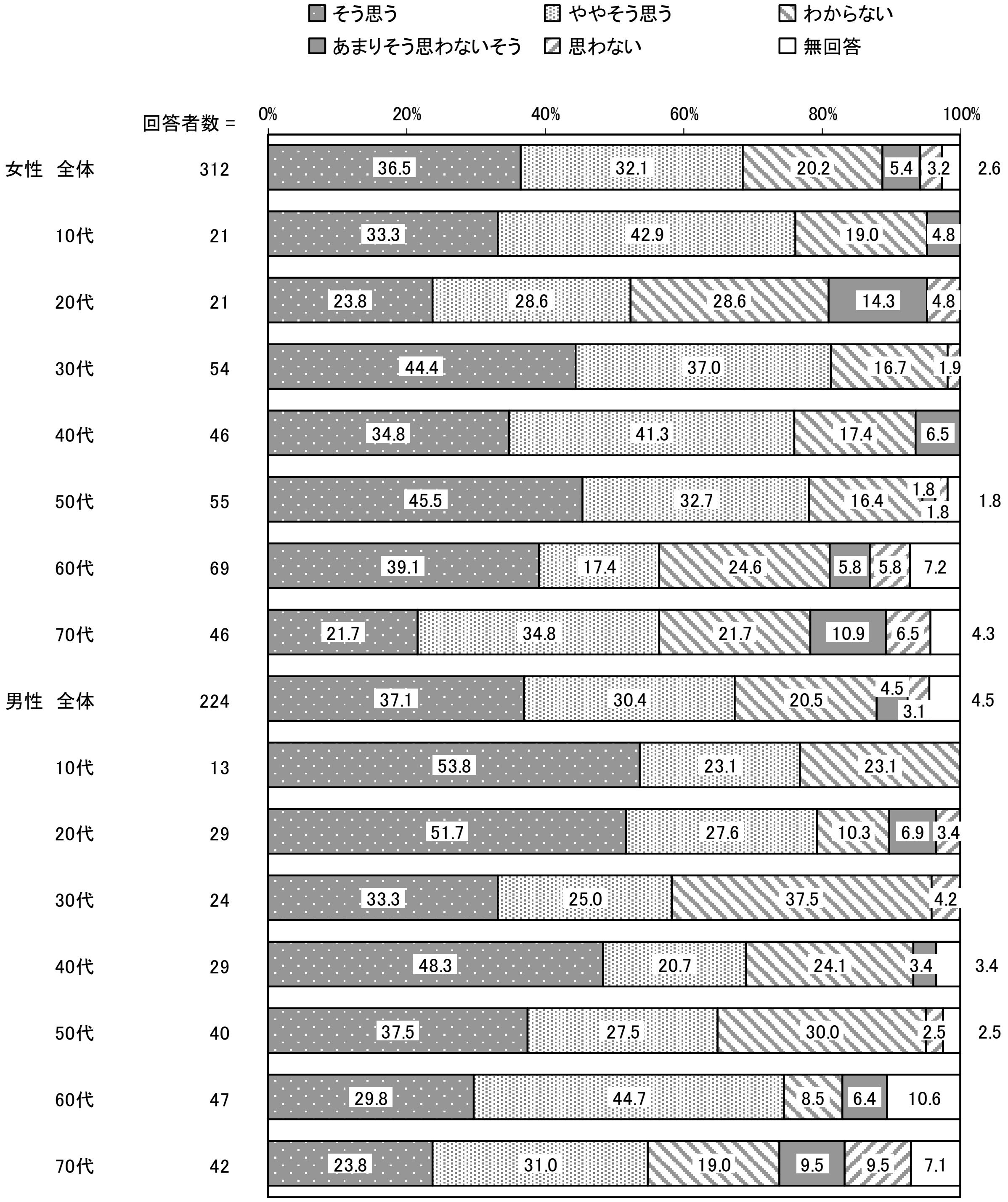
性・年代別でみると、他に比べ、女性 40 代で“そう思う”の割合が高くなっています。



6　介護うつ等にならないために、仕事と介護等を両立した方がよい

【性・年代別】

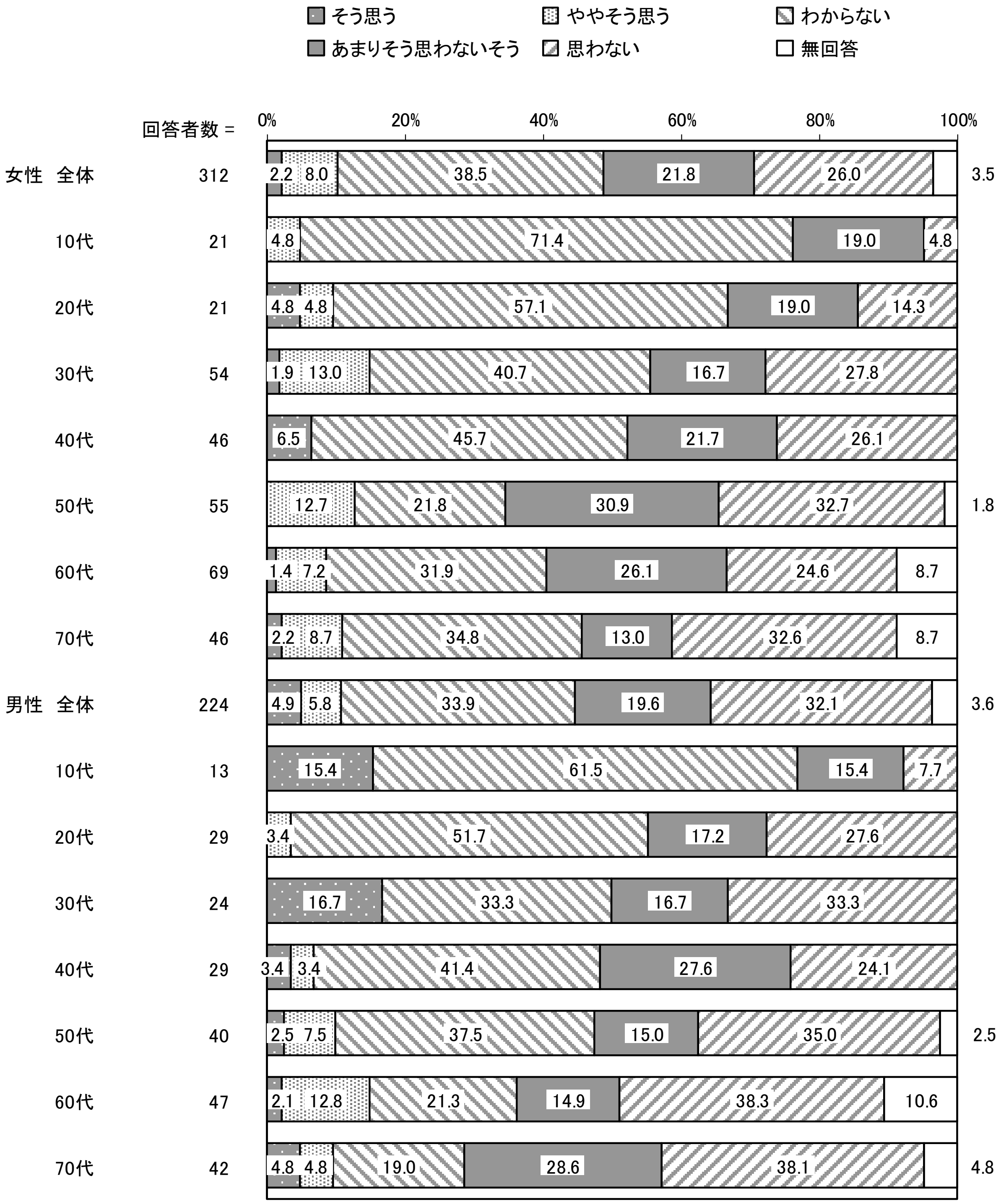
性・年代別でみると、他に比べ、男性30代で「わからない」の割合が高くなっています。



7　介護・看護に係ることはできない

【性・年代別】

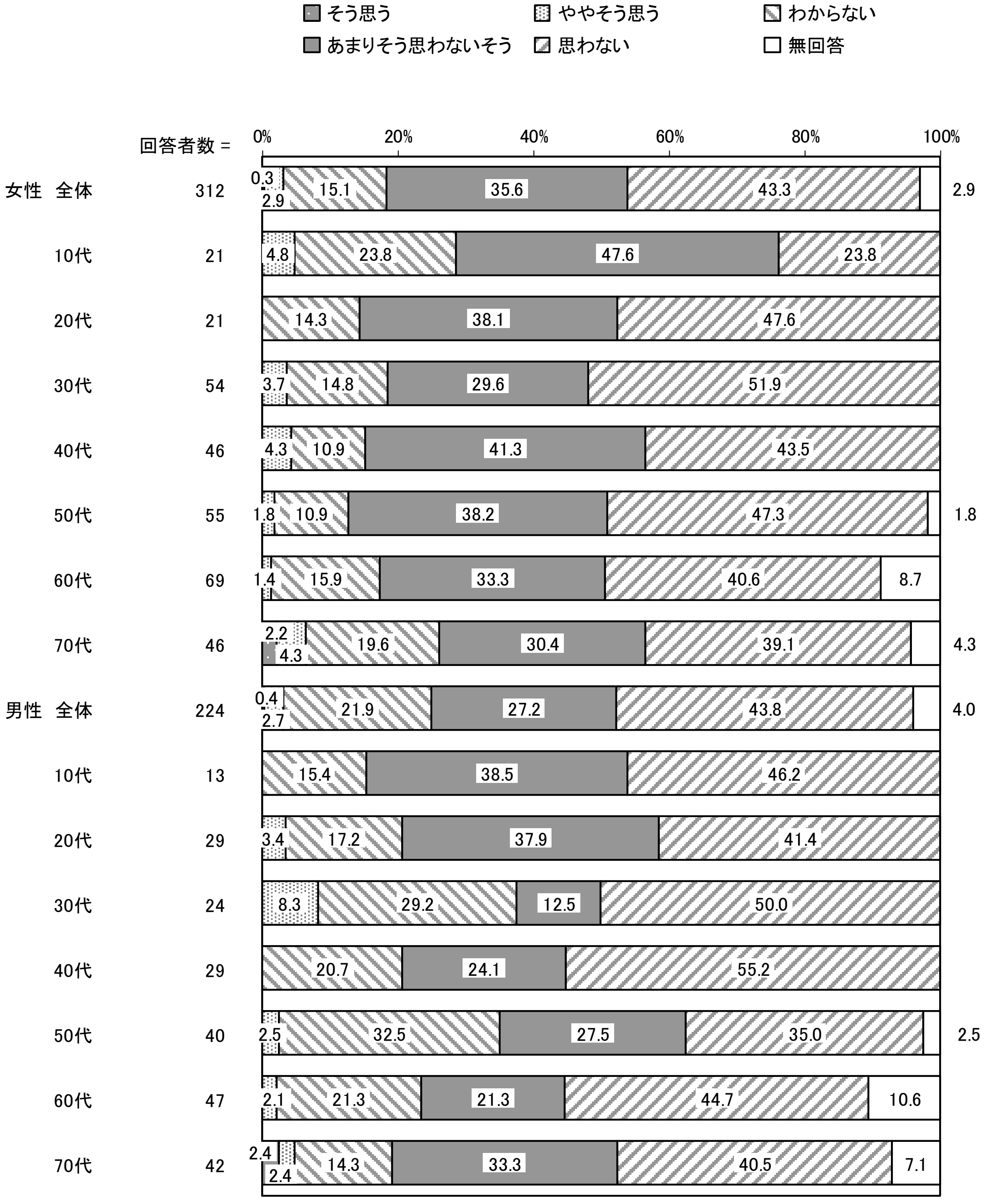
性・年代別でみると、他に比べ、女性 50 代、男性 70 で“思わない”の割合が、女性 10 代で「わからない」の割合が高くなっています。



8　仕事は辞めて、介護・看護をした方がいい

【性・年代別】

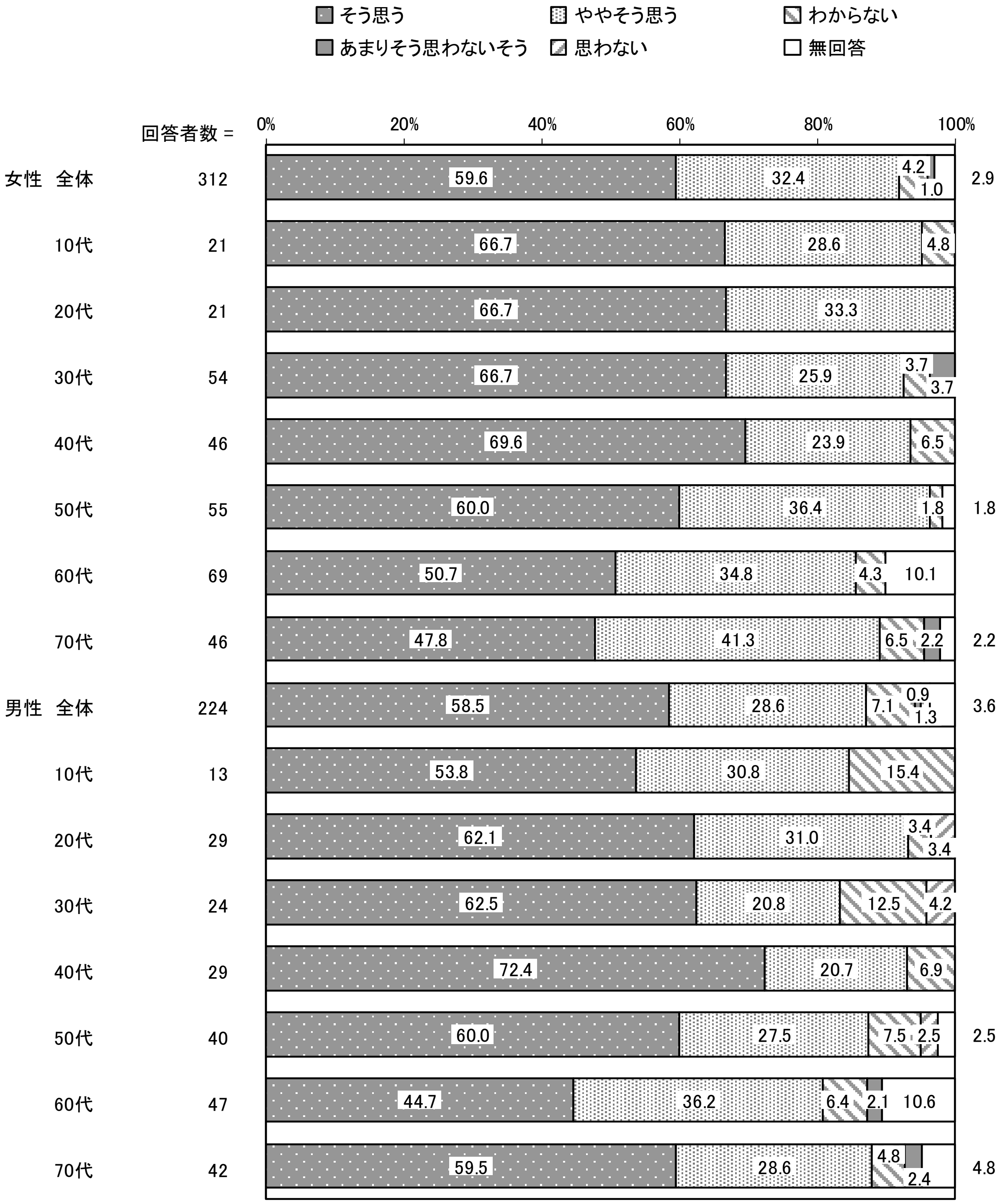
性・年代別でみると、他に比べ、男性30代、男性50代で“思わない”の割合が低くなっています。



9　老後に係る資金をしっかり蓄えておく方がよい

【性・年代別】

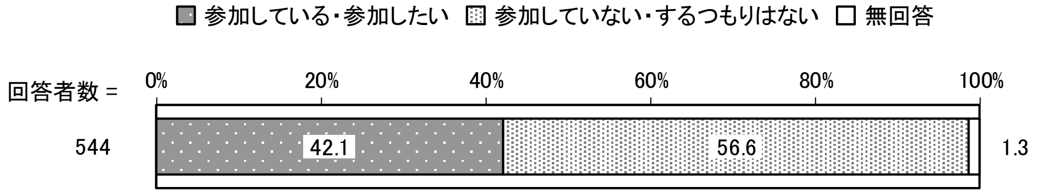
性・年代別でみると、他に比べ、女性20代で“そう思う”の割合が高くなっています。



## ４．地域活動等（防災活動・生涯活躍）について

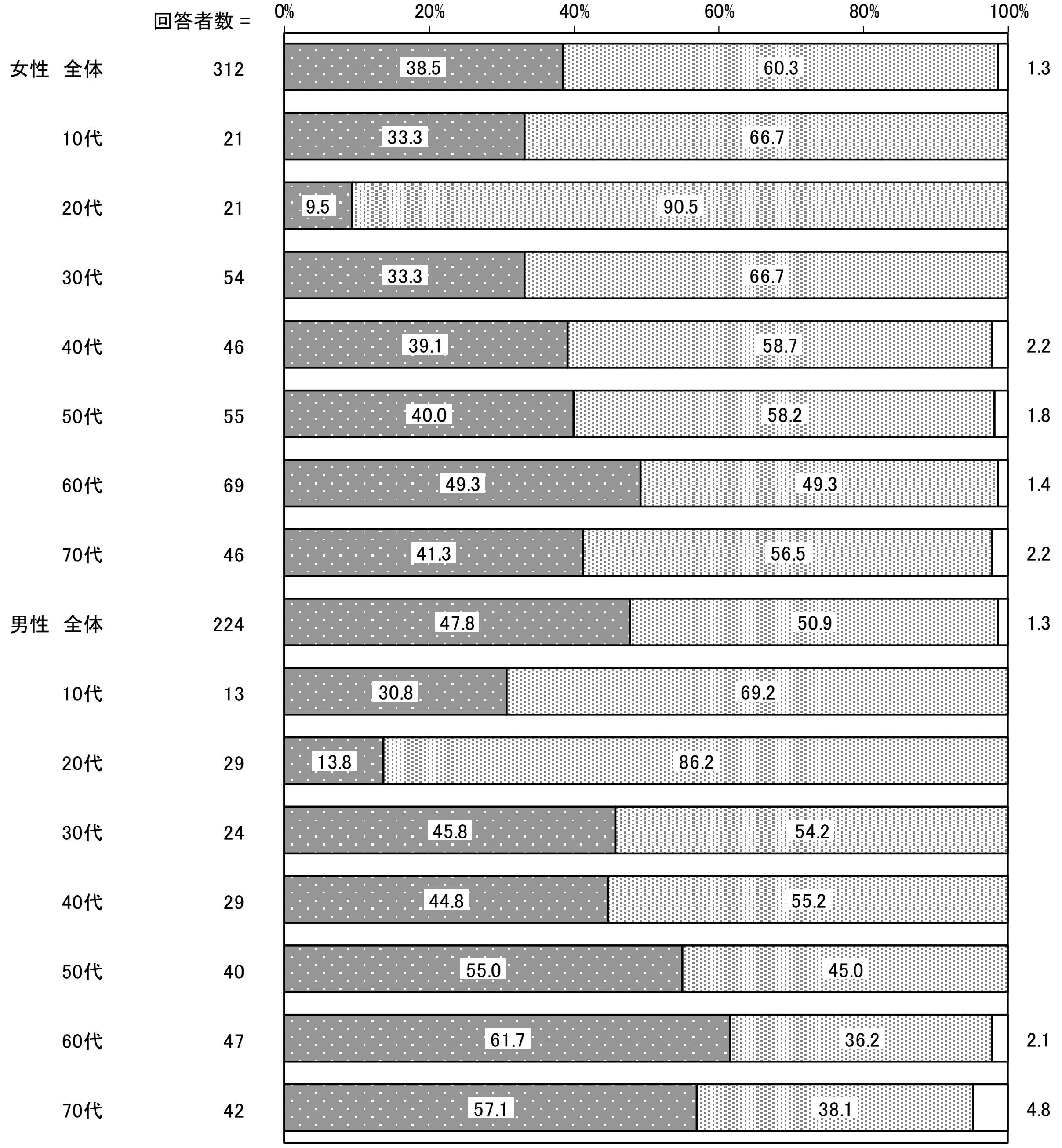
【問 22】　あなたは現在、地域活動に参加していますか。
また、参加したいと思いますか。

「参加している・参加したい」の割合が 42.1%、「参加していない・するつもりはない」の割合が 56.6%となっています。



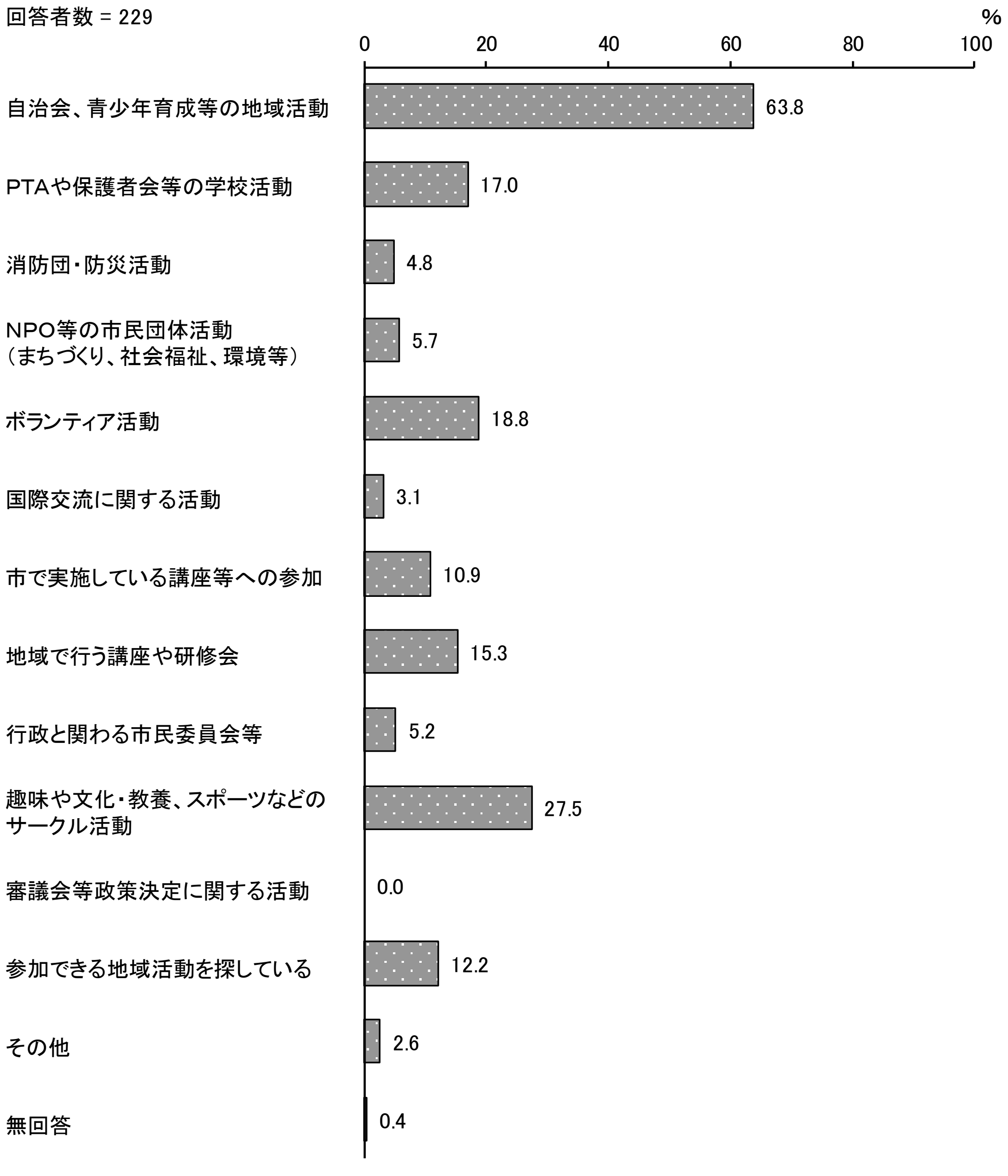

【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、女性男性ともに 20 代で「参加していない・するつもりはない」の割合が高くなっています。



【問 22－a】　【問 22】で「１　参加している・参加したい」を選択した方にお伺いします。あなたが取り組んでいる地域活動に、あてはまるものすべてに〇をしてください。

「自治会、青少年育成等の地域活動」の割合が 63.8％と最も高く、次いで「趣味や文化・教養、スポーツなどのサークル活動」の割合が 27.5％、「ボランティア活動」の割合が 18.8％となっています。



**【戸籍上の性別】**

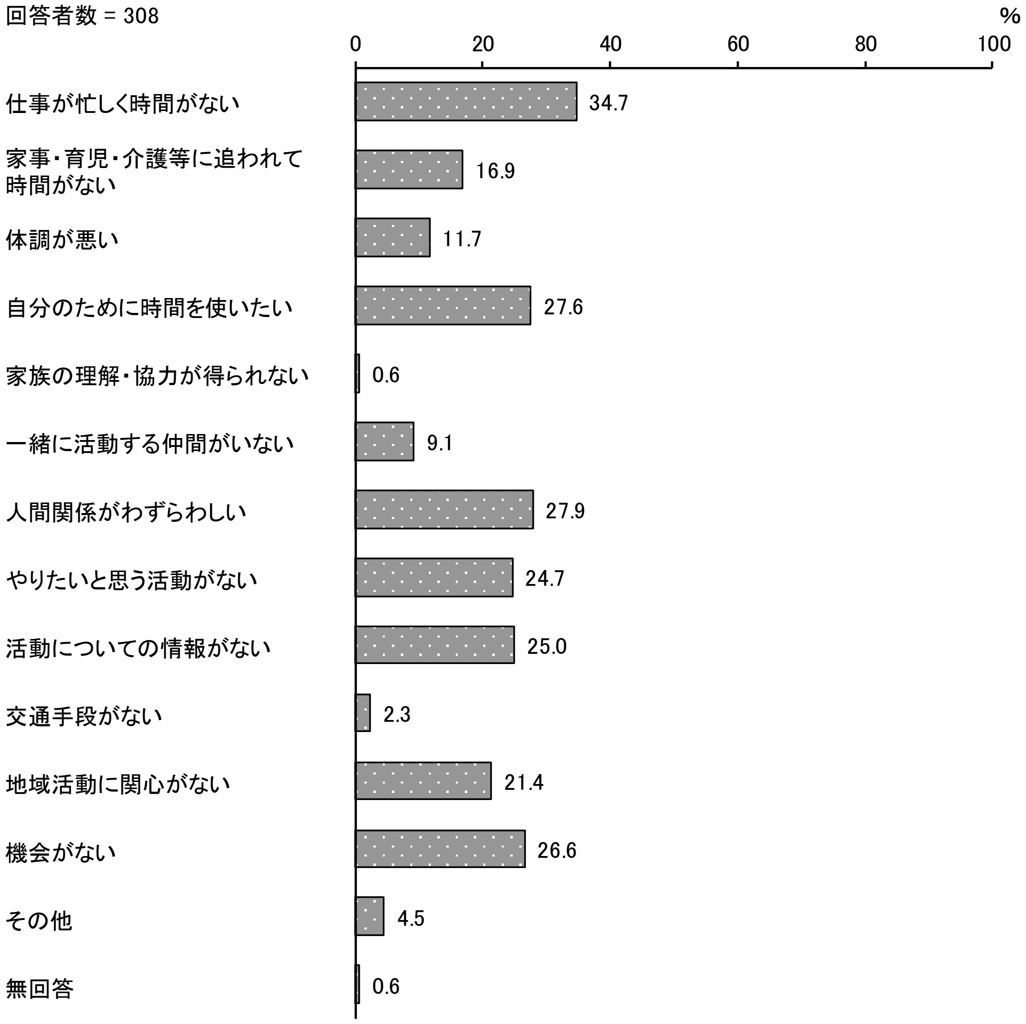
戸籍上の性別でみると、女性に比べ、男性で「自治会、青少年育成等の地域活動」「ボランティア活動」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「ＰＴＡや保護者会等の学校活動」「地域で行う講座や研修会」「参加できる地域活動を探している」の割合が高くなっています。

単位：％

| 区分 | 回答者数（件） | 自治会、青少年育成等の地域活動 | ＰＴＡや保護者会等の学校活動 | 消防団・防災活動 | ＮＰＯ等の市民団体活動（まちづくり、社会福祉、環境等） | ボランティア活動 | 国際交流に関する活動 | 市で実施している講座等への参加 | 地域で行う講座や研修会 | 行政と関わる市民委員会等 | 趣味や文化・教養、スポーツなどのサークル活動 | 審議会等政策決定に関する活動 | 参加できる地域活動を探している | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 女性 | 120 | 60.0 | 24.2 | 3.3 | 4.2 | 15.0 | 3.3 | 13.3 | 20.0 | 3.3 | 25.8 | － | 15.8 | 4.2 | － |
| 男性 | 107 | 68.2 | 9.3 | 6.5 | 7.5 | 22.4 | 2.8 | 8.4 | 10.3 | 6.5 | 29.9 | － | 8.4 | 0.9 | 0.9 |

【問 22－b】　【問 22】で「２　参加していない・するつもりはない」を選択した方にお伺いします。地域活動に参加しない理由は何ですか。あてはまるもの３つまで〇をしてください。

「仕事が忙しく時間がない」の割合が 34.7％と最も高く、次いで「人間関係がわずらわしい」の割合が 27.9％、「自分のために時間を使いたい」の割合が 27.6％となっています。



**【戸籍上の性別】**

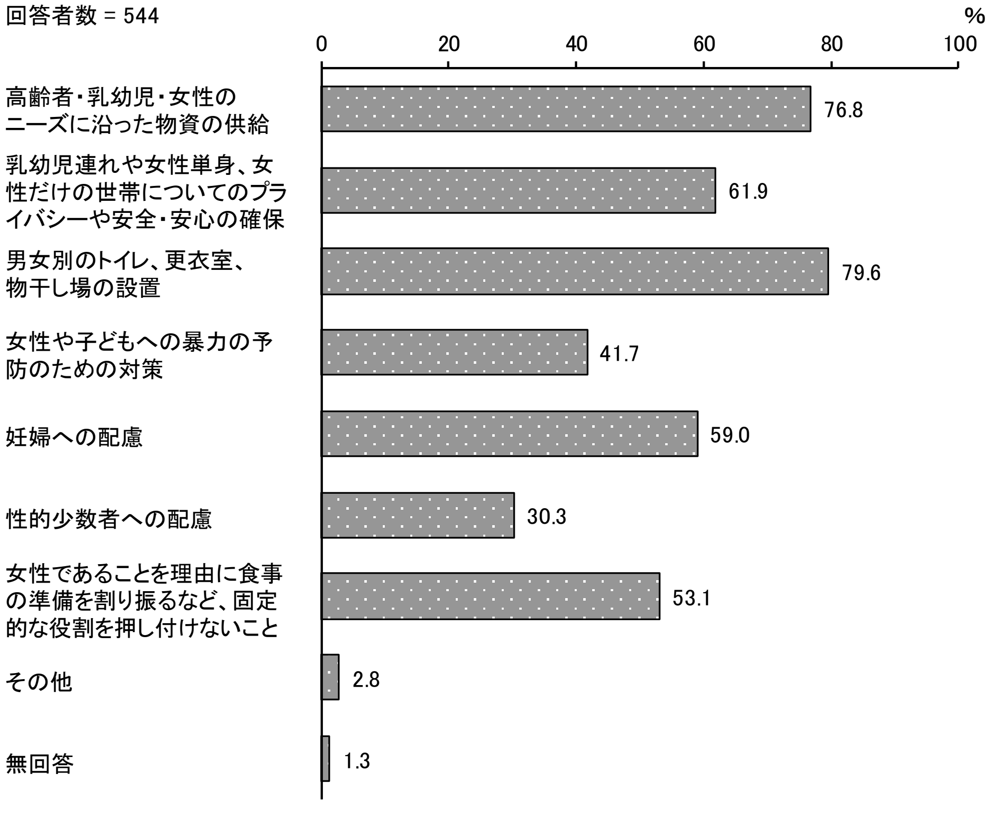
戸籍上の性別でみると、女性に比べ、男性で「仕事が忙しく時間がない」「やりたいと思う活動がない」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「家事・育児・介護等に追われて時間がない」「人間関係がわずらわしい」「地域活動に関心がない」の割合が高くなっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | 仕事が忙しく時間がない | 家事・育児・介護等に追われて時間がない | 体調が悪い | 自分のために時間を使いたい | 家族の理解・協力が得られない | 一緒に活動する仲間がいない | 人間関係がわずらわしい | やりたいと思う活動がない | 活動についての情報がない | 交通手段がない | 地域活動に関心がない | 機会がない | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 女性 | 188 | 31.9 | 23.4 | 12.2 | 26.6 | 1.1 | 9.6 | 30.3 | 20.7 | 24.5 | 2.7 | 23.9 | 26.6 | 4.3 | 1.1 |
| 男性 | 114 | 39.5 | 6.1 | 10.5 | 28.9 | － | 7.9 | 24.6 | 30.7 | 26.3 | 1.8 | 18.4 | 26.3 | 3.5 | － |

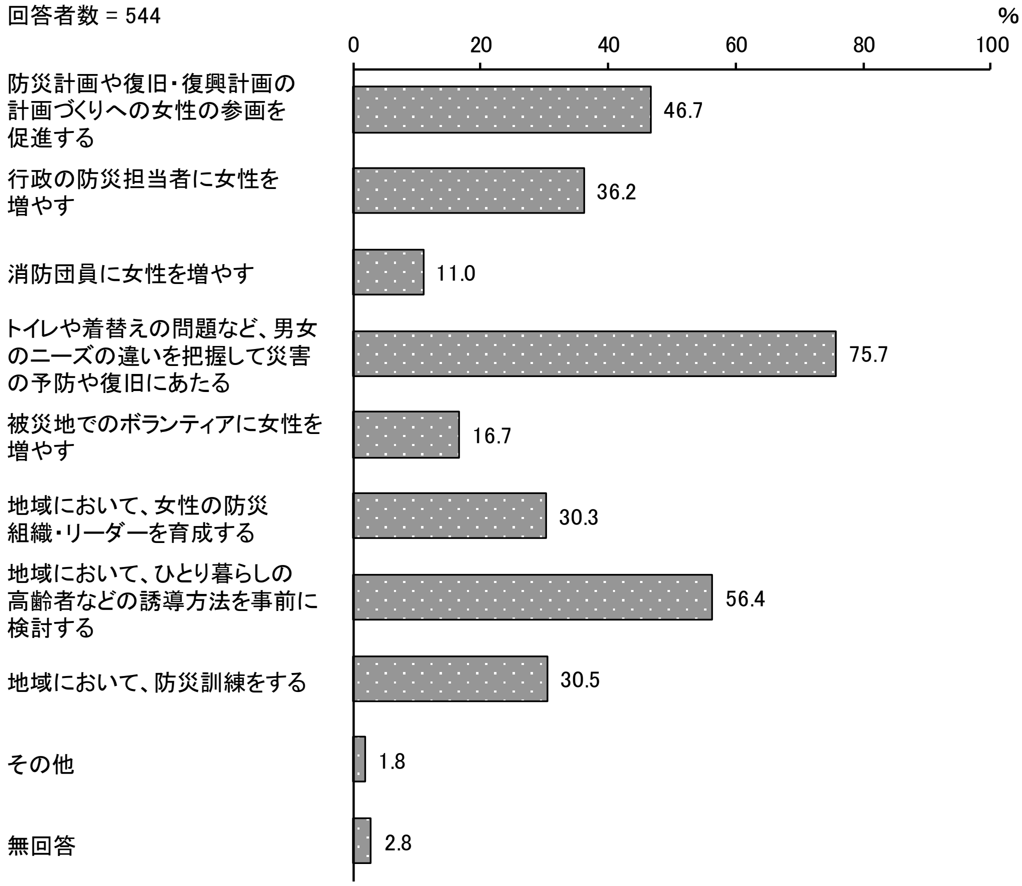
**【問 23】　地域防災についてお伺いします。災害時の避難所運営について、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をしてください。**

「男女別のトイレ、更衣室、物干し場の設置」の割合が 79.6%と最も高く、次いで「高齢者・乳幼児・女性のニーズに沿った物資の供給」の割合が 76.8%、「乳幼児連れや女性単身、女性だけの世帯についてのプライバシーや安全・安心の確保」の割合が 61.9%となっています。



【問 24】　今後、防災や災害復興において行政や地域が、女性の視点を取り入れて取り組む必要があることは何だと思いますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

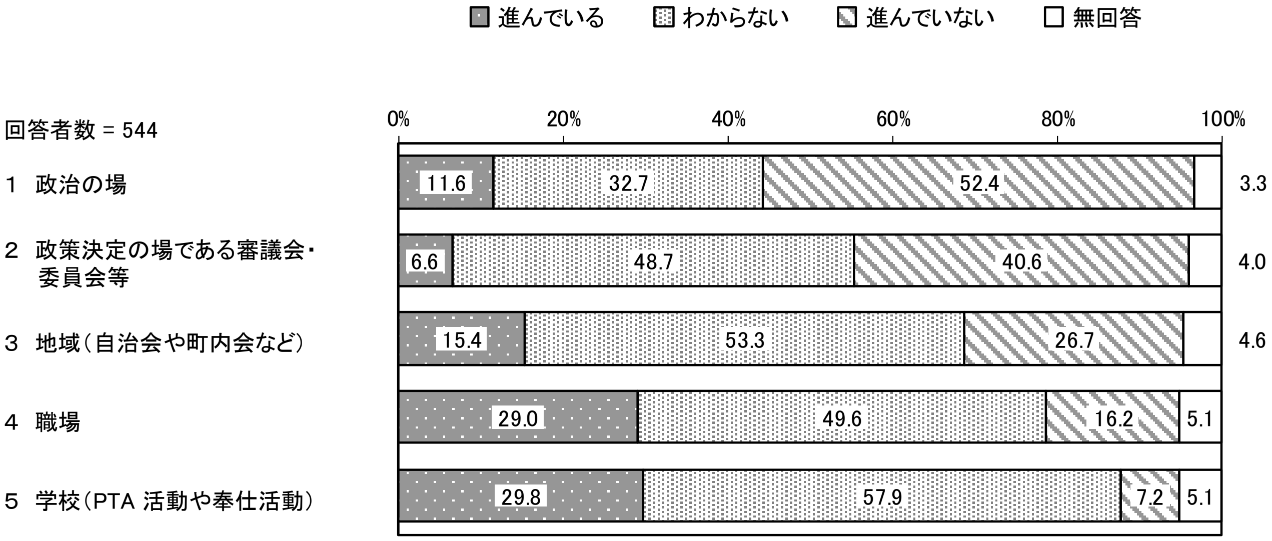
「トイレや着替えの問題など、男女のニーズの違いを把握して災害の予防や復旧にあたる」の割合が 75.7%と最も高く、次いで「地域において、ひとり暮らしの高齢者などの誘導方法を事前に検討する」の割合が 56.4%、「防災計画や復旧・復興計画の計画づくりへの女性の参画を促進する」の割合が 46.7%となっています。



## ５．政策・方針決定の場への女性参画について

【問 25】　各分野で女性参画が進んでいるかどうか、あなたの考えに近いもの１つに○をしてください。※「３　進んでいない」に○をした項目は、理由を【理由欄】から選び、「ア～キ」にそれぞれ○をしてください。

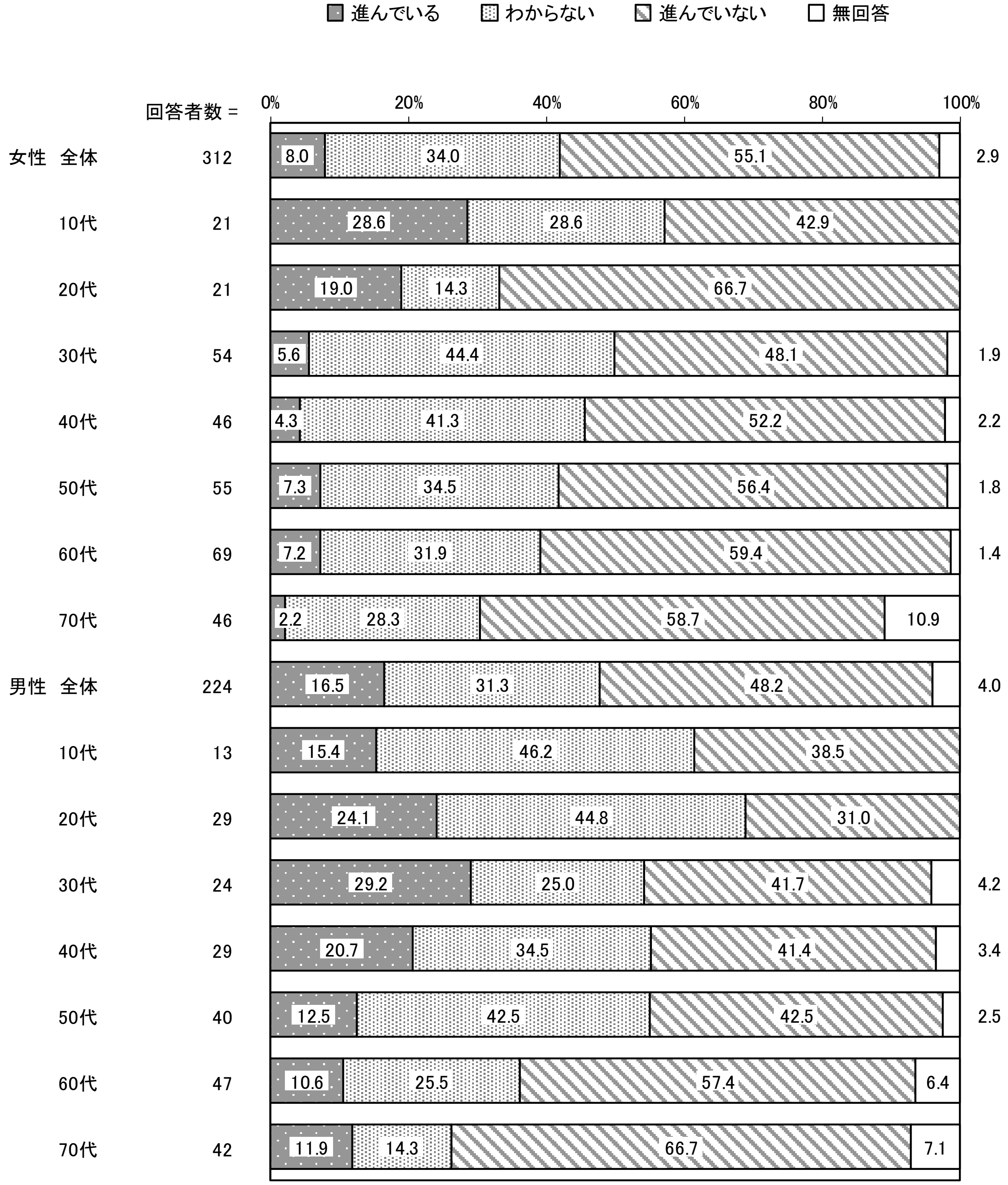
『４　職場』『５　学校（PTA 活動や奉仕活動）』で「進んでいる」の割合が、『１　政治の場』で「進んでいない」の割合が高くなっています。



### 1　政治の場

**【性・年代別】**

性・年代別でみると、他に比べ、女性 20 代、男性 70 代で「進んでいない」の割合が高くなっています。



理由

【戸籍上の性別】

戸籍上の性別でみると、女性に比べ、男性で「女性自身の積極性が十分でない」の割合が高くなっています。

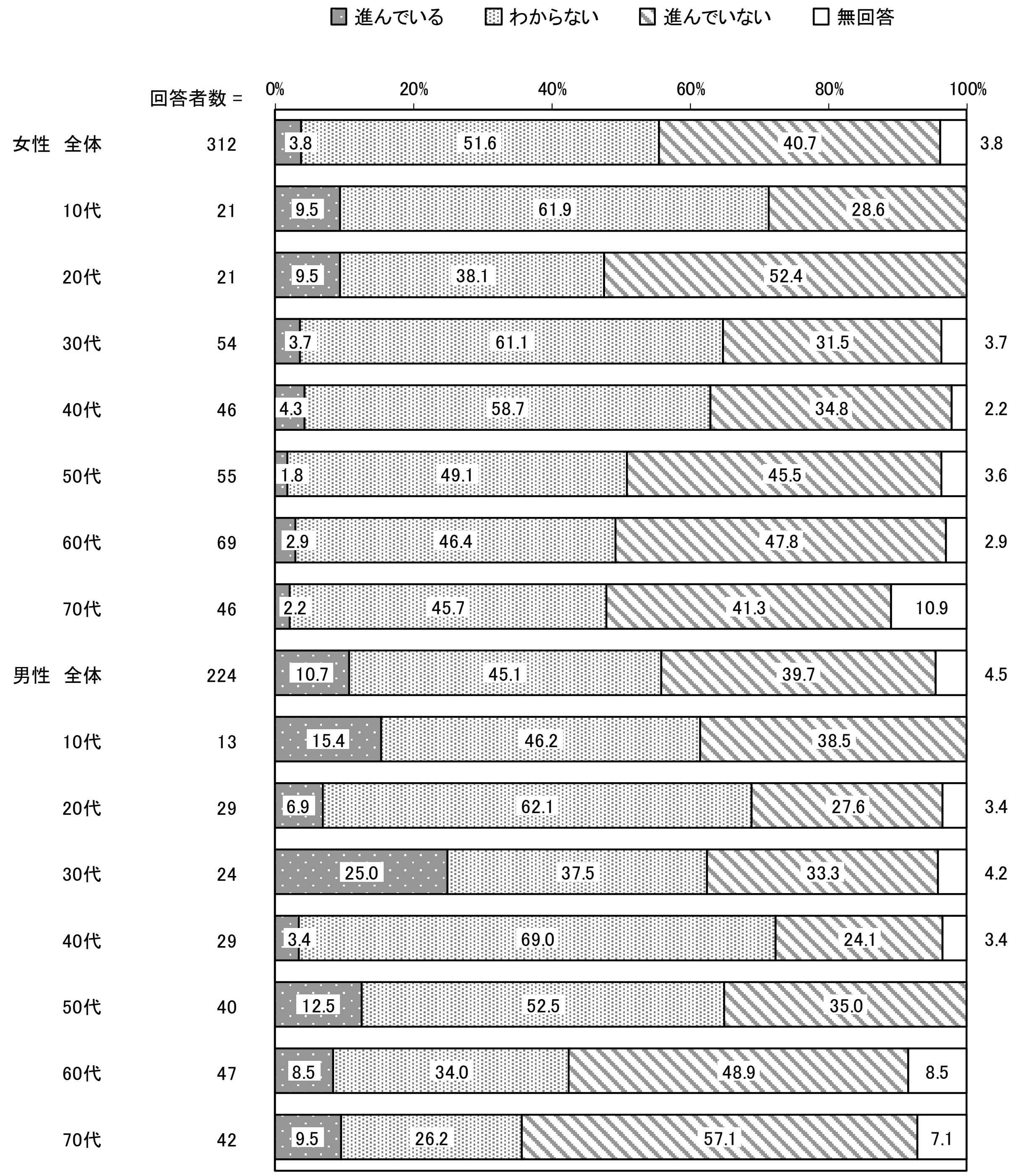
単位：％

| 区分 | 回答者数（件） | 男性優位の慣習的な組織形態 | 性別による役割意識や性差別の意識 | 社会的環境により作り上げられた風習 | 女性の参画を積極的に進めようとしている人が少ない | 女性自身の積極性が十分でない | 女性の能力開発の機会が不十分 | 家族の支援・協力が得られない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 女性 | 172 | 70.9 | 8.1 | 21.5 | 14.0 | 11.6 | 7.6 | 2.9 | 1.7 |
| 男性 | 108 | 70.4 | 13.9 | 24.1 | 16.7 | 20.4 | 7.4 | 5.6 | 5.6 |

## 2　政策決定の場である審議会・委員会等

### 【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、男性30代で「進んでいる」の割合が、男性40代で「わからない」の割合が高くなっています。



理由

【戸籍上の性別】

戸籍上の性別でみると、男性に比べ、女性で「男性優位の慣習的な組織形態」の割合が高くなっています。

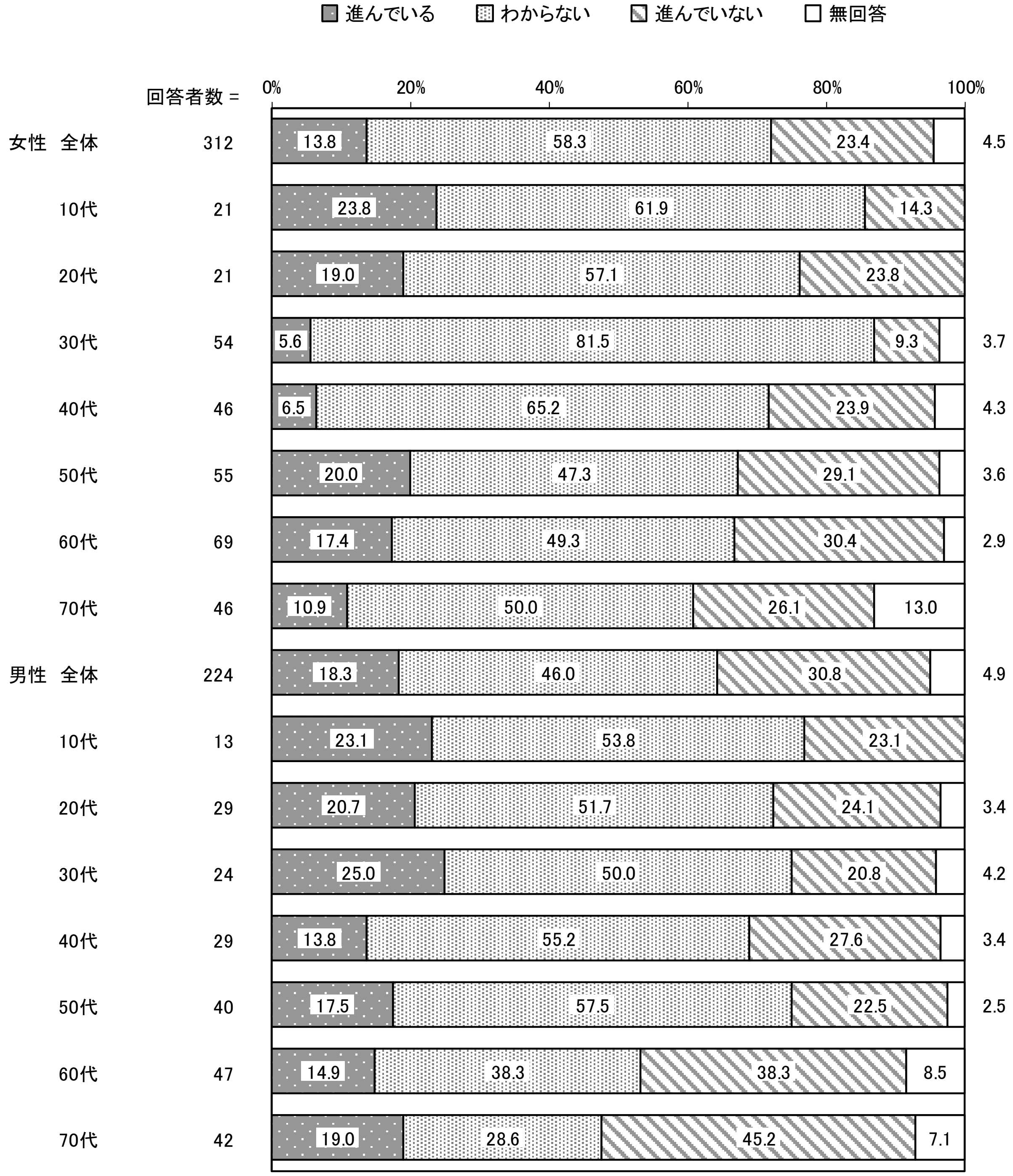
単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | 男性優位の慣習的な組織形態 | 性別による役割意識や性差別の意識 | 社会的環境により作り上げられた風習 | 女性の参画を積極的に進めようとしている人が少ない | 女性自身の積極性が十分でない | 女性の能力開発の機会が不十分 | 家族の支援・協力が得られない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 女性 | 127 | 57.5 | 15.7 | 29.9 | 19.7 | 8.7 | 8.7 | 3.1 | 2.4 |
| 男性 | 89 | 51.7 | 11.2 | 29.2 | 23.6 | 13.5 | 10.1 | 5.6 | 6.7 |

3　地域（自治会や町内会など）

【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、男性70代で「進んでいない」の割合が高くなっています。



理由

【戸籍上の性別】

戸籍上の性別でみると、男性に比べ、女性で「男性優位の慣習的な組織形態」「社会的環境により作り上げられた風習」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「女性の参画を積極的に進めようとしている人が少ない」「女性自身の積極性が十分でない」の割合が高くなっています。

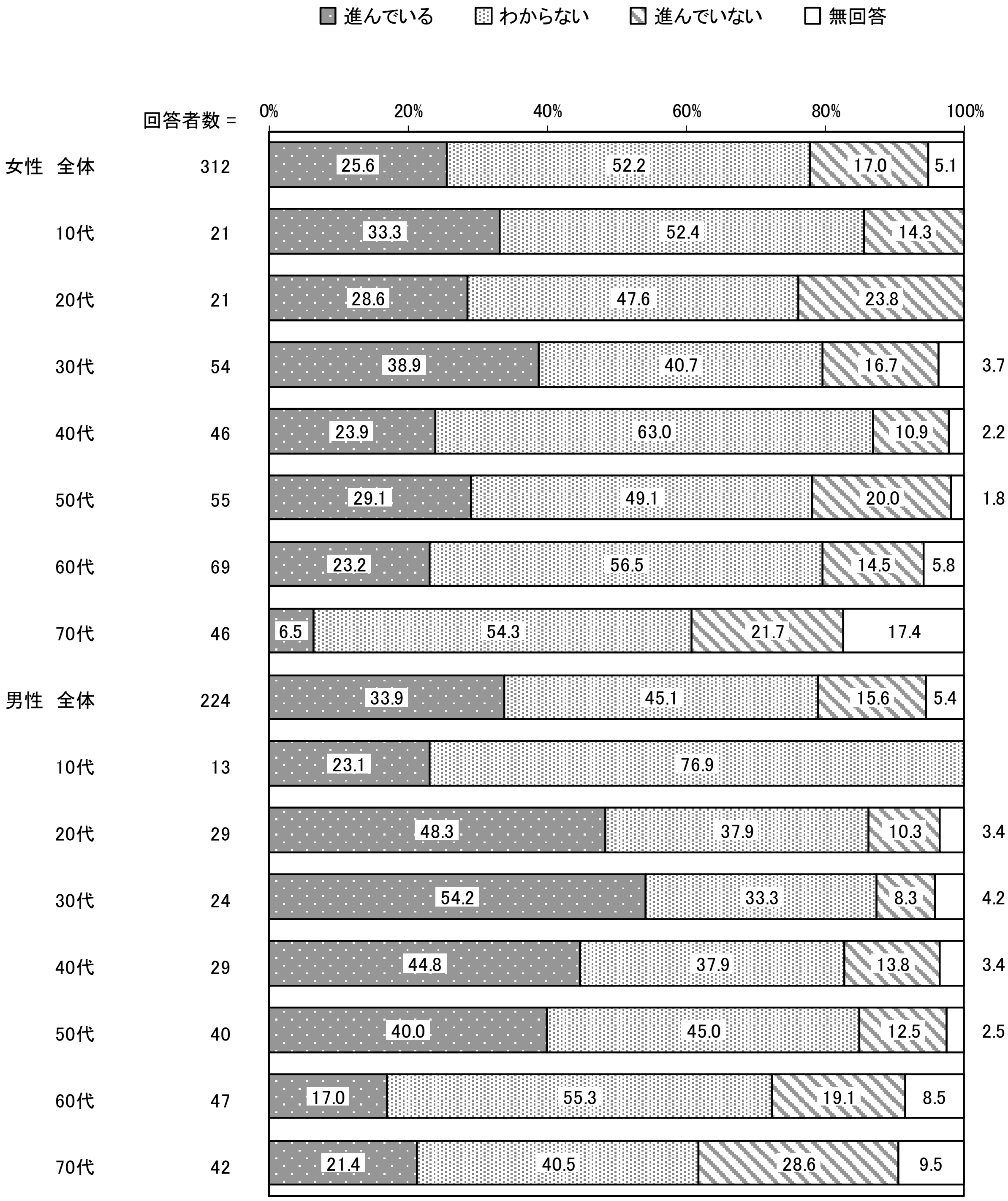
単位：％

| 区分 | 回答者数（件） | 男性優位の慣習的な組織形態 | 性別による役割意識や性差別の意識 | 社会的環境により作り上げられた風習 | 女性の参画を積極的に進めようとしている人が少ない | 女性自身の積極性が十分でない | 女性の能力開発の機会が不十分 | 家族の支援・協力が得られない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 女性 | 73 | 39.7 | 11.0 | 37.0 | 6.8 | 17.8 | 1.4 | 2.7 | 5.5 |
| 男性 | 69 | 31.9 | 10.1 | 27.5 | 18.8 | 33.3 | 1.4 | 2.9 | 10.1 |

## 4　職場

### 【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、男性30代で「進んでいる」の割合が、男性10代で「わからない」の割合が高くなっています。また、男性70代で「進んでいない」の割合が高くなっています。



理由

【戸籍上の性別】

戸籍上の性別でみると、男性に比べ、女性で「社会的環境により作り上げられた風習」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「女性の参画を積極的に進めようとしている人が少ない」「女性自身の積極性が十分でない」「女性の能力開発の機会が不十分」の割合が高くなっています。

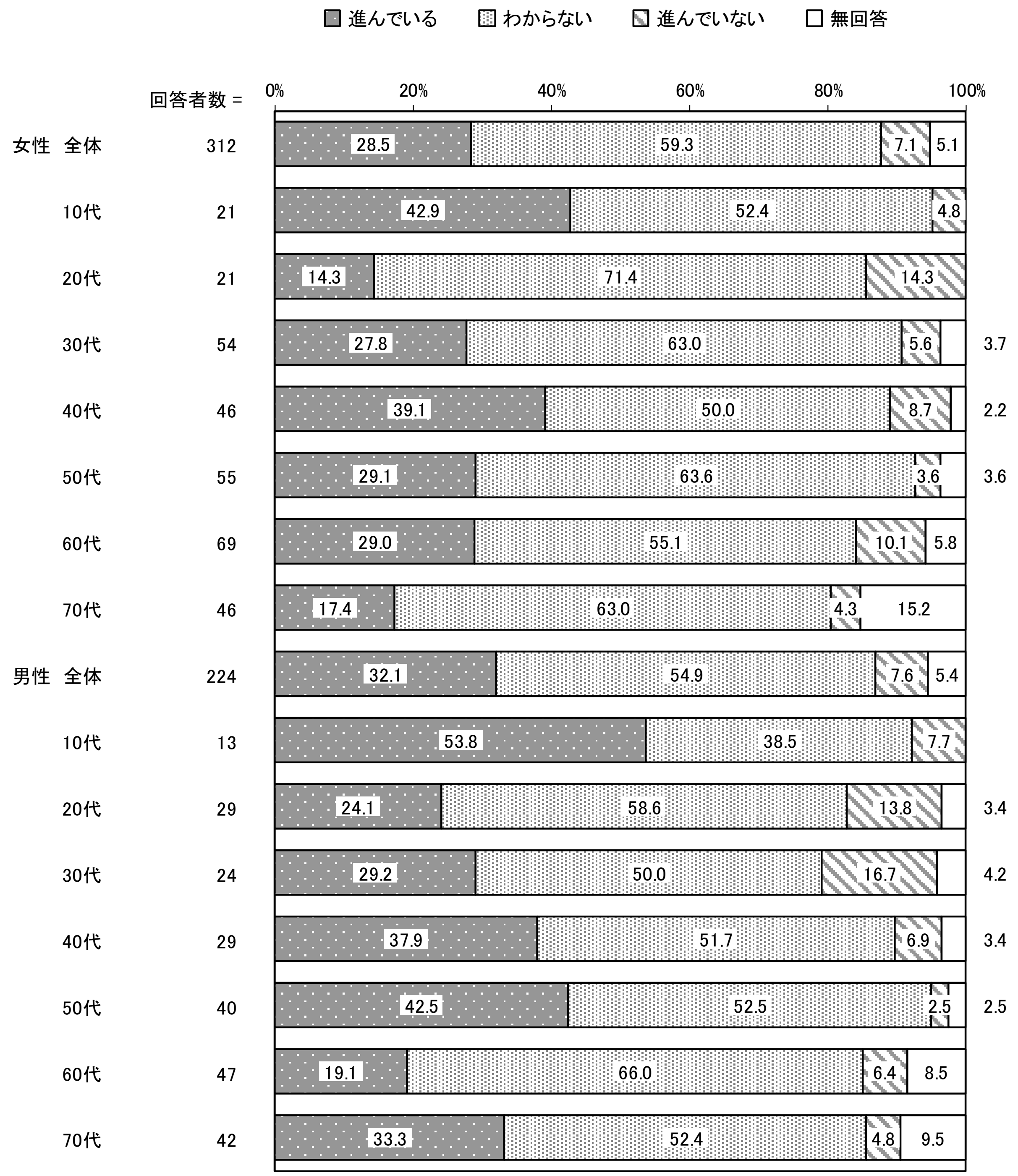
単位：％

| 区分 | 回答者数（件） | 男性優位の慣習的な組織形態 | 性別による役割意識や性差別の意識 | 社会的環境により作り上げられた風習 | 女性の参画を積極的に進めようとしている人が少ない | 女性自身の積極性が十分でない | 女性の能力開発の機会が不十分 | 家族の支援・協力が得られない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 女性 | 53 | 47.2 | 18.9 | 28.3 | 17.0 | 7.5 | 11.3 | 3.8 | 5.7 |
| 男性 | 35 | 42.9 | 14.3 | 22.9 | 22.9 | 20.0 | 25.7 | 2.9 | 2.9 |

5　学校（PTA 活動や奉仕活動）

【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、男性 10 代で「進んでいる」の割合が、女性 20 代で「わからない」の割合が高くなっています。



理由

【戸籍上の性別】

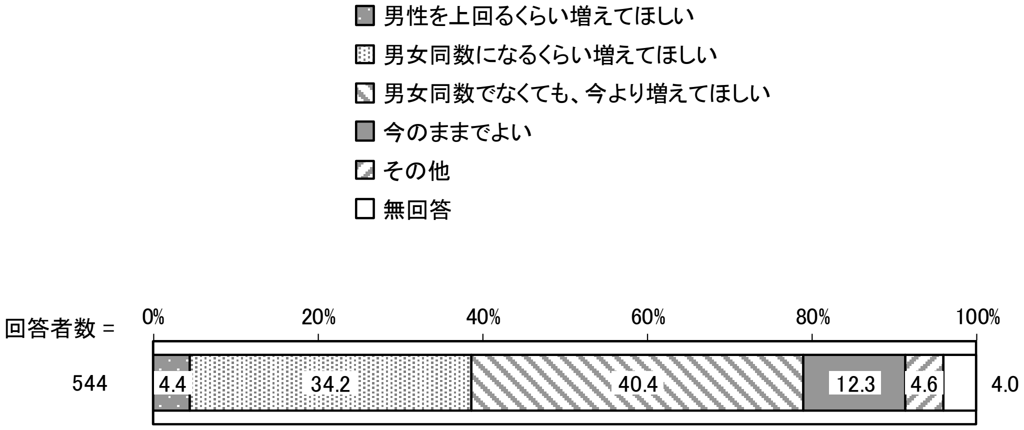
戸籍上の性別でみると、女性に比べ、男性で「男性優位の慣習的な組織形態」「女性自身の積極性が十分でない」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「社会的環境により作り上げられた風習」の割合が高くなっています。

単位：％

| 区分 | 回答者数（件） | 男性優位の慣習的な組織形態 | 性別による役割意識や性差別の意識 | 社会的環境により作り上げられた風習 | 女性の参画を積極的に進めようとしている人が少ない | 女性自身の積極性が十分でない | 女性の能力開発の機会が不十分 | 家族の支援・協力が得られない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 女性 | 22 | 27.3 | 9.1 | 45.5 | 13.6 | 9.1 | 4.5 | 9.1 | 9.1 |
| 男性 | 17 | 35.3 | 11.8 | 29.4 | 11.8 | 17.6 | － | 5.9 | 17.6 |

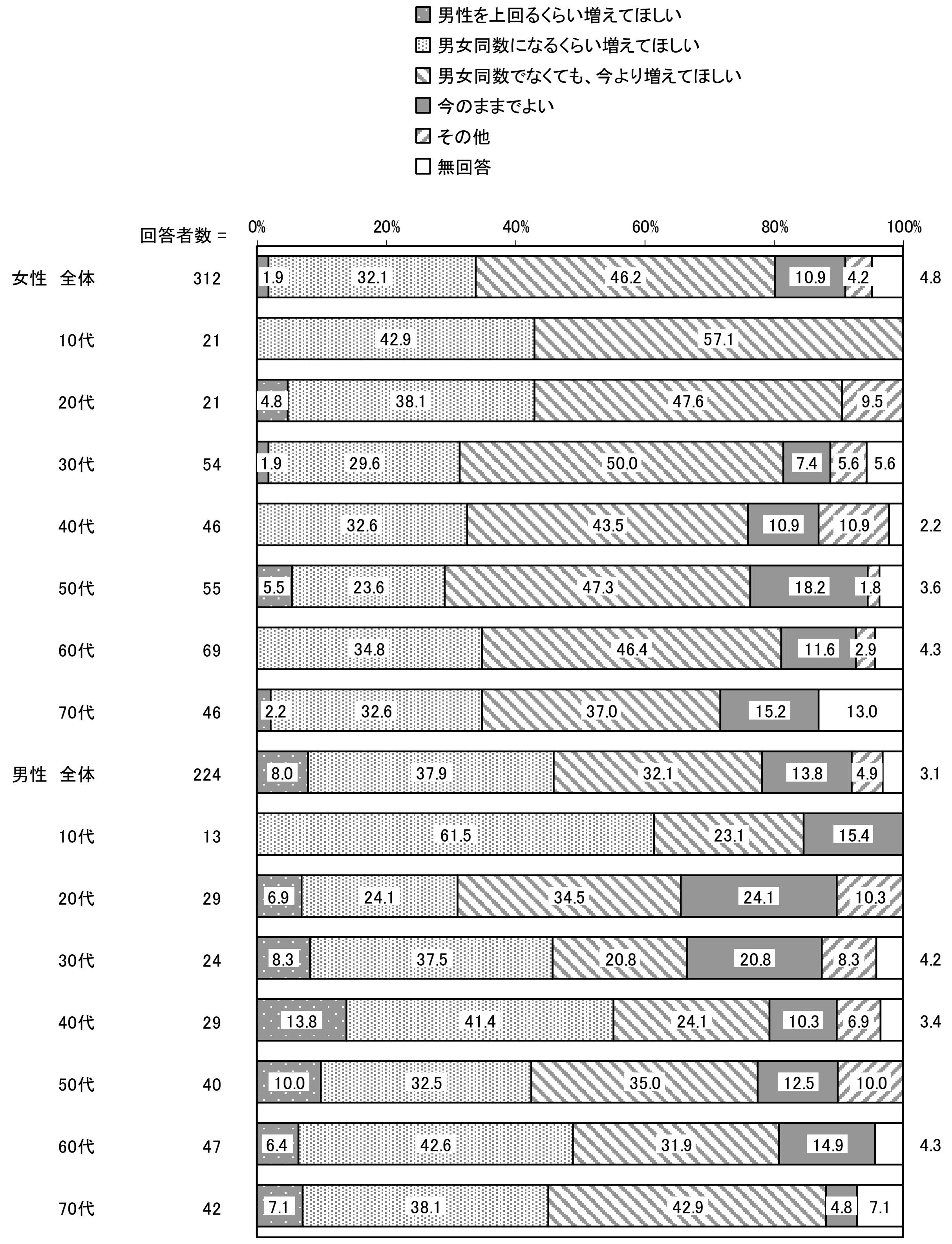
**【問 26】　あなたは、自治会・PTA 等の代表や職場の役職、議員や各種委員などの政策・方針決定の場に、女性が参画することについて、どう考えますか。一番近いもの１つに○をしてください。**

「男女同数でなくても、今より増えてほしい」の割合が 40.4％と最も高く、次いで「男女同数になるくらい増えてほしい」の割合が 34.2％、「今のままでよい」の割合が 12.3％となっています。



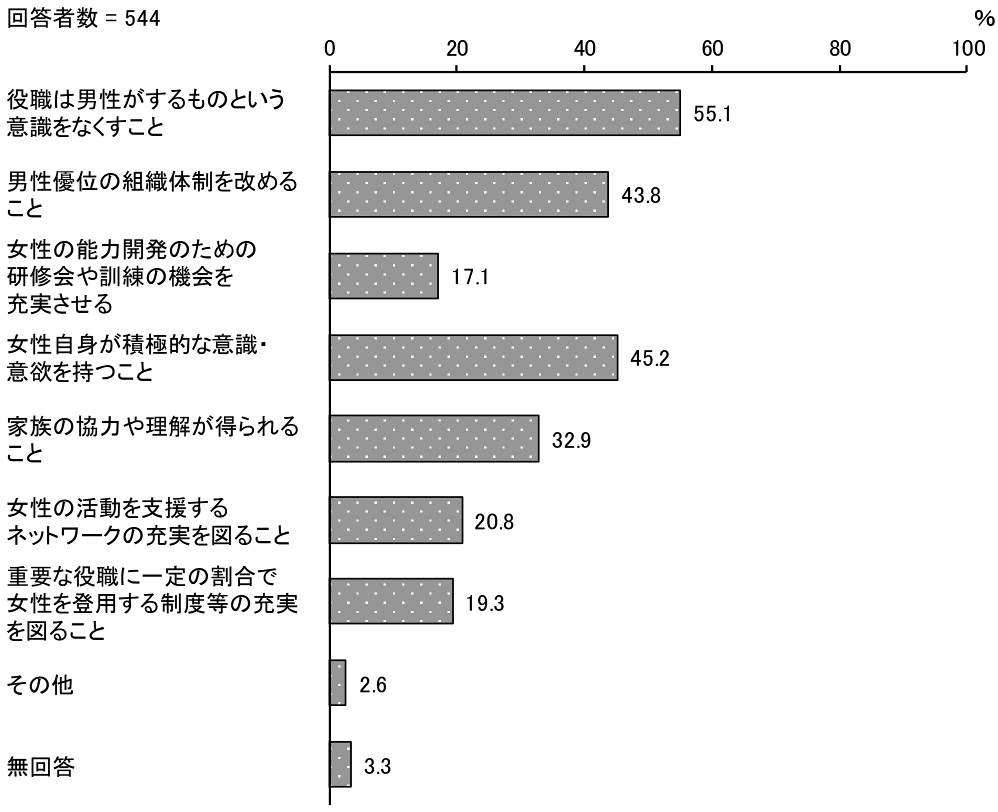
**【性・年代別】**

性・年代別でみると、他に比べ、男性 10 代で「男女同数になるくらい増えてほしい」の割合が、女性 10 代で「男女同数でなくても、今より増えてほしい」の割合が高くなっています。



【問 27】　あなたは、自治会・PTA 等の代表や職場の役職などの政策・方針決定の場に、女性の参画が増えていくために、何が必要だと考えますか。あてはまるもの３つまで〇をしてください

「役職は男性がするものという意識をなくすこと」の割合が 55.1％と最も高く、次いで「女性自身が積極的な意識・意欲を持つこと」の割合が 45.2％、「男性優位の組織体制を改めること」の割合が 43.8％となっています。



【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、女性30代で「家族の協力や理解が得られること」の割合が高くなっています。

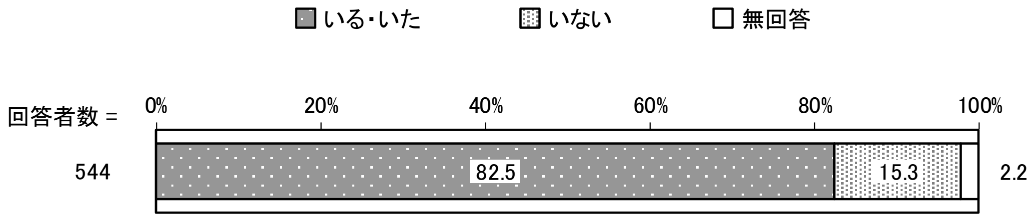
単位：％

| 区分 | 回答者数（件） | 役職は男性がするものという意識をなくすこと | 男性優位の組織体制を改めること | 女性の能力開発のための研修会や訓練の機会を充実させる | 女性自身が積極的な意識・意欲を持つこと | 家族の協力や理解が得られること | 女性の活動を支援するネットワークの充実を図ること | 重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度等の充実を図ること | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 女性　全体 | 312 | 54.5 | 46.2 | 18.3 | 46.2 | 35.6 | 22.8 | 18.6 | 2.2 | 2.9 |
| 10代 | 21 | 66.7 | 57.1 | 14.3 | 57.1 | 19.0 | 19.0 | 19.0 | － | － |
| 20代 | 21 | 71.4 | 42.9 | 14.3 | 28.6 | 19.0 | 38.1 | 19.0 | 14.3 | － |
| 30代 | 54 | 44.4 | 48.1 | 5.6 | 46.3 | 51.9 | 29.6 | 9.3 | － | 1.9 |
| 40代 | 46 | 52.2 | 47.8 | 15.2 | 26.1 | 39.1 | 15.2 | 15.2 | 8.7 | 2.2 |
| 50代 | 55 | 54.5 | 60.0 | 20.0 | 49.1 | 21.8 | 23.6 | 23.6 | － | － |
| 60代 | 69 | 55.1 | 42.0 | 29.0 | 52.2 | 44.9 | 18.8 | 17.4 | － | 1.4 |
| 70代 | 46 | 54.3 | 28.3 | 21.7 | 56.5 | 30.4 | 21.7 | 28.3 | － | 13.0 |
| 男性　全体 | 224 | 56.3 | 41.1 | 15.6 | 43.3 | 29.9 | 17.9 | 20.1 | 2.7 | 4.0 |
| 10代 | 13 | 53.8 | 46.2 | 30.8 | 15.4 | 7.7 | 38.5 | 15.4 | 7.7 | － |
| 20代 | 29 | 65.5 | 41.4 | 17.2 | 41.4 | 41.4 | 17.2 | 17.2 | 3.4 | － |
| 30代 | 24 | 45.8 | 33.3 | 12.5 | 29.2 | 41.7 | 4.2 | 8.3 | － | 4.2 |
| 40代 | 29 | 58.6 | 37.9 | 10.3 | 44.8 | 20.7 | 24.1 | 24.1 | － | 3.4 |
| 50代 | 40 | 57.5 | 30.0 | 10.0 | 50.0 | 35.0 | 15.0 | 10.0 | 7.5 | 5.0 |
| 60代 | 47 | 61.7 | 46.8 | 14.9 | 46.8 | 29.8 | 14.9 | 21.3 | 2.1 | 4.3 |
| 70代 | 42 | 47.6 | 50.0 | 21.4 | 50.0 | 23.8 | 21.4 | 35.7 | － | 7.1 |

## ６．配偶者（パートナー）や恋人等から受ける暴力について

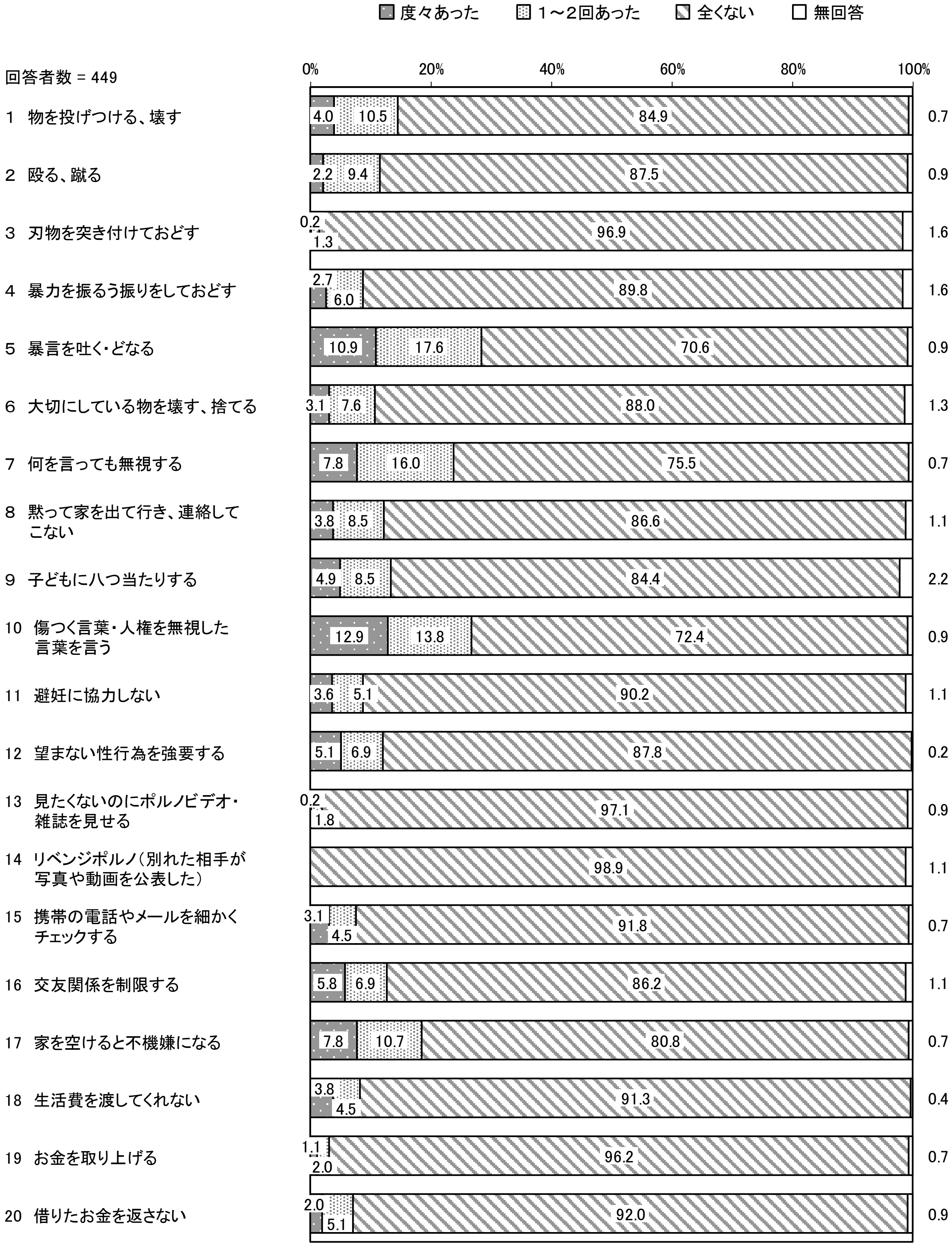
【問 28】　あなたは、現在またはこれまでに「配偶者（事実婚・同性パートナーを含む）・恋人」はいましたか。

「いる・いた」の割合が 82.5%、「いない」の割合が 15.3%となっています。



【問 28－a】　【問 28】で「１　いる・いた」を選択した方にお伺いします。これまでに配偶者（同性パートナーを含む）・恋人から次のような暴力を受けたことはありますか。それぞれ近いもの１つに○をしてください。

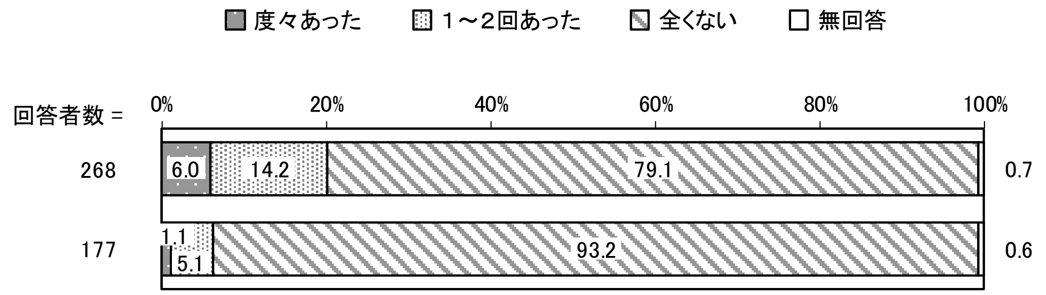
『５　暴言を吐く・どなる』『10　傷つく言葉・人権を無視した言葉をいう』で「度々あった」の割合が高くなっています。



1　物を投げつける、壊す

【戸籍上の性別】

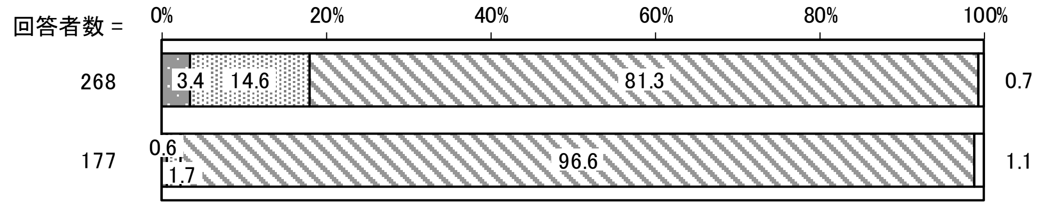
戸籍上の性別でみると、女性に比べ、男性で「全くない」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「１～２回あった」の割合が高くなっています。




2　殴る、蹴る

【戸籍上の性別】

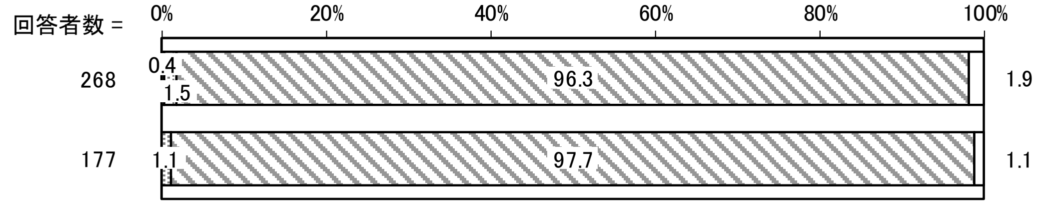
戸籍上の性別でみると、女性に比べ、男性で「全くない」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「１～２回あった」の割合が高くなっています。




3　刃物を突き付けておどす

【戸籍上の性別】

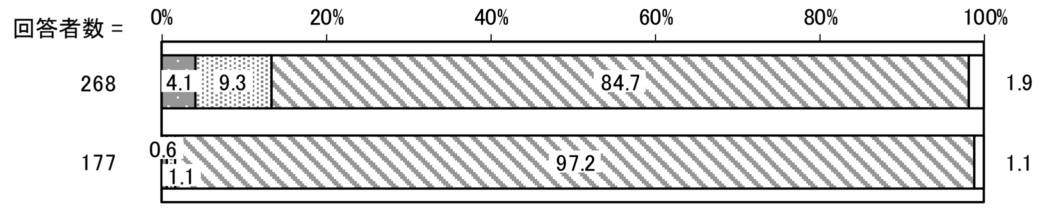
戸籍上の性別でみると、大きな差異はみられません。




4　暴力を振るう振りをしておどす

【戸籍上の性別】

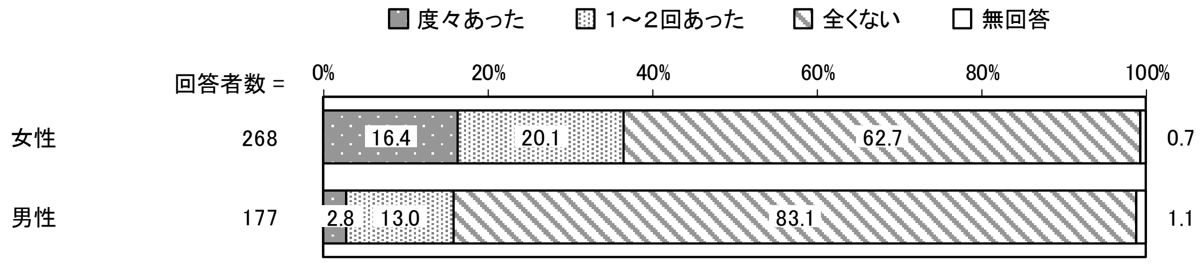
戸籍上の性別でみると、女性に比べ、男性で「全くない」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「１～２回あった」の割合が高くなっています。



5　暴言を吐く・どなる

【戸籍上の性別】

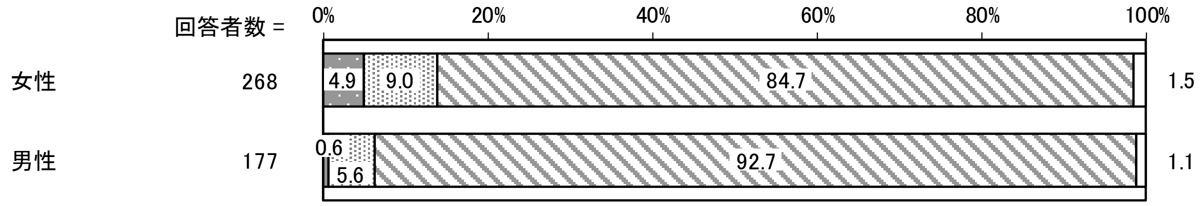
戸籍上の性別でみると、女性に比べ、男性で「全くない」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「度々あった」「１～２回あった」の割合が高くなっています。




6　大切にしている物を壊す、捨てる

【戸籍上の性別】

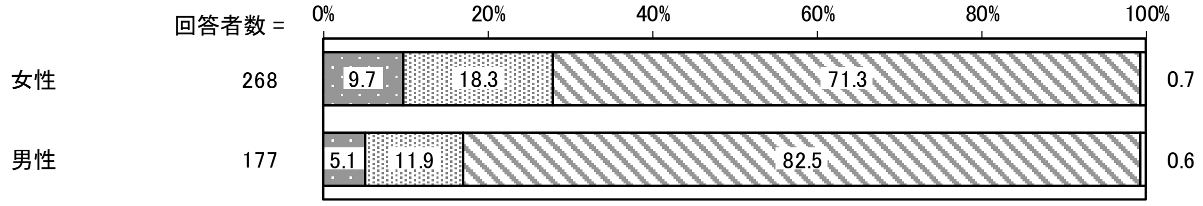
戸籍上の性別でみると、女性に比べ、男性で「全くない」の割合が高くなっています。




7　何を言っても無視する

【戸籍上の性別】

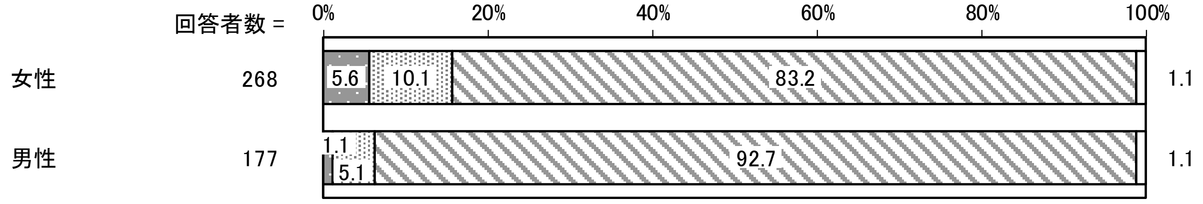
戸籍上の性別でみると、女性に比べ、男性で「全くない」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「１～２回あった」の割合が高くなっています。




8　黙って家を出て行き、連絡してこない

【戸籍上の性別】

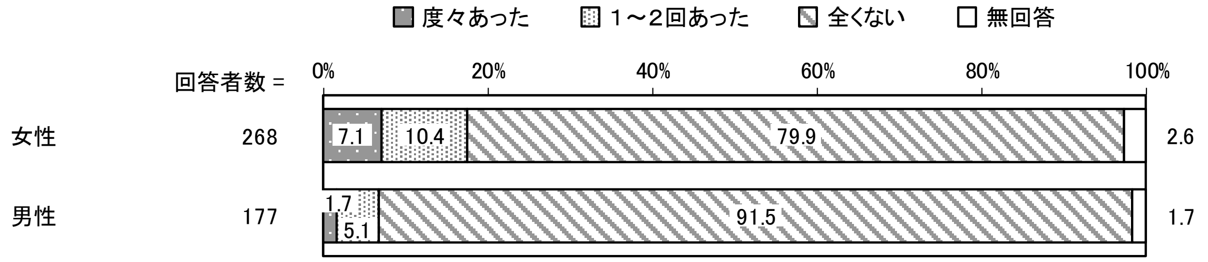
戸籍上の性別でみると、女性に比べ、男性で「全くない」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「１～２回あった」の割合が高くなっています。



9　子どもに八つ当たりする

【戸籍上の性別】

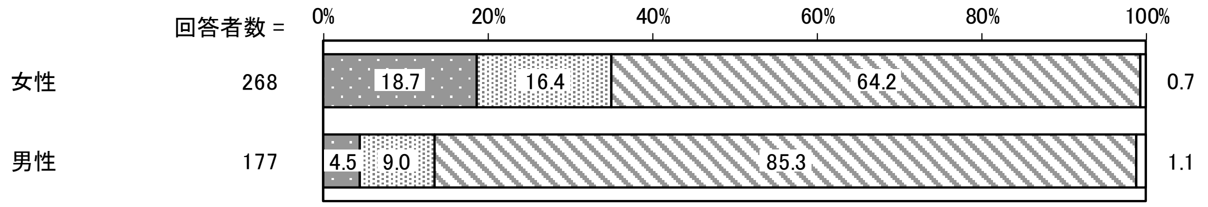
戸籍上の性別でみると、女性に比べ、男性で「全くない」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「度々あった」「１～２回あった」の割合が高くなっています。




10　傷つく言葉・人権を無視した言葉を言う

【戸籍上の性別】

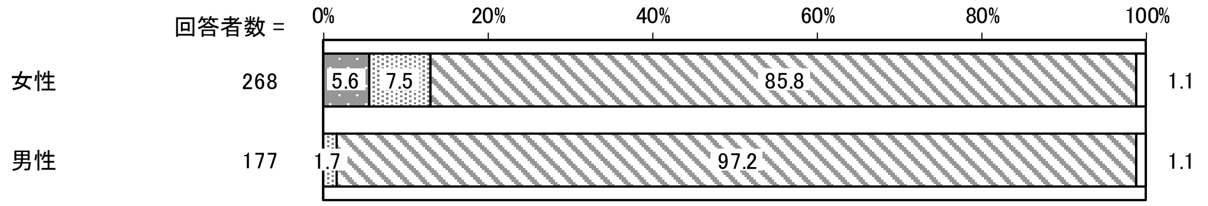
戸籍上の性別でみると、女性に比べ、男性で「全くない」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「度々あった」「１～２回あった」の割合が高くなっています。




11　避妊に協力しない

【戸籍上の性別】

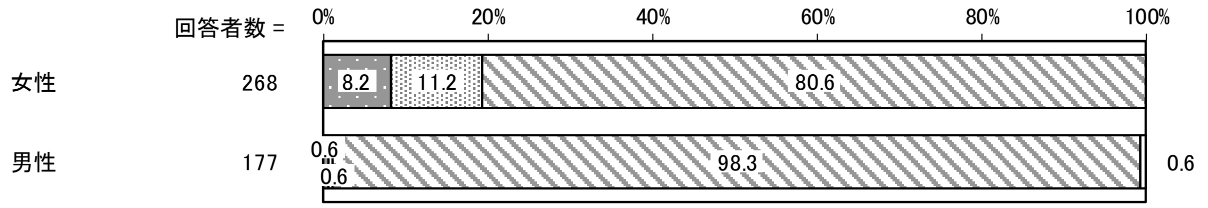
戸籍上の性別でみると、女性に比べ、男性で「全くない」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「度々あった」「１～２回あった」の割合が高くなっています。




12　望まない性行為を強要する

【戸籍上の性別】

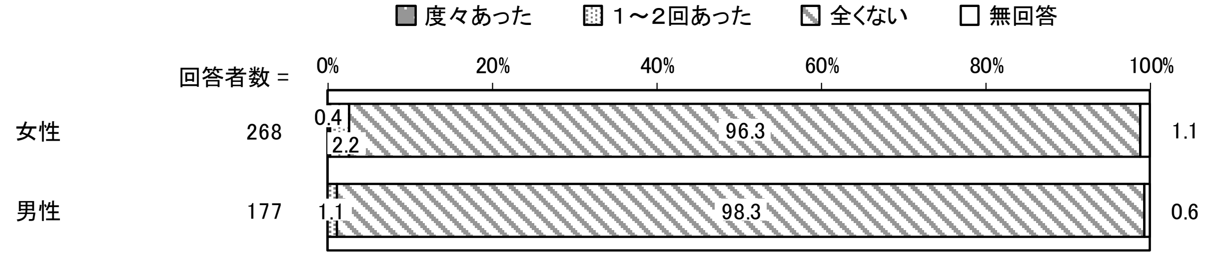
戸籍上の性別でみると、女性に比べ、男性で「全くない」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「度々あった」「１～２回あった」の割合が高くなっています。



13　見たくないのにポルノビデオ・雑誌を見せる

**【戸籍上の性別】**

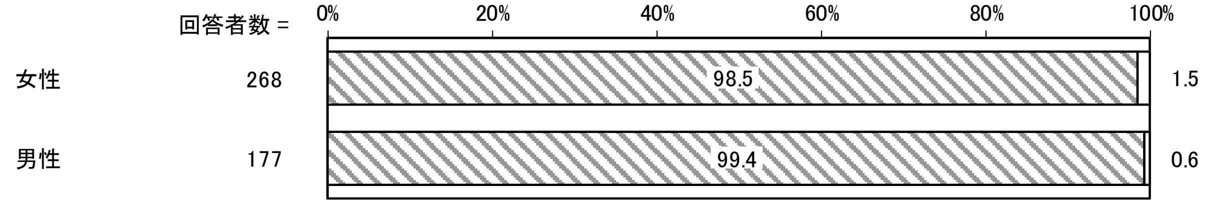
戸籍上の性別でみると、大きな差異はみられません。




14　リベンジポルノ（別れた相手が写真や動画を公表した）

**【戸籍上の性別】**

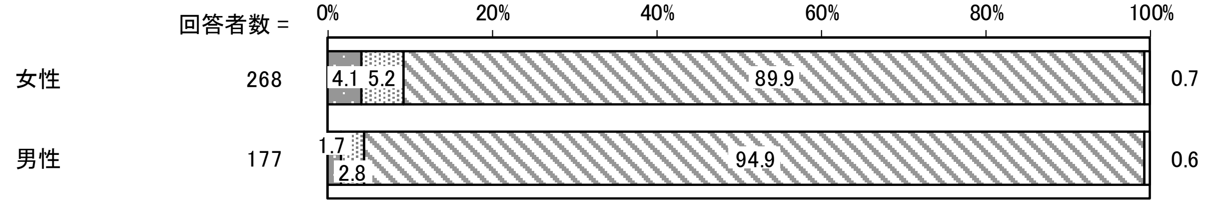
戸籍上の性別でみると、大きな差異はみられません。




15　携帯の電話やメールを細かくチェックする

**【戸籍上の性別】**

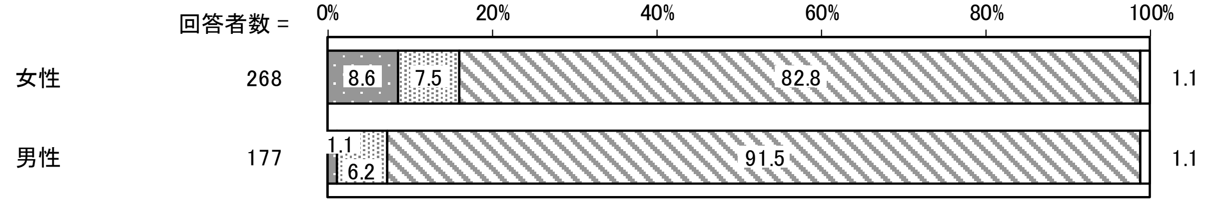
戸籍上の性別でみると、女性に比べ、男性で「全くない」の割合が高くなっています。




16　交友関係を制限する

**【戸籍上の性別】**

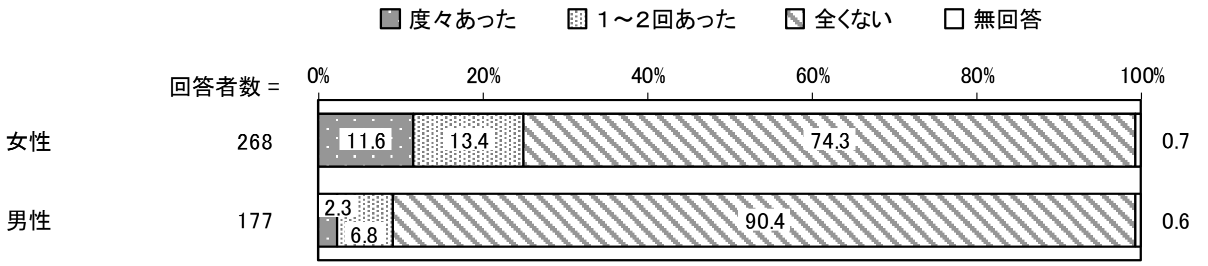
戸籍上の性別でみると、女性に比べ、男性で「全くない」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「度々あった」の割合が高くなっています。



### 17　家を空けると不機嫌になる

**【戸籍上の性別】**

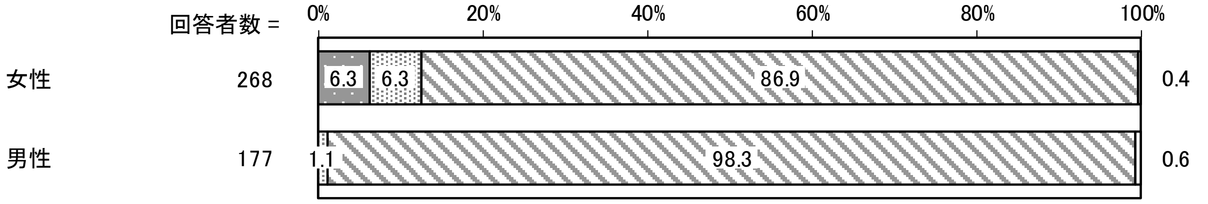
戸籍上の性別でみると、女性に比べ、男性で「全くない」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「度々あった」「１～２回あった」の割合が高くなっています。




### 18　生活費を渡してくれない

**【戸籍上の性別】**

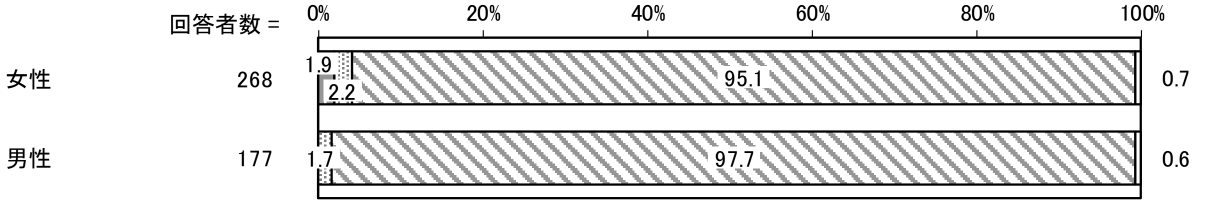
戸籍上の性別でみると、女性に比べ、男性で「全くない」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「度々あった」「１～２回あった」の割合が高くなっています。




### 19　お金を取り上げる

**【戸籍上の性別】**

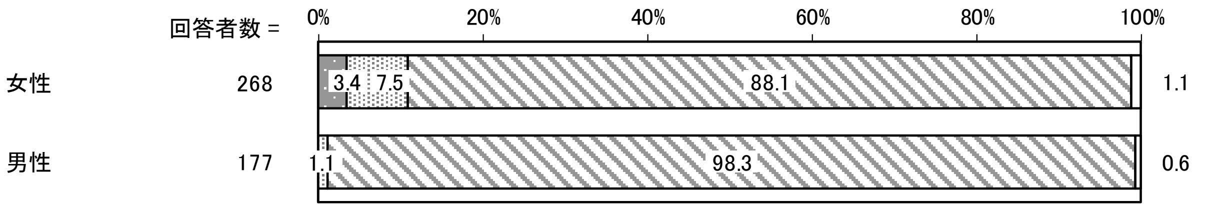
戸籍上の性別でみると、大きな差異はみられません。




### 20　借りたお金を返さない

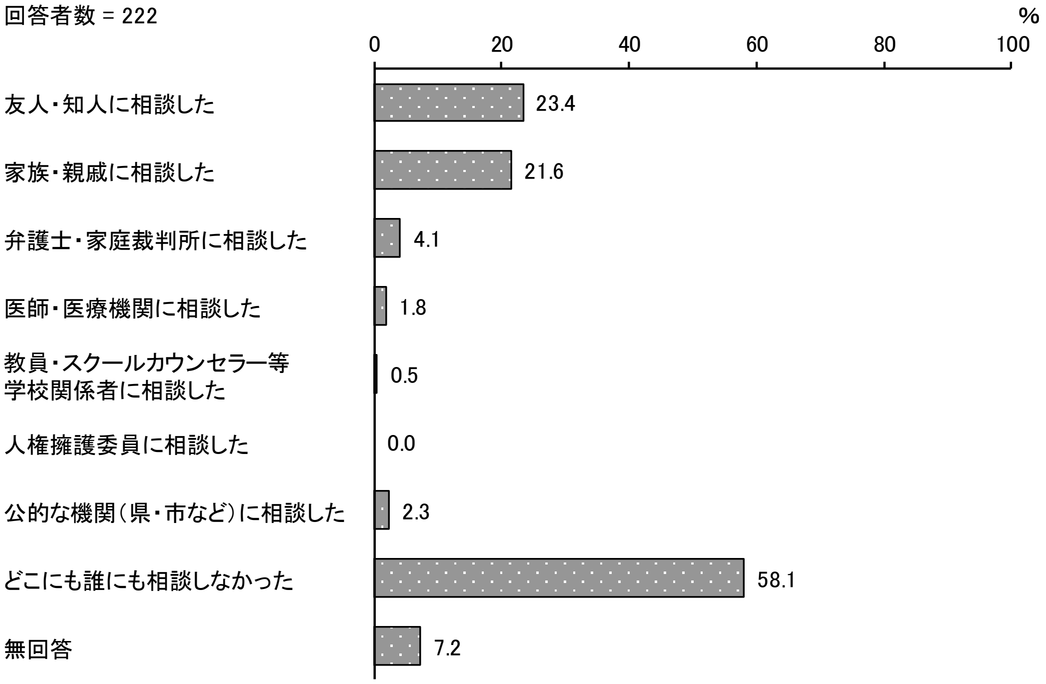
**【戸籍上の性別】**

戸籍上の性別でみると、女性に比べ、男性で「全くない」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「１～２回あった」の割合が高くなっています。



【問 28－b】　【問 28－a】で「度々あった・ 1～２回あった」に１つでも〇をした方に伺います。誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。あてはまるものをいくつでも〇をしてください。

「どこにも誰にも相談しなかった」の割合が 58.1％と最も高く、次いで「友人・知人に相談した」の割合が 23.4％、「家族・親戚に相談した」の割合が 21.6％となっています。




**【戸籍上の性別】**

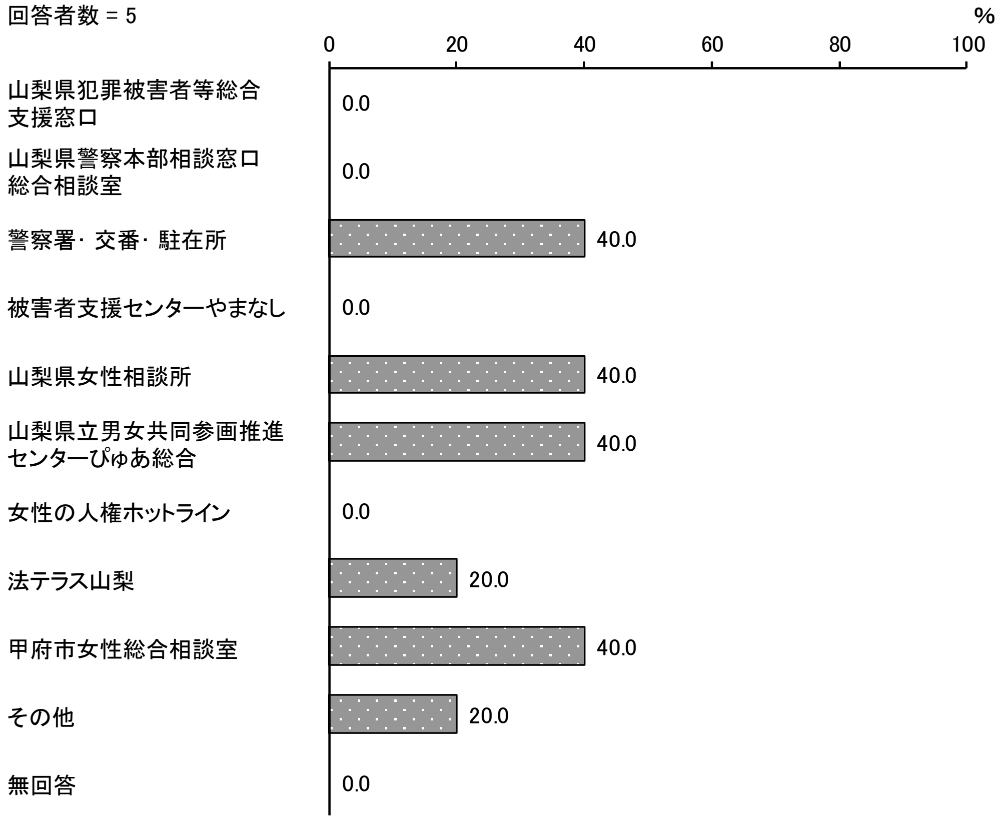
戸籍上の性別でみると、男性に比べ、女性で「友人・知人に相談した」「家族・親戚に相談した」の割合が高くなっています。一方、女性に比べ、男性で「どこにも誰にも相談しなかった」の割合が高くなっています。

単位：％

| 区分 | 回答者数（件） | 友人・知人に相談した | 家族・親戚に相談した | 弁護士・家庭裁判所に相談した | 医師・医療機関に相談した | 教員・スクールカウンセラー等学校関係者に相談した | 人権擁護委員に相談した | 公的な機関（県・市など）に相談した | どこにも誰にも相談しなかった | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 女性 | 156 | 26.9 | 25.6 | 5.8 | 1.9 | 0.6 | － | 2.6 | 52.6 | 7.7 |
| 男性 | 63 | 14.3 | 9.5 | － | 1.6 | － | － | 1.6 | 73.0 | 6.3 |

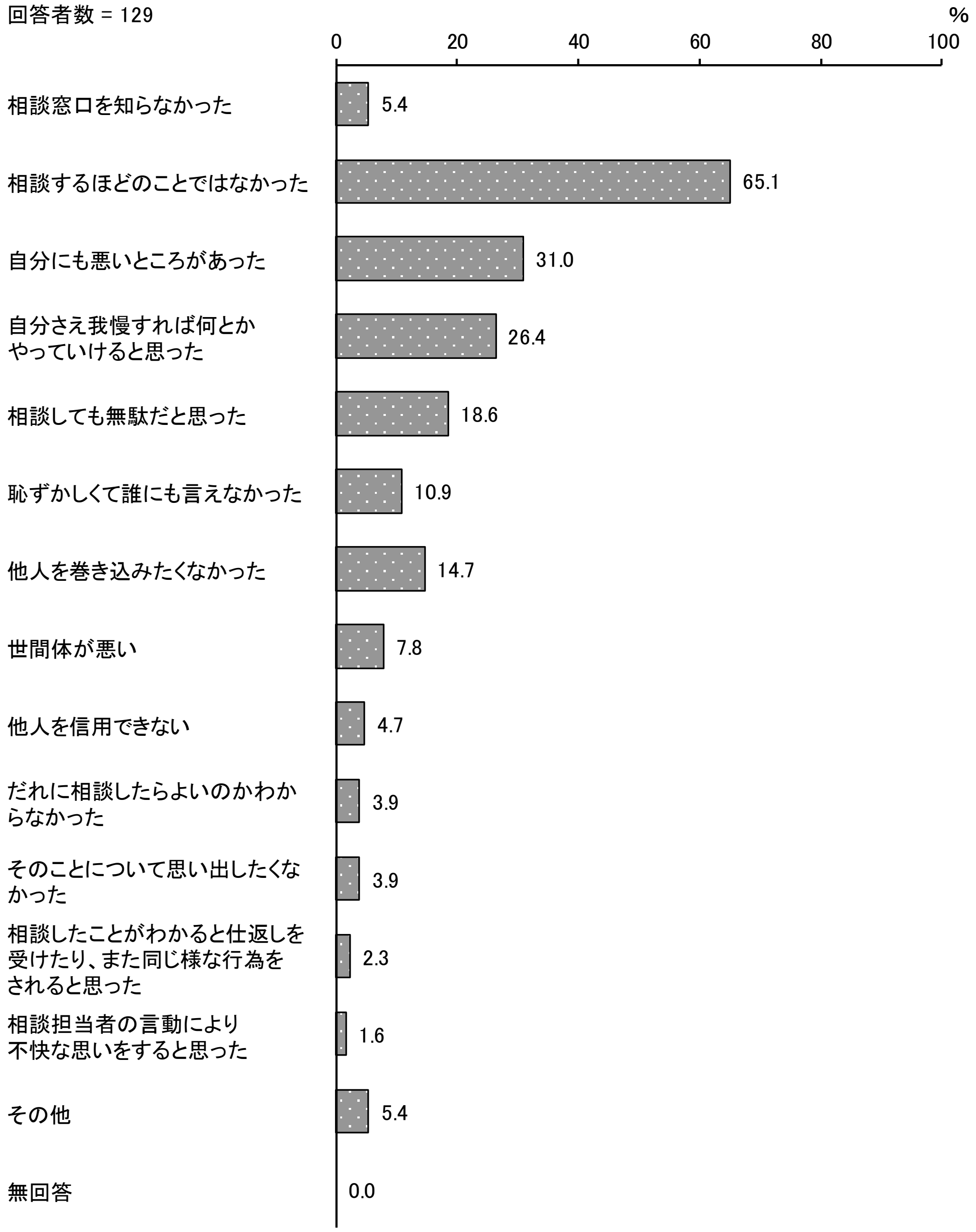
【問 28－c】　【問 28－b】で「７　公的な機関（県・市など）に相談した」を選択した方にお伺いします。公的な機関とはどこですか。あてはまるものをいくつでも○をしてください。

「警察署・交番・駐在所」、「山梨県女性相談所」、「山梨県立男女共同参画推進センターぴゅあ総合」、「甲府市女性総合相談室」が２件となっています。



【問 28－d】　【問 28－b】で「８　どこにも誰にも相談しなかった」に○をした方に伺います。相談しなかったのは、何故ですか。あてはまるものすべてに○をしてください。

「相談するほどのことではなかった」の割合が 65.1％と最も高く、次いで「自分にも悪いところがあった」の割合が 31.0％、「自分さえ我慢すれば何とかやっていけると思った」の割合が 26.4％となっています。



【戸籍上の性別】

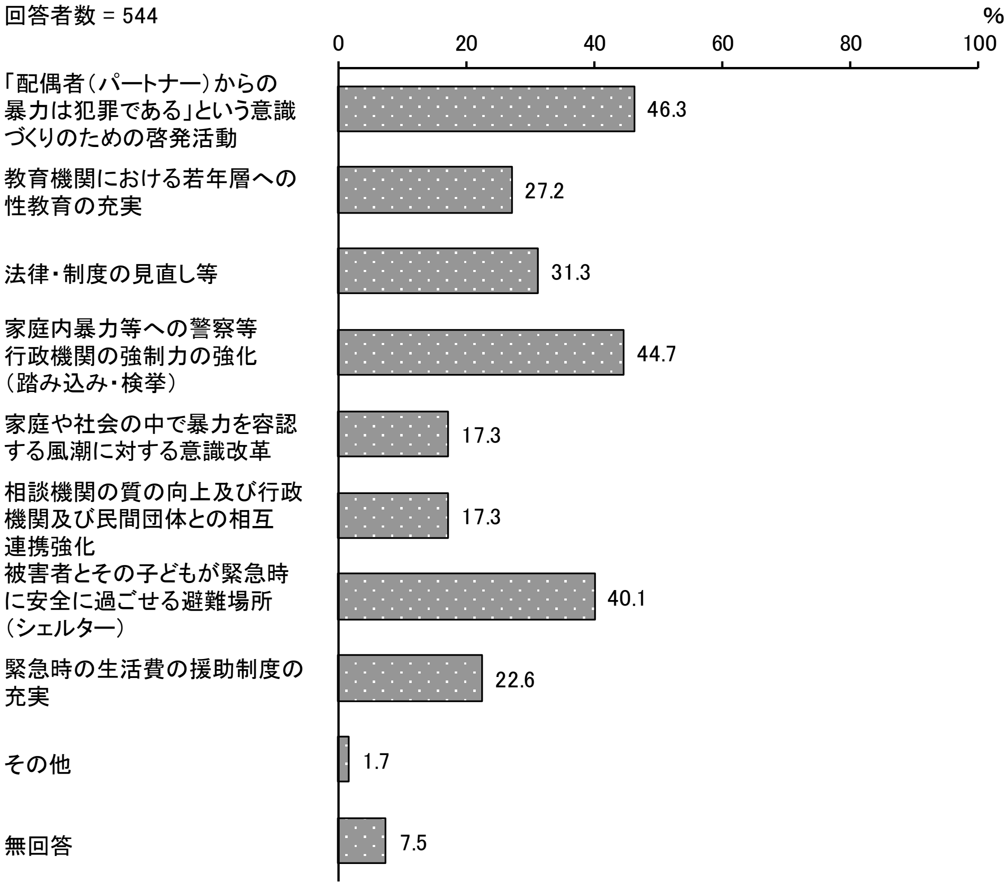
戸籍上の性別でみると、女性に比べ、男性で「相談窓口を知らなかった」「自分にも悪いところがあった」の割合が高くなっています。一方、男性に比べ、女性で「自分さえ我慢すれば何とかやっていけると思った」「相談しても無駄だと思った」「他人を巻き込みたくなかった」の割合が高くなっています。

単位：％

| 区分 | 回答者数（件） | 相談窓口を知らなかった | 相談するほどのことではなかった | 自分にも悪いところがあった | 自分さえ我慢すれば何とかやっていけると思った | 相談しても無駄だと思った | 恥ずかしくて誰にも言えなかった | 他人を巻き込みたくなかった | 世間体が悪い | 他人を信用できない | だれに相談したらよいのかわからなかった | そのことについて思い出したくなかった | 相談したことがわかると仕返しを受けたり、また同じ様な行為をされると思った | 相談担当者の言動により不快な思いをすると思った | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 女性 | 82 | 4.9 | 58.5 | 28.0 | 32.9 | 25.6 | 12.2 | 17.1 | 8.5 | 3.7 | 6.1 | 6.1 | 3.7 | 1.2 | 4.9 | － |
| 男性 | 46 | 6.5 | 76.1 | 34.8 | 13.0 | 6.5 | 8.7 | 10.9 | 6.5 | 6.5 | － | － | － | 2.2 | 6.5 | － |

【問 29】　DV 等を防止するために、どのような対策が効果的、または必要だと思いますか。あてはまるもの３つまで○をしてください

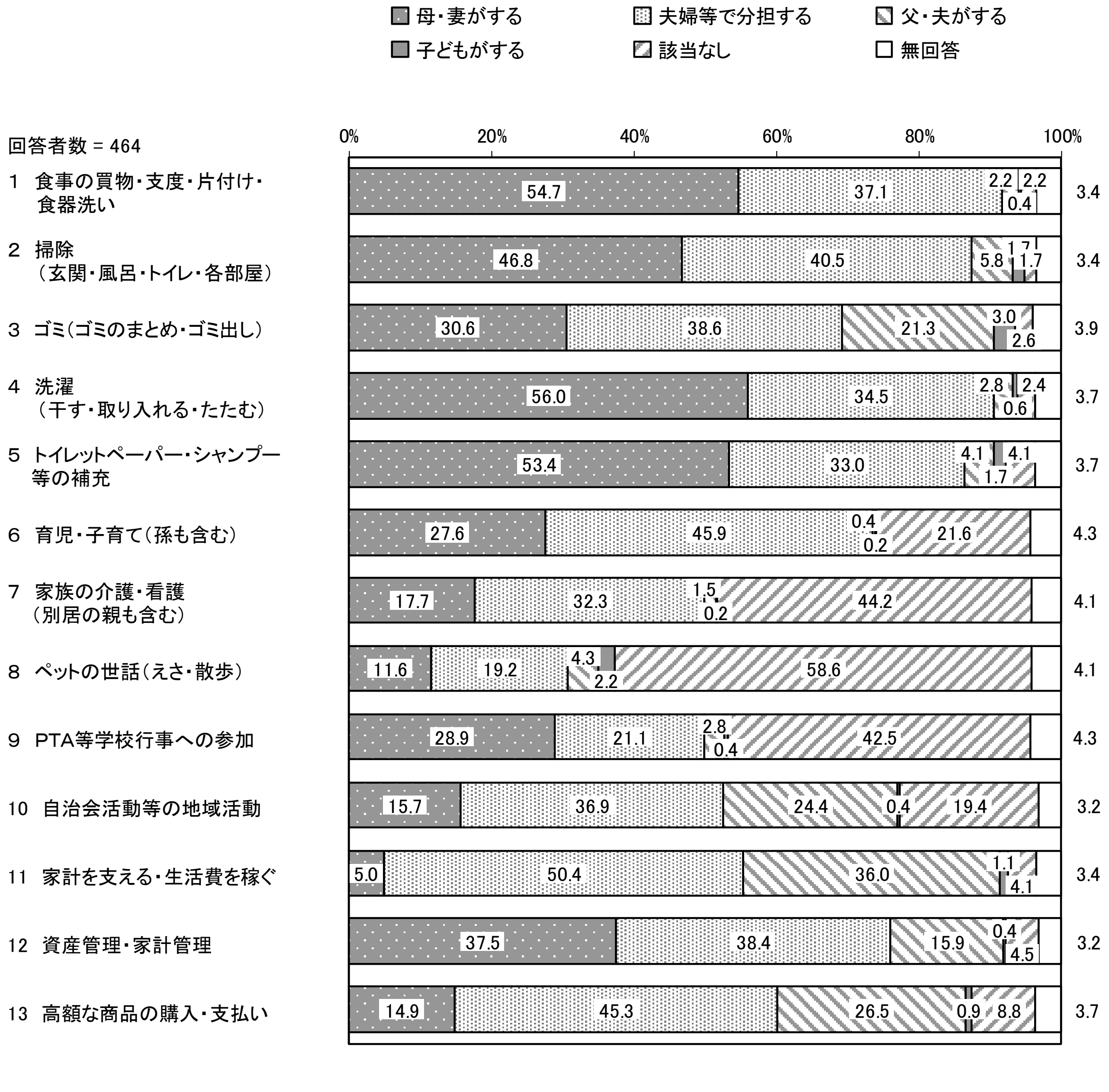
「「配偶者（パートナー）からの暴力は犯罪である」という意識づくりのための啓発活動」の割合が 46.3％と最も高く、次いで「家庭内暴力等への警察等行政機関の強制力の強化（踏み込み・検挙)」の割合が 44.7％、「被害者とその子どもが緊急時に安全に過ごせる避難場所（シェルター)」の割合が 40.1％となっています。



## ７．性別役割意識・アンコンシャスバイアスついて

【問 30】　あなたのご家庭では、次のことを主に誰が行っていますか。
それぞれ近いもの１つに○をしてください。

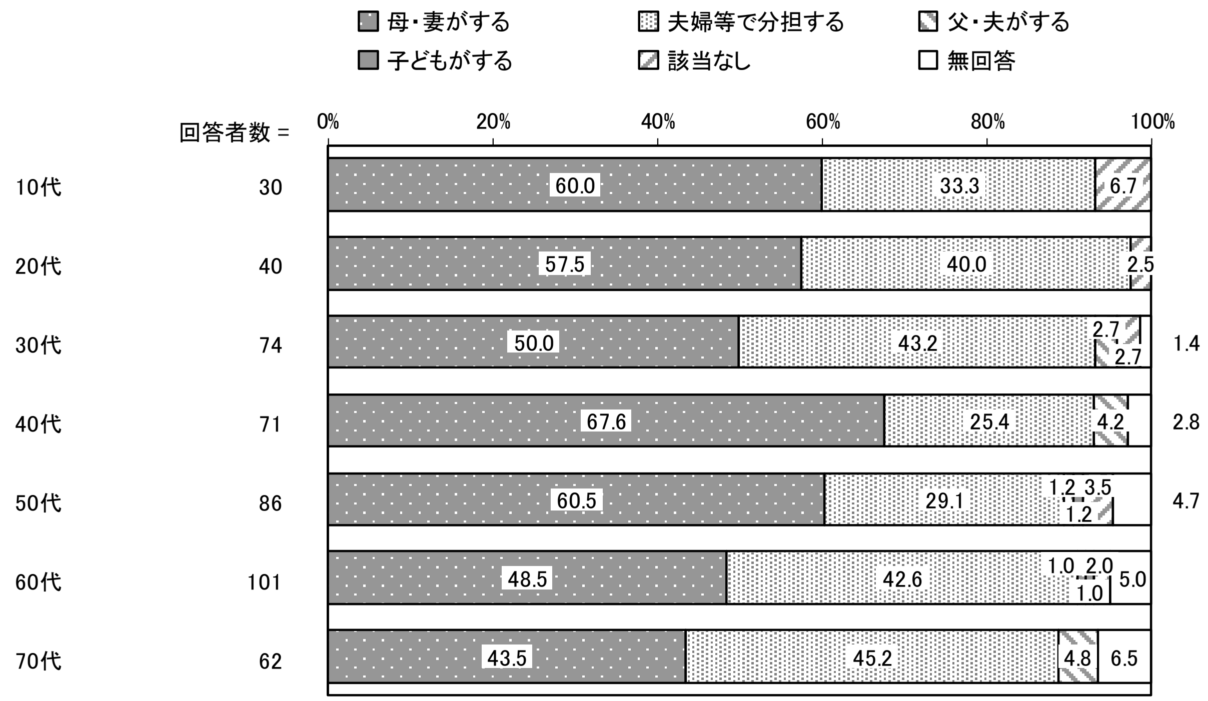
『１　食事の買物・支度・片付け・食器洗い』『４　洗濯（干す・取り入れる・たたむ）』『５　トイレットペーパー・シャンプー等の補充』で「母・妻がする」の割合が、『11　家計を支える・生活費を稼ぐ』で「夫婦等で分担する」の割合が高くなっています。



1　食事の買物・支度・片付け・食器洗い

【年代別】

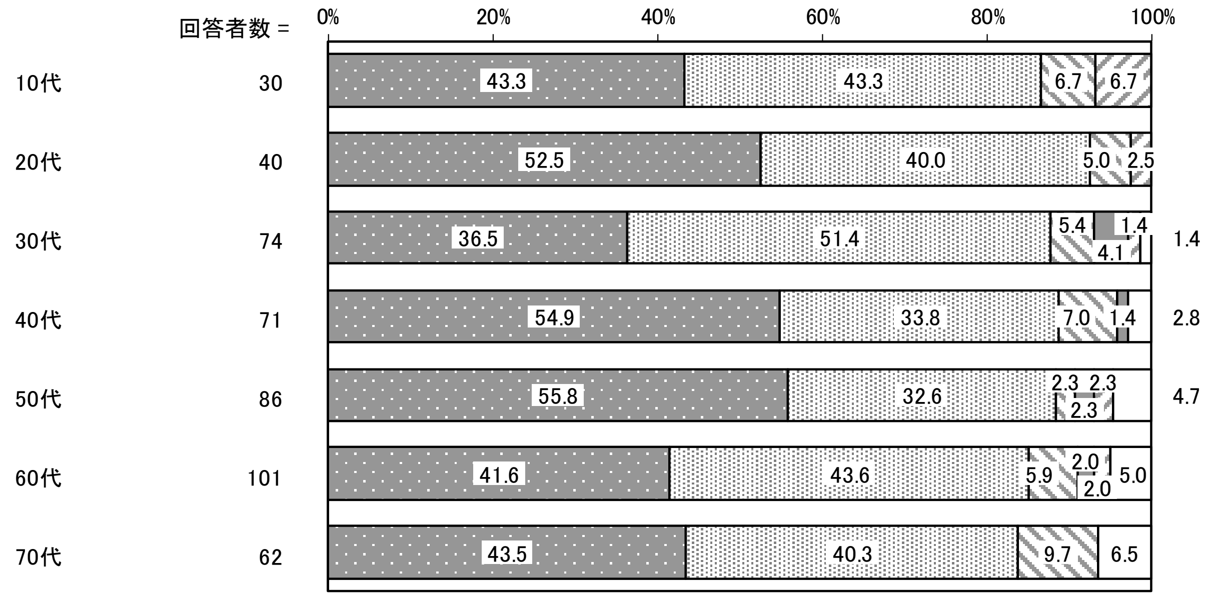
年代別でみると、他に比べ、40 代で「母・妻がする」の割合が高くなっています。




2　掃除（玄関・風呂・トイレ・各部屋）

【年代別】

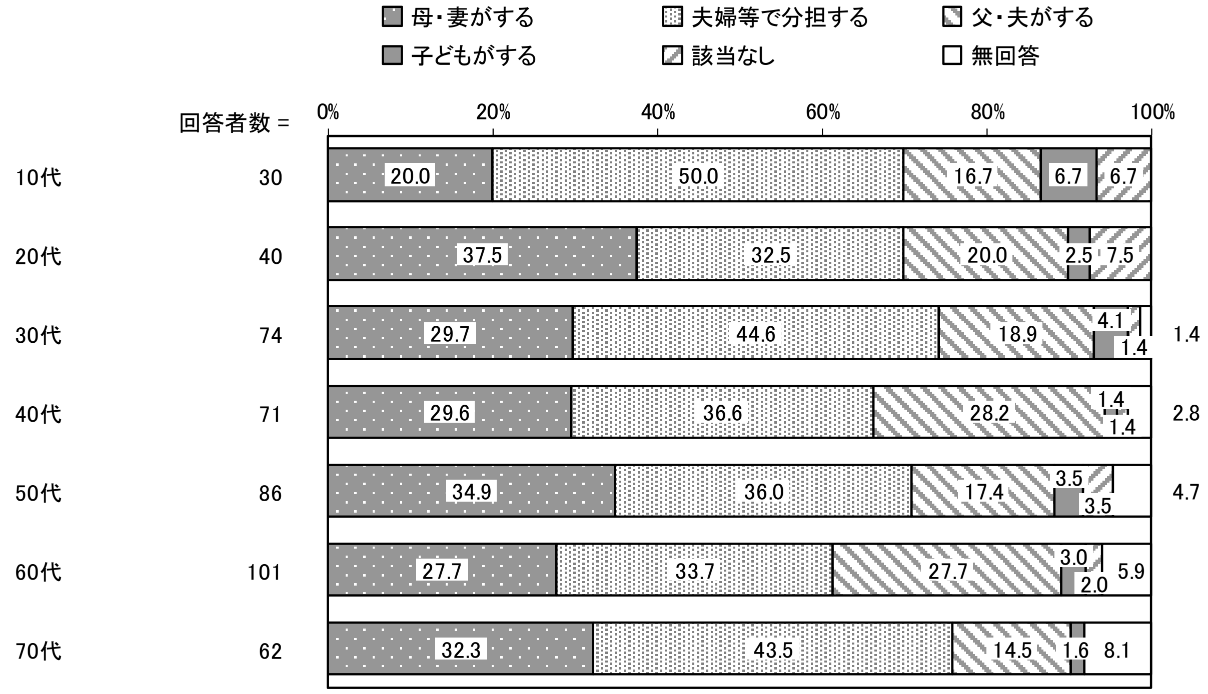
年代別でみると、他に比べ、30 代で「夫婦等で分担する」の割合が高くなっています。



3　ゴミ（ゴミのまとめ・ゴミ出し）

【年代別】

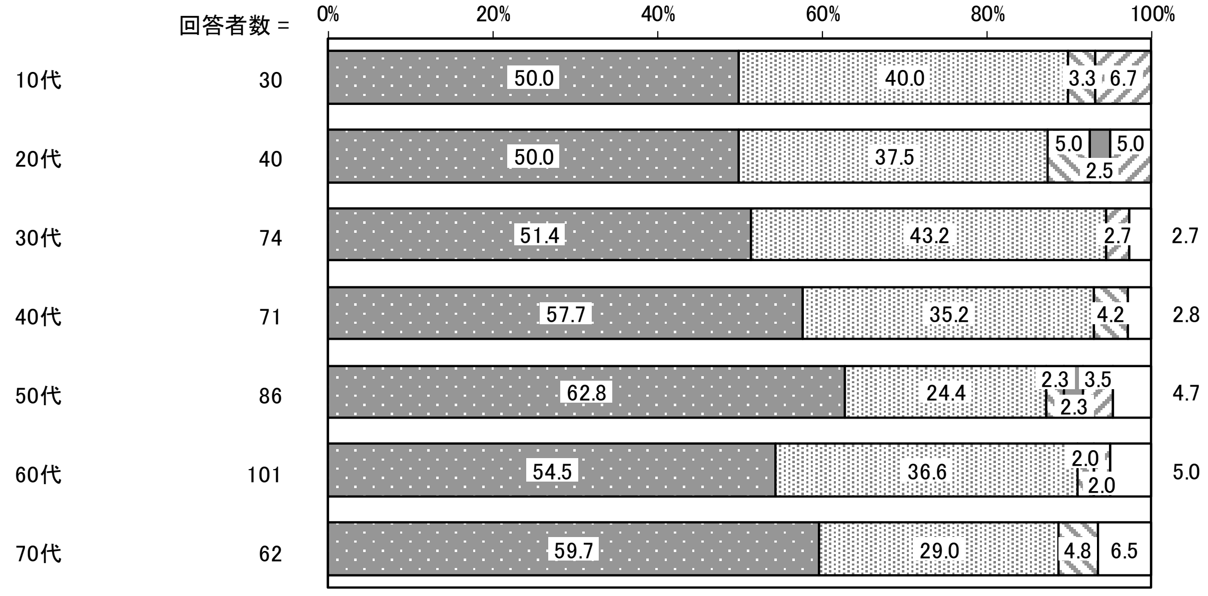
年代別でみると、他に比べ、10 代で「夫婦等で分担する」の割合が高くなっています。




4　洗濯（干す・取り入れる・たたむ）

【年代別】

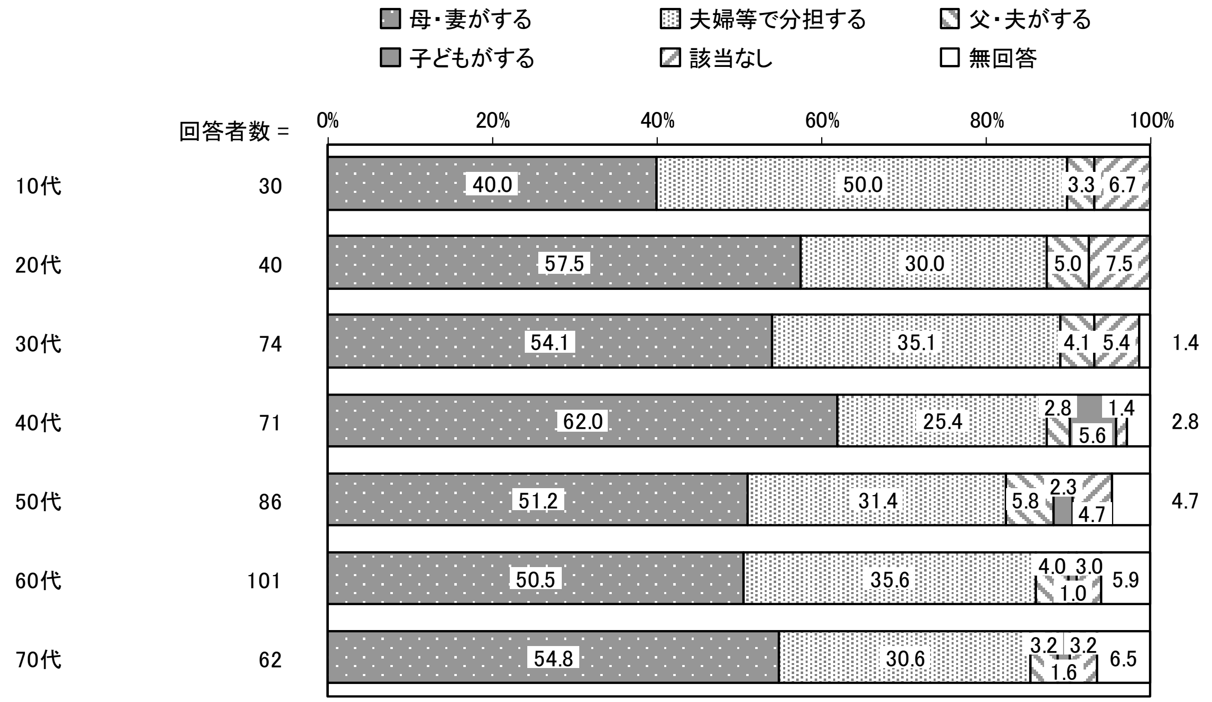
年代別でみると、他に比べ、50 代で「母・妻がする」の割合が高くなっています。



## 5　トイレットペーパー・シャンプー等の補充

【年代別】

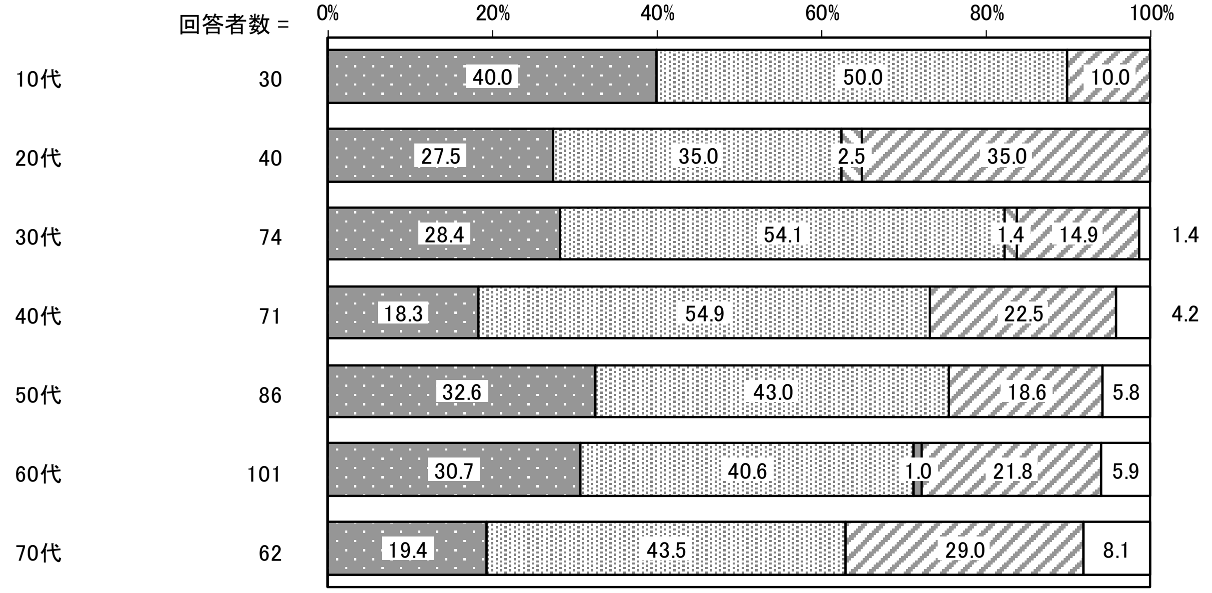
年代別でみると、他に比べ、40 代で「母・妻がする」の割合が、10 代で「夫婦等で分担する」の割合が高くなっています。




## 6　育児・子育て（孫も含む）

【年代別】

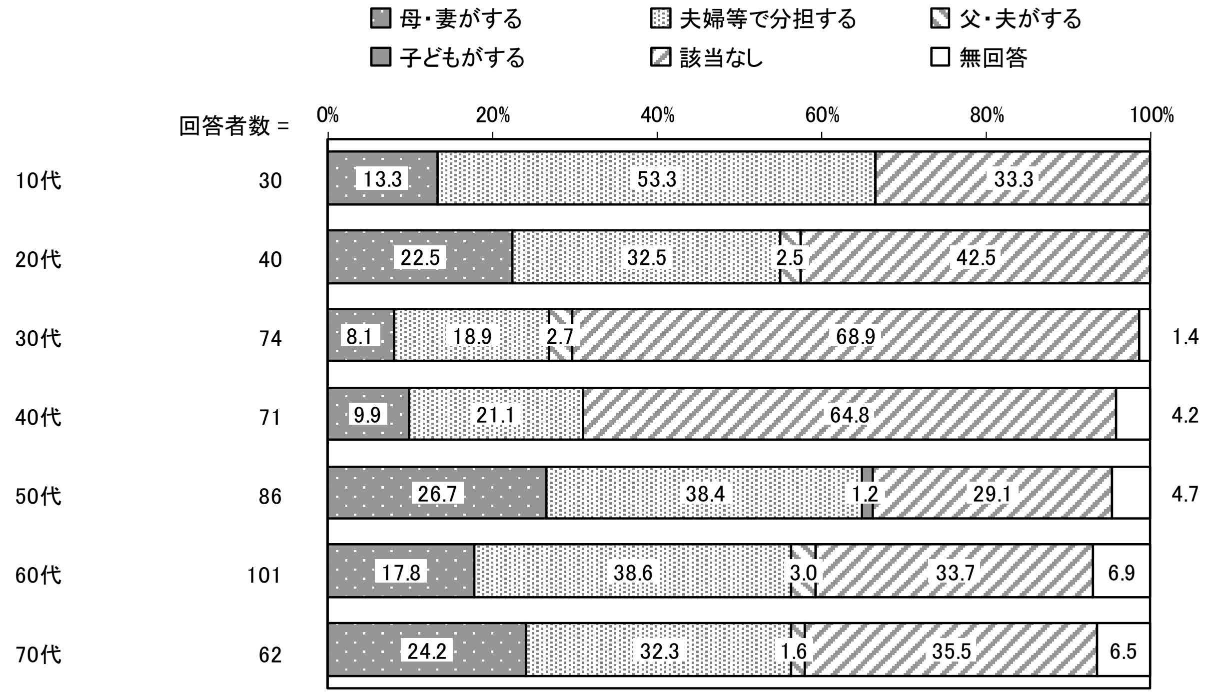
年代別でみると、他に比べ、10 代で「母・妻がする」の割合が、20 代で「該当なし」の割合が高くなっています。



## 7　家族の介護・看護（別居の親も含む）

【年代別】

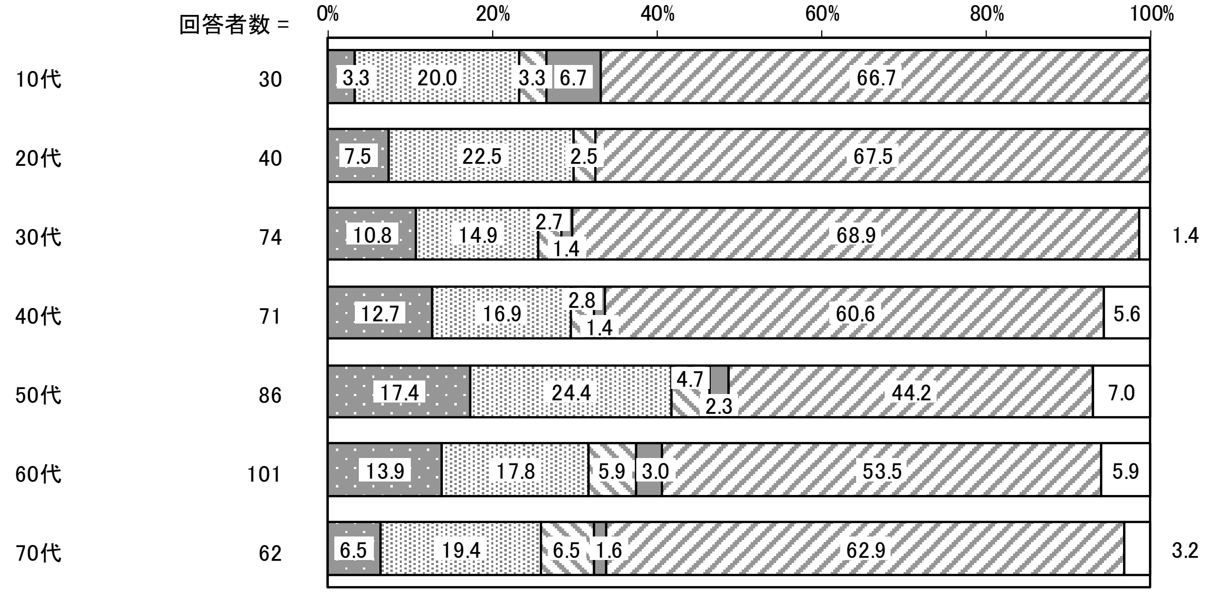
年代別でみると、他に比べ、10代で「夫婦等で分担する」の割合が高くなっています。




## 8　ペットの世話（えさ・散歩）

【年代別】

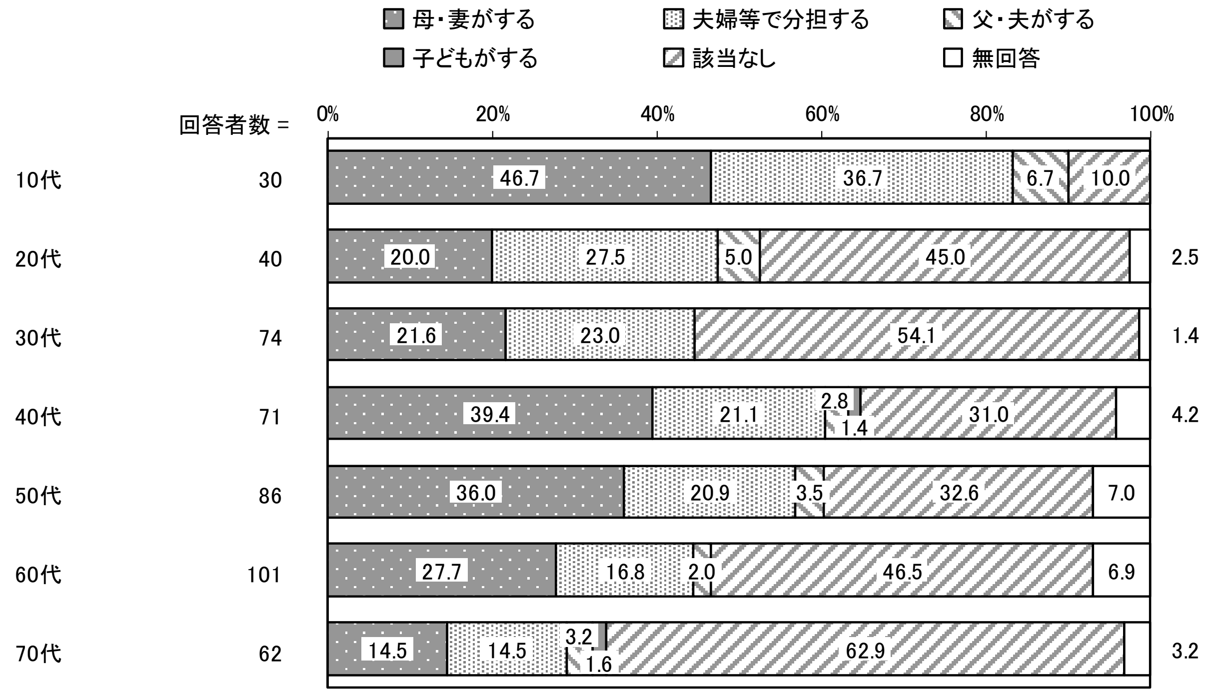
年代別でみると、他に比べ、50代で「母・妻がする」「夫婦等で分担する」の割合が高くなっています。



## 9　ＰＴＡ等学校行事への参加

【年代別】

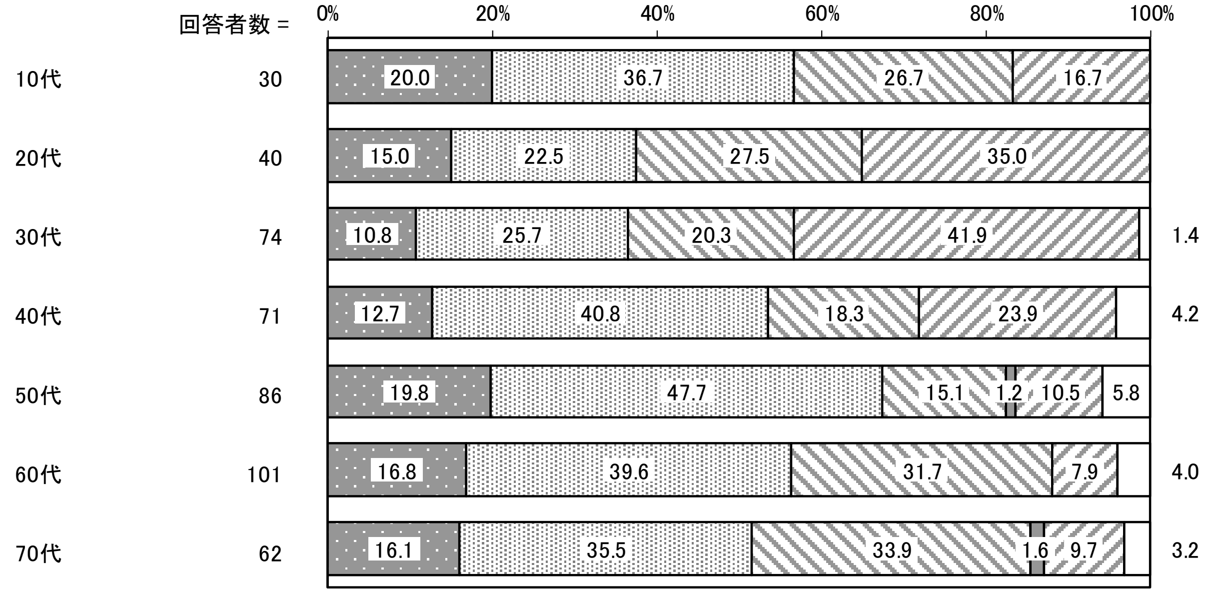
年代別でみると、他に比べ、10 代で「母・妻がする」「夫婦等で分担する」の割合が、70 代で「該当なし」の割合が高くなっています。




## 10　自治会活動等の地域活動

【年代別】

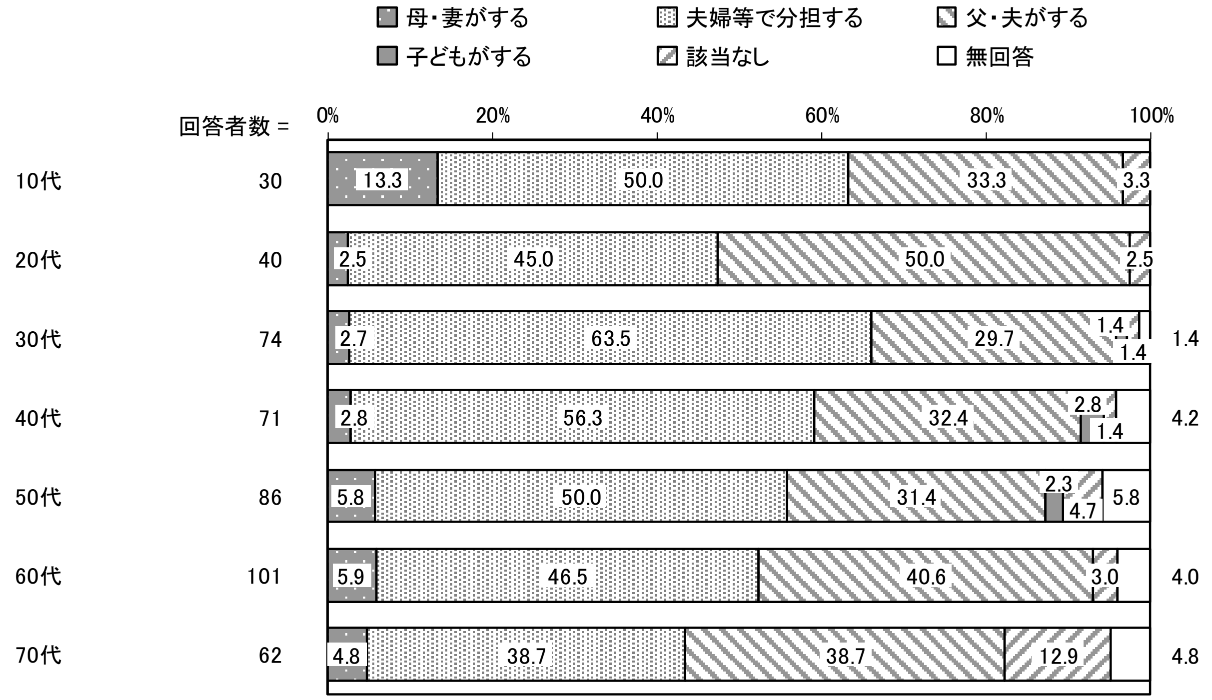
年代別でみると、他に比べ、50 代で「夫婦等で分担する」の割合が高くなっています。



## 11　家計を支える・生活費を稼ぐ

**【年代別】**

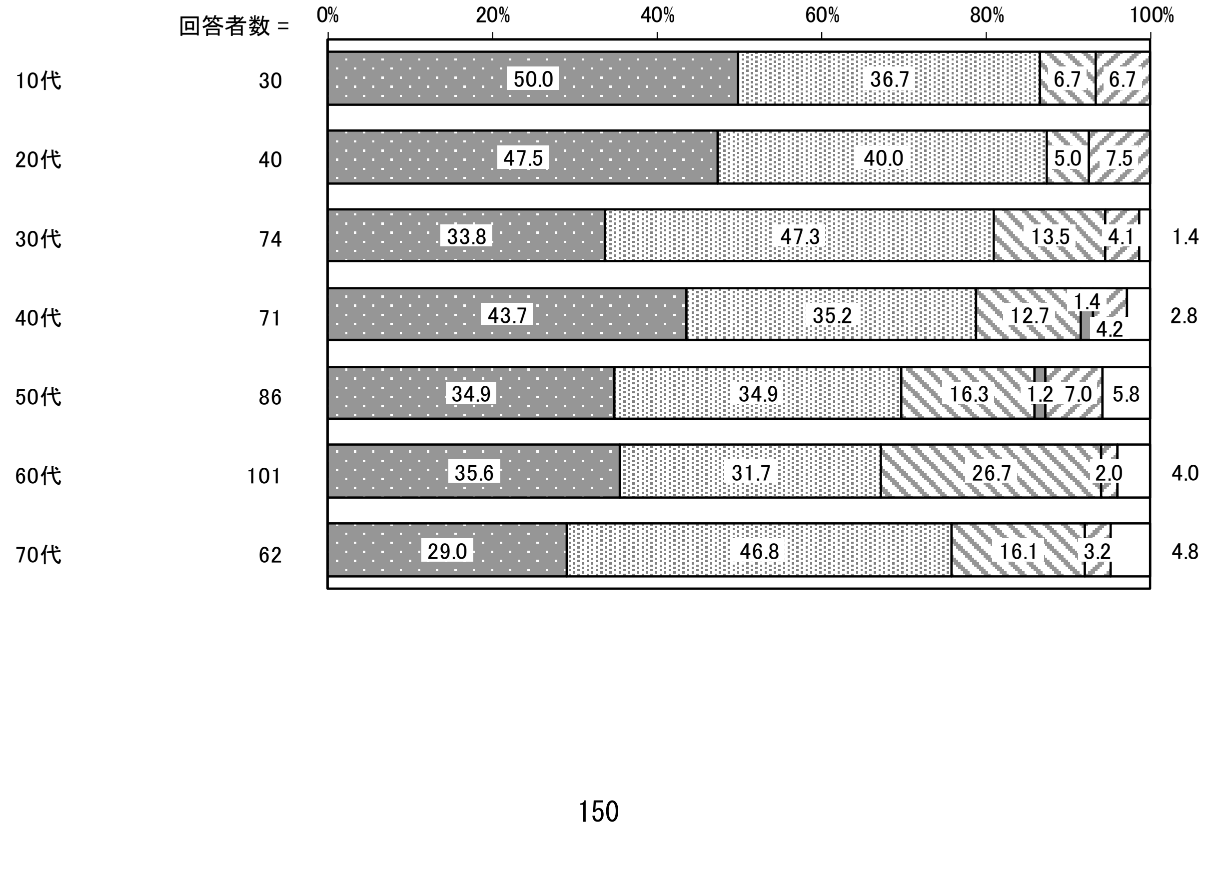
年代別でみると、他に比べ、10 代で「母・妻がする」の割合が、30 代で「夫婦等で分担する」の割合が高くなっています。




## 12　資産管理・家計管理

**【年代別】**

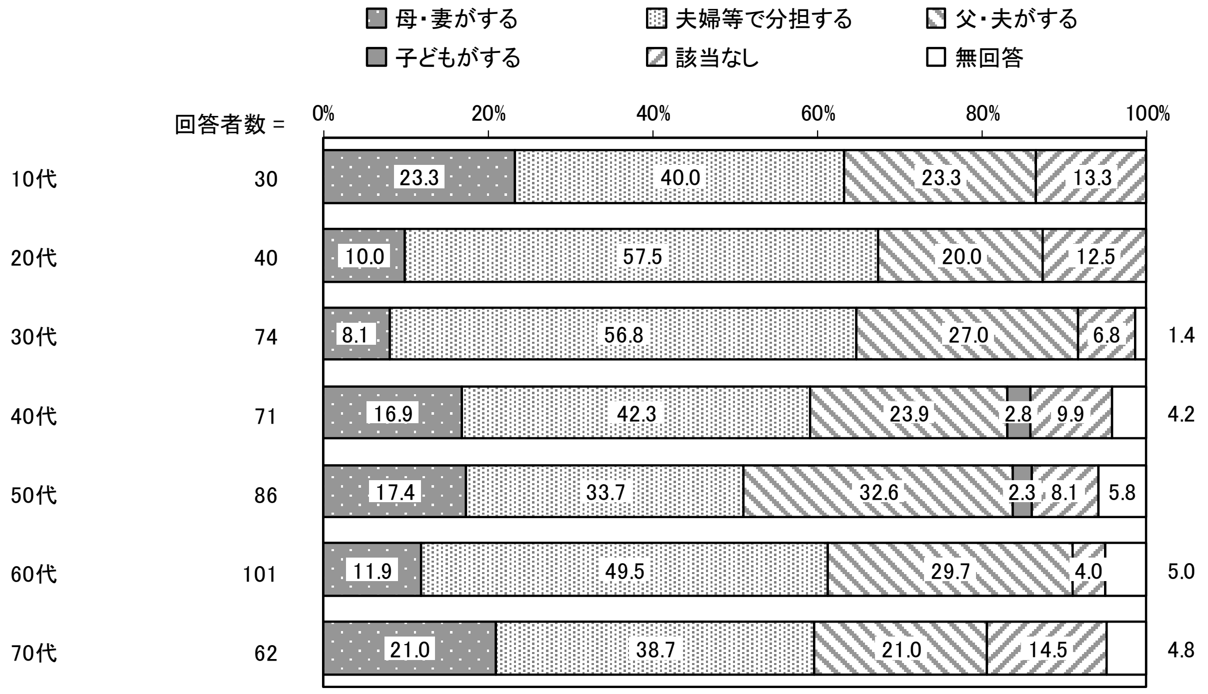
年代別でみると、他に比べ、60 代で「父・夫がする」の割合が高くなっています。



13　高額な商品の購入・支払い

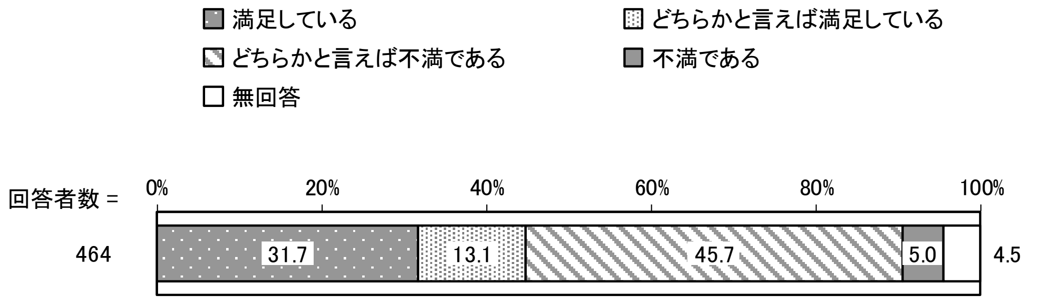
【年代別】

年代別でみると、他に比べ、20代、30代で「夫婦等で分担する」の割合が高くなっています。



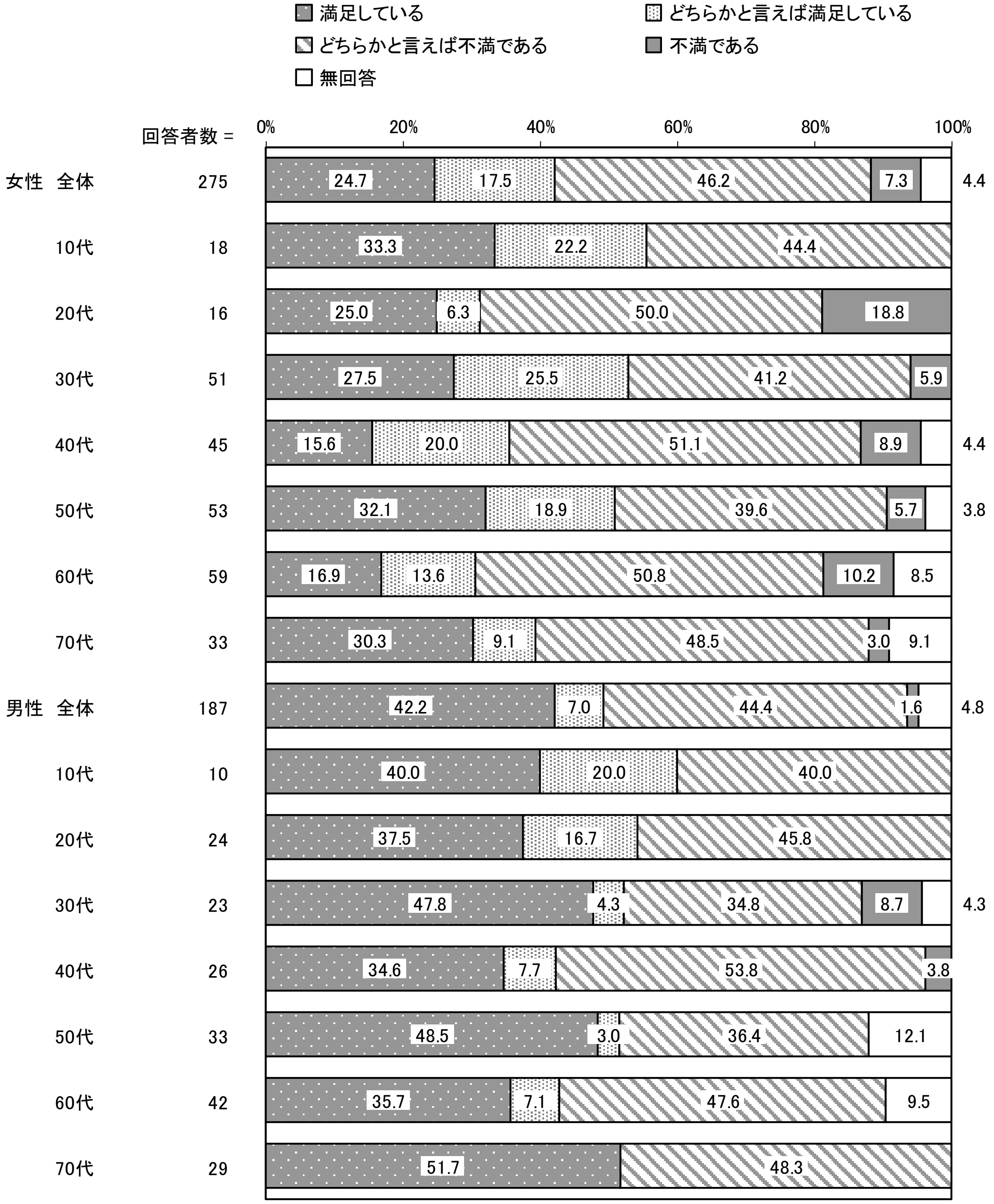

【問31】　あなたは、問30の役割分担に満足していますか。
一番近いものに○をしてください。

「満足している」と「どちらかと言えば満足している」をあわせた“満足している”の割合が44.8%、「どちらかと言えば不満である」と「不満である」をあわせた“不満である”の割合が50.7%となっています。



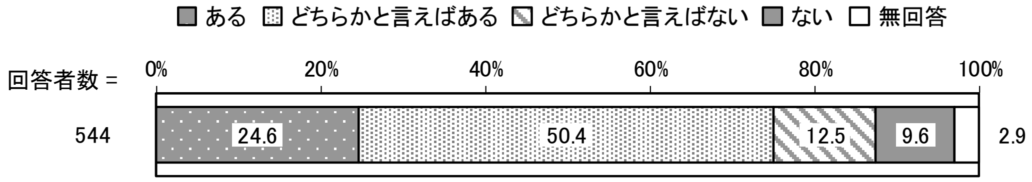
【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、女性20代で“不満である”の割合が高くなっています。



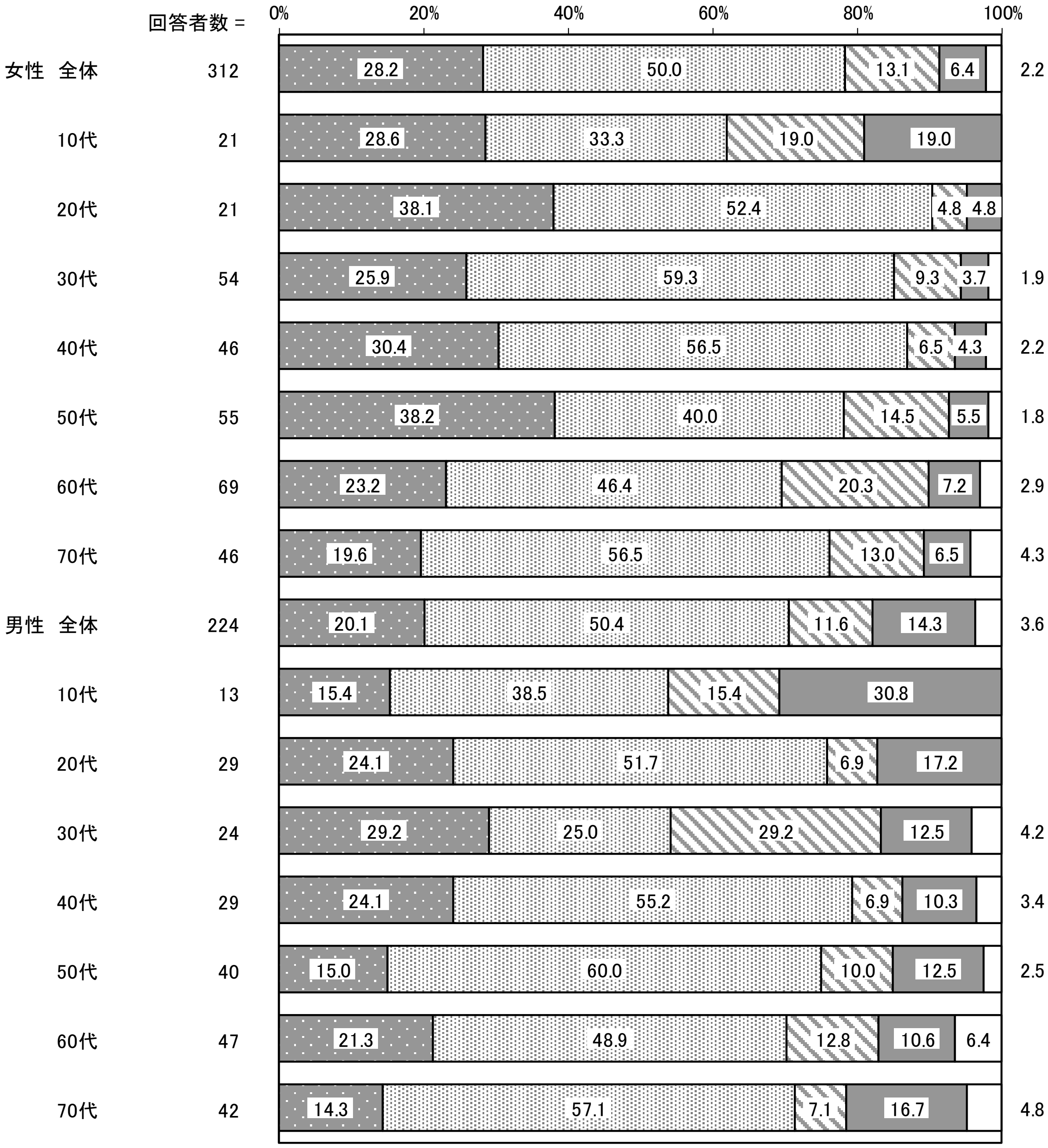
【問 32】　あなたは、性別による役割意識があると思いますか。
イメージで一番近いものに○をしてください。

「ある」と「どちらかと言えばある」をあわせた“ある”の割合が 75.0%、「どちらかと言えばない」と「ない」をあわせた“ない”の割合が 22.1%となっています。



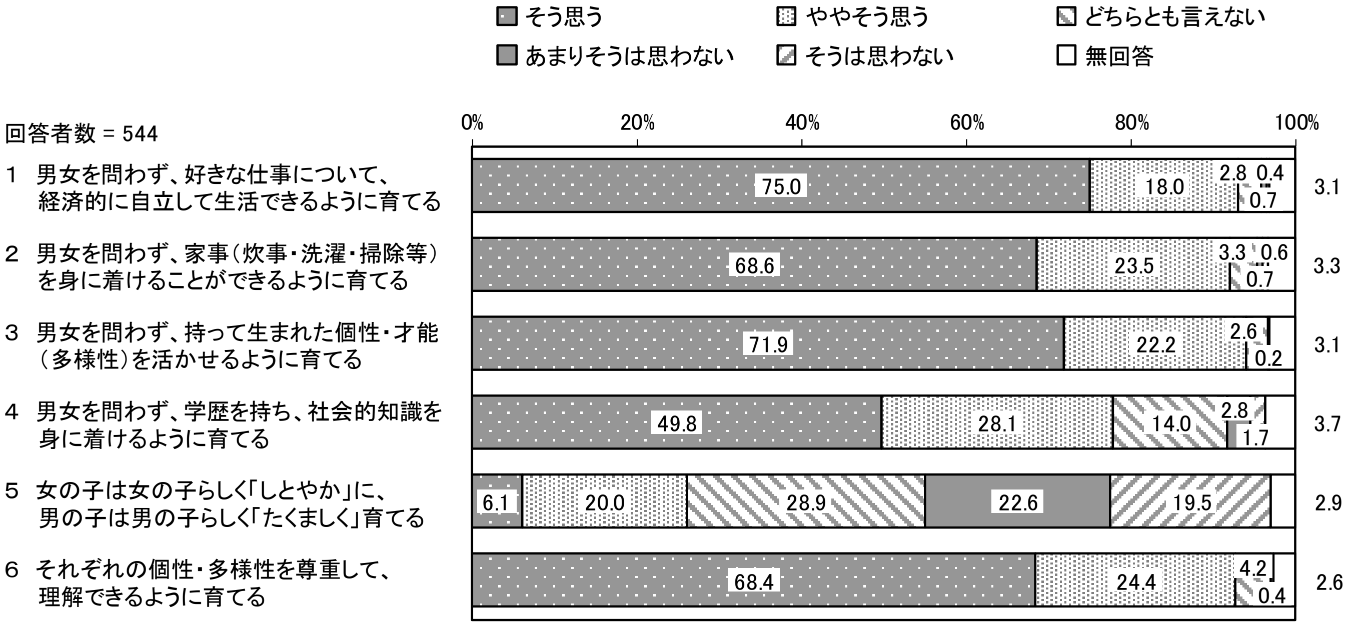

【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、女性 20 代で“ある”の割合が、男性 10 代、男性 30 代で“ない”の割合が高くなっています。



【問 33】　あなたは、子どもの育て方について、どのように考えますか。
それぞれ近いもの１つに○をしてください。

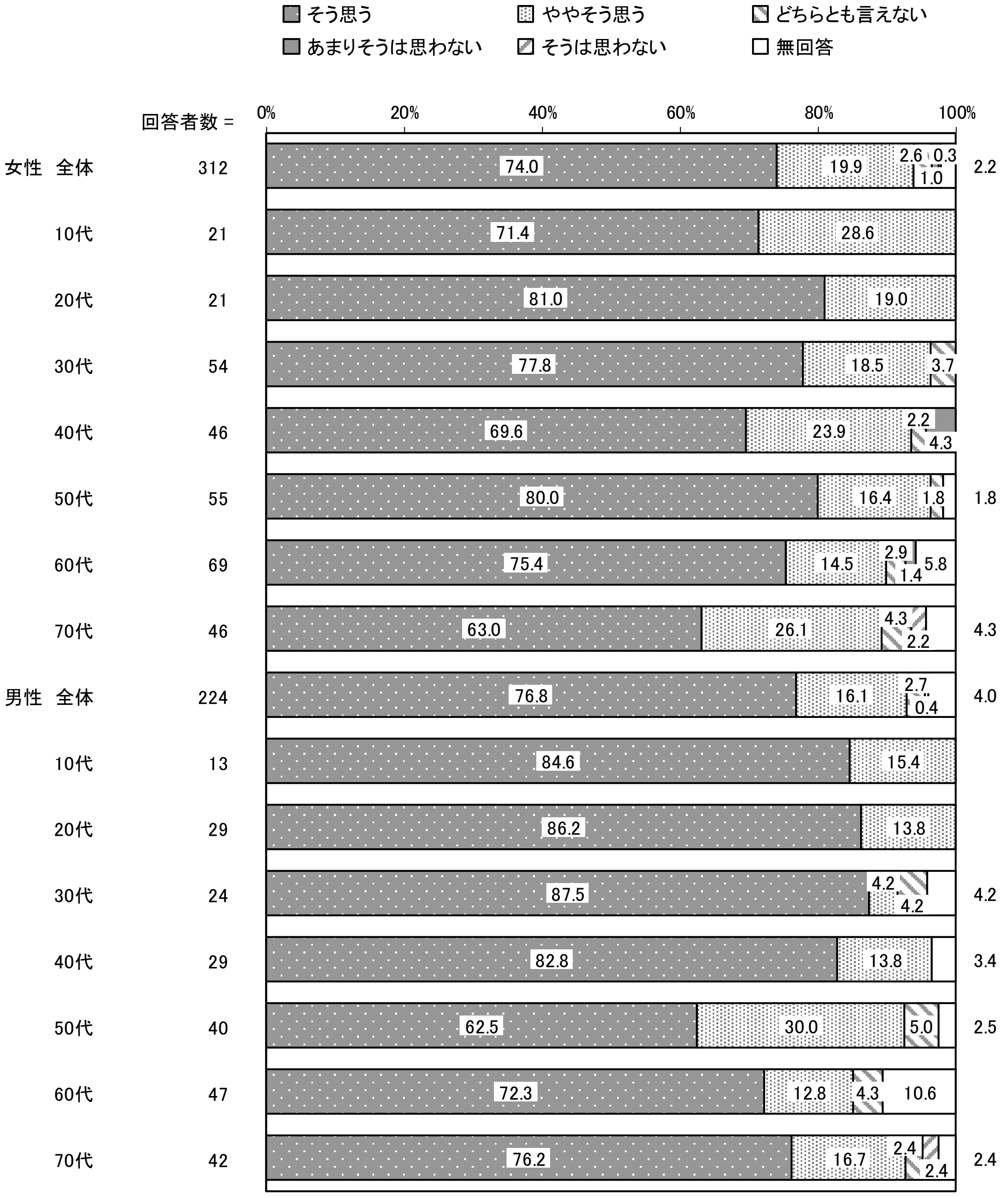
『５　女の子は女の子らしく「しとやかに」に、男の子は男の子らしく「たくましく」育てる』で「あまりそうは思わない」と「そうは思わない」をあわせた“そうは思わない”の割合が高くなっています。



1　男女を問わず、好きな仕事について、経済的に自立して生活できるように育てる

【性・年代別】

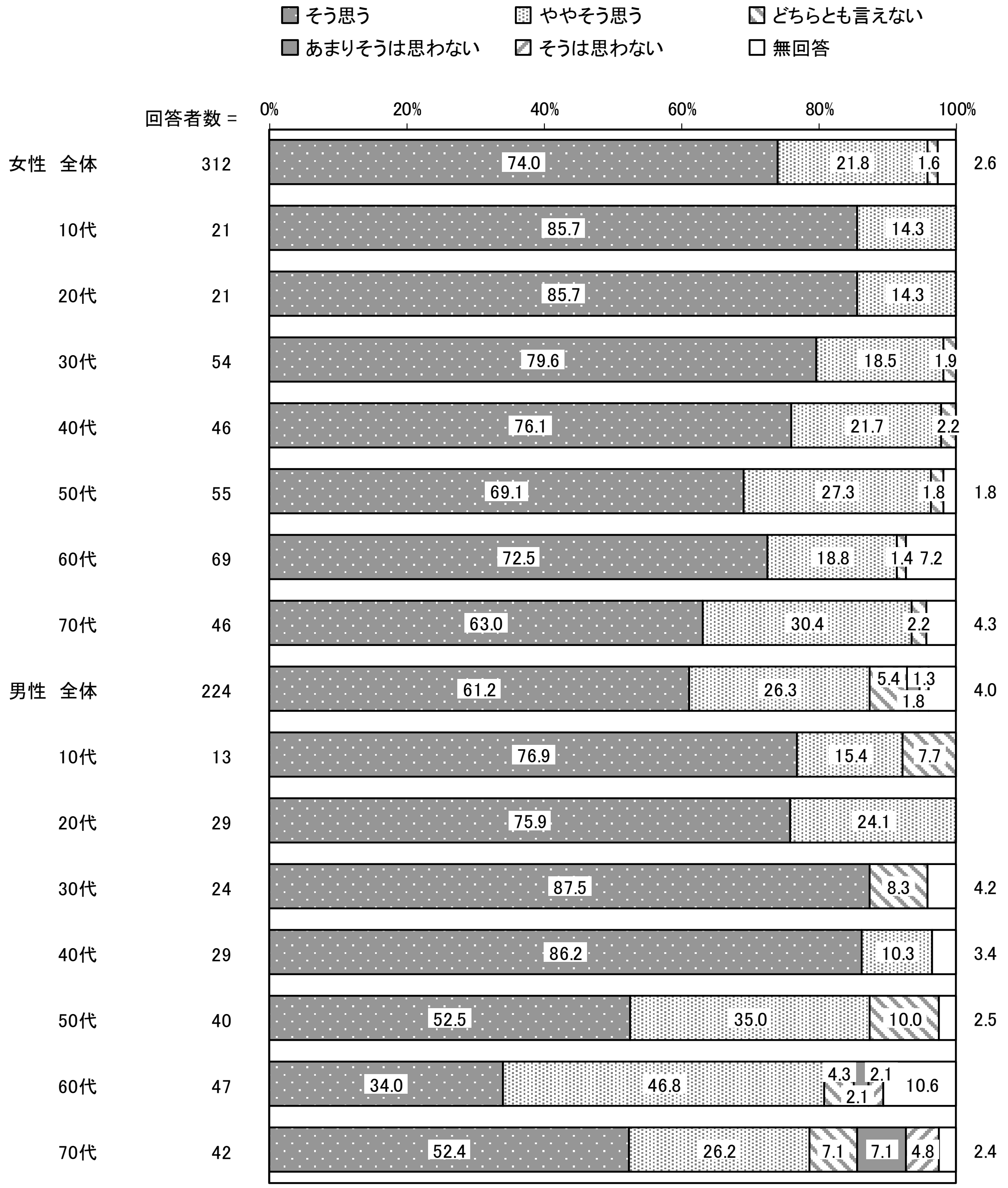
性・年代別でみると、他に比べ、女性男性ともに、10 代 20 代で「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が高くなっています。



2　男女を問わず、家事（炊事・洗濯・掃除等）を身に着けることができるように育てる

**【性・年代別】**

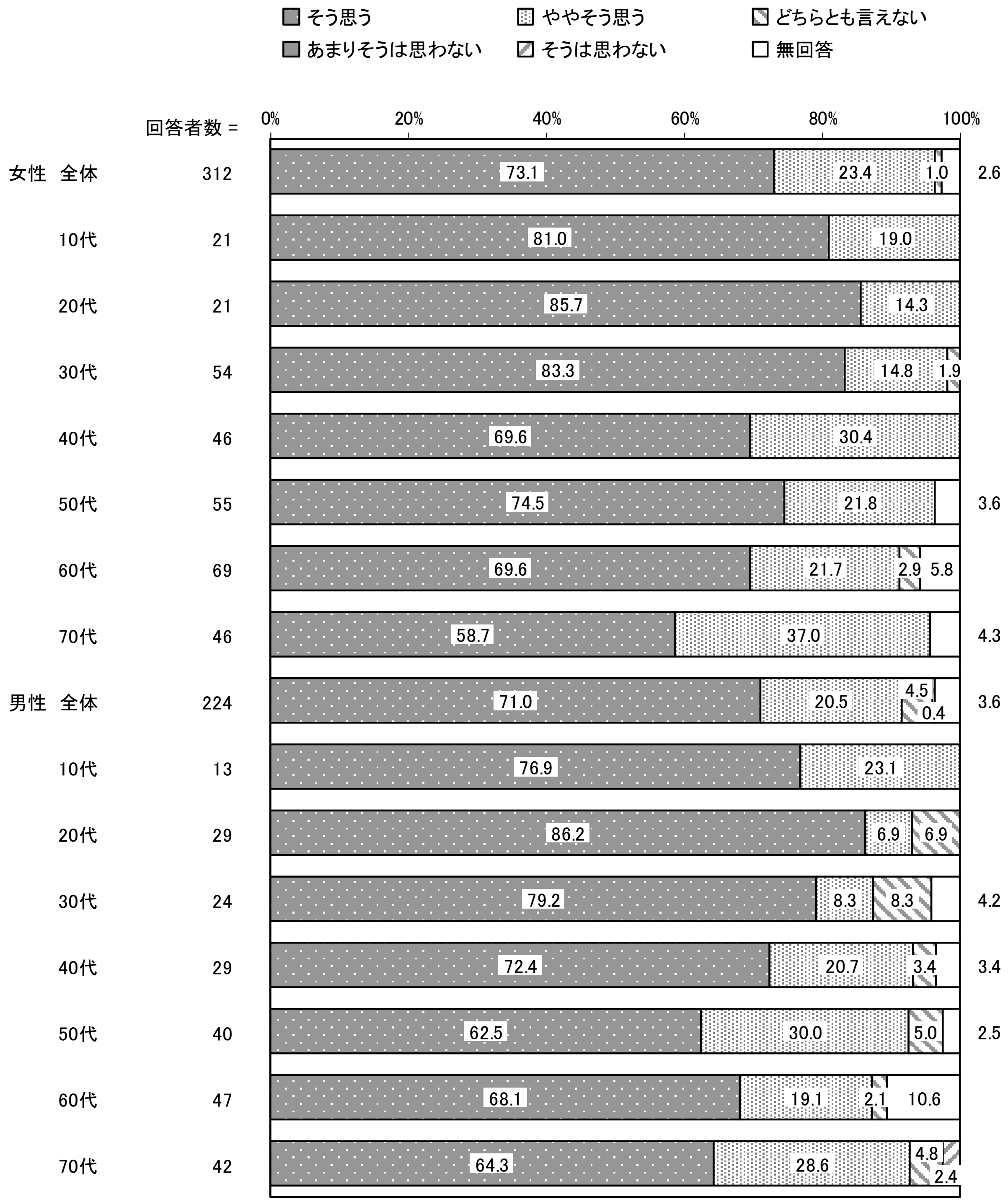
性・年代別でみると、他に比べ、男性 70 代で“そうは思わない”の割合が高くなっています。



3　男女を問わず、持って生まれた個性・才能（多様性）を活かせるように育てる

【性・年代別】

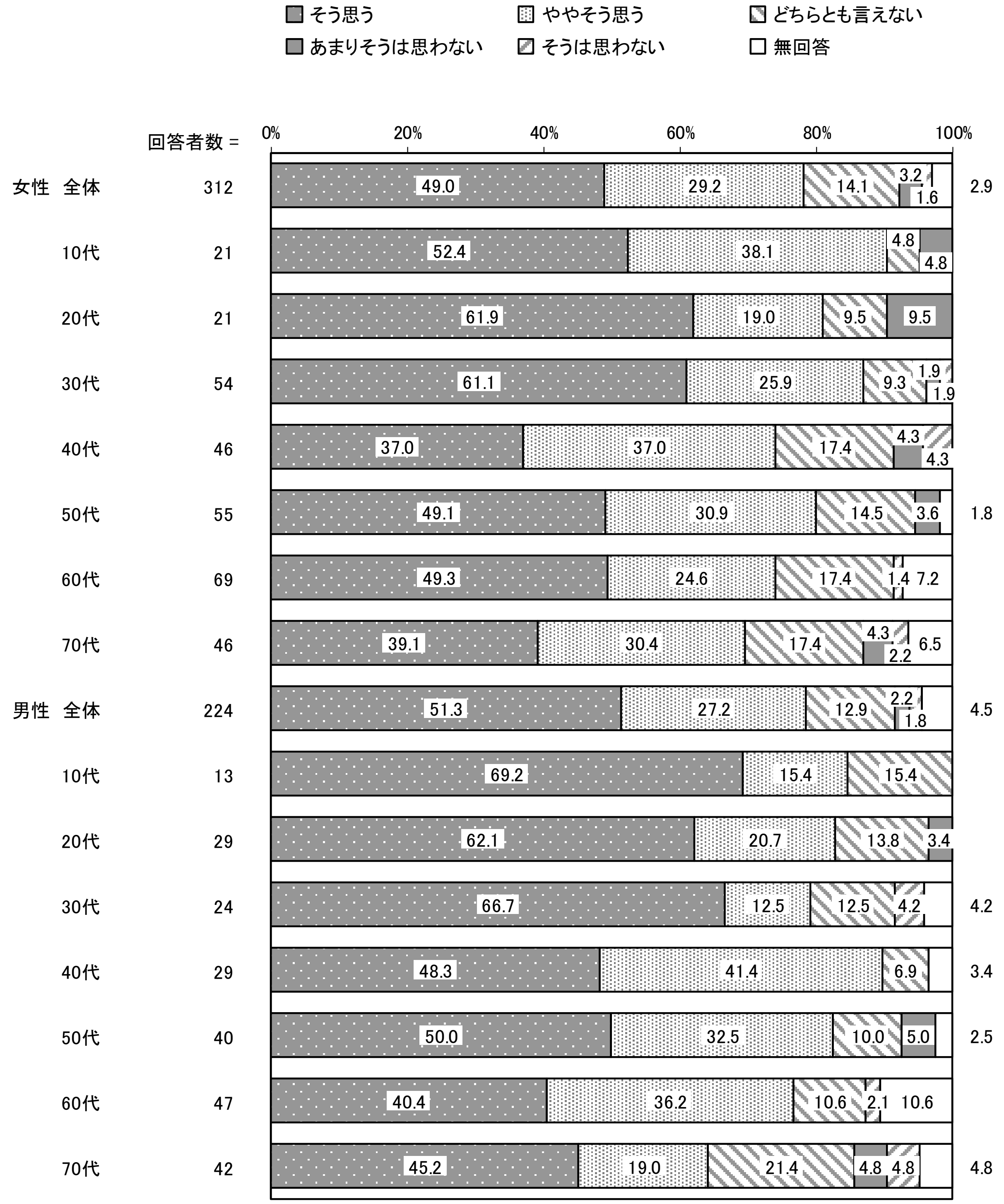
性・年代別でみると、他に比べ、女性 10 代、女性 20 代、女性 40 代、男性 10 代で“そう思う”の割合が高くなっています。



4　男女を問わず、学歴を持ち、社会的知識を身に着けるように育てる

【性・年代別】

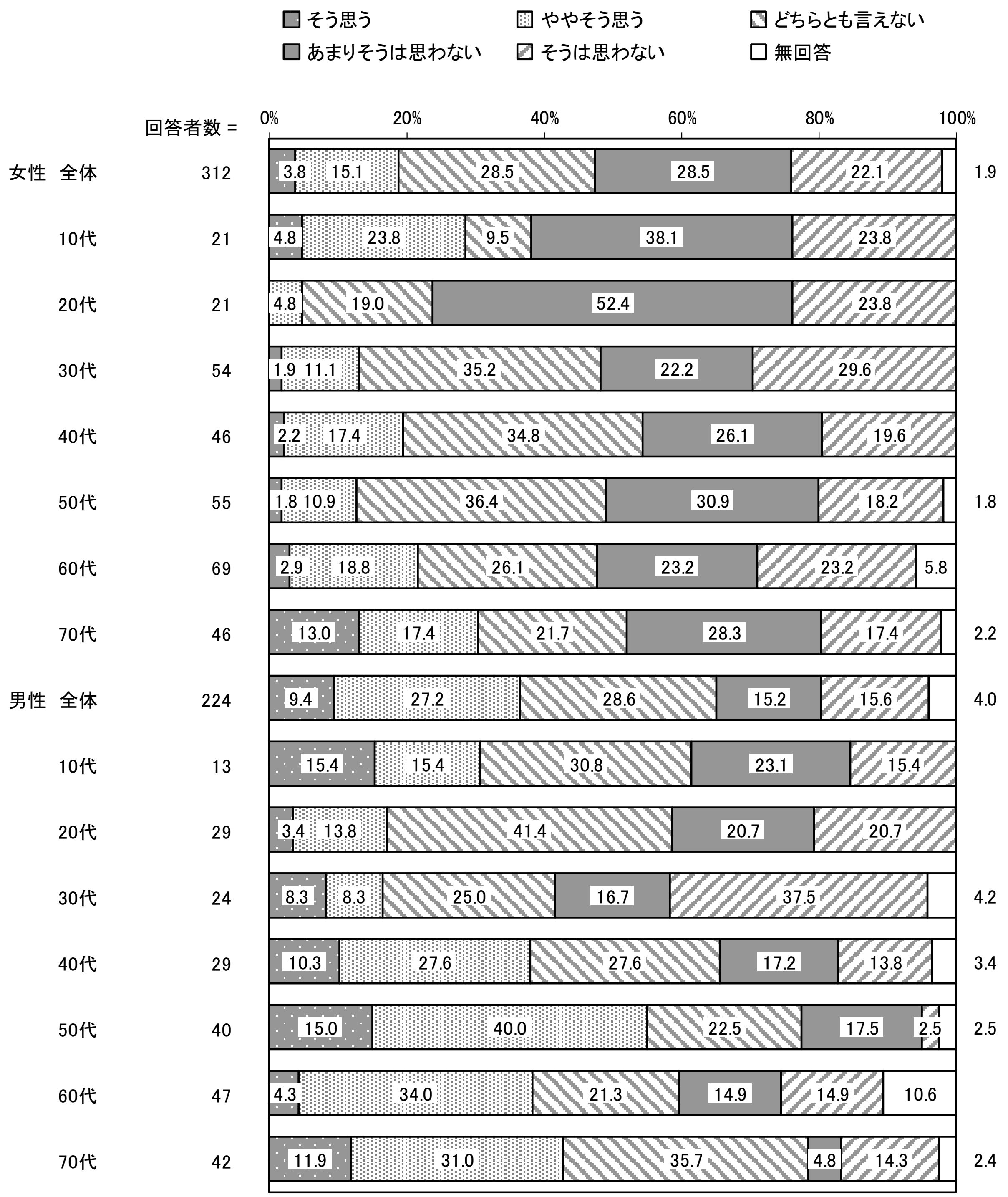
性・年代別でみると、他に比べ、女性10代、男性40代で“そう思う”の割合が高くなっています。



### 5　女の子は女の子らしく「しとやか」に、男の子は男の子らしく「たくましく」育てる

**【性・年代別】**

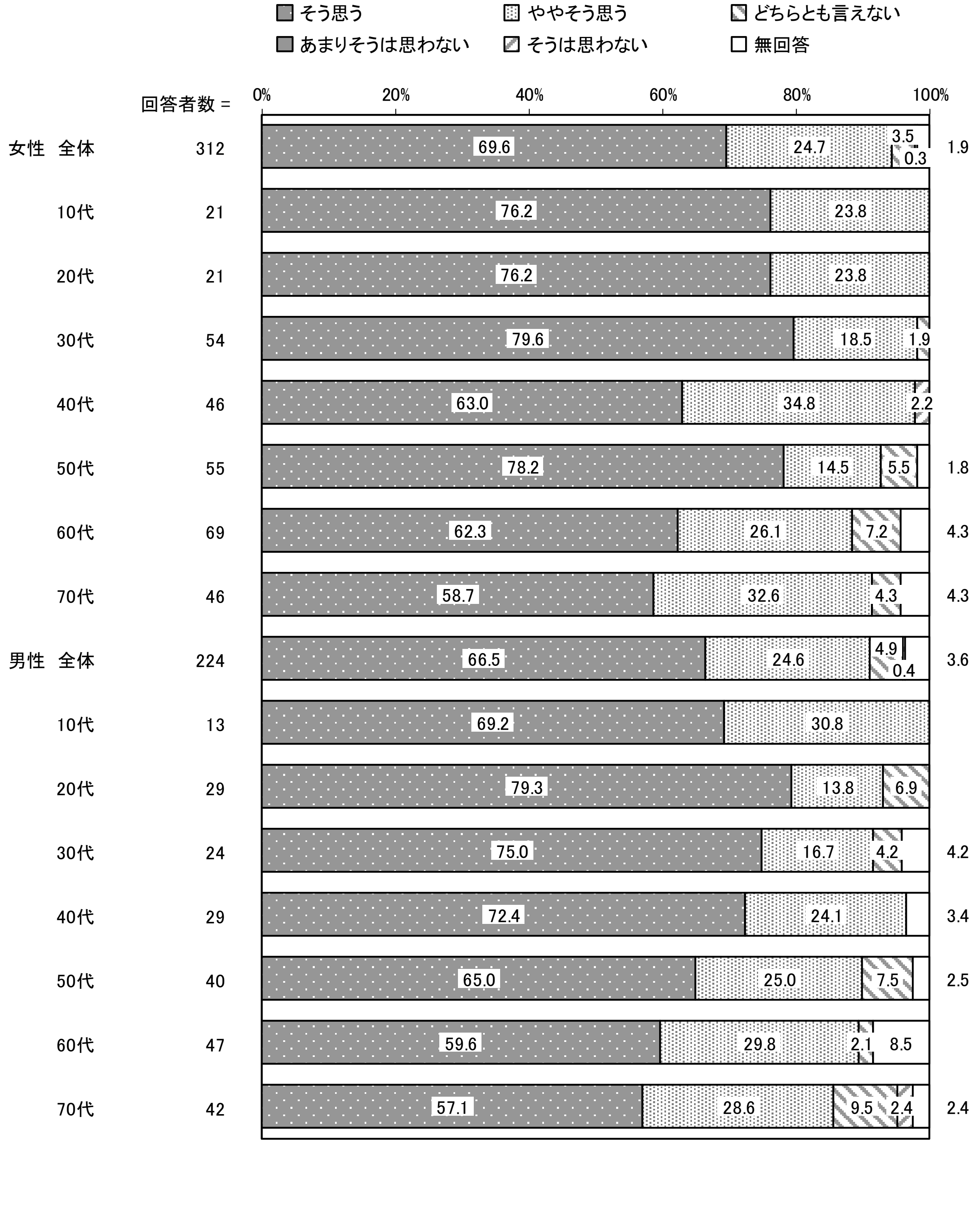
性・年代別でみると、他に比べ、女性 20 代で“そうは思わない”の割合が高くなっています。



6　それぞれの個性・多様性を尊重して、理解できるように育てる

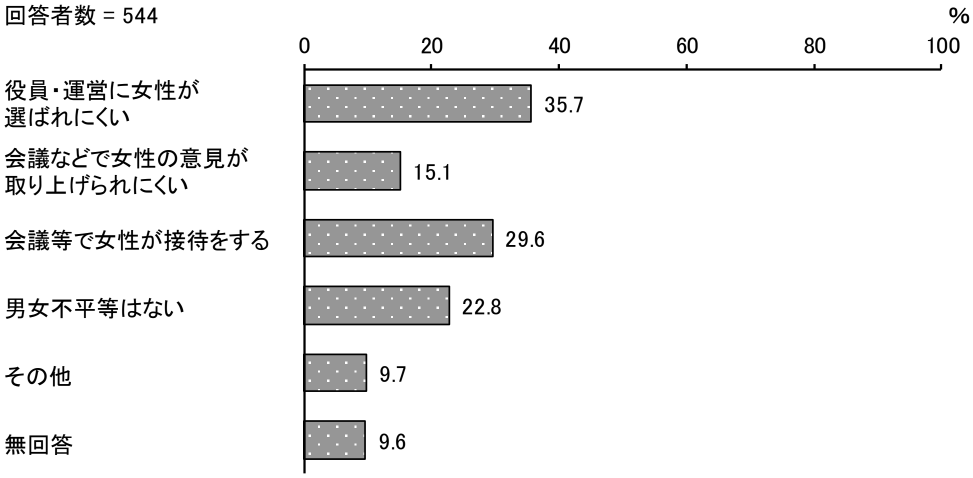
【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、女性10代、女性20代、男性10代で“そう思う”の割合が高くなっています。



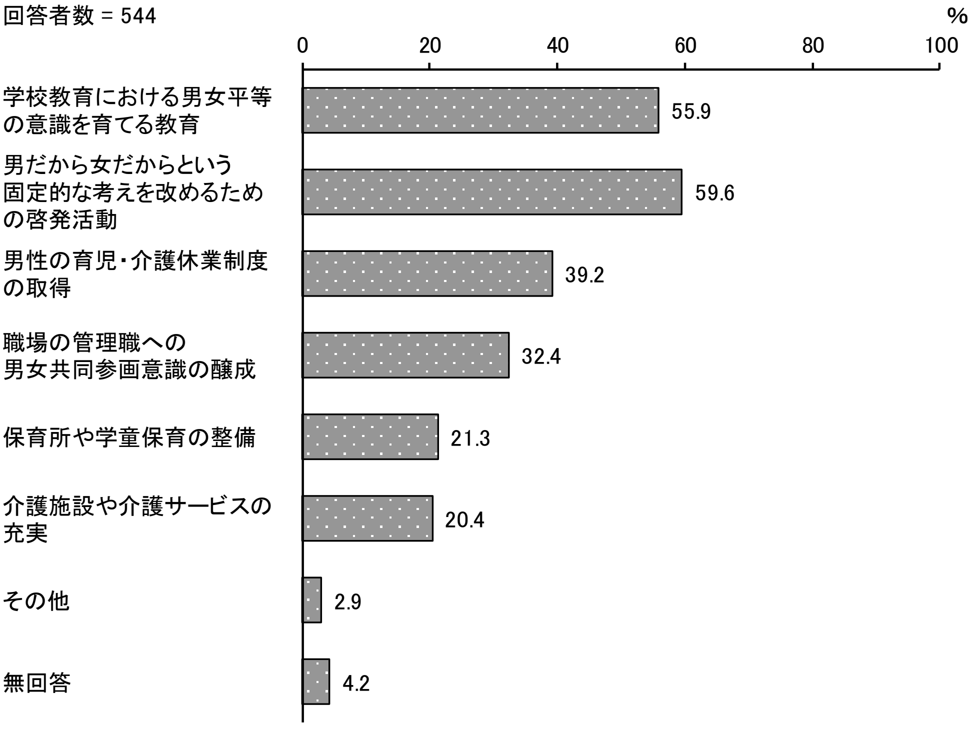
【問 34】　あなたの地域活動等で性別による役割意識があると感じることはありますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

「役員・運営に女性が選ばれにくい」の割合が 35.7%と最も高く、次いで「会議等で女性が接待をする」の割合が 29.6%、「男女不平等はない」の割合が 22.8%となっています。




【問 35】　あなたは、性別による役割意識をなくしてくためには、何が必要だと思いますか。あてはまるもの３つまで○をしてください。

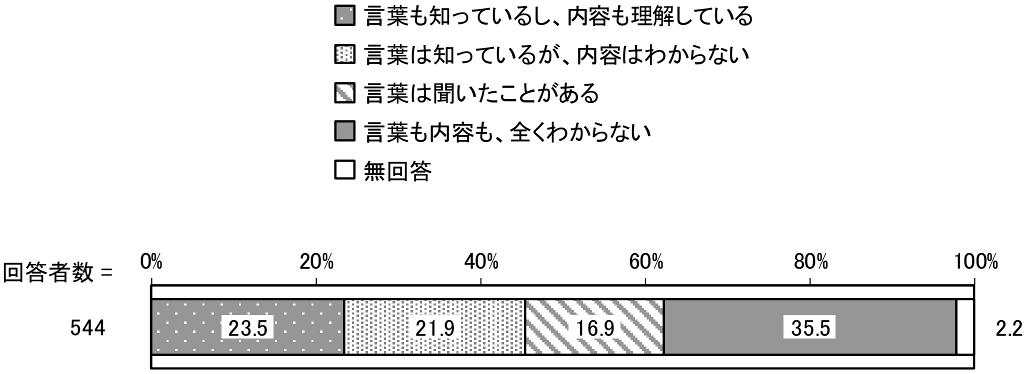
「男だから女だからという固定的な考えを改めるための啓発活動」の割合が 59.6%と最も高く、次いで「学校教育における男女平等の意識を育てる教育」の割合が 55.9%、「男性の育児・介護休業制度の取得」の割合が 39.2%となっています。



## ８．ダイバーシティについて

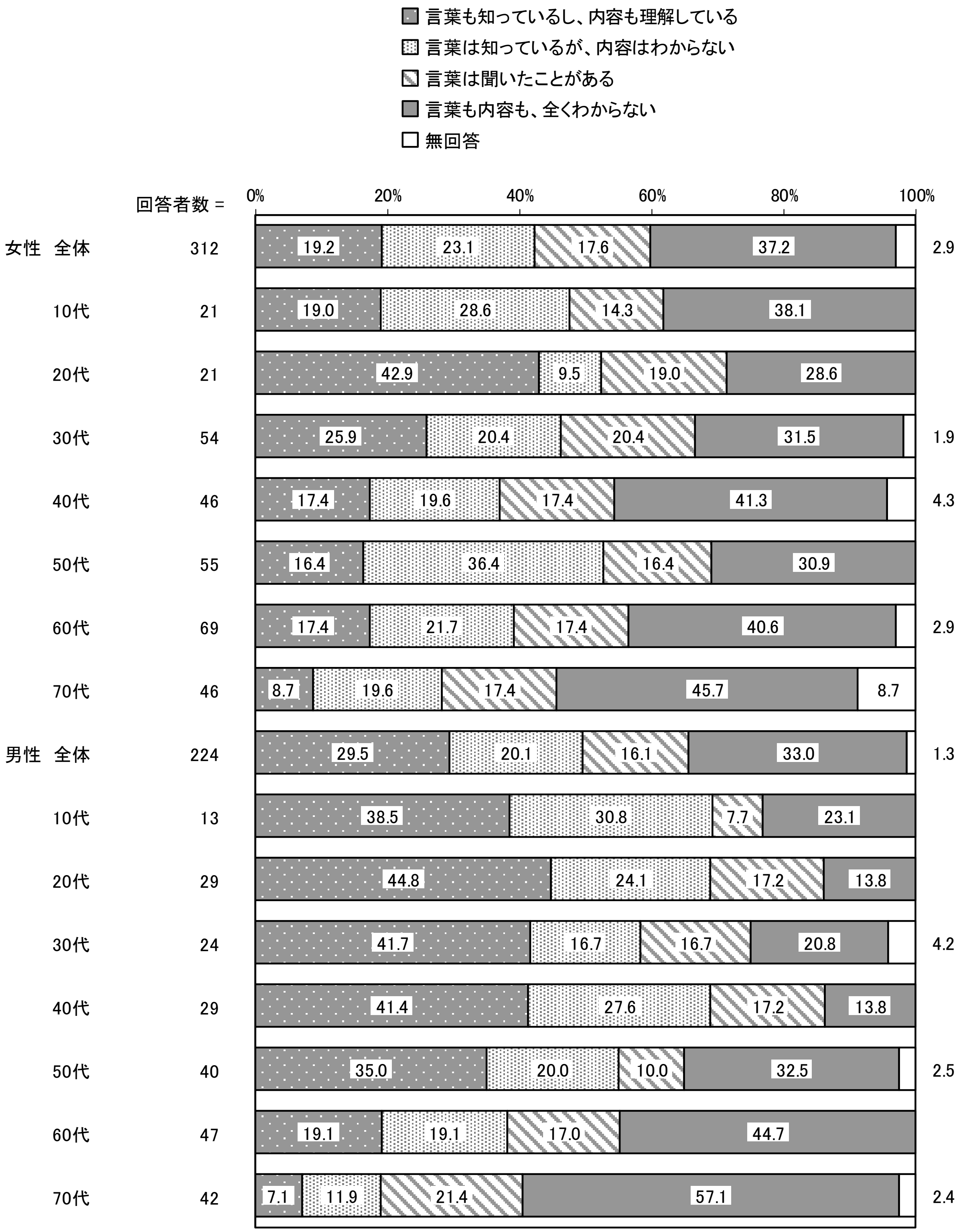
**【問 36】　あなたは、ダイバーシティという言葉を知っていましたか。**

「言葉も内容も、全くわからない」の割合が 35.5％と最も高く、次いで「言葉も知っているし、内容も理解している」の割合が 23.5％、「言葉は知っているが、内容はわからない」の割合が 21.9％となっています。



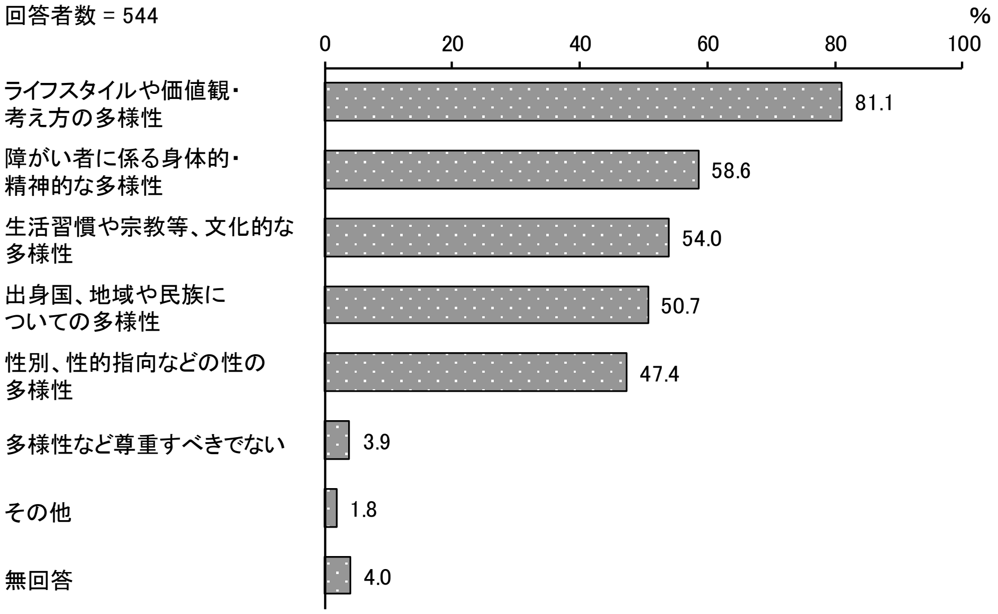
【性・年代別】

性・年代別でみると、他に比べ、女性 50 代で「言葉は知っているが、内容はわからない」の割合が、男性 70 代で「言葉も内容も、全くわからない」の割合が高くなっています。



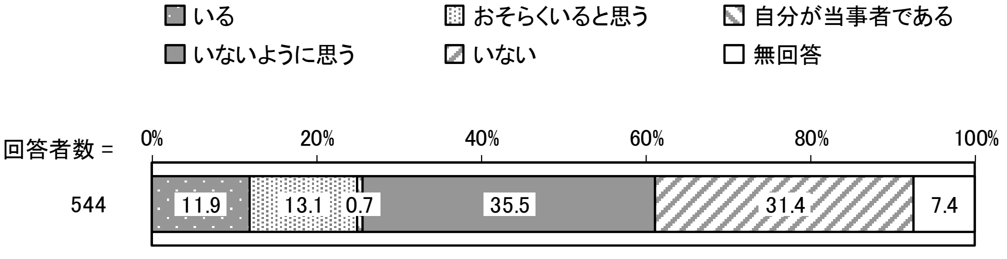
【問 37】　人がお互いの違いを受け入れる社会の実現のために、尊重すべき多様性は何だと思いますか。あてはまるものすべてに○をしてください。

「ライフスタイルや価値観・考え方の多様性」の割合が 81.1％と最も高く、次いで「障がい者に係る身体的・精神的な多様性」の割合が 58.6％、「生活習慣や宗教等、文化的な多様性」の割合が 54.0％となっています。



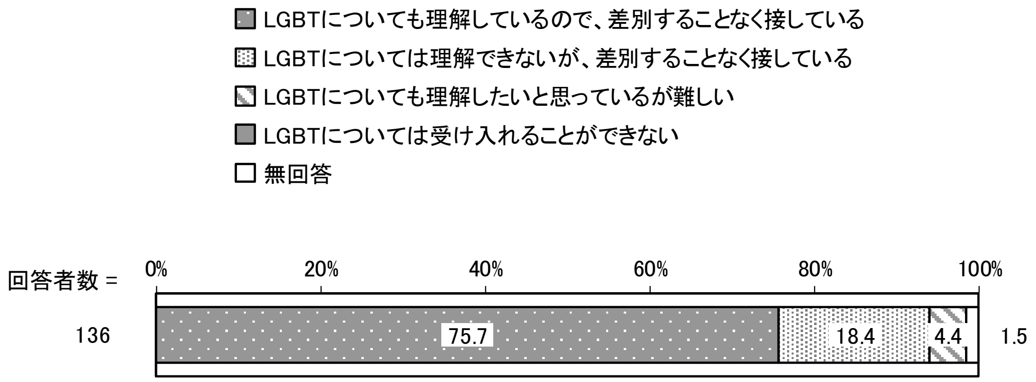

【問 38】　あなたの身の回りに、LGBT 等の性的マイノリティと思われる方はいますか。

「いないように思う」の割合が 35.5％と最も高く、次いで「いない」の割合が 31.4％、「おそらくいると思う」の割合が 13.1％となっています。



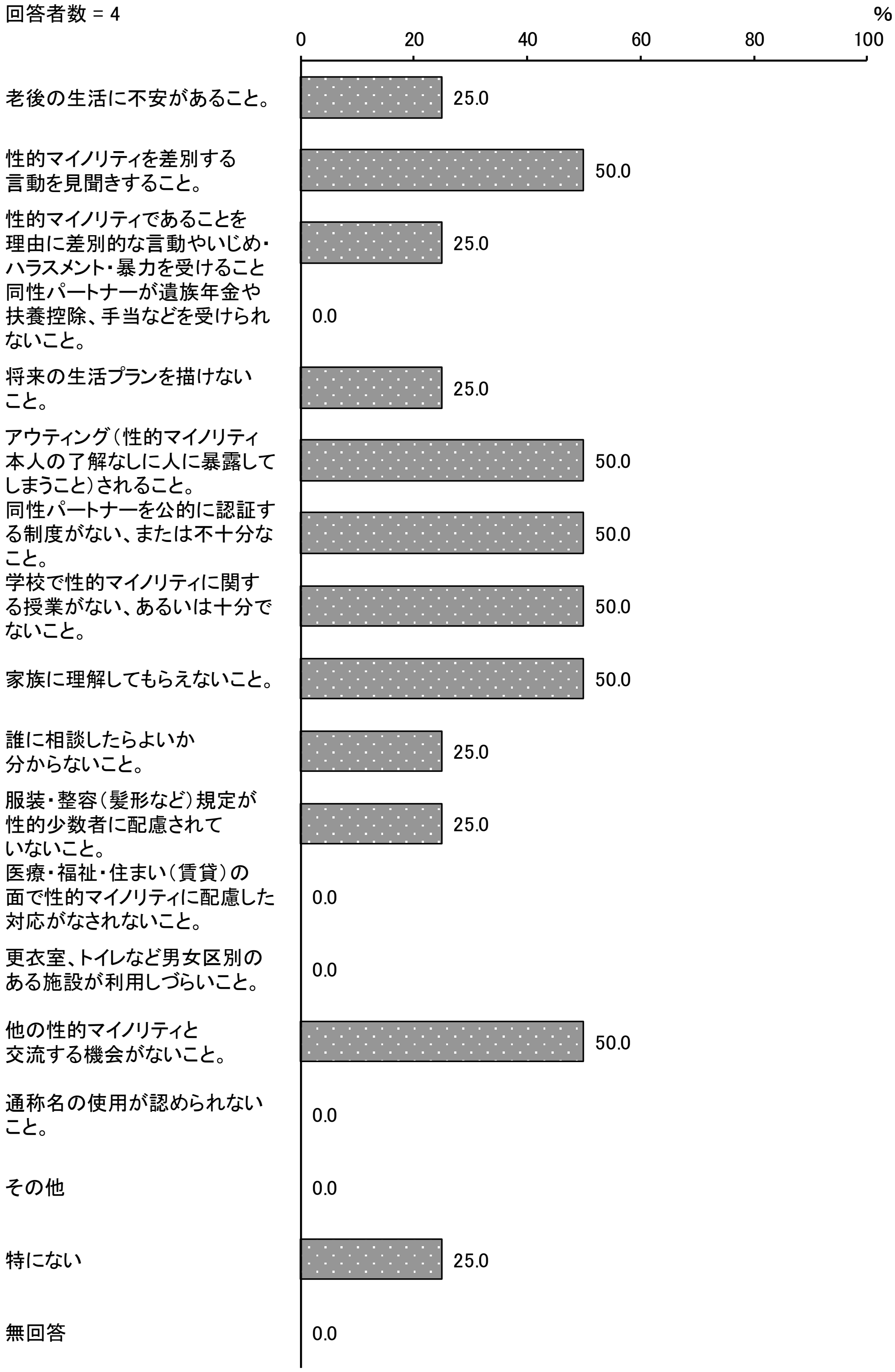
【問 38－a】　【問 38】で「１　いる」、「２　おそらくいると思う」に○をした方に伺います。あなたの考えに近いもの１つに○をしてください。

「LGBT についても理解しているので、差別することなく接している」の割合が 75.7％と最も高く、次いで「LGBT については理解できないが、差別することなく接している」の割合が 18.4％となっています。



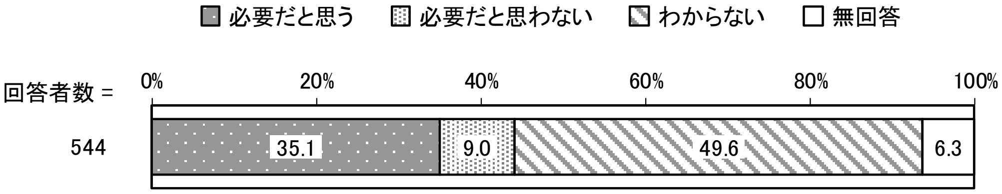
【問38－b】　【問38】で「３　自分が当事者である」に〇をした方に伺います。あなたが暮らしにくいと感じていることすべてに〇をしてください。

「性的マイノリティを差別する言動を見聞きすること。」、「アウティング（性的マイノリティ本人の了解なしに人に暴露してしまうこと）されること。」、「同性パートナーを公的に認証する制度がない、または不十分なこと。」、「学校で性的マイノリティに関する授業がない、あるいは十分でないこと。」が２件となっています。



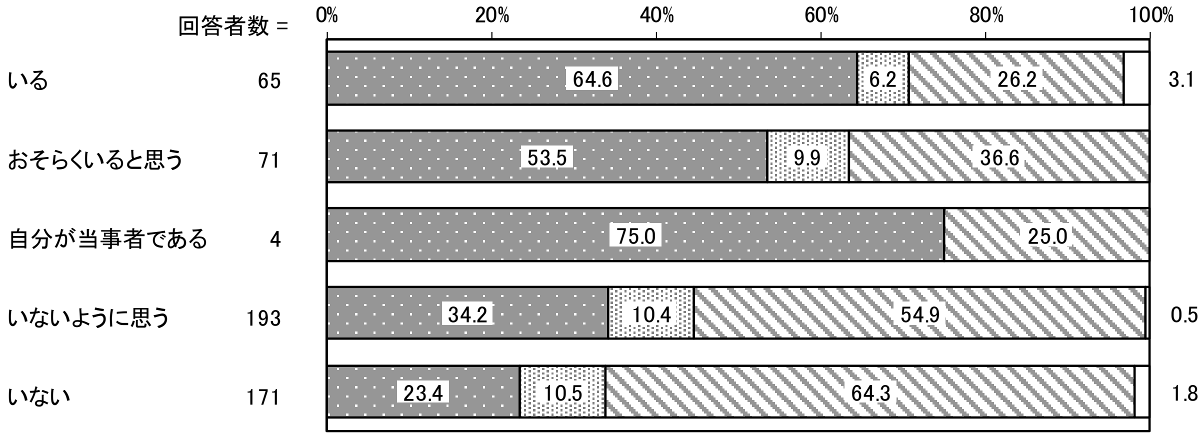
## 【問 39】　あなたは、パートナーシップ宣誓制度の導入は必要だと思いますか。

「わからない」の割合が 49.6％と最も高く、次いで「必要だと思う」の割合が 35.1％となっています。



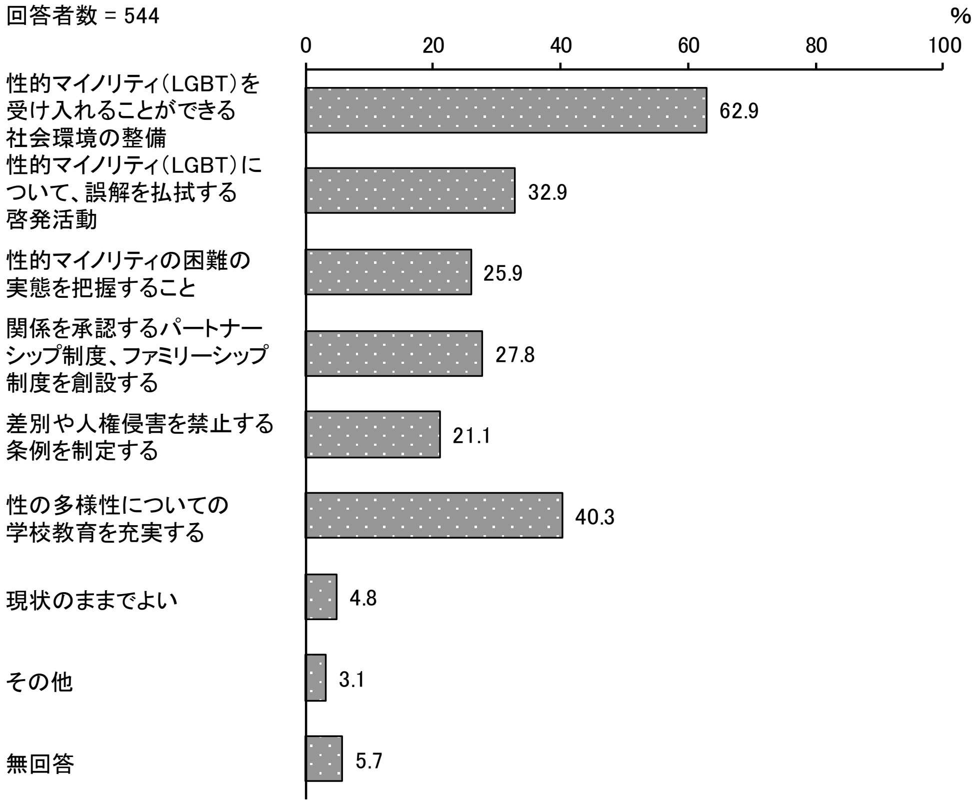

### 【身の回りに LGBT 等の性的マイノリティと思われる方の有無別】

身の回りに LGBT 等の性的マイノリティと思われる方の有無別でみると、他に比べ、いるで「必要だと思う」の割合が、いないで「わからない」の割合が高くなっています。



【問 40】　性的マイノリティ（LGBT）の困難を解決して、暮らしやすい社会としていくためには、何が必要だと思いますか。特に必要だと思うものに３つまで○をしてください。

「性的マイノリティ（LGBT）を受け入れることができる社会環境の整備」の割合が 62.9％と最も高く、次いで「性の多様性についての学校教育を充実する」の割合が 40.3％、「性的マイノリティ（LGBT）について、誤解を払拭する啓発活動」の割合が 32.9％となっています。



**【身の回りにLGBT等の性的マイノリティと思われる方の有無別】**

身の回りにLGBT等の性的マイノリティと思われる方の有無別でみると、他に比べ、いるで「性の多様性についての学校教育を充実する」の割合が高くなっています。

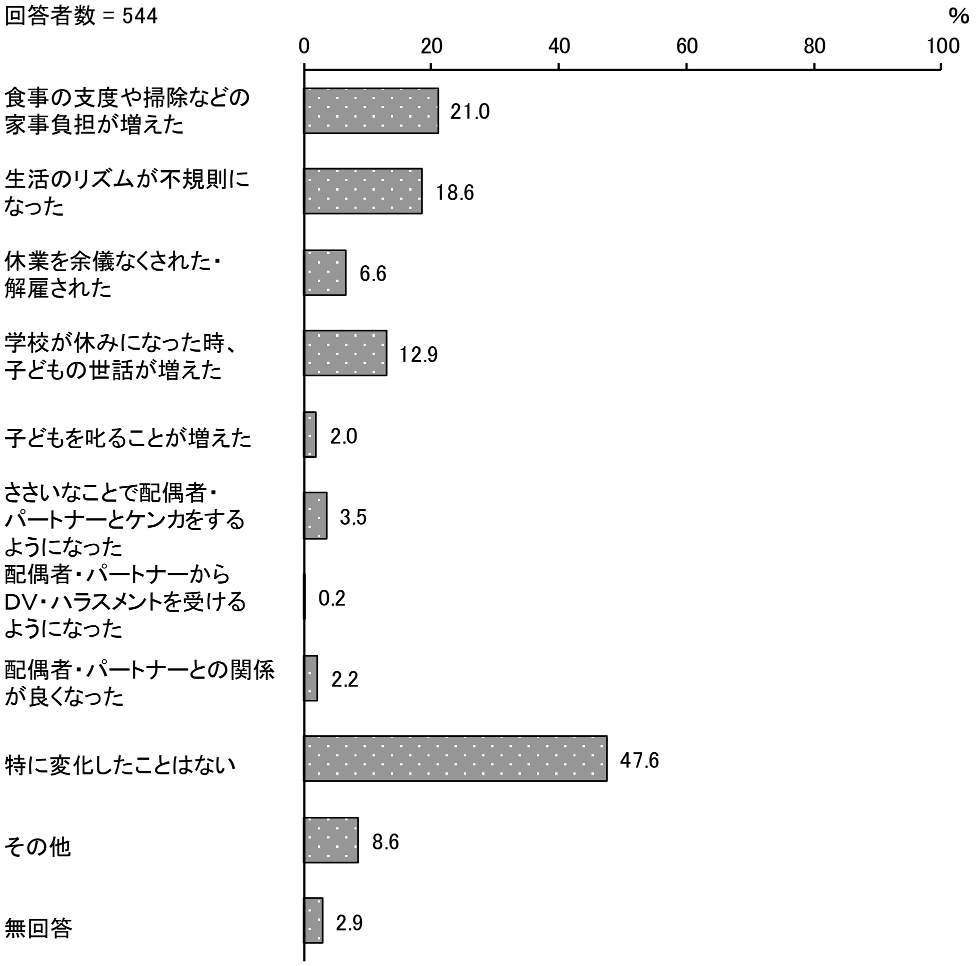
単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | 性的マイノリティ（LGBT）を受け入れることができる社会環境の整備 | 性的マイノリティ（LGBT）について、誤解を払拭する啓発活動 | 性的マイノリティの困難の実態を把握すること | 関係を承認するパートナーシップ制度、ファミリーシップ制度を創設する | 差別や人権侵害を禁止する条例を制定する | 性の多様性についての学校教育を充実する | 現状のままでよい | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| いる | 65 | 61.5 | 23.1 | 29.2 | 32.3 | 13.8 | 50.8 | 4.6 | 4.6 | 1.5 |
| おそらくいると思う | 71 | 70.4 | 36.6 | 31.0 | 36.6 | 22.5 | 38.0 | 4.2 | 7.0 | 1.4 |
| 自分が当事者である | 4 | 75.0 | 25.0 | 25.0 | 25.0 | － | 25.0 | 25.0 | － | － |
| いないように思う | 193 | 67.9 | 31.6 | 24.9 | 29.5 | 22.8 | 46.1 | 4.7 | 1.6 | 1.6 |
| いない | 171 | 57.3 | 34.5 | 26.3 | 21.1 | 22.2 | 34.5 | 4.7 | 2.9 | 8.8 |

## ９．新型コロナウイルス感染症による影響について

【問 41】　新型コロナウイルス感染症拡大前後での生活における満足度の変化がありましたか。あてはまるものすべてに○をしてください。

「特に変化したことはない」の割合が 47.6％と最も高く、次いで「食事の支度や掃除などの家事負担が増えた」の割合が 21.0％、「生活のリズムが不規則になった」の割合が 18.6％となっています。



【性・年代別】

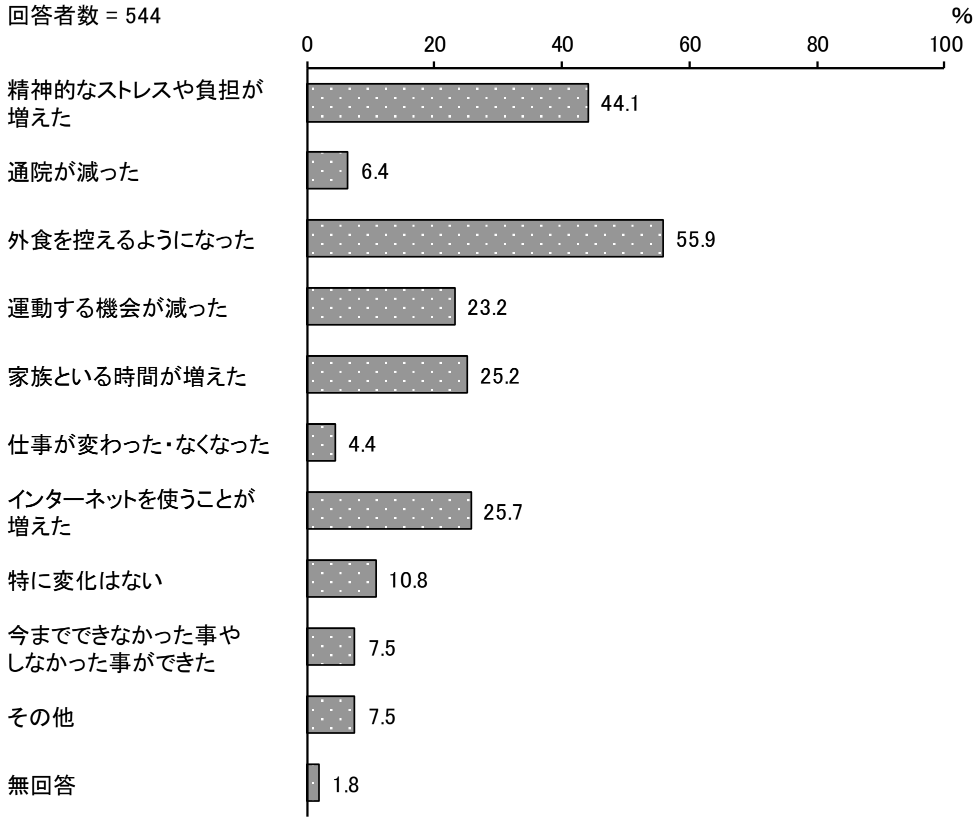
性・年代別でみると、他に比べ、男性60代で「特に変化したことはない」の割合が高くなっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | 食事の支度や掃除などの家事負担が増えた | 生活のリズムが不規則になった | 休業を余儀なくされた・解雇された | 学校が休みになった時、子どもの世話が増えた | 子どもを叱ることが増えた | ささいなことで配偶者・パートナーとケンカをするようになった | 配偶者・パートナーからDV・ハラスメントを受けるようになった | 配偶者・パートナーとの関係が良くなった | 特に変化したことはない | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 女性 全体 | 312 | 25.3 | 17.3 | 7.1 | 14.7 | 2.6 | 5.1 | 0.3 | 1.9 | 44.9 | 9.0 | 2.9 |
| 10代 | 21 | 19.0 | 14.3 | 4.8 | － | － | 4.8 | － | － | 57.1 | 9.5 | 4.8 |
| 20代 | 21 | 19.0 | 28.6 | － | 4.8 | － | － | － | － | 47.6 | 19.0 | － |
| 30代 | 54 | 27.8 | 9.3 | 7.4 | 31.5 | 5.6 | 5.6 | 1.9 | 1.9 | 38.9 | 9.3 | 1.9 |
| 40代 | 46 | 32.6 | 13.0 | 8.7 | 34.8 | 8.7 | 6.5 | － | 2.2 | 28.3 | 13.0 | 2.2 |
| 50代 | 55 | 34.5 | 20.0 | 12.7 | 9.1 | 1.8 | 9.1 | － | 1.8 | 43.6 | 5.5 | － |
| 60代 | 69 | 18.8 | 17.4 | 4.3 | 4.3 | － | 4.3 | － | 4.3 | 53.6 | 7.2 | 2.9 |
| 70代 | 46 | 19.6 | 23.9 | 6.5 | 8.7 | － | 2.2 | － | － | 50.0 | 6.5 | 8.7 |
| 男性 全体 | 224 | 15.6 | 20.5 | 5.8 | 10.7 | 1.3 | 1.3 | － | 2.7 | 51.3 | 7.1 | 3.1 |
| 10代 | 13 | 23.1 | 30.8 | － | － | － | － | － | － | 46.2 | 7.7 | － |
| 20代 | 29 | 17.2 | 31.0 | 10.3 | － | － | － | － | － | 44.8 | 3.4 | 3.4 |
| 30代 | 24 | 25.0 | 20.8 | 12.5 | 20.8 | 4.2 | － | － | 8.3 | 41.7 | 4.2 | 4.2 |
| 40代 | 29 | 13.8 | 3.4 | 3.4 | 34.5 | 6.9 | 10.3 | － | 3.4 | 44.8 | 10.3 | 3.4 |
| 50代 | 40 | 17.5 | 22.5 | 5.0 | 7.5 | － | － | － | 5.0 | 50.0 | 7.5 | 2.5 |
| 60代 | 47 | 12.8 | 8.5 | 4.3 | － | － | － | － | 2.1 | 68.1 | 10.6 | 6.4 |
| 70代 | 42 | 9.5 | 33.3 | 4.8 | 14.3 | － | － | － | － | 50.0 | 4.8 | － |

【問 42】　新型コロナウイルス感染の影響で、あなたの生活や行動に変化がありましたか。あてはまるものすべてに○をしてください。

「外食を控えるようになった」の割合が 55.9％と最も高く、次いで「精神的なストレスや負担が増えた」の割合が 44.1％、「インターネットを使うことが増えた」の割合が 25.7％となっています。



【性・年代別】

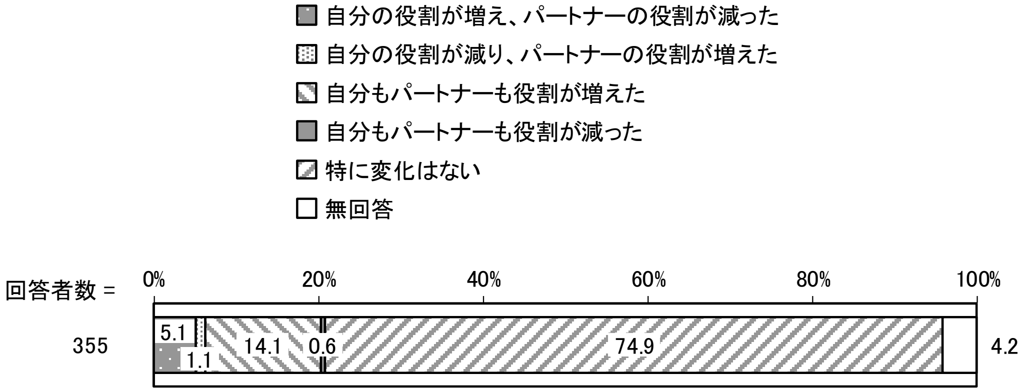
性・年代別でみると、他に比べ、女性 30 代で「精神的なストレスや負担が増えた」の割合が、女性 50 代で「外食を控えるようになった」の割合が高くなっています。また、女性 10 代で「インターネットを使うことが増えた」の割合が高くなっています。

単位：%

| 区分 | 回答者数（件） | 精神的なストレスや負担が増えた | 通院が減った | 外食を控えるようになった | 運動する機会が減った | 家族といる時間が増えた | 仕事が変わった・なくなった | インターネットを使うことが増えた | 特に変化はない | 今までできなかった事やしなかった事ができた | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 女性　全体 | 312 | 49.0 | 7.4 | 60.3 | 23.1 | 29.2 | 4.2 | 26.3 | 7.1 | 7.7 | 6.4 | 1.6 |
| 10 代 | 21 | 42.9 | － | 42.9 | 33.3 | 42.9 | 4.8 | 71.4 | － | 9.5 | 4.8 | 4.8 |
| 20 代 | 21 | 52.4 | 14.3 | 47.6 | 33.3 | 42.9 | 4.8 | 42.9 | 9.5 | 4.8 | 9.5 | － |
| 30 代 | 54 | 59.3 | 13.0 | 61.1 | 25.9 | 31.5 | 7.4 | 22.2 | 5.6 | 1.9 | 3.7 | － |
| 40 代 | 46 | 52.2 | 2.2 | 56.5 | 21.7 | 41.3 | － | 28.3 | 6.5 | 10.9 | 4.3 | － |
| 50 代 | 55 | 52.7 | 5.5 | 78.2 | 12.7 | 36.4 | 5.5 | 32.7 | 1.8 | 5.5 | 5.5 | － |
| 60 代 | 69 | 42.0 | 7.2 | 59.4 | 21.7 | 21.7 | 2.9 | 14.5 | 11.6 | 7.2 | 11.6 | － |
| 70 代 | 46 | 41.3 | 8.7 | 56.5 | 26.1 | 4.3 | 4.3 | 10.9 | 10.9 | 15.2 | 4.3 | 8.7 |
| 男性　全体 | 224 | 36.2 | 5.4 | 49.6 | 23.2 | 20.1 | 4.5 | 25.0 | 16.1 | 7.6 | 8.9 | 2.2 |
| 10 代 | 13 | 38.5 | － | 23.1 | 38.5 | 30.8 | － | 61.5 | 15.4 | 7.7 | 38.5 | － |
| 20 代 | 29 | 37.9 | － | 27.6 | 24.1 | 6.9 | － | 44.8 | 17.2 | 10.3 | 6.9 | － |
| 30 代 | 24 | 37.5 | 8.3 | 45.8 | 25.0 | 33.3 | 8.3 | 20.8 | 20.8 | 8.3 | 4.2 | 4.2 |
| 40 代 | 29 | 41.4 | － | 65.5 | 24.1 | 34.5 | 6.9 | 24.1 | 6.9 | 13.8 | 6.9 | － |
| 50 代 | 40 | 40.0 | 7.5 | 37.5 | 12.5 | 17.5 | 5.0 | 22.5 | 12.5 | 10.0 | 7.5 | 2.5 |
| 60 代 | 47 | 31.9 | 10.6 | 57.4 | 23.4 | 14.9 | 4.3 | 21.3 | 21.3 | 6.4 | 2.1 | 6.4 |
| 70 代 | 42 | 31.0 | 4.8 | 66.7 | 26.2 | 16.7 | 4.8 | 9.5 | 16.7 | － | 14.3 | － |

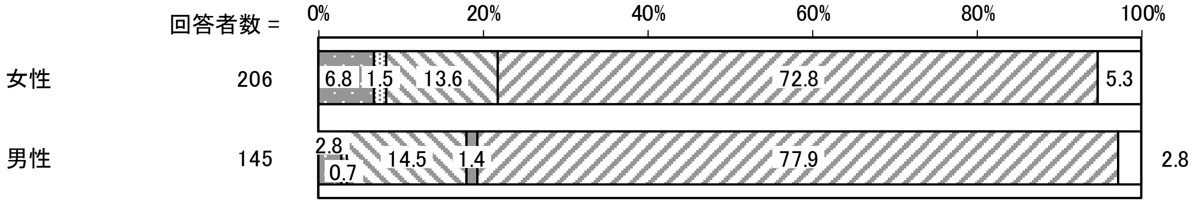
【問 43】　配偶者（事実婚・同性パートナーを含む）がいる方にお伺いします。新型コロナウイルス感染症の影響で、家事・育児等に関する役割分担の変化についてあてはまるもの１つに○をしてください。

「特に変化はない」の割合が 74.9％と最も高く、次いで「自分もパートナーも役割が増えた」の割合が 14.1％となっています。



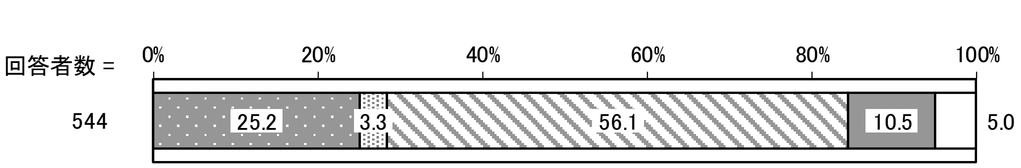

【戸籍上の性別】

戸籍上の性別でみると、女性に比べ、男性で「特に変化はない」の割合が高くなっています。



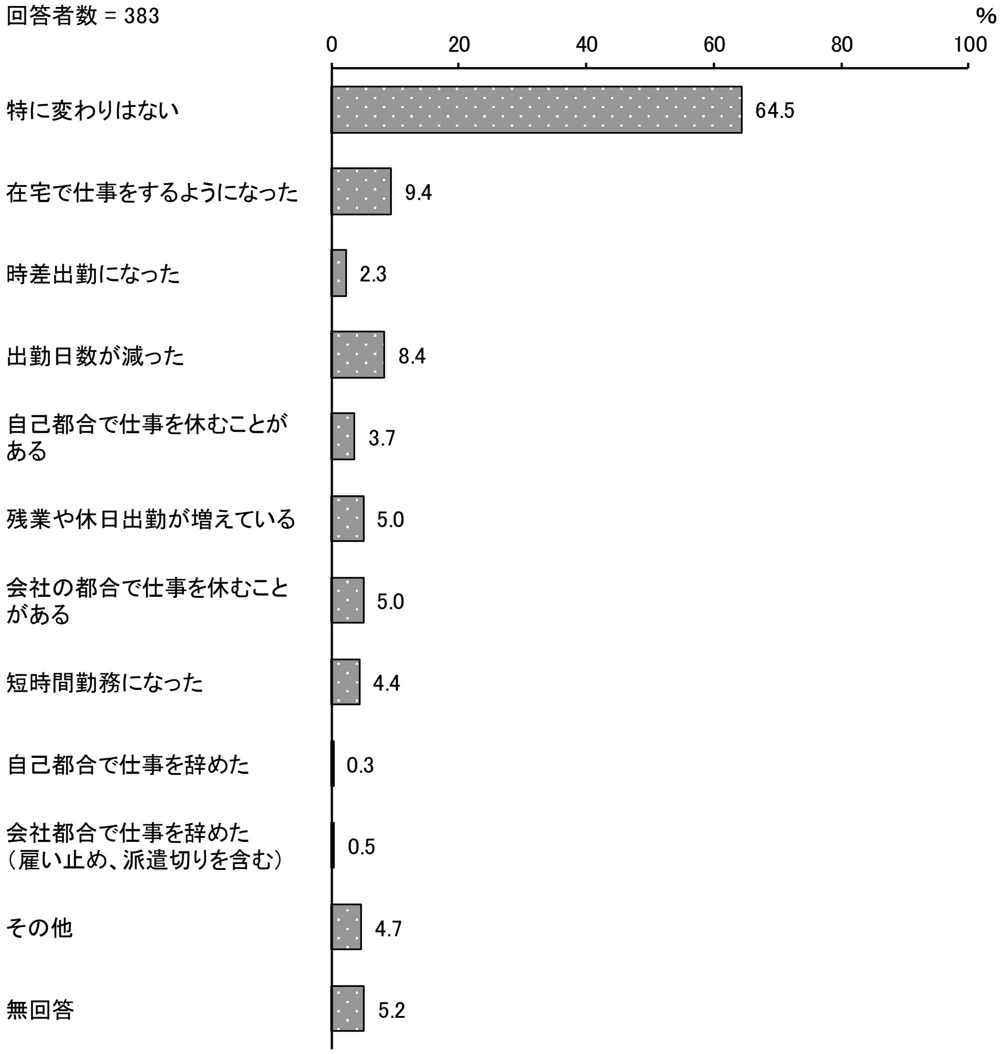

【問 44】　新型コロナウイルス感染症拡大前に比べて、御自身の「仕事と生活のどちらを重視したいか」という意識に変化はありましたか。あてはまるも１つに○をしてください。

「変化はない」の割合が 56.1％と最も高く、次いで「生活を重視するように変化」の割合が 25.2％、「わからない」の割合が 10.5％となっています。



【問 45】　働いている方にお伺いします。新型コロナウイルス感染症の影響で、あなたの働き方は変わりましたか。あてはまるものすべてに○をしてください。

「特に変わりはない」の割合が 64.5％と最も高くなっています。



【戸籍上の性別】

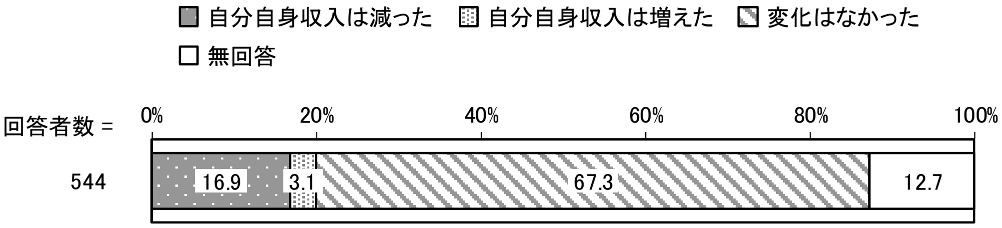
戸籍上の性別でみると、女性に比べ、男性で「在宅で仕事をするようになった」の割合が高くなっています。

単位：％

| 区分 | 回答者数（件） | 特に変わりはない | 在宅で仕事をするようになった | 時差出勤になった | 出勤日数が減った | 自己都合で仕事を休むことがある | 残業や休日出勤が増えている | 会社の都合で仕事を休むことがある | 短時間勤務になった | 自己都合で仕事を辞めた | 会社都合で仕事を辞めた（雇い止め、派遣切りを含む） | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 女性 | 206 | 64.6 | 5.3 | 1.5 | 9.2 | 4.9 | 3.9 | 5.8 | 6.3 | 0.5 | － | 4.9 | 5.8 |
| 男性 | 171 | 64.3 | 14.0 | 2.9 | 7.6 | 2.3 | 6.4 | 4.1 | 2.3 | － | 1.2 | 4.1 | 4.7 |

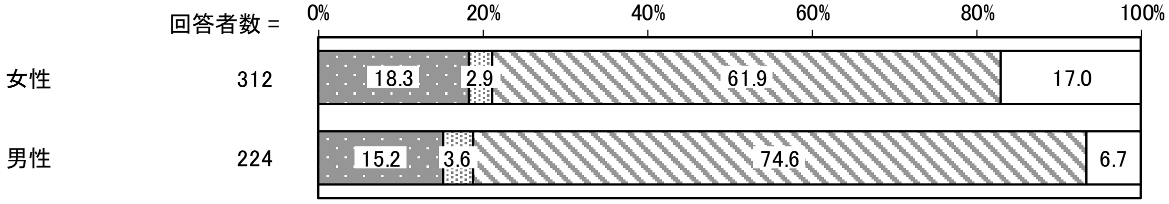
【問46】　新型コロナウイルス感染症の影響により、自分自身の収入は変化しましたか。あてはまるもの１つに○をしてください。

「変化はなかった」の割合が 67.3％と最も高く、次いで「自分自身収入は減った」の割合が16.9％となっています。



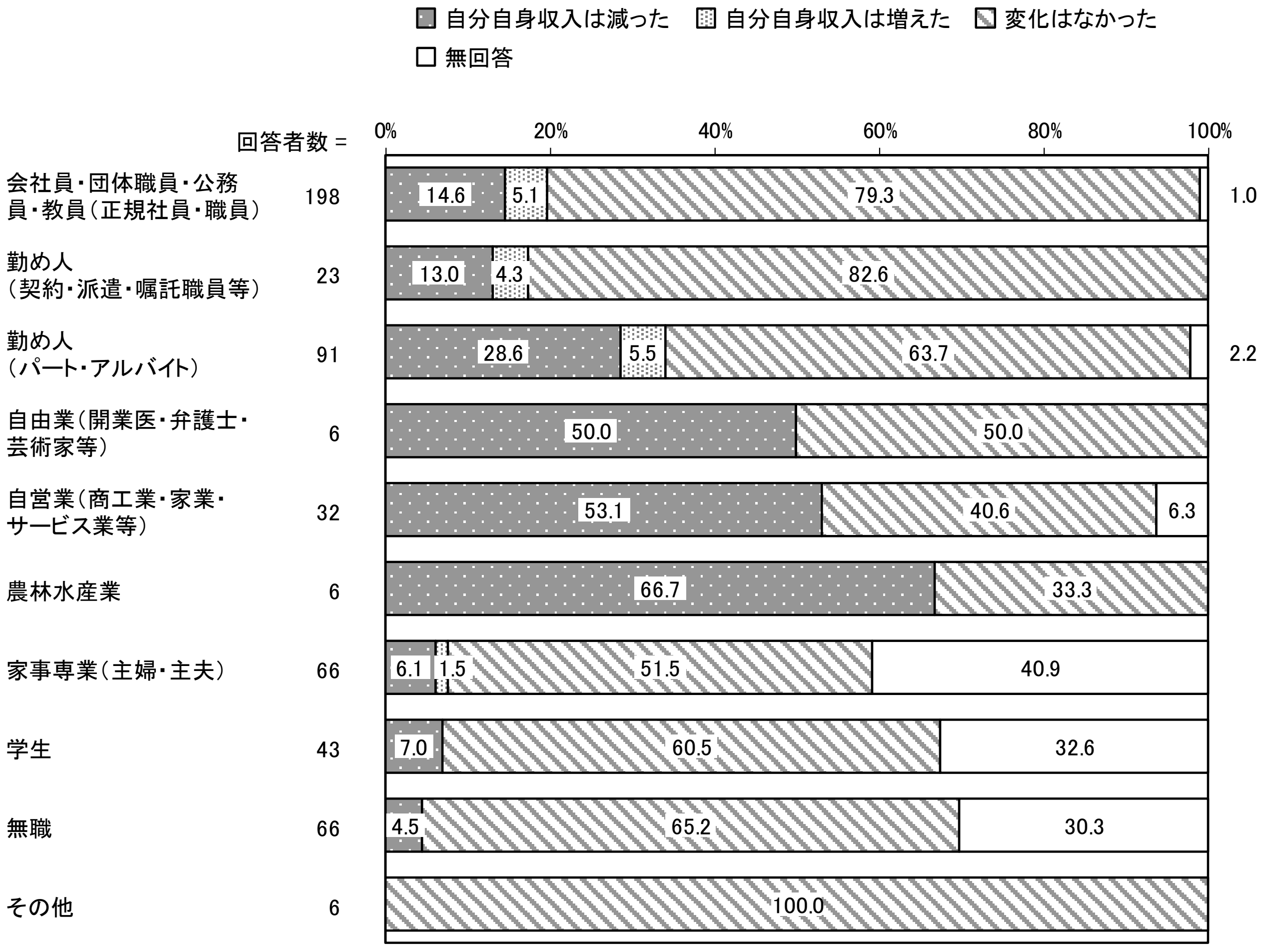

【戸籍上の性別】

戸籍上の性別でみると、女性に比べ、男性で「変化はなかった」の割合が高くなっています。



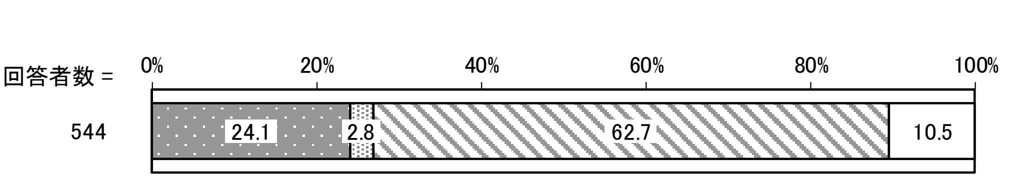
【職業別】

職業別でみると、他に比べ、自営業（商工業・家業・サービス業等）で「自分自身収入は減った」の割合が、会社員・団体職員・公務員・教員（正規社員・職員）、勤め人（契約・派遣・嘱託職員等）で「変化はなかった」の割合が高くなっています。




【問 47】　新型コロナウイルス感染症の影響により、自分以外の世帯（家族）収入は変化しましたか。あてはまるもの１つに○をしてください。

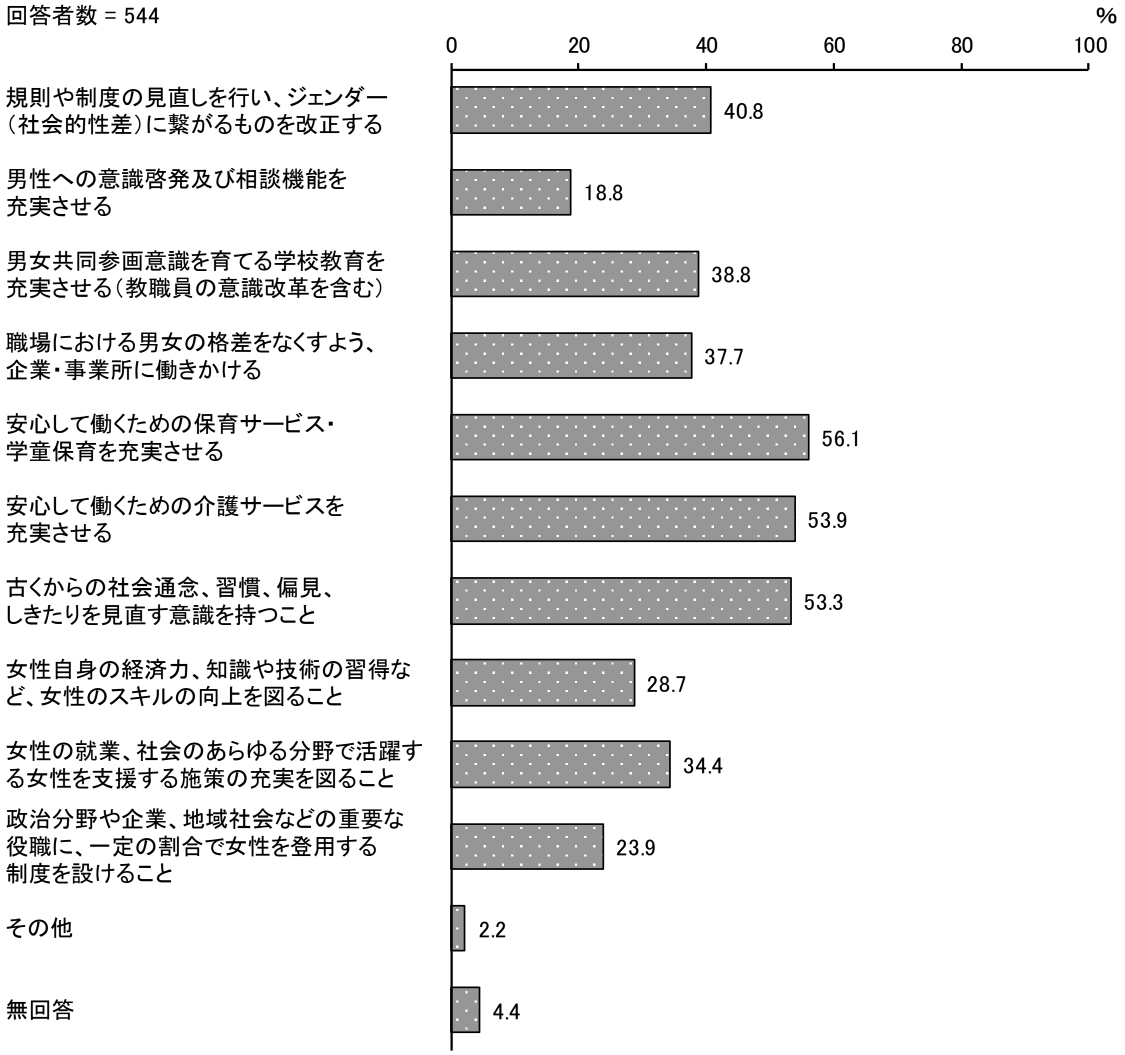
「変化はなかった」の割合が 62.7％と最も高く、次いで「世帯収入は減った」の割合が 24.1％となっています。



10. 今後の取り組みについて

【問 48】 甲府市で男女共同参画社会及び多様な価値観が尊重される社会を実現するために、重要だと思うことは何ですか。あてはまるものすべてに○をしてください。

「安心して働くための保育サービス・学童保育を充実させる」の割合が 56.1％と最も高く、次いで「安心して働くための介護サービスを充実させる」の割合が 53.9％、「古くからの社会通念、習慣、偏見、しきたりを見直す意識を持つこと」の割合が 53.3％となっています。



【戸籍上の性別】

戸籍上の性別でみると、男性に比べ、女性で「安心して働くための介護サービスを充実させる」「古くからの社会通念、習慣、偏見、しきたりを見直す意識を持つこと」「女性自身の経済力、知識や技術の習得など、女性のスキルの向上を図ること」の割合が高くなっています。

単位：％

| 区分 | 回答者数（件） | 規則や制度の見直しを行い、ジェンダー（社会的性差）に繋がるものを改正する | 男性への意識啓発及び相談機能を充実させる | 男女共同参画意識を育てる学校教育を充実させる（教職員の意識改革を含む） | 職場における男女の格差をなくすよう、企業・事業所に働きかける | 安心して働くための保育サービス・学童保育を充実させる | 安心して働くための介護サービスを充実させる | 古くからの社会通念、習慣、偏見、しきたりを見直す意識を持つこと | 女性自身の経済力、知識や技術の習得など、女性のスキルの向上を図ること | 女性の就業、社会のあらゆる分野で活躍する女性を支援する施策の充実を図ること | 政治分野や企業、地域社会などの重要な役職に、一定の割合で女性を登用する制度を設けること | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 女性 | 312 | 41.0 | 18.6 | 39.4 | 39.1 | 57.7 | 57.7 | 55.8 | 31.4 | 33.7 | 22.8 | 1.6 | 3.8 |
| 男性 | 224 | 40.6 | 19.2 | 37.9 | 36.2 | 53.1 | 48.7 | 50.0 | 24.6 | 36.2 | 25.9 | 2.2 | 5.4 |

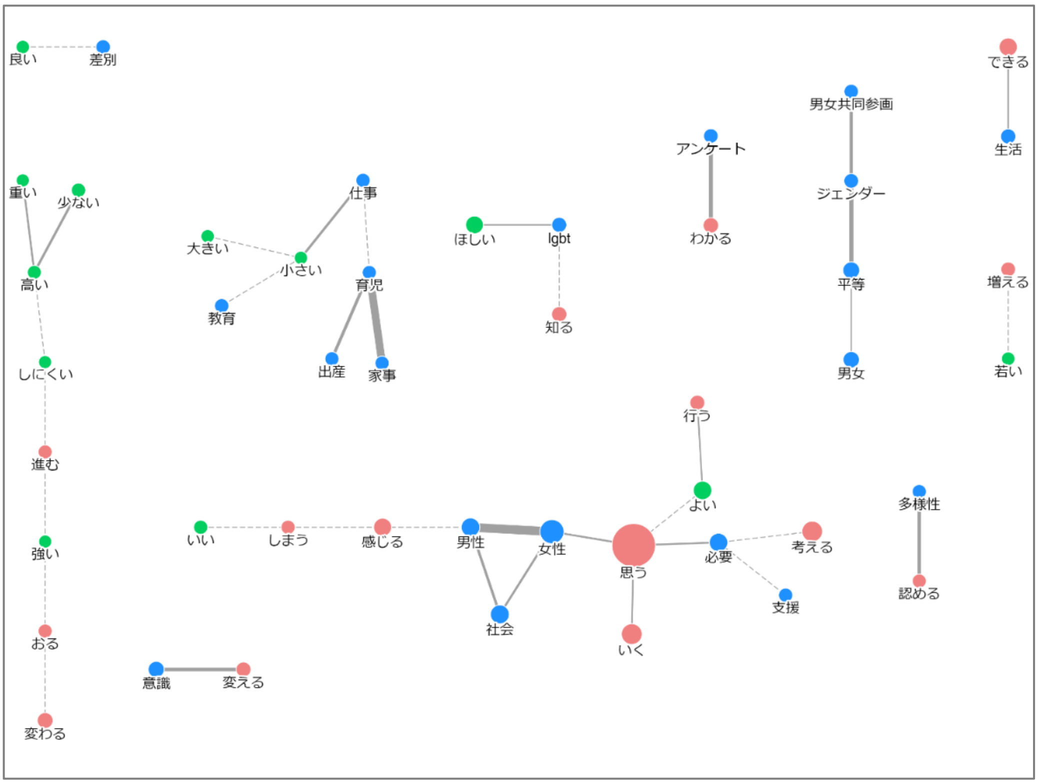
## 11. 自由記載

【問 49】　あなたが、男女共同参画・ジェンダー平等社会について考えていること、提案したいこと等、自由に記入してください。（コロナ禍における貧困、女性の視点を取り入れた防災、SDGｓ、多様性、LGBT、パートナーシップ制度等）

※ユーザーローカル テキストマイニングツールにより分析

### ①ワードクラウド

スコアが高い単語をを複数選び出し、その値に応じた大きさで図示しています。単語の色は品詞の種類で異なっており、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞、灰色が感動詞を表しています。

### ②共起キーワード

文章中に出現する単語の出現パターンが似たものを線で結んだ図です。出現数が多い語ほど丸が大きく、また関連性の程度が強いほど太い線で描画されます。